取扱説明書

ご使用の前に
よくお読みください。

Honda Navigation System

本編

このたびはHonda車をお買い上げいただき、ありがとうございます。

**この本は、Hondaナビゲーションシステムについて
必要事項を説明しています。
安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、
ご使用前に必ずお読みください。**

この本はナビゲーションシステムおよびVICS、インターナビ、オーディオ、ハンズフリー電話の取り扱いを説明しています。
車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。
このナビゲーションシステムでお使いいただける機能については、「主な機能について」（→*P4*）をご覧ください。

- 操作パネル色や地図色の設定がこの本に記載の画像と異なる場合があります。設定の変更については、「機能設定」（→*P148*）をご覧ください。
- 仕様変更などにより、この本の内容と実車が一致しない場合もありますのでご了承ください。
- 撮影、印刷インキの関係で実際の色とは異なって見えることがあります。

はじめに

主な機能について 4

説明書について 8
ナビガイド 8
取扱説明書　本編 8
取扱説明書　音声操作編 9

もくじ 10

安全にお使いになるために 12
安全に関する表示 12
安全に関する記号 12
その他の表示 12

本書の見かた 14
本書の構成と分類 14
見たいところの探しかた 14
本書の表記のしかた 15

各部の名前とはたらき 16
ナビゲーション機能を操作するとき 16
ディスプレイ 16
操作パネル 16
ナビゲーション本体 17
オーディオ機能を操作するとき 18
ディスプレイ 18
操作パネル 18
ナビゲーション本体 19

ナビゲーションシステムについて 20
ナビゲーションシステムのしくみ 20
GPS（ジーピーエス）について 21

ハードディスクナビに関する注意点 22

主な機能について

- このナビゲーションシステムでお使いいただける機能については、下記の機能一覧表をご覧ください。

このナビゲーションシステムでは、はじめてナビゲーションシステムをお使いのかたが簡単に操作できる簡単操作モードと、いろいろな機能を使用できる標準操作モードがあります。
必要に応じて操作モードを切り換えてご使用ください。（→*P30*）

機能の有無（○：有り　×：無し）

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
基本操作			
ポイントメニューやカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する	○	○	P27
画面に壁紙を表示する	×	○	P29
操作モードの切り換え	○	○	P30
走行道路名／市区町村名表示	○ 簡単操作モードでは市区町村名固定	○	P33
画面表示			
2画面にする	×	○	P51
2画面時に右画面の縮尺を変える	×	○	P48
2画面の向きを変える	×	○	P50
3Dマップにする（角度を変える）	×	○	P52
ドライビングマップにする	○	○	P52
高速ガイド	○	○	P53
高速道路の施設の情報を見る	○	○	P54
ランドマークを表示する	○	○	P56
ランドマーク表示の設定を詳細に変える	×	○	P57
ランドマークデータを登録、編集する	×	○	P164
施設の情報を見る	○	○	P59
夜間の地図色を昼間の設定に戻す	○	○	P62

機能の有無（○：有り　×：無し）

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
マーク			
自宅などよく行く地点を登録する	○（自宅のみ）	○	P64
よく行く地点やマークにルート計算条件を設定する	×	○	P70
好きな場所にマークをつける	×	○	P74
マークを編集する	×	○	P75
目的地検索			
近くにある施設を探す（周辺検索）	○	○	P81
地図を見ながら場所を探す	○	○	P81
ルート上周辺の施設を探すときは（周辺検索）	×	○	P82
施設の提携駐車場を探すときは（周辺検索）	○	○	P81
施設のジャンルから場所を探す	○	○	P83
施設の名前で場所を探す	○	○	P85
住所で場所を探す	○	○	P86
電話番号で場所を探す	○	○	P87
郵便番号から場所を探す	×	○	P88
マップコードで場所を探す	×	○	P89
自宅に帰る	○	○	P90
よく行く地点から場所を探す	×	○	P90
地図につけたマークで場所を探す	×	○	P91
目的地履歴リストから場所を探す	×	○	P91
ルート設定			
ルートを確認する	×	○	P98
学習ルートを考慮する	○	○	P98
回避エリアの設定をする	×	○	P98
ルートを複数から選ぶ	○	○	P100
経由地を通るとき	×	○	P100
高速道路の乗り降り口を変える	×	○	P101
登録道を指定する	×	○	P102

機能の有無（○：有り　×：無し）

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
ルート案内			
誘導音声案内	○	○	P110
オートリルート	○	○	P112
ルートスクロール	×	○	P113
区間表示	×	○	P113
ルート情報	×	○	P113
迂回ルート	×	○	P114
目的地（経由地）までのルートの条件を変える	×	○	P116
経由地の順番を変えるとき	×	○	P118
ルート案内を中止する	○	○	P122
再度ルート案内をはじめる	○	○	P122
VICS			
VICS	○ 簡単操作モードでは表示方法の設定などができない	○	P124
インターナビからのVICS情報	○ 設定は標準操作モードのみ対応(簡単操作モードでは、その設定に従う)	○	P138
ナビゲーション設定			
画面表示の設定を変える（表示設定）	○ 簡単操作モードでは時計表示のみ対応	○	P150
誘導案内の設定を変える（誘導設定）	×	○	P153
到着予想時間の表示	○	○	P153
到着予想時間の車速設定	×	○	P154
警告案内の設定を変える（警告設定）	×	○	P158
メニューをカスタマイズする	×	○	P159

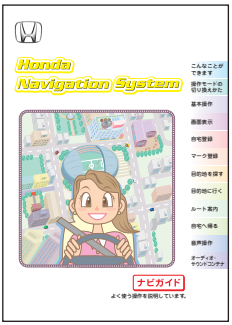
機能の有無（○：有り　×：無し）

機能内容	簡単 簡単操作モード	標準 標準操作モード	ページ
インターナビ			
インターナビからのマーク情報	×	○	P78
ブラウザ	○ 簡単操作モードでは回線の接続と切断、読み上げと停止のみ対応	○	P194
メール	○ 簡単操作モードではメールの受信のみ対応	○	P206
便利な機能			
PCカード	×	○	P222
ハンズフリー電話	○	○	P230
スケジュール	×	○	P248
音声メモ	○	○	P254
シークレットモードを設定する	○	○	P262
オーディオ・テレビ			
ラジオ	○	○	P280
CD	○	○	P284
MP3ディスク	○	○	P288
テレビ	○	○	P292
DVDビデオ	○	○	P297
ビデオ	○	○	P309
サウンドコンテナ	○	○	P312

説明書について

Hondaナビゲーションシステムの取扱説明書は、用途によって次の3冊から構成されています。

■ナビガイド



ナビゲーションやオーディオなどのよく使う操作を説明しています。

■取扱説明書　本編



ナビゲーションシステムおよびVICS、インターナビ、オーディオ、テレビ、ハンズフリー電話、その他便利な機能の取り扱いについて説明しています。

■取扱説明書　音声操作編



音声操作での取り扱い、主な音声コマンドについて説明しています。

もくじ

1 はじめに

主な機能について....4
説明書について....8
もくじ....10
安全にお使いになるために....12
本書の見かた....14
各部の名前とはたらき....16
ナビゲーションシステムについて....20
ハードディスクナビに
　関する注意点....22

2 基本操作

ボタンの使いかた....24
ポイントメニュー、カスタマイズメニュー
　（ワンプッシュメニュー）を表示する...27
画面を表示する／消す....28
操作モード（簡単／標準）の
　切り換えかた....30
ナビゲーション画面の見かた....32
地図記号の見かた....34
見たい地図を探す....36
音量を調節する／消す....38
文字入力のしかた....39

3 画面表示

地図のスケールを切り換える....48
地図の向きを変える....50
マップモードを切り換える....51
高速ガイドの施設情報を見る....54
ランドマークを表示／非表示にする...56
施設情報を表示する....59
画面の明るさを調節する....61

4 自宅およびマークを登録／編集する

自宅などよく行く地点を登録／
　編集する....64
マークを登録／編集する....74
マークの詳細情報を見る....78

5 目的地を探す

場所を探す....80
場所が決まったら....93

6 目的地に行く

目的地に行くまでの
　ルートを計算させる....96
目的地までルート案内させる....104
目的地を消す....105

7 ルート案内

いろいろな案内....108
ルートを確認する....113
ルートを変更する....114
ルート案内を中止／再開する....122

8 VICSを使う

VICSとは....124
VICS情報を見る....128
VICS放送局を選ぶ....134
VICSを使った
　ルート計算について....136
インターナビVICS....138
FM文字多重放送を見る....145

9 ナビゲーションの設定をする

機能設定....148
メニューをカスタマイズする....159
壁紙の設定をする....160
現在地を修正する....162

10 データを登録／編集する

ランドマークデータを登録／編集する...164
回避エリアを登録／編集する....171
登録道を登録／編集する....175
ルートの学習内容を消去する....180

11 インターナビを使う

インターナビ・プレミアムクラブとは ...182
準備 ...184
ブラウザを使う ...194
メールを使う ...206
読み上げ機能について ...220

12 カードを使う

カードを接続する ...222
カードの操作 ...224
PCカードを初期化する ...228

13 ハンズフリー電話を使う

準備 ...230
ハンズフリー電話の設定 ...231
ハンズフリー電話を使う ...236

14 便利な機能

画像を確認する ...246
スケジュールを使う ...248
音声メモを使う ...254
ウェザーライブを見る ...257
シークレットモードを使う ...262

15 オーディオ・テレビ

ディスクの取り扱いについて ...268
オーディオ・テレビの基本操作 ...275
ラジオを聞く ...280
音楽CDを聞く ...284
MP3ディスクを聞く ...288
テレビを見る ...292
DVDを見る ...297
AV入力に切り換える ...309

16 サウンドコンテナ

サウンドコンテナとは ...312
サウンドコンテナの聞きかた ...313
サウンドコンテナのいろいろな
再生のしかた ...316
サウンドコンテナに録音する ...319
プレイリストの編集 ...323

17 その他

GPSの測位について ...334
現在地や軌跡の誤差について ...336
おすすめルートについて ...340
VICSについて ...342
地図／その他情報について ...346
ハードディスク容量を確認する ...349
保存データを消去する ...350
用語解説 ...351

18 困ったときの手引き

困ったときの手引き ...354

19 機能設定一覧

機能設定一覧 ...368

20 索引

メニュー索引 ...372
用語索引 ...379
VICS情報有料放送サービス
契約約款 ...384
お問い合わせ、ご相談窓口 ...388

安全にお使いになるために

この本は、ナビゲーションシステムの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と合わせてお読みください。

■安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を回避方法と共に、下記の表示で記載しています。これらは重要ですので、しっかりお読みください。

⚠ 危険	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至るもの
⚠ 警告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、傷害を受ける可能性があるもの

■安全に関する記号

🚫 禁止（してはいけないこと）を示します。

■その他の表示

お知らせ

- 知っておくと便利な操作や情報です。

お願い

- お車のために守っていただきたいことです。

アドバイス

- 使いこなすために便利な操作や情報です。

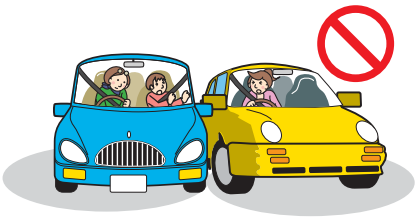
⚠警告

テレビやDVDビデオなどを見たり、ナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください。
車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。



⚠注意

安全のため運転者は、走行中に操作しないでください。
また、走行中に画面を見るときは、必要最小限にしてください。
前方不注意などにより、思わぬ事故につながるおそれがあります。

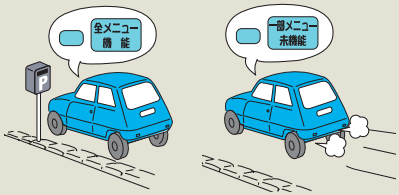


お願い

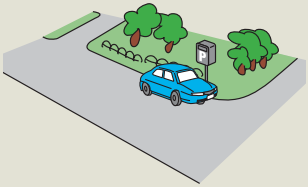
- 目的地（自宅）への案内は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。
必ず、実際の交通規制に従って走行してください。



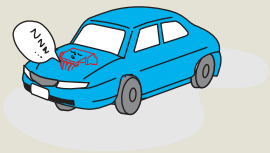
- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」などのメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。



- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。



- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。



本書の見かた

■本書の構成と分類

本書では、本ナビゲーションシステムのさまざまな機能を、機能内容ごとに以下のように分類して説明しています。また、分類された章と色はもくじ（→*P10*）や章扉と本文ページの右端にあるインデックスと対応しています。



※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

章	色	説明内容の分類
1～10	緑	主にナビゲーション機能に関する情報と操作説明
11～14	青	主にインターネットを利用したサービスやウェザーライブなど、便利な機能に関する情報と操作説明
15～16	茶	映像や音楽をお楽しみいただけるAV（オーディオ・ビジュアル）機能に関する情報と操作説明
17～20	黄	ナビゲーション機能に関するその他の情報や困ったときの対処方法など

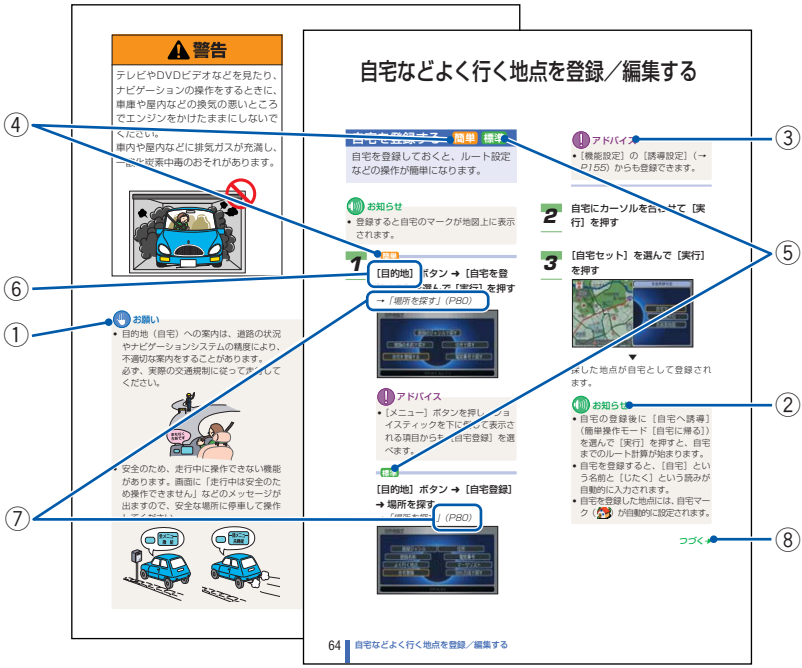
■見たいところの探しかた

特徴から探す　→*P4～P7*
目次で探す※1　→*P10～P11*
索引で探す※2　→*P372～P383*

※1：各章の扉には、更に詳細な目次がついています。
※2：索引には「メニュー索引」（→*P372*）と「用語索引」（→*P379*）があります。

■本書の表記のしかた

本書で使用している表記と意味は以下のようになっています。



※このページは説明のためのページです。実際の操作説明とは異なります。

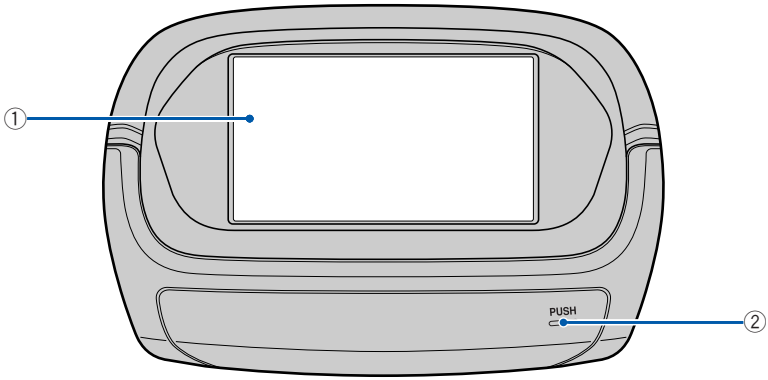
表記	意味
① お願い	お車のために守っていただきたいこと
② お知らせ	知っておくと便利な操作や情報
③ アドバイス	使いこなすために便利な操作や情報
④ 簡単 ※	簡単操作モードでできる機能と操作
⑤ 標準 ※	標準操作モードでできる機能と操作
⑥ [　]	操作パネルのボタンや、画面上で選べるメニュー項目や機能 例：**［目的地］ボタンを押す**
⑦ *斜体*	参照するページ、本文タイトルや他の説明書がある場合 例：→*「場所を探す」(P80)*
⑧ つづく→	操作手順に続きがある場合

※選択しているモードによって操作や画面表示が違うため、本書では上記マークを使ってそれぞれを説明しています。

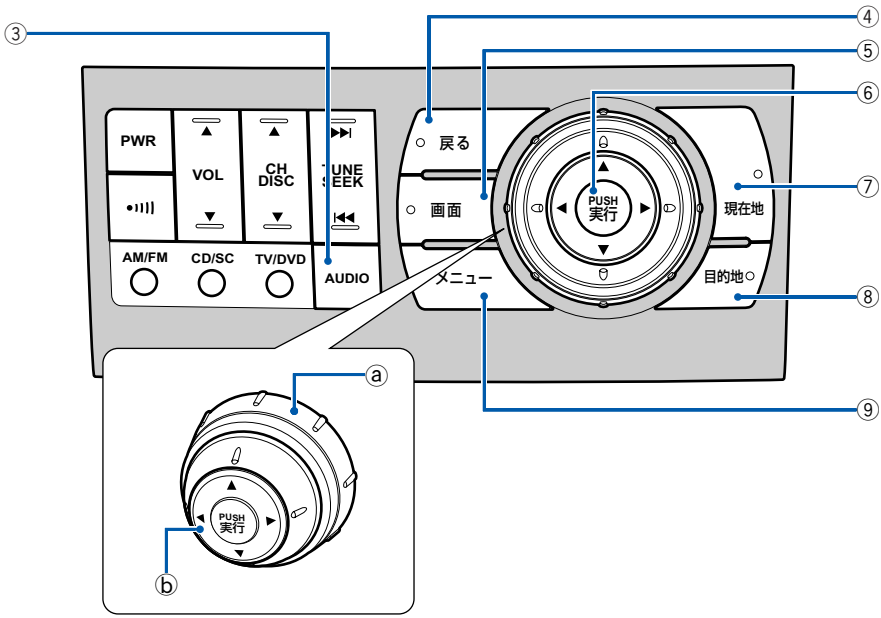
各部の名前とはたらき

ナビゲーション機能を操作するとき

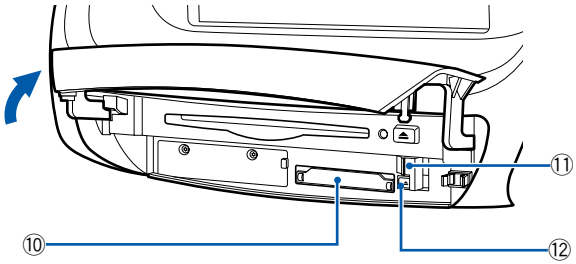
■ディスプレイ



■操作パネル



■ナビゲーション本体



①液晶表示画面
いろいろな表示が出ます。

お願い

- 液晶表示画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押したり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふきとってください。

②ふた

③［AUDIO］ボタン
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

④［戻る］ボタン
操作をやめて前の画面に戻るときに使います。

⑤［画面］ボタン
画面を設定、調節するときに使います。

⑥プログレッシブコマンダー
ⓐコマンドホイール
左右に回して項目を選ぶときに使います。
ⓑジョイスティック
8方向に倒して地図をスクロールさせたり、押して選んだ項目を決定するときなどに使います。

⑦［現在地］ボタン
現在地の地図画面にするときに使います。

⑧［目的地］ボタン
目的地を選ぶときに使います。

⑨［メニュー］ボタン
メニューが表示されます。

⑩PCカード挿入口
PCカードは、マークやスケジュール設定などのデータを保存したり、読み込むときに使います。

お願い

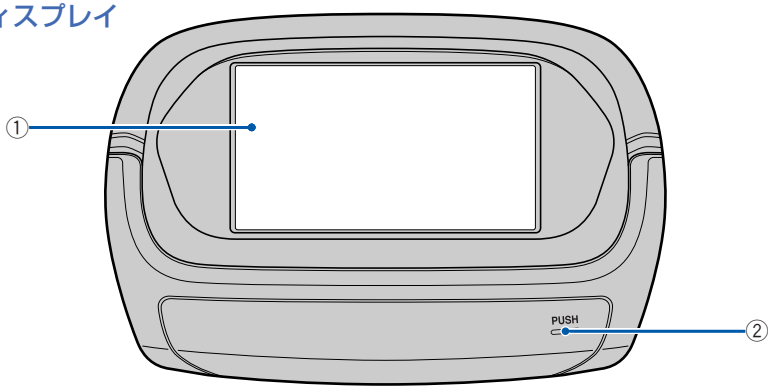
- PCカードを使うときは、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因になります。(→*P222*)

⑪PCカードロックレバー
PCカード取り出しボタンの誤操作を防止します。

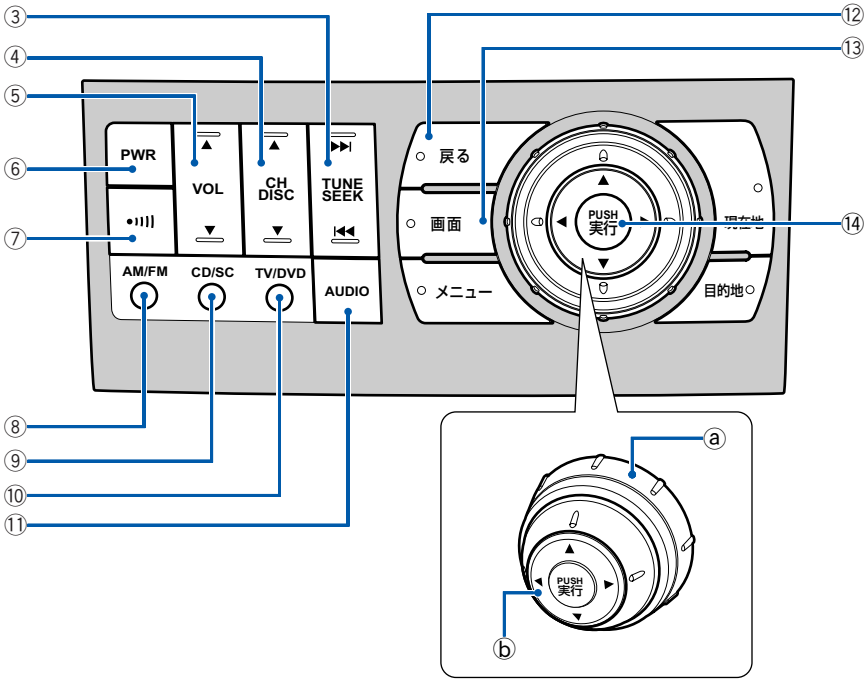
⑫PCカード取り出しボタン
PCカードを取り出すときに使います。

オーディオ機能を操作するとき

■ディスプレイ



■操作パネル



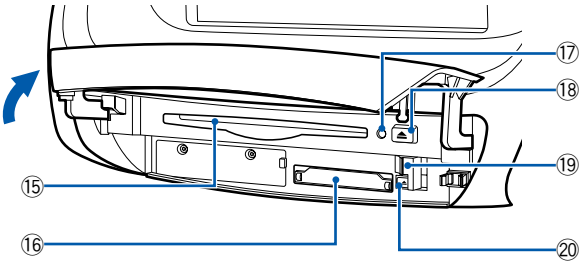
①液晶表示画面

いろいろな表示が出ます。

お願い

- 液晶表示画面の表面は、キズが付きやすいので、手で強く押したり、かたい布などでこすらないでください。
- 画面がよごれたときは、メガネふきなどの柔らかく乾いた布で軽くふきとってください。

■ナビゲーション本体



②**ふた**

③**[TUNE/SEEK] ボタン**
テレビやラジオの放送局を選んだり、CDやMP3ディスクまたはサウンドコンテナで曲を選ぶときに使います。

④**[CH/DISC] ボタン**
テレビやラジオの記憶した放送局（チャンネル：CH）を選んだり、MP3ディスクでフォルダ、サウンドコンテナでプレイリストを選ぶときに使います。

⑤**[VOL] ボタン**
スピーカーの音量を調節します。

⑥**[PWR] ボタン**
テレビ・オーディオを終了するときに使います。

⑦**[ ] ボタン**
交通情報を聞くときに使います。

⑧**[AM/FM] ボタン**
AMラジオまたはFMラジオを聞くときに使います。

⑨**[CD/SC] ボタン**
CDやMP3ディスクまたはサウンドコンテナを聞くときに使います。

⑩**[TV/DVD] ボタン**
テレビまたはDVDを見るときに使います。

⑪**[AUDIO] ボタン**
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えるときに使います。

⑫**[戻る] ボタン**
操作をやめて前の画面に戻るときに使います。

⑬**[画面] ボタン**
テレビまたはDVDで画面を調節するときに使います。

⑭**プログレッシブコマンダー**
ⓐコマンドホイール
左右に回して項目を選ぶときに使います。
ⓑジョイスティック
上下左右に倒して項目を選んだり、押して選んだ項目を決定するときなどに使います。

⑮**ディスク挿入口**
DVDやCDなどを挿入します。

⑯**PCカード挿入口**
PCカードを使用するときに使います。

お願い

- PCカードを使うときは、必ず指定されたカードをお使いください。指定以外のカードを使うと、故障の原因になります。（→*P222*）

⑰**ディスクインジケーター**
ディスクを入れると点灯します。

⑱**ディスク取り出しボタン**
ディスクを取り出すときに使います。

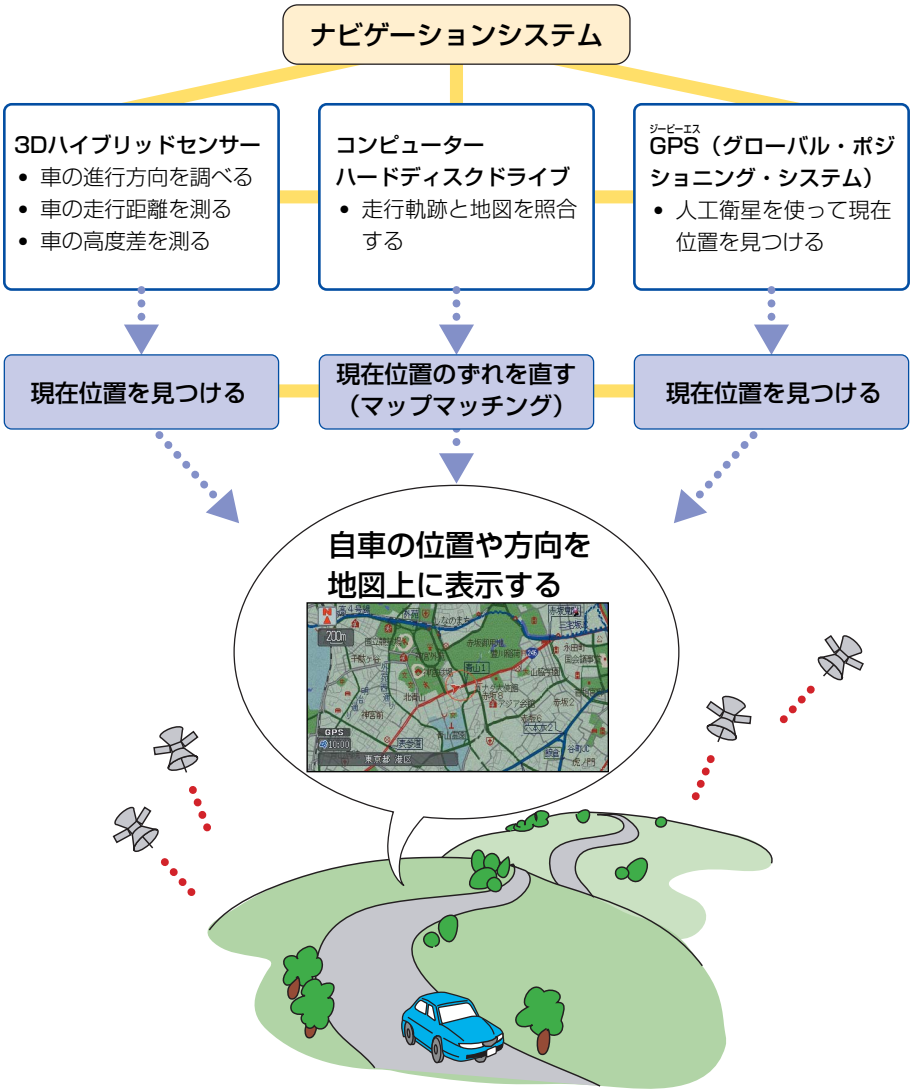
⑲**PCカードロックレバー**
PCカード取り出しボタンの誤操作を防止します。

⑳**PCカード取り出しボタン**
PCカードを取り出すときに使います。

ナビゲーションシステムについて

ナビゲーションシステムは、自車のセンサーや人工衛星を利用して集めた情報を基に、自車の位置や方向を地図上に表示するシステムです。

ナビゲーションシステムのしくみ



GPS（ジーピーエス）について

GPSとは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム／全地球測位システム）の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で周回している3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。



GPSで現在地を測位しているときは、画面の左下に「GPS」の文字が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーションシステムが作動してからしばらくの間は、電波を受信しやすい場所にいても測位ができません。また、ナビゲーションシステムが作動したあとすぐに走行すると、GPSが測位するまでの時間が長くなります。
- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたとき）は、GPSが測位するまでの時間が長くなります。

ハードディスクナビに関する注意点

市販のナビゲーションソフトのご利用について

市販されているCD-ROMやDVDのナビゲーションソフトを読み込んで利用することはできません。

低温時のハードディスクへの書き込みについて

低温時は、ハードディスクへの書き込み動作を伴う地点の登録（マークやよく行く地点）、登録道の新規登録、サウンドコンテナへの録音などができない場合があります。車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。

著作権

本製品に収録されたデータ及びプログラムの著作権は、弊社及び弊社に対し著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属しております。お客様は、いかなる形式においてもこれらのデータ及びプログラムの全部または一部を複製、改変、解析等することはできません。

バージョンアップについて

本ナビゲーションシステムは、ハードディスクを利用したシステムです。本機をバージョンアップするには、内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。
バージョンアップを行うときは、Honda販売店にご連絡ください。

お客様の登録されたデータについて

- 本機のバージョンアップおよび修理において、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- 本機が故障した場合、お客様の登録されたデータおよびサウンドコンテナに録音された音楽データの保証についてはご容赦願います。
- お車を譲られるときなど、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲を別のハードディスクなどに複製することは、著作権法上できません。
- お車を譲られるときは、お客様が録音されたサウンドコンテナ内の曲は、著作権法上消去してください。
- PCカードを利用すると、マークデータ、登録道データ、スケジュールを保管することができます。

その他

- 弊社は、本製品に収録された地図データ等が完全・正確であること、および本製品がお客様の特定目的へ合致することを保証するものではありません。
- 本製品のハードディスクを取り外さないでください。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

基本操作

ボタンの使いかた 24
操作パネルのボタン 24
プログレッシブコマンダーの操作 24
ボタンやプログレッシブコマンダーの操作と本書の表記 26

ポイントメニュー、カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する 27
現在地の地図画面にカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示させる 27
ポイントメニューを表示する 27

画面を表示する／消す 28
初めて画面を表示するとき 28
ナビゲーション／オーディオ画面を消す 29
簡単操作モードで画面を消す 29
標準操作モードで画面を消す 29
壁紙を表示する 29

操作モード（簡単／標準）の切り換えかた 30
標準操作モードに切り換える 30
簡単操作モードに切り換える 30
簡単操作モードと標準操作モードのメニュー画面 31

ナビゲーション画面の見かた 32

地図記号の見かた 34
地図表示 34
施設 34

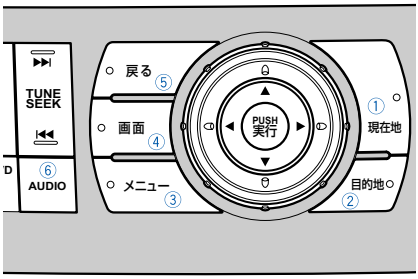
見たい地図を探す 36
地図をスクロールする 36
メニューを表示する 37

音量を調節する／消す 38

文字入力のしかた 39
入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた 39
1.文字種を切り換える 40
2.全角／半角または大文字／小文字を切り換える 40
3.文字を入力する 40
4.無変換、変換を行う 41
5.文字入力を終了する 41
漢字表から入力する 42
文字を削除する 42
スペースを空ける 43
文字を挿入する 43
改行する 43
定型文を入力する 44
入力する 44
ユーザー定型文を登録する 44
ユーザー定型文を編集する 44
ユーザー定型文を消去する 45

ボタンの使いかた 簡単 標準

■操作パネルのボタン



① **[現在地] ボタン**
現在地の地図画面を表示します。
ナビゲーション以外の画面から、ナビゲーション画面に戻ることもできます。

② **[目的地] ボタン**
目的地の設定メニューを表示します。

③ **[メニュー] ボタン**
各種の設定メニューを表示します。

④ **[画面] ボタン**
画面表示に関するメニューを表示します。

⑤ **[戻る] ボタン**
操作をやめて前の画面に戻ります。

⑥ **[AUDIO] ボタン**
ナビゲーション画面とオーディオ画面を切り換えます。



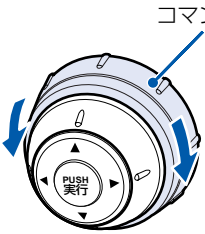
■プログレッシブコマンダーの操作

プログレッシブコマンダーは、ジョイスティックとコマンドホイールに分かれ、ジョイスティックを倒す（8方向）操作と押す操作、コマンドホイールを回す操作があります。

コマンドホイールを回す

メニュー画面やリスト画面の項目や機能の選択（カーソル移動）に使います。
また地図スケールの切り換えや音量や色合いなど、調節画面でも使います。



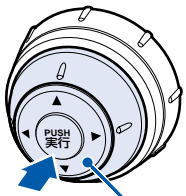


ジョイスティックを押す（実行）

メニュー画面などで選んだ項目や機能の実行に使います。



［施設ジャンル］が選ばれています。



▼

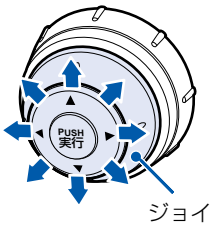


施設ジャンルの画面に切り換わります。

ジョイスティックを倒す

地図のスクロール（8方向－上下・左右・右上・右下・左上・左下）に使います。

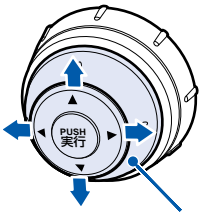




メニュー画面の切り換え（下に倒す）、一部項目の選択（二者択一など左右に倒す）に使います。



三角の方向にジョイスティックを倒します。



▼



■ボタンやプログレッシブコマンダーの操作と本書の表記

操作パネルやナビゲーション本体、ハンドル操作ボタンのボタンやメニュー項目、機能を、本書では以下のように表記しています。

操作パネルやナビゲーション本体、ハンドル操作ボタンのボタンは、［○○］ボタン　と表記しています。
例：［目的地］ボタン

メニュー項目や機能は、［○○］と表記しています。
例：［マーク情報］

ボタンとプログレッシブコマンダーの操作を、本書では、以下のように表記しています。

メニュー画面を操作するとき

ボタンを押して表示されるメニューから、プログレッシブコマンダーで項目を選んで［実行］を押し、表示を切り換えていきます。
例：
［目的地］ボタン ➜［施設ジャンル］➜［一覧から探す］を選んで［実行］を押す



▼



▼



機能や項目を操作するとき

画面を切り換えながら項目を選んで実行します。
例：
ジョイスティックを下に倒して［決定］を選んで［実行］を押す



▼



リスト画面を操作するとき

コマンドホイールを回して項目を選びます。
例：
［回避エリア］を選んで［実行］を押す



住所やマークなどのリスト画面では、50音や地域でリスト項目を移動できます。
ジョイスティックを左右に倒すと、50音（あ、い、う、・・・）や地域の順番でリスト表示を素早く切り換えることができます
例：
ジョイスティックを左右に倒してリストを切り換える



ポイントメニュー、カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する

簡単 標準

現在地やスクロールした場所のカーソル位置に対し、メニューを表示させることができます。

■現在地の地図画面にカスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示させる

現在地では、標準操作モードのカスタマイズメニュー、簡単操作モードのワンプッシュメニューが表示されます。

1 **［現在地］ボタンを押す**



2 簡単

［実行］を押す



ワンプッシュメニューが表示されます。

標準

［実行］を押す



カスタマイズメニューが表示されます。

アドバイス

- カスタマイズメニューはお好みのメニューに変更することができます。→「メニューをカスタマイズする」（P159）

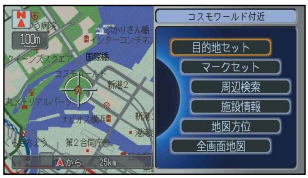
■ポイントメニューを表示する

スクロールや［目的地］ボタンより探した場所のカーソル位置に対して、メニューを表示させることができます。

1 **場所を探す**

→「場所を探す」（P80）

2 **［実行］を押す**



ポイントメニューが表示されます。

お知らせ

- 検索のしかたや場所により表示されるメニュー項目は異なります。→「場所が決まったら」（P93）

画面を表示する／消す 簡単 標準

お願い

- 停車して操作するときは、停車禁止区域外の安全な場所で行ってください。
- 安全のため、走行中に操作できない機能があります。画面に「走行中は安全のため操作できません」等のメッセージが出ますので、安全な場所に停車して操作してください。

お知らせ

- 表示画面に液晶を採用しているため、画面が明るくなるまで時間がかかることがあります。また、極低温のときや急激な温度上昇で装置が結露したときなどは、画面の表示に特に時間がかかることがあります。
- ナビゲーション本体の温度が高温または低温になると、画面に動作不可能の旨のメッセージが出たり、画面が部分的に黒ずんだり、ハードディスクが読めなくなったりすることがありますが、温度が常温になれば元通り操作できるようになります。
- 画面表示の中には小さな黒点・輝点がありますが、液晶特有の現象で故障ではありません。

初めて画面を表示するとき

1 **エンジンスイッチを“I”または“II”にする**

初期画面が表示されたあと、ナビゲーション画面またはオーディオ画面になります。

お知らせ

- オーディオ画面からナビゲーション画面に変えるときは、[AUDIO]ボタンまたは［現在地］ボタンを押してください。



お知らせ

- 初期画面が表示されたあとに大切なメッセージが出ます、必ずお読みください。
- 操作モードは、簡単操作モードと標準操作モードがあります。(→*P30*)

ナビゲーション／オーディオ画面を消す

ナビゲーション画面を壁紙表示にしたり、消すことができます。

お知らせ

- 再度画面を表示させるときは、［現在地］ボタン、［メニュー］ボタン、［目的地］ボタン、［画面］ボタン、［AUDIO］ボタンのいずれかを押します。
- オーディオ画面では［画面］ボタン→［画面消］を選んで［実行］を押してください。

■簡単操作モードで画面を消す 簡単

簡単操作モードでは、以下の操作で画面を消すことができます。

1 **［画面］ボタン ➔［画面を消す］を選んで［実行］を押す**



▼

画面が消えます。

■標準操作モードで画面を消す 標準

壁紙の表示も消し、画面表示をすべて消すことができます。

1 **壁紙表示中に［実行］を押す**

→『壁紙を表示する』（P29）

2 **ジョイスティックを下に倒して［表示OFF］を選び、［実行］を押す**



▼

画面が消えます。

■壁紙を表示する 標準

ナビゲーション画面を消し、壁紙を画面に表示することができます。

アドバイス

- 壁紙には、あらかじめ「星空」と「Hondaナビゲーション」が用意されていて、選ぶことができます。また、お好みの画像を壁紙として登録することもできます。詳しくは『壁紙の設定をする』（→P160）を参照してください。

1 **［画面］ボタン ➔［画面消］を選んで［実行］を押す**



▼

壁紙が表示されます。

お知らせ

- 時計表示の設定が［する］の場合は、壁紙にも時計が表示されます。→『機能設定』（P152）

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して［壁紙設定］を選ぶことにより、壁紙を設定することができます。

操作モード（簡単／標準）の切り換えかた

簡単 標準

本機のナビゲーション機能を操作するには、よく使う機能をわかりやすく表示した「簡単操作モード」と、全機能を操作できる「標準操作モード」の2つから選ぶことができます。

お知らせ

- すでに目的地を設定しているときは、操作モードを切り換えると目的地が解除されます。

■標準操作モードに切り換える

1 ［メニュー］ボタン ➜［標準モードにする］を選んで［実行］を押す



2 ジョイスティックを右に倒して［標準モードにする］を選び、［実行］を押す



▼

標準操作モードに切り換わります。

■簡単操作モードに切り換える

1 ［メニュー］ボタン ➜［簡単モード］を選んで［実行］を押す



2 ジョイスティックを右に倒して［簡単モードにする］を選び、［実行］を押す



▼

簡単操作モードに切り換わります。

■簡単操作モードと標準操作モードのメニュー画面

［メニュー］ボタンを押したときに表示されるメニュー

簡単操作モード



標準操作モード



［画面］ボタンを押したときに表示される画面/地図メニュー

簡単操作モード



標準操作モード



［目的地］ボタンを押したときに表示される目的地設定メニュー

簡単操作モード



標準操作モード



ナビゲーション画面の見かた

簡単 標準

地図に自車位置を表示している画面をナビゲーション画面と言います。ナビゲーション画面では、通常自車位置が画面の中央に表示され、地図は走行に応じて自動的に動きます。

ナビゲーション画面



画面は標準操作モードのものです

①方角マーク

地図の方角を示します。
進行方向を上にした場合、赤い三角が北を示します。

②スケール表示

下の▬▬がスケールの距離を示します。
(2Dマップのみ)

③自車位置マーク

○は、現在の位置を示します。
▲は、車の方向を示します。

④走行軌跡

今までに通った約230km分の走行軌跡が表示できます。車の速度が5km/h未満のときは赤、5km/h以上20km/h未満のときは橙、20km/h以上のときは白の点で表示されます。
走行軌跡は地図のスケールが20km以下のときに表示されます。

アドバイス

- 走行軌跡の表示は、[する]／[しない]を選べます。→*「機能設定」(P150)*

⑤現在時刻

現在の時刻は、GPS衛星から受信した電波に基づいて表示します。時刻を合わせる必要はありません。

アドバイス

- 時刻表示は、[する]／[しない]を選べます。→*「機能設定」(P152)*
- 24時間表示と12時間表示を切り換えることができます。→*「機能設定」(P152)*

⑥**現在地の地名**
市区町村名が表示されます。

アドバイス

- 市区町村名表示は、［する］／［しない］を選べます。また、走行道路名（走行道路名称表示）に切り換えることもできます。→*「機能設定」(P151)*
- 市区町村名は地図のスケールが10m～50mで市街地図が表示されている場合、市区町村、住所名、丁目が表示されます。（市街地図が表示されていない場合は市区町村、ドライビングマップは都道府県と市区町村が表示されます。）
- 市区町村名は地図のスケールが100m～1kmの場合、都道府県と市区町村が表示されます。
- 市区町村名は地図のスケールが2km以上の場合は表示されません。
- 場所によっては、市区町村名や走行道路名が表示されないところもあります。

⑦**交差点名**
交差点の手前300mに近づくと、場所により表示します。

⑧**レーン情報**
交差点の手前300mに近づくと、場所により表示します。

⑨**方面案内表示**
交差点の手前300mに近づくと、場所により表示します。

お知らせ

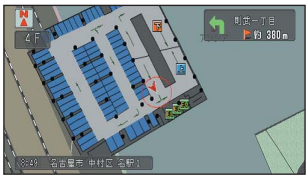
- 方面案内表示は、実際の標識と異なる場合があります。
- 方面案内表示は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P153)*

アドバイス

- 3Dマップでは、スケールが200m以下の詳細表示のとき立体ランドマークを表示させることができます。
  立体ランドマーク表示は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P150)*
- 通信中は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示は2Dまたは3Dマップになります。
- 道幅5.5m未満の道路（細街路）以外を走行しているときは、細街路は表示されません。

駐車場に入ると

データが収録されている大規模な駐車場に入ると、入口、出口、エレベーターの位置などがわかる駐車場マップが表示されます。



お知らせ

- 駐車場マップは、4mスケールで表示されます。コマンドホイールで8mスケールに変更することもできます。

アドバイス

- 駐車場マップの表示のさせかたは、割込みを［する］／［しない］のいずれかに変更できます。→*「機能設定」(P152)*

地図記号の見かた 簡単 標準

地図表示





画面は標準操作モードです

お願い

- 画面に表示される一方通行表示は、実際の道路と異なった表示をすることがあります。必ず実際の交通規制に従って走行してください。

施設

一方通行（市街地図のみ）	PA パーキングエリア	トンネル出入口
ランプ出入口（紺：入口　赤：出口）	P 駐車場	空港・飛行場
IC インターチェンジ（5kmスケールのみ）	道の駅	ヘリポート
SA サービスエリア	料金所	フェリー乗り場

灯台
工場など
警察署
消防署
病院・保健所
公民館・公共図書館
郵便局
NTT
小学校
中学校
高校・その他教育施設
高専
大学
デパート・スーパー
DIYショップ
ホテル
ホール･劇場･文化会館
公園
遊園地･テーマパークなど
動物園
植物園
水族館
美術館・博物館

野球場・スタジアム
体育館
競馬場
ゴルフ場･ゴルフ練習場
スキー場
モータースポーツ
スポーツ施設
海水浴場・プール
ヨットハーバー
自動車学校
牧場
城・城跡
神社
寺
墓地
タワー
温泉
山岳
指示点
教会
キャンプ場
テニスコート
乗馬クラブ

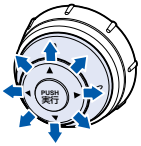
ボウリング場
マンション
（市街地図のみ）
ホンダプリモ店
ホンダクリオ店
ホンダベルノ店
交通教育センター
オートテラス

見たい地図を探す 簡単 標準

地図をスクロールさせて、見たい場所の地図を探すことができます。

■地図をスクロールする

1 ジョイスティックを上下、左右、斜めに動かす





ジョイスティックを動かしている間、地図は動き続け、画面の上下左右にスクロール方面表示が表示されます。

▼



ジョイスティックから手を離すと、現在地から直線距離などが表示されるスクロール画面になります。

お知らせ

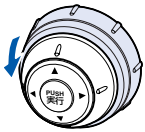
- 同じ方向に約2秒以上動かし続けると、地図が速く動きます。
- 3Dマップ時にスクロールすると2Dマップになります。
- ドライビングマップではスクロールできません。
- 走行中はジョイスティックを動かした方向に、自動で画面の端までスクロールします。
- 走行中に市街地図を表示しているときは、スクロールできません。
- ［現在地］ボタンを押すと、現在地画面に戻ります。

アドバイス

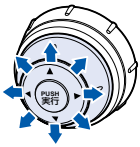
- 地図の向きや表示を切り換えることができます。（→*P50*）
- カーソルの周辺にある施設を探すことができます。（→*P81*）
- 探した場所にマークをつけることができます。（→*P74*）
- 探した場所を目的地にすることができます。（→*P93*）
- 市街地図表示のときは、建物の情報を見ることができます。（→*P60*）
- スクロール方面表示は［する］／［しない］が設定できます。→*「機能設定」（P152）*

遠くの場所を早く探す

1 コマンドホイールを回して広域の地図にする

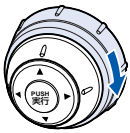


2 ジョイスティックで場所を探す

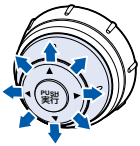


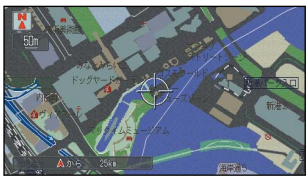


3 コマンドホイールを回して詳細の地図にする



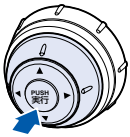
4 ジョイスティックで場所を探す





■メニューを表示する

1 地図をスクロール中に［実行］する





画面の右半分にメニューを表示します。

アドバイス

- 地図が現在地のときに［実行］を押して表示させるメニューは、よく使う項目など、お好みのメニューに変更することができます（カスタマイズメニュー）。→*「メニューをカスタマイズする」(P159)*

音量を調節する／消す 簡単 標準

音声による案内の音量を調節できます。
また、音声を消すこともできます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［音声音量を変える］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［音声音量設定］を選んで［実行］を押す



2

コマンドホイールを左右に回して音量を設定する



お知らせ

- コマンドホイールで設定すると、設定した案内音が流れ、音量を確認できます。
- コマンドホイールを左にいっぱいに回して、バーの点灯がなくなると、案内音を消すことができます。

3

［実行］を押す

案内音の音量が設定されます。

文字入力のしかた 簡単 標準

場所の名称や電話番号などを登録するときは、文字や数字を入力する必要があります。
ここでは、メニュー操作中に表示される、文字または数字の入力画面の操作のしかたについて説明します。

お知らせ

- ひらがな、カタカナ、英数、記号、漢字が利用できます。
  ただし、文字の入力を必要とする項目によっては、使用できる文字の種類が制限されることがあります。例えば、［施設名称］やマークの［読み］の場合、ひらがな入力以外は選べません。

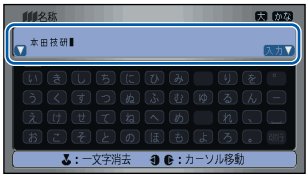
文字の入力操作の流れ

一般的な文字の入力操作の流れは、次のようになります。

1.文字種を切り換える
↓
2.全角／半角または大文字／小文字を切り換える
↓
3.文字を入力する
↓
4.無変換、変換を行う
↓
5.文字入力を終了する

■入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた

入力エリア



▲

カーソルを入力キーボードの一番上に移してジョイスティックを上に倒すと入力エリアに切り換わります。入力エリアで、ジョイスティックを下に倒すと入力キーボードに戻ります。

▼

入力キーボード



▲

カーソルを入力キーボードの一番下に移して、ジョイスティックを下に倒すと機能メニューに切り換わります。機能メニューで、ジョイスティックを上に倒すと入力キーボードに戻ります。

▼

機能メニュー



1.文字種を切り換える

1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **［入力切換］を選んで［実行］を押す**



［入力切換］を選んで［実行］を押すごとに、文字種は以下のように切り換わります。

ひらがな → カタカナ → 英数
↑ ↓
漢字 ← 記号

▼



切り換わった文字種が表示されます。

お知らせ

- 機能メニューを表示した状態でジョイスティックを左右に倒しても、文字種を切り換えることができます。

2.全角／半角または大文字／小文字を切り換える

全角／半角（カタカナ、英字、数字、記号）または大／小文字（ひらがな、カタカナ、英字）を選びます。

1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **［全/半角］または［大／小文字］を選んで［実行］を押す**



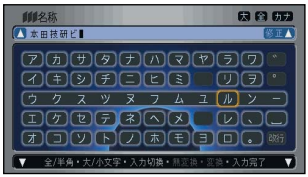
切り換わった内容が表示されます。

お知らせ

- 機能メニューを表示した状態でジョイスティックを左右に倒しても、全角／半角または大文字／小文字を切り換えることができます。

3.文字を入力する

1 **入力キーボードからジョイスティックの上下左右、またはコマンドホイールの回転で入力したい文字を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ文字が入力されます。

4.無変換、変換を行う

ひらがなをそのまま入力したり、ひらがなを漢字に変換します。

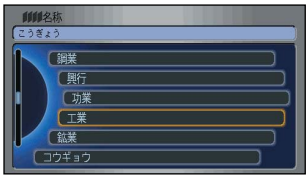
1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **ひらがなを入力する場合は［無変換］、漢字を入力する場合は［変換］を選んで［実行］を押す**



3 **漢字変換する場合は、候補から漢字を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ漢字が入力されます。

5.文字入力を終了する

1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**



▼

文字入力が終了します。

お知らせ

- 機能によっては［入力完了］は表示されず［完了］や［検索開始］などが表示され、また機能メニューには表示されず入力キーボード上に配置されます。

漢字表から入力する

JIS第二水準の漢字の一覧表から漢字入力します。

1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **［入力切換］を選んで漢字表に切り換わるまで［実行］を押す**

→「1.文字種を切り換える」（P40）

3 **ジョイスティックを上に倒して漢字を選び、［実行］を押す**



▼

選んだ漢字が入力されます。

お知らせ

- ［前ページ］または［次ページ］を選んで［実行］を押すと、前のページまたは次のページが表示されます。

文字を削除する

1 **入力エリアを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

2 **ジョイスティックを左右に倒して、削除したい文字の右にカーソルを移動させる**



お知らせ

- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- カーソルを移動させなくても、カーソルの左の文字は削除できます。
- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

3 **［実行］を押す**



▼

カーソルの左の文字が削除されます。

お知らせ

- ［実行］ボタンを約2秒以上押し続けると、同じ色で表示されているすべての文字を一度に削除することができます。

スペースを空ける

1 **［␣］を選んで［実行］を押す**



▼

スペースが空きます。

文字を挿入する

1 **入力エリアを表示する**

→「*入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた*」（P39）

2 **ジョイスティックを左右に倒し、文字を挿入したい場所にカーソルを移動させる**



お知らせ

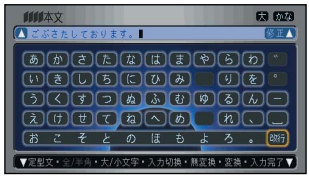
- カーソルは、同じ色で表示されている文字の範囲内で動かすことができます。
- パスワードの入力画面などでは、カーソルを移動することはできません。

3 **ジョイスティックを下に倒して文字を選び、［実行］を押す**

→「*3.文字を入力する*」（P40）

改行する

1 **［改行］を選んで［実行］を押す**



▼

改行が入力され次の行が入力できるようになります。

お知らせ

- ［改行］は、メールや署名を編集するときに使用できます。

定型文を入力する

メールのタイトルや宛先、本文の入力では、定型文を使うことができます。

■入力する

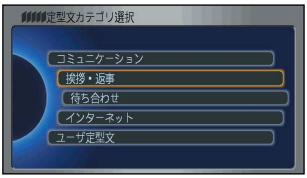
1 **機能メニューを表示する**

→「入力エリアと入力キーボード、機能メニューへのカーソルの切り換えかた」（P39）

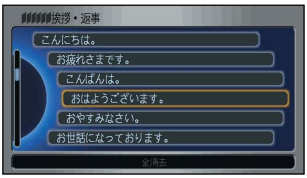
2 **［定型文］を選んで［実行］を押す**



3 **定型文のカテゴリを選んで［実行］を押す**



4 **定型文を選んで［実行］を押す**



▼

定型文が入力されます。

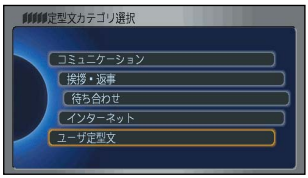
お知らせ

- ［ユーザー定型文］では、登録した定型文を使用できます。
- ユーザー定型文を選ぶ場合は、［ユーザー定型文］を選んだ後、［挿入］を選んでください。

■ユーザー定型文を登録する

1 **定型文のカテゴリを選択する画面で、［ユーザー定型文］を選んで［実行］を押す**

→「入力する」（P44）



2 **［新規登録］を選んで［実行］を押す**



3 **定型文を入力する**

→「3.文字を入力する」（P40）

お知らせ

- 定型文は全角で32文字（半角で64文字）まで入力できます。

4 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**

ユーザー定型文が登録され、ユーザー定型文画面に戻ります。

■ユーザー定型文を編集する

1 **ユーザー定型文画面で、編集するユーザー定型文を選んで［実行］を押す**

→「ユーザー定型文を登録する」（P44）

2 **［編集］を選んで［実行］を押す**



以降の操作手順は、*「ユーザー定型文を登録する」(→P44)*と同じです。

■ユーザー定型文を消去する

1 **ユーザー定型文画面で、消去するユーザー定型文を選んで［実行］を押す**

→「ユーザー定型文を登録する」(P44)

お知らせ

- 全てのユーザー定型文を消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**



3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

ユーザー定型文が消去され、ユーザー定型文画面に戻ります。

M E M O

画面表示

地図のスケールを切り換える 48
地図を詳しく／広く見る 48
2画面で表示している場合 標準 48
市街地図を表示させる 48
2Dマップでの市街地図 48
3Dマップでの市街地図（3Dビル表示） 標準 49

地図の向きを変える 50

マップモードを切り換える 51
表示方法の種類 51
1画面地図 51
2画面地図 標準 51
3Dマップ 標準 52
3D/2Dマップ 標準 52
ドライビングマップ 52
高速ガイド 53

高速ガイドの施設情報を見る 54
ジャンクションの分岐先の情報を見るには 55
サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報 55

ランドマークを表示／非表示にする 56
ランドマークを表示する 56
ランドマークの詳細表示設定をする 標準 57
ランドマークを非表示にする 58

施設情報を表示する 59
建物の絵に合わせたとき 60
ランドマークに合わせたとき 60

画面の明るさを調節する 61
地図の明るさ／地図色を戻すとき 62

地図のスケールを切り換える

簡単 標準

10m～500kmまでの範囲で地図のスケールを変えることができます。

地図を詳しく／広く見る

1 **コマンドホイールを左右に回す**

スケールバーが表示され、スケールレベルを確認できます。

左	地図が広域表示され、広い範囲を見ることができます。
右	地図が詳細表示され、詳しく見ることができます。



お知らせ

- スケールバーのレベルが赤で表示されている範囲は、地図上にVICS情報を表示することができます。また、最下段のレベルは、データが収録されている地下駐車場に入ると選べ、駐車場マップ（→P33）を表示することができます。

■2画面で表示している場合 標準

コマンドホイールを回すと、左画面のスケールのみ変わります。

右画面のスケールを変えるには

1 **［画面］ボタン → ［右画面縮尺］を選んで［実行］を押す**



2 **コマンドホイールを回してスケールを変更する**



お知らせ

- 左画面がグレーになっている間のみ右画面のスケールを変えることができます。

市街地図を表示させる

都市部などでは、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図を表示させることができます。

お知らせ

- 場所によっては市街地図が表示されない場合があります。

■2Dマップでの市街地図

各施設の名称や細街路、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



お知らせ

- 市街地図が表示できる地域と表示できない地域の境では、市街地図の表示できない地域の地図には何も表示されないことがあります。

アドバイス

- 市街地図表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。→*「機能設定」（P150）*

■3Dマップでの市街地図（3Dビル表示） 標準

代表的なビルなどの建物が立体表示され、自車マークを隠す位置にある建物は、自車マークが見えるように透かし表示されます。（ある程度手前に来ると、表示されなくなります。）

10m～25mスケールの場合、ビルの名称が画面内に1つ表示されます。このほか10m～50mスケールでは、一方通行などの詳しい情報が表示されます。



お知らせ

- すべての建物が立体表示されるわけではありません。
- 建物の外見は、実際とは異なる場合があります。

アドバイス

- 市街地図表示、3Dビル表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。→*「機能設定」（P150）*

地図の向きを変える 簡単 標準

さまざまな状況に応じて、地図の向きを変えることができます。

1

簡単

［画面］ボタン ➜［地図向きを変える］を選んで［実行］を押す



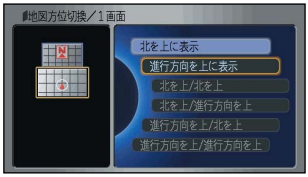
標準

［画面］ボタン ➜［地図方位切換］を選んで［実行］を押す



2

表示したい地図の向きを選んで［実行］を押す



▼

地図画面に戻ります。

アドバイス

- 地図画面から［実行］を押して［地図方位］から切り換えることもできます。

お知らせ

- 3Dマップでは地図の向きを変えることはできません。3D／2Dマップで地図の向きを設定すると2画面地図（2D／2D）になります。
- スケールが500kmのときは［進行方向を上に表示］はできません。
- 地図の向きは次のように設定することができます。

1画面地図：
北を上に表示
進行方向を上に表示

2画面地図：
北を上／北を上
北を上／進行方向を上
進行方向を上／北を上
進行方向を上／進行方向を上

マップモードを切り換える

さまざまな状況に応じてマップモードを切り換えることができます。

1

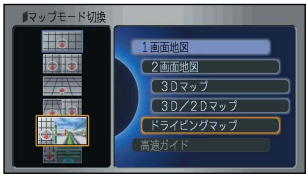
簡単

［画面］ボタン ➜［マップモードを変える］➜ 表示方法を選んで［実行］を押す



標準

［画面］ボタン ➜［マップモード切換］➜ 表示方法を選んで［実行］を押す



▼

地図画面に戻ります。

お知らせ

- 高速ガイドは、高速道路走行中のみ選ぶことができます。

表示方法の種類

■1画面地図 簡単 標準

通常の地図（平面の地図）で表示されます。



都市部では、10m～50mスケールのときに詳細な市街地図が表示されます。



アドバイス

- 市街地図表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。→ *「機能設定」(P150)*

お知らせ

- 市街地図は、走行速度が約85km/hを超えると表示できなくなり、約75km/h以下になると再表示します。

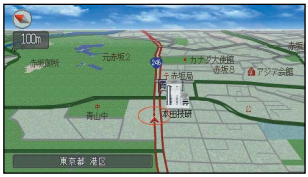
■2画面地図 標準

画面が左右に2分割されて表示されます。詳細地図と広域地図を同時に見たいときに便利です。



■3Dマップ 標準

上空から見ているような地図が表示されます。



都市部では、10m～50mスケールのときに立体的な市街地図が表示されます（3Dビル表示）。



アドバイス

- 地図を見る角度は変更できます。→*「機能設定」（P150）*
- 市街地図表示、3Dビル表示は、［する］／［しない］を選ぶことができます。→*「機能設定」（P150）*

お知らせ

- 市街地図は、走行速度が約85km/hを超えると表示できなくなり、約75km/h以下になると再表示します。

■3D/2Dマップ 標準

画面が左右に2分割され、左画面には3Dマップ、右画面には2Dマップで地図が表示されます。3Dマップと2Dマップを同時に見たいときに便利です。



アドバイス

- 左画面の地図は、スクロール、地図向き、角度の変更などができます。
- 右画面の地図には常に自車位置が表示され、地図のスケールを変更できます。→*「地図のスケールを切り換える」（P48）*

■ドライビングマップ 簡単 標準

ドライバーの視線から見たような地図が表示されます。

信号やお店などの目印となる建物が立体的に表示されます。（一部の地域では表示されないことがあります。）左側には地図が表示されます。

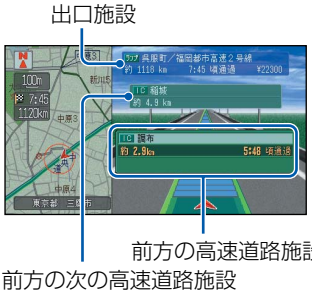


お知らせ

- ドライビングマップのスクロールはできません。
- 走行速度が約85km/hを超えると表示できなくなり、約75km/h以下になると再表示します。
- ルート案内中は視点が自動で変化します。

■高速ガイド 簡単 標準

高速道路走行時の専用画面で、分岐方向や前方の高速道路施設までの距離や料金などが表示されます。左側には地図が表示されます。



お知らせ

- 高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。ただしドライビングマップの場合、都市高速では切り換わりません。
  高速ガイドの自動表示は、変更できます。→*「機能設定」(P150)*
- 高速道路の施設情報を見ることができます。→*「高速ガイドの施設情報を見る」(P54)*
- 高速ガイドに表示される内容は、実際と異なる場合があります。
- 高速道路によっては、高速ガイドを表示できないことがあります。

高速ガイドの施設情報を見る

簡単 標準

高速道路走行中に高速ガイドに切り換わると、前方のインターチェンジやサービスエリアまでの距離、および施設情報などを確認できます。
高速ガイドでは、車の走行に合わせて、自動的に次の施設情報に切り換わります。また、本線上や分岐先の施設情報をあらかじめ見ることも可能です。

お知らせ

- 高速道路を走行すると自動的に高速ガイドに切り換わります。高速ガイドの自動表示は、変更できます。→*「機能設定」(P150)*
- 都市高速ではドライビングマップの場合、自動では高速ガイドに切り換わりません。→*「マップモードを切り換える」(P51)*
- 複雑なジャンクションにおいては、同じ名称の施設や路線が表示される場合があります。

1 **ジョイスティックを上に倒す**

次の施設情報が表示されます。



上下方向にジョイスティックを倒すと、その先の施設を見ることができます。

お知らせ

- ルートを設定した場合は、ルートの道塗りもされます。
- 通過した施設は見ることができません。
- ルート案内中に、高速道路出口のおよそ1km手前になると、高速出口の案内が表示され、自動的に通常の地図表示に戻ります。
- ジャンクションやインターチェンジなどの高速道路に併設されている施設を通過して高速道路を降りる場合は、高速道路を降りるまで高速ガイドで表示されます。一般道に入ると、通常の地図表示に戻ります。
- VICS情報表示を設定している場合はVICSセンターから受信した道路交通情報が表示されます。→*「地図上でVICS情報を見る」(P126)*

■ジャンクションの分岐先の情報を見るには

1 高速ガイドでジョイスティックを上に倒してジャンクションを選び、［実行］を押す



2 施設情報が見たい分岐先を選んで［実行］を押す



分岐先の施設情報が表示されます。

お知らせ

- 分岐から100施設先まで見ることができます。

■サービスエリアやパーキングエリアで表示される情報



施設情報が表示されます。

	ガソリンスタンド（各ガソリンスタンドのロゴマークが表示されます。例：出光興産）
	身障者用トイレ
	レストラン
	おみやげ屋
	休憩所
	仮眠所
	案内所
	シャワー
	コインランドリー
	風呂
FAX	ファクシミリ
	郵便ポスト
	キャッシュサービス

お知らせ

- 表示される情報は、8種類までです。9種類以上の情報がある場合は、上表の並び順に優先表示され、9番目以降は表示されません。

料金表示について

- 料金表示は、高速道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が表示されます。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金表示が実際と異なったり、料金が表示されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金表示は、データ作成時点のものです。正しくは料金所窓口で確認してください。

ランドマークを表示／非表示にする

ランドマークを表示する

簡単 標準

さまざまな施設のランドマークを地図上に表示させることができます。

1 簡単

［画面］ボタン ➜［ランドマーク表示］を選んで［実行］を押す



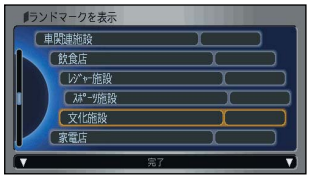
標準

［画面］ボタン ➜［ランドマーク表示］を選んで［実行］を押す



2 簡単

ランドマークを表示させたい施設を選んで［実行］を押し、手順4へ進む



お知らせ

- 簡単操作モードでは、［表示する］と［表示しない］（何も表示されません。）の切り換えになります。

標準

ランドマークを表示させたい施設を選んで［実行］を押す



3 **[全表示する]または[(ランドマーク)]を選んで[実行]を押す**



[全表示する]	すべての関連施設が表示される
[(ランドマーク)]	詳細設定で設定されたランドマークが表示される
[表示しない]	ランドマークを表示しない(→*P58*)
[詳細設定]	表示するランドマークを設定する(→*P57*)

▼



表示する設定がされると、リストの項目の色が変わります。

4 **ジョイスティックを下に倒して[完了]を選び、[実行]を押す**



▼

選んだ施設のランドマークが表示された地図画面に戻ります。

アドバイス

- ランドマークは編集することができます。→*「ランドマークデータを登録／編集する」(P164)*

ランドマークの詳細表示設定をする 標準

詳細設定では、ランドマークを表示するとき、各施設を最大3つまでに限定して表示することができます。

1 **[画面]ボタン➔[ランドマーク表示]を選んで[実行]を押す**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 **詳細設定したい施設を選んで[実行]を押す**

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

3 **[詳細設定]を選んで[実行]を押す**



つづく➔

4 **ランドマークを表示させたい詳細施設を選んで［実行］を押す**



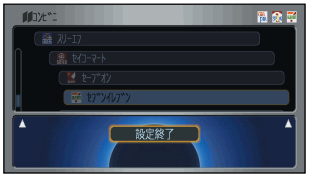
表示する設定がされるとリストの項目の色が変わります。また、選んだ施設のマークが右上に表示されます。

引き続き選ぶことができます。

お知らせ

- 再度［実行］を押すと、マークが消灯し、選択が解除されます。

5 **ジョイスティックを下に倒して［設定終了］を選び、［実行］を押す**



▼

ランドマーク表示設定画面に戻り、選んだ施設マークが表示設定に表示されます。

6 **ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す**

選んだ施設のランドマークが表示された地図画面に戻ります。

ランドマークを非表示にする

簡単 標準

表示させたランドマーク（→*P56*）を表示させなくする（非表示）ことができます。

1 **［画面］ボタン ➔［ランドマーク表示］を選んで［実行］を押す**

ランドマーク表示設定画面が表示されます。

2 簡単

ランドマークを非表示にさせたい施設を選んで［実行］を押し、手順4へ進む

お知らせ

- 簡単操作モードでは、［表示する］と［表示しない］（何も表示されません。）の切り換えになります。

標準

ランドマークを非表示にさせたい施設を選んで［実行］を押す

ランドマークの表示方法を選択するメニューが表示されます。

3 **［表示しない］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す**

選んだ施設のランドマークが非表示にされた地図画面に戻ります。

施設情報を表示する 簡単 標準

検索した施設の詳細情報を見ることができます。

1 **施設を探して［実行］を押す**
→*「場所を探す」（P80）*

2 **［施設情報］を選んで［実行］を押す**

簡単



標準



▼



施設情報が表示されます。

お知らせ

- 建物内に複数の会社、店などがある場合、建物内にある店舗リストが表示されます。
  店舗を選んで［実行］を押してください。
- ［画像表示］を選んで［実行］を押すと、その場所に設定された画像が表示されます。
- ［次ページ］が表示されているときは、施設情報に続きがあることを示しています。続きを見るときは、［次ページ］を選んで［実行］を押してください。前ページに戻るときは、［戻る］ボタンを押してください。
- 携帯電話が接続されているときは、その施設に電話をかけることができます。電話をかけるには、［発信］を選んで［実行］を押してください。→*「地図に登録された電話番号にかける」（P240）*
- ［地図表示］を選んで［実行］を押すと、詳細情報を表示している地点の地図が表示されます。

■建物の絵に合わせたとき

市街地図（→*P48*）では、建物の情報を見ることができます。

1 **影のある建物の絵にカーソルを合わせて［実行］を押す**



2 **［施設情報］を選んで［実行］を押す**

建物の施設情報が表示されます。

■ランドマークに合わせたとき

カーソルをランドマークに合わせてメニューを表示させたときは、ランドマークの移動（→*P166*）やランドマークを表示させなくする（→*P164*）ことができます。



画面の明るさを調節する 簡単 標準

画面の明るさ、コントラスト、黒レベルを調節することができます。

アドバイス

- 画面の色の設定は、「*機能設定*」(→P150) で設定します。ここで行う明るさの設定とあわせて、お好みの画面でご利用ください。

1

簡単

[画面] ボタン ➜ [画面明るさ調整] を選んで [実行] を押す



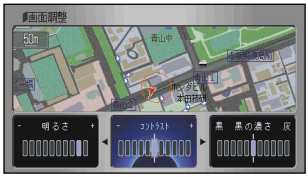
標準

[画面] ボタン ➜ [画面調整] を選んで [実行] を押す



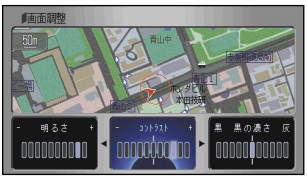
2

ジョイスティックを左右に倒して設定する項目を選択する



3

コマンドホイールを左右に回して調節する



4

[実行] を押す

地図画面に戻ります。

お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD、ビデオ、ナビゲーション画面（その他オーディオ画面含む）ごとに設定することができます。
- メーターのイルミネーションコントロールで車幅灯点灯時の減光を解除すると、画面の明るさが昼間の設定に戻ります。

地図の明るさ／地図色を戻すとき

夜間（車幅灯をつけているとき）、自動的に切り換わる地図の明るさと地図色を昼間の設定に戻すことができます。

1 **［現在地］ボタンを約2秒押す**

夜間の設定から昼間の設定に戻ります。

お知らせ

- もう一度、［現在地］ボタンを約2秒押すと、地図の明るさと地図色が夜間の設定に戻ります。

アドバイス

- 地図色が切り換わるタイミングを日没／日出時刻連動に設定することもできます。→*「機能設定」(P151)*

自宅およびマークを登録／編集する

自宅などよく行く地点を登録／編集する 64
自宅を登録する 64
自宅を変更する 65
自宅を消去する 66
よく行く地点を登録する 標準 66
よく行く地点を編集する 標準 67
　よく行く地点の編集画面を表示する 67
　名称を変更するとき 67
　読みを設定／変更するとき 68
　接近音声を設定／変更するとき 68
　接近する方向を設定／変更するとき 69
　よく行く地点の位置を変更するとき 69
　電話番号を設定／変更するとき 70
　ルート計算条件を設定／変更するとき 70
　メモを設定／変更するとき 71
　画像を設定／変更するとき 71
　メールを設定／変更するとき 72
よく行く地点を消去する 標準 73

マークを登録／編集する 標準 74
マークを新規登録する 74
マークを編集する 75
　マークを変更するとき 75
マークを確認する 76
マークを消去する 77

マークの詳細情報を見る 標準 78

自宅などよく行く地点を登録／編集する

自宅を登録する 簡単 標準

自宅を登録しておくと、ルート設定などの操作が簡単になります。

お知らせ

- 登録すると自宅のマークが地図上に表示されます。

簡単

1 **［目的地］ボタン ➔［自宅を登録する］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［メニュー］ボタンを押し、ジョイスティックを下に倒して表示される項目からも［自宅登録］を選べます。

標準

［目的地］ボタン ➔［自宅登録］を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ［機能設定］の［誘導設定］（→ *P155*）からも登録できます。

2 **自宅を登録したい位置にカーソルを合わせて［実行］を押す**
→ *「場所を探す」（P80）*

3 **［自宅セット］を選んで［実行］を押す**



▼

自宅が登録され、地図画面に戻ります。

お知らせ

- 自宅の登録後に［自宅へ誘導］（簡単操作モード［自宅に帰る］）を選んで［実行］を押すと、自宅までのルート計算が始まります。
- 自宅を登録すると、［自宅］という名前と［じたく］という読みが自動的に入力されます。
- 自宅を登録した地点には、自宅マーク（）が自動的に設定されます。

自宅を変更する 簡単 標準

登録した自宅の位置を変更することができます。

1 簡単

［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して［自宅変更］を選び、［実行］を押す ➜ 手順4へ進む



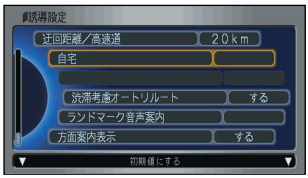
標準

［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して［誘導設定］を選び、［実行］を押す

→「機能設定」（P155）



2 ［自宅］を選んで［実行］を押す



3 ［変更］を選んで［実行］を押す



4 変更したい位置にカーソルを合わせて［実行］を押す

→「場所を探す」（P80）

5 ［自宅セット］を選んで［実行］を押す



▼

自宅の位置が変更され、地図画面に戻ります。

アドバイス

- 標準操作モードでは自宅をマークリストから編集（→P75）、確認（→P76）、消去（→P77）することができます。ただし、読みは変更することができません。

自宅を消去する 簡単 標準

登録した自宅を消去することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して［自宅変更］を選び、［実行］を押す

標準

［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒して［誘導設定］を選び、［実行］を押す

→「機能設定」（P155）

2

簡単

そのまま［実行］を押して自宅を選ぶ ➜［自宅消去］を選んで［実行］を押す



標準

［自宅］ ➜［消去］を選んで［実行］を押す



▼

自宅が消去され、地図画面に戻ります。

よく行く地点を登録する 標準

あらかじめ気に入った場所を探して、「よく行く地点」に登録することができます。

お知らせ

- よく行く地点は5ヶ所まで登録できます。
- 登録すると登録番号のマークが地図上に表示されます。

1

［目的地］ボタン ➜［よく行く地点］を選んで［実行］を押す



2

未登録の番号を選んで［実行］を押す



3

場所を探して［実行］を押す

→「場所を探す」（P80）

4

［地点○セット］を選んで［実行］を押す



▼

探した場所が、よく行く地点のリストに登録されます。

アドバイス

- よく行く地点の名称などは変更することができます。→「*よく行く地点を編集する*」（P67）

よく行く地点を編集する

標準

よく行く地点に関する情報（名称、読み、接近音声、方向設定、位置修正、電話番号、計算条件、メモ、画像、E-mail）の設定、変更をすることができます。

お知らせ

- マークは変更することができません。

■よく行く地点の編集画面を表示する

よく行く地点の情報を編集するには次の手順で画面を表示させます。

アドバイス

- ［施設情報］から編集画面を表示させることもできます。

1 **［目的地］ボタン ➔［よく行く地点］を選んで［実行］を押す**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **変更したい地点を選んで［実行］を押す**



3 **［編集］を選んで［実行］を押す**



▼

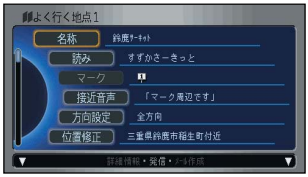
よく行く地点の編集画面が表示されます。

■名称を変更するとき

登録時に付けられた名称を変更することができます。

1 **編集画面から［名称］を選んで［実行］を押す**

→「*よく行く地点の編集画面を表示する*」（P67）



2 **名称を入力する**

→「*文字入力のしかた*」（P39）

お知らせ

- 名称は、全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

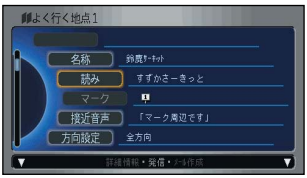
よく行く地点の名称が変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

■読みを設定／変更するとき

音声操作でよく行く地点を呼び出すには、よく行く地点に設定されている「読み」が使われます。
よく行く地点の読みを覚えやすいものに変更して、音声操作を使いやすくすることができます。
接近音声（→P68）を［マーク名称読み上げ］に設定すると、ここで設定した「読み」が読み上げられます。

1 **編集画面から［読み］を選んで［実行］を押す**

→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 **読みを入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- 全角で20文字まで登録できます。
- 音声操作を使用しないときは、読みの設定は不要です。
- 「ん○○」「っ○○」などの日本語として発声できない読みは付けないでください。
- 「げんざいち」などの音声コマンドと同じ読みは付けないでください。誤動作の原因になります。

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

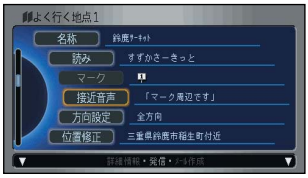
よく行く地点の読みが設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

■接近音声を設定／変更するとき

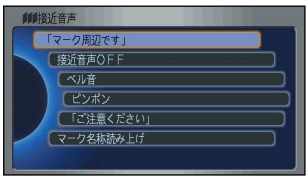
接近音声を設定すると、よく行く地点に自車が近づいたときに接近音声が鳴ります。

1 **編集画面から［接近音声］を選んで［実行］を押す**

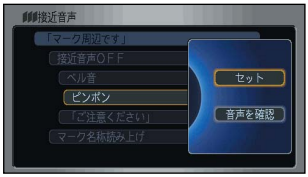
→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 **接近音声を選んで［実行］を押す**



3 **［セット］を選んで［実行］を押す**



▼

よく行く地点の接近音声が設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

お知らせ

- ［音声を確認］を選んで［実行］を押すと、選んだ音声が鳴ります。
- 接近音声の設定された登録地が自車から500m以内に近づくと、接近音声が鳴ります。

■接近する方向を設定／変更するとき

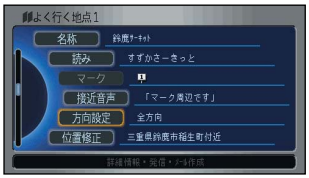
よく行く地点に自車が近づくときの方向を指定できます。指定した方向から近づくと接近音声を鳴らすことができます。

お知らせ

- 接近音声が［接近音声OFF］に設定してある場合は、指定した方向から近づいても接近音声は鳴りません。

1 **編集画面から、［方向設定］を選んで［実行］を押す**

→*「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）*



2 **［方向指定］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- ［全方向］を選んだときは、手順4に進んでください。よく行く地点に、どの方向から接近しても音声が鳴ります。

3 **コマンドホイールを左右に回して方向を指定する**



30°の幅を6°単位で調節できます。

4 **［実行］を押す**

よく行く地点の接近する方向が設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

アドバイス

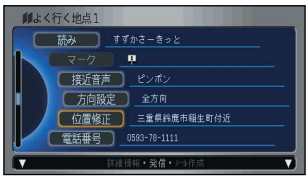
- よく行く地点が高速道路付近にあるときは、高速道路を指定するかを確認する画面が表示されることがあります。
  ジョイスティックで［しない］または［指定する］を選んで［実行］を押してください。

■よく行く地点の位置を変更するとき

よく行く地点の位置を修正することができます。

1 **編集画面から［位置修正］を選んで［実行］を押す**

→*「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）*



つづく→

2 新たに登録したい位置にカーソルを合わせて［実行］を押す



3 ［地点○セット］を選んで［実行］を押す



▼

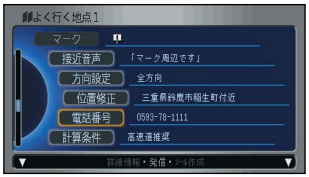
よく行く地点の位置が変更され、よく行く地点の編集の画面に戻ります。

■電話番号を設定／変更するとき

電話番号を設定しておくと、電話番号からその場所を検索できるようになります。また、携帯電話を接続していれば、その場所に電話をかけられます。

1 編集画面から［電話番号］を選んで［実行］を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 電話番号を入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

3 ［入力完了］を選んで［実行］を押す

よく行く地点の電話番号が設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

お知らせ

- 施設ジャンル検索などで呼び出した施設などを登録する場合、その施設に電話番号のデータがあれば、自動的にその番号が登録されます。
- 携帯電話の番号も設定することができます。

■ルート計算条件を設定／変更するとき

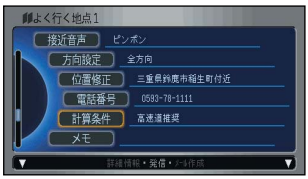
よく行く地点を目的地（または経由地）にした場合、ここで設定した条件でそこまでのルートが計算されます。ルート設定時に計算条件を選ぶ手間が省けます。

アドバイス

- よく行く地点の計算条件は機能設定の［マークのルート計算条件］で［使用する］／［使用しない］の設定ができます。→「機能設定」（P155）

1 編集画面から［計算条件］を選んで［実行］を押す

→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 計算条件を選んで［実行］を押す



▼

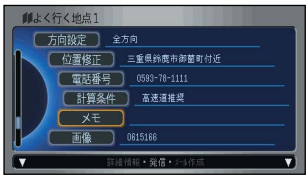
よく行く地点の計算条件が設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

■メモを設定／変更するとき

よく行く地点にメモをつけることができます。

1 **編集画面から［メモ］を選んで［実行］を押す**

→*「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）*



2 **メモを入力する**

→*「文字入力のしかた」（P39）*

お知らせ

- メモは全角で32文字（半角で64文字）まで入力することができます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

よく行く地点のメモが設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

■画像を設定／変更するとき

デジタルカメラなどで撮影した画像やインターナビから取得した画像を設定することができます。

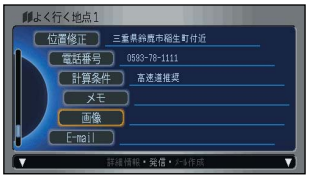
お知らせ

- 設定できる画像のファイル形式は、JPEG（.jpg）です。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルには対応していません。
- 設定できる画像データは、元の大きさが2048×1536ドットまでです。
- JPEG形式の画像データを画面表示する際には、横幅を基本として縮小が行われますが、縮小後の横幅が画面サイズを超えるものは、設定できません。縮小後の高さが画面サイズを超えたものは、下を切り捨てて表示されます。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 半角で255文字（全角で127文字）以内、表示形式が「ファイル名＋.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が202（地点付き画像は除く）を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が202以下になるように、ハードディスク内またはPCカード内の画像ファイルを削除してください。→*「画像を消去する」（P247）*
- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。

つづく→

1 **編集画面から［画像］を選んで［実行］を押す**

→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 **画像を選んで［実行］を押す**



▼

よく行く地点の画像が設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

お願い

- 画像の設定（または変更）操作をした直後は、エンジンスイッチを"0"にしたり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- ジョイスティックを右に倒して［地点付き画像］に切り換えると、よく行く地点やマーク（インターナビ含む）に登録した画像の選択リストが表示されます。
- PCカードをセットしている場合は、PCカード内の画像もリストに表示されます。
- すでに画像が設定されている場合は、古い画像を消去しないと新しい画像は設定できません。

アドバイス

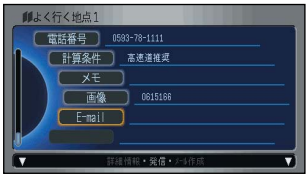
- ジョイスティックを下に倒して［消去］を選ぶことにより、設定した画像を消去したり、［壁紙に設定］で壁紙に設定することができます。

■メールを設定／変更するとき

よく行く地点にメールアドレスを設定することができます。
メールアドレスを設定すると、よく行く地点の編集画面からメールを作成することができます。

1 **編集画面から［E-mail］を選んで［実行］を押す**

→「よく行く地点の編集画面を表示する」（P67）



2 **メールアドレスを入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- メールアドレスは半角で64文字まで入力することができます。

3 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**

よく行く地点のメールアドレスが設定／変更され、よく行く地点の編集画面に戻ります。

よく行く地点を消去する

標準

よく行く地点を消去することができます。

1 **［目的地］ボタン ➜［よく行く地点］を選んで［実行］を押す**

よく行く地点のリストが表示されます。

2 **消去したい地点を選んで［実行］を押す**

メニューが表示されます。

3 **［消去］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

よく行く地点が消去され、よく行く地点のリスト画面に戻ります。

マークを登録／編集する 標準

友人宅やお気に入りの場所にマークを付けて登録／編集することができます。

お知らせ

- マークの登録は、最大200件までできます。それを超えて登録しようとしたときは、メッセージが表示されますので、いらないマークの登録を削除してください。(→*P77*)

アドバイス

- 登録したマークの名称やマーク、電話番号などの情報は、変更することができます。→*「マークを編集する」(P75)*

マークを新規登録する

お好みの場所をマークに登録する場合は、以下のような操作で行います。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**



2 **［データ編集］➜［マークリスト］を選んで［実行］を押す**



3 **［新規登録］を選んで［実行］を押す**



4 **場所を探して［実行］を押す**

→*「場所を探す」(P80)*

5 **［マークセット］を選んで［実行］を押す**



▼

マークが登録されます。

アドバイス

- スクロール画面で［実行］を押してメニューを表示し、［マークセット］を選んで登録することもできます(→*P93*)。また、カスタマイズメニューに［マークセット］が登録されている場合(→*P159*)も、同様の手順で現在地を登録することができます。

マークを編集する

マークに関する情報（名称、読み、マーク、接近音声、方向設定、位置修正、電話番号、計算条件、メモ、画像、E-mail）の設定／変更をすることができます。

お知らせ

- 「自宅」の情報もここで編集することができます。（→*P65*）
- インターナビから取得した情報は、設定／変更できないものがあります。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］➔［マークリスト］を選んで［実行］を押す**

マークリストのメニューが表示されます。

3 **［内容変更］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［PCカード］を選んで［実行］を押すと、マークをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。→*「カードの操作」（P224）*

4 **編集するデータを選んで［実行］を押す**



▼

マーク情報の画面が表示されます。
各データの以降の操作手順は、*「よく行く地点を編集する」（→P67）*と同じです。

アドバイス

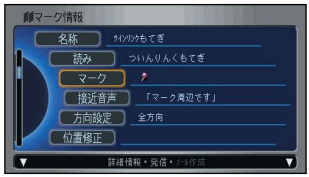
- ジョイスティックを下に倒すと、リストの表示を登録順とマーク順で切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

■マークを変更するとき

地図画面に表示させるマークを変更することができます。

1 **マーク情報の画面から［マーク］を選んで［実行］を押す**

→*「マークを編集する」（P75）*



つづく➔

2 変更したいマークを選んで［実行］を押す



▼

マークが変更され、マーク情報の画面に戻ります。

マークの名称を地図上に表示させるとき

以下のマークを選ぶと、マークに加えマークの名称も地図上に表示されます。



このマークを設定する。

マークを確認する

登録したマークの位置を地図画面で確認することができます。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す

付加機能のメニューが表示されます。

2 「データ編集」➜［マークリスト］を選んで［実行］を押す

マークリストのメニューが表示されます。

3 「確認」を選んで［実行］を押す



4 確認したいマークを選んで［実行］を押す



▼

マークが登録された地点の地図が表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、リストの表示を登録順とマーク順で切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

マークを消去する

登録したマークを消去することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］➜［マークリスト］を選んで［実行］を押す**

マークリストのメニューが表示されます。

3 **［消去データ選択］を選んで［実行］を押す**



4 **消去したいマークを選んで［実行］を押す**



選んだ地点の色が変わります。

5 **ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す**



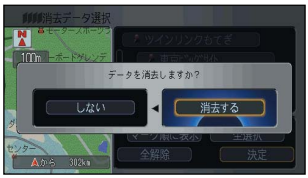
お知らせ

- すべての地点を消去する場合は［全選択］を選びます。
- 選択した地点を解除する場合は、もう一度［実行］を押します。すべての選択した地点を解除する場合は［全解除］を選びます。

アドバイス

- ［登録順に表示］／［マーク順に表示］でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

6 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

選んだマークが消去され、マークリストのメニューに戻ります。

マークの詳細情報を見る 標準

インターナビから登録したマークや、施設ジャンルから登録したマークなどでは、情報や写真を確認することができます。

お知らせ

- インターナビに関しては、*「インターナビを使う」（→P181）*をご覧ください。
- インターナビから取得した同じマーク（位置、名称、取得者）の場合は、その情報の作成日の古いものから順に自動的に上書きされます。

アドバイス

- PCカードを接続していると、PCカード内のマークのデータをハードディスクに読み込んだり、ハードディスクの情報をPCカードに保存したりできます。詳しくは*「カードを使う」（→P221）*をご覧ください。

1 **［目的地］ボタン ➔［マークリスト］を選んで［実行］を押す**



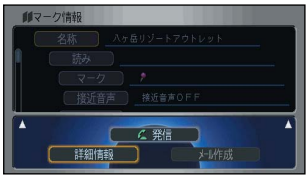
2 **情報を見たいマークを選んで［実行］を押す**



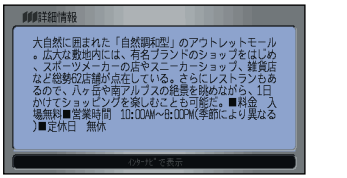
3 **［マーク情報］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを下に倒して［詳細情報］を選び、［実行］を押す**



▼



詳細情報が表示されます。

お知らせ

- 電話番号が登録されている場合は、［発信］を選んで［実行］を押すと、電話をかけることができます。➔*「地図に登録された電話番号にかける」（P240）*
- メールアドレスが登録されている場合は、［メール作成］を選んで［実行］を押すとメール作成することができます。➔*「メールを作成する」（P209）*
- インターナビから取得した写真を確認するには、マーク情報の［画像］を選んで［実行］を押します。

目的地を探す

場所を探す 80
検索方法の種類 80
地図を見ながら場所を探す 81
近くにある施設を探す 81
　近くにある施設を探す 81
　ルート周辺の施設を探す 標準 82
ジャンルから施設を探す 83
施設の名前で場所を探す 85
住所で場所を探す 86
電話番号で場所を探す 87
郵便番号で場所を探す 標準 88
マップコードで場所を探す 標準 89
自宅に帰る 90
よく行く地点から場所を探す 標準 90
地図につけたマークから場所を探す 標準 91
目的地の履歴リストから場所を探す 標準 91
　履歴を消去する 92

場所が決まったら 93
　［目的地セット］［経由地セット］を選んだとき 93
　その他のメニュー項目を選んだとき 93

場所を探す

ナビゲーションの操作は場所を探すことから始まります。
目的地の地図を表示させることができれば、そこまでのルートを設定したり、施設情報を見たりすることができます。

検索方法の種類 簡単 標準

さまざまな状況に応じて場所を探せるように、以下のような検索方法が用意されています。

簡単

●地図を見ながら場所を探す（→P81）
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す（→P81、P93）
現在地およびカーソル周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す（→P83）
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す（→P85）
施設の名称がわかっている場合

●住所で場所を探す（→P86）
住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で場所を探す（→P87）
目的地の電話番号がわかっている場合

●自宅に帰る（→P90）
自宅が登録されている場合

標準

●地図を見ながら場所を探す（→P81）
地図上で直接探す場合

●近くにある施設を探す（→P81、P93）
現在地およびカーソル周辺の施設、ルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探す場合

●ジャンルから施設を探す（→P83）
各種施設をジャンルで探す場合

●施設の名前で場所を探す（→P85）
施設の名称がわかっている場合

●住所で場所を探す（→P86）
住所や地名などがわかっている場合

●電話番号で場所を探す（→P87）
目的地の電話番号がわかっている場合

●郵便番号で場所を探す（→P88）
目的地の郵便番号がわかっている場合

●マップコードで場所を探す（→P89）
目的地のマップコードがわかっている場合

●自宅に帰る（→P90）
自宅が登録されている場合

●よく行く地点から場所を探す（→P90）
よく行く地点が登録されている場合

●地図に付けたマークから場所を探す（→P91）
地図にマークが登録されている場合

●目的地の履歴リストから場所を探す（→P91）
過去に目的地とした場所から探す場合

地図を見ながら場所を探す

簡単 標準

地図上で直接探します。

1 **ジョイスティックで地図をスクロールし、目的地にカーソルを合わせる**



2 **［実行］を押す**

メニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（→P93）*を参照してください。

アドバイス

- ［別の方法で探す］の［地図から］を選んでも、同様に操作することができます。

近くにある施設を探す

ガソリンスタンドやレストランなど、現在地やカーソル周辺の施設、またはルート案内中はルート周辺や目的地、経由地周辺の施設を探すことができます。

お知らせ

- 駐車場、ATM、コンビニ、ガソリンスタンドを検索すると、営業時間が考慮され、現在利用できる施設（例：）と利用できない施設（例：）が区別されて表示されます。
- 駐車場は車両の情報が考慮され、検索されます。利用できない駐車場は と表示されます。（実際の車両制限と異なる場合があります。また、VICS情報による駐車場については、車両情報は考慮されません。）
- 特定のデパートの提携駐車場を検索することもできます。駐車場の詳細選択の中から目的のデパート提携駐車場名を選ぶと、提携駐車場を探せます。

■近くにある施設を探す 簡単 標準

ポイントメニュー（*→P27*）から周辺の施設を探すことができます。

1 **場所を探して［実行］を押す**

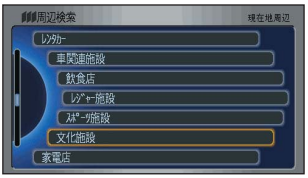
→「場所を探す」（P80）

2 **［周辺検索］を選んで［実行］を押す**



つづく→

3 探している施設のジャンルを選んで［実行］を押す



4 施設を選んで［実行］を押す



5 探している施設を選んで［実行］を押す



▼

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（→P93）*を参照してください。

お知らせ

- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（）を取り扱う店がわかるように表示されます。
- 自車位置またはカーソルから約16km四方の最大100件が検索されます。

■ルート周辺の施設を探す 標準

1 ［目的地］ボタン ➜［別の方法で探す］を選んで［実行］を押す



2 ［周辺検索］を選んで［実行］を押す



3 ［現在地周辺］または［経由地周辺］、［目的地周辺］、［ルート周辺］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- ［経由地周辺］、［目的地周辺］、［ルート周辺］は、それぞれルートや経由地が設定されている場合に選ぶことができます。
- 経由地が複数設定されている場合は、［経由地周辺］を選ぶと、経由地を選ぶ画面が表示されます。その中から経由地を選んでその周辺の検索をすることができます。

4 **施設を選んで［実行］を押す**

施設のリストが表示されます。

5 **探している施設を選んで［実行］を押す**

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」(→P93)*を参照してください。

お知らせ

- コンビニでは、酒（酒）・タバコ（）を取り扱う店がわかるように表示されます。
- 現在地、経由地および目的地周辺で探す場合は、自車位置またはカーソルから約16km四方の最大100件が検索されます。
- ルート周辺で探す場合は、案内中のルート沿い約200m以内の両側から最大100件が検索されます。

ジャンルから施設を探す

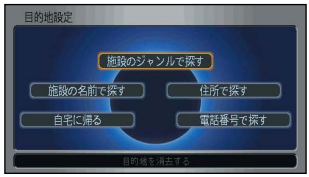
簡単 標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設をジャンルで探すことができます。

1

簡単

［目的地］ボタン ➜［施設のジャンルで探す］を選んで［実行］を押す



標準

［目的地］ボタン ➜［施設ジャンル］を選んで［実行］を押す



つづく➜

2 探している施設のジャンルを選んで［実行］を押す



お知らせ

- 学習機能により、過去に目的地や経由地として設定した回数が多いジャンルが表示されます。
- ［一覧から探す］を選んで［実行］を押すと、その他のジャンルを選ぶことができます。

3 施設の所在地域（都道府県名）を選んで［実行］を押す



お知らせ

- 施設によって所在地域の選択画面は表示されない場合があります。

4 探している施設を選んで［実行］を押す

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（→P93）*を参照してください。

お知らせ

- 地図上の位置と検索後に表示される位置が異なることがあります。（例えば、高速道路の上下線でそれぞれのサービスエリアが離れている場合は、各サービスエリアの中間地点が検索結果として採用されます。）このような場合でも、走行する道路や進行方向に合わせて、その施設を通るルートが正しく計算されます。（ルート計算時の位置データが表示用の位置データとは別に用意されています。）したがって、その施設を目的地にしたり、登録したりする場合は、表示された位置から地図をスクロールさせずに次のメニューにお進みください。

施設の名前で場所を探す

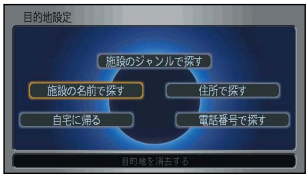
簡単 標準

宿泊施設やレジャー施設など、各種施設の名称で探すことができます。

1

簡単

［目的地］ボタン ➜［施設の名前で探す］を選んで［実行］を押す



標準

［目的地］ボタン ➜［施設名称］を選んで［実行］を押す



2

名称を入力する

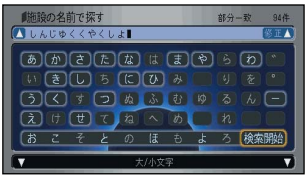
→「文字入力のしかた」(P39)

お知らせ

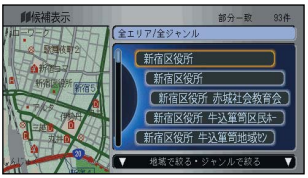
- 名称は、ひらがなで14文字まで入力できます。(ひらがな以外の文字種に切り換えることはできません。)
- 名称はわかっている部分だけ入力して、検索することができます(キーワード検索)。
- 濁音(゛)や半濁音(゜)の入力は不要です。
- 名前による絞り込みの結果、検索対象が1万件以下になると、ジャンルや地域(都道府県など)での絞り込みが可能になります。
- 部分一致検索(入力した文字が含まれる場所をすべて検索)では、検索対象が多すぎて絞り込みができるまでの間は、自動的に完全一致検索(入力した文字と完全に一致する場所を検索)を行います。
- 部分一致、完全一致の区別および絞り込まれている件数は、入力した文字の横に表示されます。
- 検索対象が10件以下になると、自動的にリストが表示されます。

つづく➜

3 ［検索開始］を選んで［実行］を押す



▼



入力した文字の検索結果の候補がリスト表示され、画面左側には選択されている施設を中心とする地図が表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと絞り込みができます。
- ［ジャンルで絞る］を選んで［実行］を押すと、ジャンルによる絞り込みができます。
- ［地域で絞る］を選んで［実行］を押すと、エリア選択のリストが表示され、地域（都道府県名、市区町村名）による絞り込みができます。選んだ項目の都道府県内のすべての市区町村を選びたい場合は、ジョイスティックを下に倒します（例：［青森県全て］）。

4 探している施設を選んで［実行］を押す

施設付近の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（→P93）*を参照してください。

住所で場所を探す

簡単 標準

住所や地名で探すことができます。

1

簡単

［目的地］ボタン ➜［住所で探す］を選んで［実行］を押す



標準

［目的地］ボタン ➜［住所］を選んで［実行］を押す



2 都道府県名を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと地方を切り換えてリスト表示することができます。

3 市区町村名を選んで［実行］を押す



お知らせ

- ［主要部］を選んで［実行］を押すと、選んだ都道府県の代表地点（役所）の地図とメニューが表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、市区町村名を50音送りができます。

4 地名（丁目）を選んで［実行］を押す



5 番地を入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- 番地を入力しないで［地図表示］を選ぶと、丁目の代表地点の地図が表示されます。

6 ［地図表示］を選んで［実行］を押す



▼

入力した住所を中心とする地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」*（→P93）を参照してください。

お知らせ

- 入力した番地が該当データにない場合は、主要部の代表地点が表示されます。

電話番号で場所を探す

簡単 標準

目的地の電話番号を入力して探すことができます。

1 ［目的地］ボタン ➜［電話番号で探す］を選んで［実行］を押す

簡単



つづく➜

標準

［目的地］ボタン ➜［電話番号］を選んで［実行］を押す



2 **電話番号を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

3 **［地図表示］を選んで［実行］を押す**



▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降は「場所が決まったら」（→P93）を参照してください。

お知らせ

- 市外、市内局番は、必ず入力してください。その他の番号は、すべて入力しなくても検索できます。［地図表示］を選んで［実行］を押すと、その時点で入力された番号で検索が始まります。
- 該当する電話番号がない、または番号をすべて入力しなかった場合は、局番に該当する市区町村の代表地点の地図が表示されます。

郵便番号で場所を探す 標準

目的地の郵便番号を入力して探すことができます。

1 **［目的地］ボタン ➜［別の方法で探す］を選んで［実行］を押す**



2 **［郵便番号］を選んで［実行］を押す**



3 **郵便番号を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- 番号は7桁まで入力してください。

4 **［地図表示］を選んで［実行］を押す**



▼

該当する地図とメニューが表示されます。以降は「場所が決まったら」（→P93）を参照してください。

マップコードで場所を探す

標準

目的地のマップコードを入力して探すことができます。

マップコードとは

- マップコードは、日本全国さまざまな場所の位置データを最大10桁(標準マップコードの場合)の数字で特定するものです。住所などでは特定することが困難な場所も、マップコードでは特定することができます。
- 本機は、最大10桁の数字で位置を特定する「標準マップコード」と＊マークと数字2桁を加えた「高精度マップコード(マップコードHR)」に対応しています。
- 「標準マップコード」で特定できる位置は最大約30m四方の範囲があり、検索された位置はピンポイントではありません。＊マークと数字2桁を加えた「高精度マップコード(マップコードHR)」で特定できる位置は3.3m四方です。
- マップコードに関することは、下記へお問い合わせください。
  株式会社デンソー　MCプロジェクト
  電話番号　0566-61-4210
  受付時間　10：00～12：00
  13：00～16：00
  (土・日、会社休日を除く)
  ホームページ
  http://www.e-mapcode.com/
- マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。 MAPCODE®

1 ［目的地］ボタン ➜［別の方法で探す］を選んで［実行］を押す



2 ［マップコード］を選んで［実行］を押す



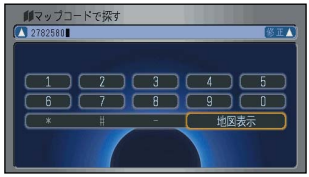
3 マップコードを入力する

→「文字入力のしかた」(P39)

お知らせ

- ［地図表示］を選んで［実行］を押した時点で、入力されているコードを基に検索が始まります。

4 ［地図表示］を選んで［実行］を押す



▼

マップコードに該当する地図と、メニューが表示されます。以降は「場所が決まったら」(→P93)を参照してください。

自宅に帰る 簡単 標準

自宅が登録されている場合は、自宅へルート案内することができます。

1 簡単

［目的地］ボタン ➜［自宅に帰る］を選んで［実行］を押す



標準

［目的地］ボタン ➜［自宅へ誘導］を選んで［実行］を押す



▼

自動的にルート計算が開始されます。以降は*「目的地に行くまでのルートを計算させる」（→P96）*を参照してください。

お知らせ

- 自宅が登録されていない場合は、［自宅登録］のメニューが表示されます。→*「自宅を登録する」（P64）*

よく行く地点から場所を探す 標準

［よく行く地点］として登録された場所がある場合は、そのリストから場所を探すことができます。

お知らせ

- よく行く地点には、5件までの地点を登録することができます。詳しくは*「自宅などよく行く地点を登録／編集する」（→P64）*を参照してください。

1

［目的地］ボタン ➜［よく行く地点］を選んで［実行］を押す



2

地点を選んで［実行］を押す



お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

▼

よく行く地点周辺の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（→P93）*を参照してください。

地図につけたマークから場所を探す 標準

地図につけたマークやインターナビからマークリストに追加したデータから場所を探すことができます。

1 **［目的地］ボタン ➔［マークリスト］を選んで［実行］を押す**



2 **地点を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 走行中は、選んだ地点が目的地としてセットされます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、［登録順に表示］／［マーク順に表示］でリストの表示を切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒してマークを切り換えることができます。

▼

マーク周辺の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（➔P93）*を参照してください。

目的地の履歴リストから場所を探す 標準

目的地や経由地を設定した場合、その場所が履歴として最大100件保存されます。その履歴の中から場所を探すことができます。

お知らせ

- 履歴は100件を超すと古いものから上書きされます。

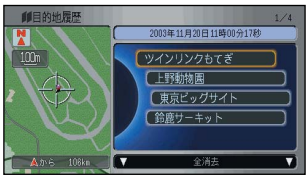
1 **［目的地］ボタン ➔［別の方法で探す］を選んで［実行］を押す**



2 **［目的地履歴］を選んで［実行］を押す**



3 **探している施設を選んで［実行］を押す**



▼

施設周辺の地図とメニューが表示されます。以降は*「場所が決まったら」（➔P93）*を参照してください。

つづく➔

お知らせ

- 走行中は、選んだ履歴が目的地としてセットされます。

■履歴を消去する

1 **［目的地］ボタン ➜［別の方法で探す］を選んで［実行］を押す**

別の方法で探すメニューが表示されます。

2 **［目的地履歴］を選んで［実行］を押す**

目的地履歴のリストが表示されます。

3 **消去する履歴を選んで、［実行］を押す**



アドバイス

- ジョイスティックを下に倒し、［全消去］を選ぶと、すべての履歴を消去することができます。

4 **［消去］を選んで［実行］を押す**



5 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

選んだ履歴が消去されます。

場所が決まったら 簡単 標準

目的地など探していた場所が決まったら、画面にメニューが表示されます。各メニュー項目を操作すると、以下のようになります。

■［目的地セット］［経由地セット］を選んだとき（→P96）

選んだ場所を目的地として設定して、ルート計算をすることができます。



推奨ルートの画面が表示されます。

■その他のメニュー項目を選んだとき

その他のメニューには主に以下のような項目があります。操作モードや場所の探しかたによって表示される項目は異なります。

マークセット（→P74）

選んだ場所にマークをつけて登録します。場所を探すときに使用したり、付近を走行したとき画面に表示したりできます。登録した場所はリストで管理できます。また登録情報に電話番号やメールアドレスがあれば、電話やメールをすることもできます。

周辺検索（→P81）

現在地またはスクロール地点（地図上のカーソルの位置）などの周辺から、施設を検索することができます。

施設情報（→P59）

選んだ施設や地点に施設情報があれば、情報の表示や地図表示したり、電話をかけたりできます。

地図方位（→P50）

地図の表示方法を切り換えることができます。

全画面地図

選んだ場所を中心とした地図を、全画面で表示します。場所をさらに細かく探すことができます。

マーク情報（→P75）

マークの編集画面が表示されます。マークを編集することができます。

編集（→P67）

よく行く地点の編集画面が表示されます。よく行く地点の編集をすることができます。

消去（→P73、P77、P92）

マークやよく行く地点、目的地履歴を消去することができます。

M E M O

目的地に行く

目的地に行くまでのルートを計算させる 96

ルートを確認する 標準 98

ルート情報 98

区間表示 99

ルートスクロール 99

他のルートを選ぶ 100

ルートを詳細に設定する 標準 100

経由地を設定する 100

入口、出口IC（インターチェンジ）を指定する 101

登録道を指定する 102

出発地を指定する 103

目的地までルート案内させる 104

ルート案内を開始する 104

目的地を消す 105

目的地に行くまでのルートを計算させる

簡単 標準

検索した場所を目的地として設定すると、現在地から目的地までのルートが計算され、ルート案内開始画面が表示されます。

1 目的地を探して［実行］を押す

→「場所を探す」（P80）

2 ［目的地セット］を選んで［実行］を押す



▼

目的地までのルート計算が始まり、ルート案内開始画面が表示されます。

簡単



標準



［ルート計算条件］（→*P154*）、［高速道使用条件］（→*P154*）に従い、始めに1本のルートが計算されます。

お知らせ

- 出発地、目的地、経由地（→*P100*）付近では、道幅5.5m未満の細街路を含めてルート計算し、道塗りを行います。
- 目的地が高速道路付近にあるときは、高速道路を指定するか確認する画面が表示されることがあります。
  ジョイスティックで［しない］または「指定する］を選んで［実行］を押してください。
- 高速道路によっては、料金が表示されないことがあります。
- サービスエリアなどの高速道路施設を目的地とした場合、料金が表示されないことがあります。

アドバイス

- ［6ルート］を選ぶと、6本のルートから選ぶことができます（→*P100*）。
  ただし、以下の場合は複数のルートは計算できません。（［ルート計算条件］（→*P154*）［高速道使用条件］（→*P154*）に従い、ルートが1本だけ計算されます。）
  - 経由地を設定した（→*P100*）
  - 登録道を使用してルートを計算した（→*P102*）
  - 乗り降りIC（インターチェンジ）を指定した（→*P101*）

ルート案内開始画面の見かた

メニュー表示
1本のみのルート計算（→*P100*）では、［6ルート］は選べません。（簡単操作モードでは［ルート情報］、［経由地設定］、［ルート指定］は表示されません。）

計算条件
現在選ばれているルートの計算条件が表示されます。



推奨ルート（インターチェンジ）
利用する高速道路の最初のICと最後のICが表示されます。

情報表示
現在選ばれているルートの総距離、所要時間、料金が表示されます。

ルート表示
現在選ばれているルートが概略表示されます。

ルート案内開始画面のメニュー

- 案内開始（→*P104*） 簡単 標準
- ルート情報（→*P98*） 標準
- 経由地設定（→*P100*） 標準
- ルート指定（→*P101*） 標準
- 6ルート（→*P100*） 簡単 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは［案内開始］と［6ルート］のみメニュー表示されます。
- ［ルート情報］、［経由地指定］、［ルート指定］の表示に時間がかかることがあります。

計算条件

最初にルート計算させる条件は、［ルート計算条件］（→*P154*）や［高速道使用条件］（→*P154*）で設定された条件となります。
［6ルート］の場合は、［ルート計算条件］、［高速道使用条件］で設定された条件で2本、［高速道使用条件］の異なる設定で2本、［ルート計算条件］で設定されていない条件で2本が、計算条件となります。→*「他のルートを選ぶ」（P100）*

学習ルート計算

いつも通る道をルート計算に考慮させることができます。

お知らせ

- 学習した道が必ず使われるとは限りません。

アドバイス

- 学習ルート計算は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P155)*

VICS情報を考慮したルート計算（渋滞ルート考慮計算）

VICS情報をもとに渋滞や交通規制を考慮したルート計算ができます。→*「VICSを使ったルート計算について」(P136)*

お知らせ

- VICS情報が取得できないときは、渋滞ルート考慮計算ができないことがあります。

アドバイス

- 渋滞ルート考慮計算は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P153)*

また、インターナビVICSで情報取得後にルート計算を行えば、過去の統計に基づいた予測リンク旅行時間情報を活用することができます。

回避エリアを考慮したルート計算

回避エリアを登録すると、その場所をなるべく通らないようにルート計算します。→*「回避エリアを登録／編集する」(P171)*

アドバイス

- 回避エリアを考慮したルート計算は、［考慮する］／［考慮しない］を選べます。→*「機能設定」(P153)*

ルートを確認する　標準

設定されたルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示させたり、目的地までのルートをスクロール表示させることなどができます。

■ルート情報

［ルート情報］では現在地（出発地）から目的地までの間に通る道路名や区間距離、高速道路の料金（高速道路を使用する場合）などの情報を確認できます。また、［ルート情報］には［区間表示］と［ルートスクロール］があります。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1　［ルート情報］を選んで［実行］を押す

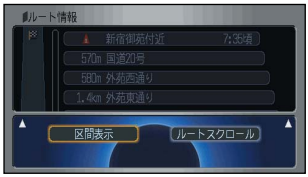


ルート情報画面が表示されます。

■区間表示

現在地（出発地）から経由地、経由地から目的地などの区間地図を表示します。
目的地を設定してルート情報画面を表示した後、以下の手順を行います。

1 **ジョイスティックを下に倒して［区間表示］を選び、［実行］を押す**



2 **見たい区間を選んで［実行］を押す**



▼



選んだ区間が地図で表示されます。

お知らせ

- ジョイスティックを下に倒して［全ルート確認］を選び、［実行］を押すと、ルート全体を地図表示することができます。

■ルートスクロール

出発地から目的地までのルートをなぞるように地図を動かして、設定されたルートを確認できます。
目的地を設定してルート情報画面を表示した後、以下の手順を行います。

1 **ジョイスティックを下に倒して［ルートスクロール］を選び、［実行］を押す**



▼



ルートが自動スクロールされます。

アドバイス

- 自動スクロールする方向を、“目的地から現在地（出発地）”、“現在地（出発地）から目的地”に変えることができます。変える場合は、自動スクロール中に［実行］を押し、［目的地方向］または［出発地方向］を選んでください。
- 自動スクロール中に［実行］を押し、メニューから［停止］を選ぶと自動スクロールが停止します。再度自動スクロールする場合は、［目的地方向］または［出発地方向］を選んでください。

他のルートを選ぶ

簡単 標準

通常のルート計算では、異なる条件によって6本のルートが計算されます。この中から、お好みのルートを選ぶことができます。

お知らせ

- 経由地、乗り降りIC（インターチェンジ）、登録道を設定した場合は、ルートは1本のみ計算され、［6ルート］は選択できません。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 ［6ルート］を選んで［実行］を押す

簡単



標準



各ルートの計算条件は、［ルート計算条件］（→*P154*）、［高速道使用条件］（→*P154*）の設定により変わります。

2 設定したいルートの番号を選んで［実行］を押す



▼

ルートが変更され、ルート案内開始画面に戻ります。

ルートを詳細に設定する

標準

目的地までのルートの途中に、立ち寄りたい場所（経由地）や乗り降りしたいIC（インターチェンジ）、出発地、登録道を設定することができます。

お知らせ

- ルートを詳細に設定すると、ルートは1本のみ計算され、［6ルート］は選べません（出発地指定は除く）。

■経由地を設定する

目的地までのルートの途中に立ち寄りたい場所（経由地）を設定します。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 ［経由地設定］を選んで［実行］を押す



2 ［追加］を選んで［実行］を押す



3 経由地を探して［実行］を押す

→『場所を探す』（P80）

4 ［経由地セット］を選んで［実行］を押す



さらに経由地を追加したいときは、手順2～4を繰り返します。

お知らせ

- 経由地は5か所まで設定できます。ただし、登録道（→P102）を使用する場合は、登録道の最初と最後が経由地として扱われるため、設定できる経由地は3か所になります。また、入口と出口のインターチェンジを指定した場合も同様です。

5 ジョイスティックを下に倒して［ルート再計算］を選び、［実行］を押す

経由地を通るルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 複数の経由地を指定した場合は、リストの並び順（追加した順）に経由地を通るように、ルートが計算されます。

アドバイス

- 経由地を選んで［実行］を押すと、経由地を編集できます。→『経由地を追加／変更する』（P116）

■入口、出口IC（インターチェンジ）を指定する

高速道路を使うルートを設定した場合は、入口と出口のインターチェンジを指定することができます。

目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

お知らせ

- 指定されたインターチェンジは、通常の経由地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 ［ルート指定］を選んで［実行］を押す



2 ［入口IC指定］または［出口IC指定］を選んで［実行］を押す



つづく→

お知らせ

- インターチェンジの入口または出口が指定されている場合は、［入口IC指定解除］、［出口IC指定解除］となります。いずれかを選びインターチェンジの指定を解除することができます。

3 入口または出口となるインターチェンジを選んで［実行］を押す

指定したインターチェンジを通るルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 入口、出口ICは、現在指定されているインターチェンジを除いて前後3つの中から指定できます。ただし、ジャンクション（JCT）は含まれません。
- ジャンクション（JCT）を選ぶと、分岐先の高速道路の路線リストが表示されます。
- 登録道が指定されているときは、入口、出口IC指定はできません。
- 複雑なジャンクション付近では、候補として表示されないインターチェンジ、ジャンクションがある場合があります。

■登録道を指定する

よく使う近道などをあらかじめ登録しておき（→P175）、その道路をルートに組み込むことができます。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 ［ルート指定］を選んで［実行］を押す

ルート指定のメニューが表示されます。

2 ［登録道指定］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- 登録道がすでに指定されている場合は［登録道指定解除］となります。選んで登録道指定を解除することができます。

3 リストから、組み込みたい登録道を選んで［実行］を押す



▼

選んだ登録道を追加したルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 登録道は1本だけ組み込むことができます。
- 登録道は、すでに指定されている経由地の後に追加されます。
- 登録道を逆方向にたどるルートは設定できません。
- 登録道を組み込んだ場合、通常よりもルート計算に時間がかかります。
- 登録道の走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道の最初と最後が経由地として扱われるため、指定できる経由地の数は3か所になります。
- 登録道に到達する前にオートリルートが行われた場合、登録道の入口までのルートが再計算されます。迂回（→*P114*）した場合は、登録道の前後を再計算します。
- 登録道の走行中にリルート（オートリルートを含む）すると、登録道を使用しないルートが計算されることがあります。
- 登録道の走行中にリルートすると、ルート計算に時間がかかることがあります。
- 登録道の走行中は、渋滞考慮オートリルートは働きません。

■出発地を指定する

現在地以外の場所をルートの始点（出発地）に指定して、その場所から目的地までのルートを計算させることができます。
目的地を設定してルート案内開始画面が表示された後、以下の手順を行います。

1 **［ルート指定］を選んで［実行］を押す**

ルート指定のメニューが表示されます。

2 **［出発地指定］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 出発地がすでに指定されている場合は［出発地指定解除］となります。選んで出発地指定を解除することができます。

3 **出発地を探して［実行］を押す**

→「場所を探す」（P80）

4 **［出発地セット］を選んで［実行］を押す**



▼

指定した出発地から目的地までのルート計算が始まり、ルート案内開始画面に戻ります。

お知らせ

- 出発地を指定してルート計算した後に出発地指定を解除しても、出発地の旗のマークは指定解除前の位置に残ることがありますが、自車位置からのルート計算となります。

目的地までルート案内させる

簡単 標準

目的地までのルート設定（→*P96*）が終了したら、ルート案内に従って出発します。

■ルート案内を開始する

1 ルート案内開始画面のメニューから［案内開始］を選んで［実行］を押す



▼



ルート情報が音声で案内され、ルート案内ができる状態になります。

2 設定されたルート上を走行する

到着予想時間



到着距離

走行を始めると自動的にルート案内が始まり、目的地に近づくとルート案内は終了します。

お知らせ

- VICS情報（→*P124*）を受信しているときは、VICS情報の内容が到着予想時間に反映されます。
- 場所によっては、方面案内とレーンの情報が表示されないことがあります。
- 場所によっては、目的地付近や出発地・経由地付近まで、ルートが道塗りされないことがあります。ルート計算については、*「おすすめルートについて」*（→*P340*）を参照してください。
- 場所によっては、交差点案内図が表示されないことがあります。
- 画面をスクロールしている間は、交差点に近づいても交差点案内図は表示されません。
- 表示される到着予想時間は、経由地に到着する推定時間です。設定により目的地の到着予想時間を表示させることもできます。→*「機能設定」（P153）*
- 到着距離の表示は、到着予想時間に連動して目的地と経由地が切り換わります。
- 通信中（ウェザーライブで気象情報を取得しているときなど）は、交差点案内図などの情報は表示されません。地図表示は2D、3Dマップ、またはドライビングマップになります。

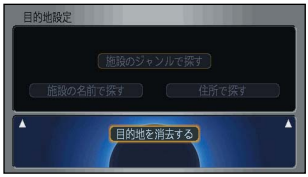
目的地を消す 簡単 標準

ルート案内を中止（→P122）しても出発地や経由地、目的地の情報は残っています。
設定した出発地や経由地、目的地の情報を消去したい場合は以下の手順を行います。

1 ［目的地］ボタンを押してジョイスティックを下に倒す

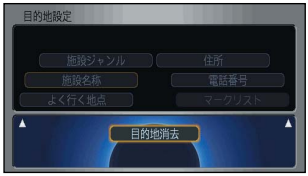
2 簡単

［目的地を消去する］を選んで［実行］を押す



標準

［目的地消去］を選んで［実行］を押す



▼

目的地が消去され、地図画面に戻ります。

ルート案内

いろいろな案内 108

ルートを確認する 標準 113

ルートを変更する 114
迂回ルートにする 標準 114
別のルート候補から選ぶ 114
ルートを再計算する 115
ルートの条件を変える 標準 116
経由地を追加／変更する 標準 116
　経由地を追加する 117
　経由地を変更する 117
　経由地を移動（並び換え）する 118
　経由地を消去する 118
　経由地をスキップする 119
登録道を指定する 標準 119
出発地を指定する 標準 120
入口、出口IC（インターチェンジ）を指定する 標準 ...121

ルート案内を中止／再開する 標準 122
ルート案内を中止する 122
再度、ルート案内を開始する 122

いろいろな案内 簡単 標準

ルート案内中は、いろいろな画面表示や音声でルートを案内します。

画面表示による誘導／案内

直線誘導線表示　案内地点情報



アドバイス

- 直線誘導線表示は［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P150)*

お知らせ

- 交差点通過中に交差点名が表示されると、案内地点情報の表示が暗くなります。

案内地点に近づくと

案内地点の手前300mに近づくと、拡大図となり、交差点の曲がる方向や目印となる施設、交差点までの距離が表示されます。

拡大図



ドライビングマップ



お知らせ

- 拡大図の場合、通過したルートの道塗りは消去されます。
- ［現在地］ボタンを押すと拡大図を解除また再表示します。
- 地図の表示方法がドライビングマップになっているときは、交差点案内表示もドライビングマップになります。
- ドライビングマップの場合、視点が自動で変化します。

アドバイス

- 方面案内の表示は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」(P153)*



方面案内

都市高速の入口に近づくと

ルート上の都市高速入口の手前300mに近づくと、イラストが表示されます。



お知らせ

- 一部の都市高速入口において、イラストが表示されないことがあります。
- 都市高速入口の直前に案内地点がある場合には、イラストが表示されないことがあります。

高速道路の分岐に近づくと

ルート上の高速道路分岐の手前2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。手前1kmになると、都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。



都市高速走行中

都市高速走行中にドライビングマップにすると、リアルな地図表示、さらに走行に役立つ高速道路の情報が表示されます。



お知らせ

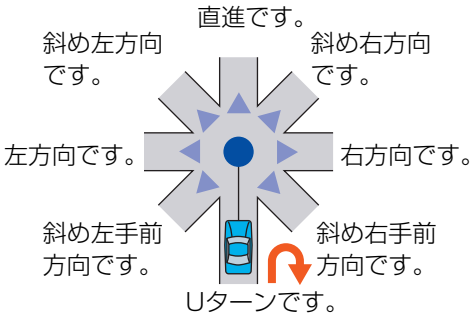
- 視点は自動で変化します。
- 表示される車線色や建物などについては、実際のものと異なる場合があります。

音声による誘導／案内

ルート走行中は、運転の状況や車の速度に応じて、音声で案内が行われます。

進行方向案内

進行方向（8方向）は、音声で右のように案内されます。



種類	案内例
側道案内	およそ○○m先、側道を左方向です。
レーン案内	およそ○○m先、右方向です。右折レーンがあります。
方面案内	およそ○○m先、左方向、練馬方面です。
高速道路入口／出口案内	およそ○○m先、○○インターチェンジ、左方向、入口（出口）です。
高速道路料金所案内	およそ○○km先、○○料金所です。
ランドマーク音声案内	まもなく左方向です。○○が目印です。

お知らせ

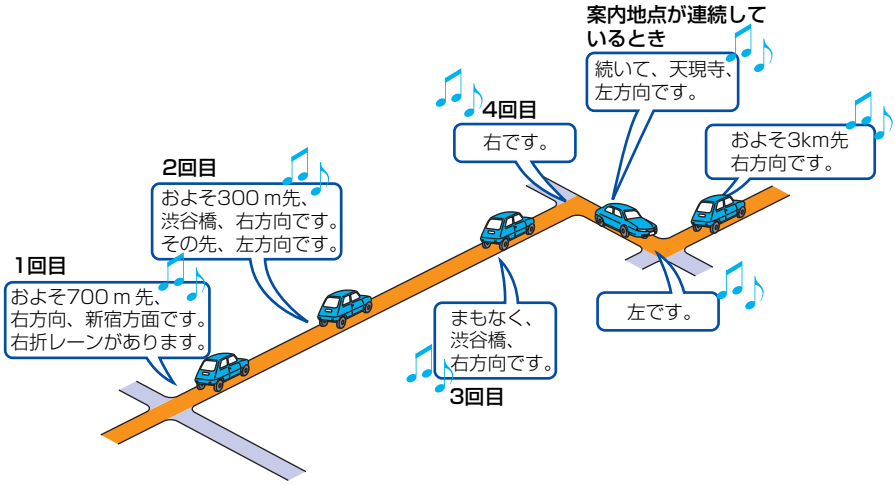
- 誘導される右左折の方向は、実際の道路の形状とは合わない場合があります。
- ランドマーク音声案内は、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」（P153）*

音声での案内を聞き逃したとき

［現在地］ボタンを押すと、再度音声による案内を聞くことができます。

一般道路走行時の案内

車の速度に合わせ、交差点の手前で最大4回、音声で案内が流れます。また、そのタイミングに合わせて交差点案内が表示されます。



経由地が近づいたら

2回、音声で案内が流れます。

経由地の約500m手前に近づくと、「およそ500m先、経由地です」と案内が流れ、2回目は経由地の約100m手前で「まもなく経由地です」と案内が流れます。

高速道路を走行しているときは

ルート上の高速道路分岐の手前2kmに近づくと、ルートの進行方向の方面名称を表示します。また、都市高速・都市間高速ではイラストが表示されます。さらに、出口の料金所で料金とこれから進む方向が案内されます。

お知らせ

- 料金案内では、高速道路に入る前にルート設定した、入口から出口までの料金が案内されます。高速道路に入ってからルートを設定した場合は、料金案内が実際と異なったり、料金が案内されないことがあります。
- 都市高速・都市間高速・一部高速道路の料金案内は、データ作成時点のものです。正しくは料金所窓口で確認してください。

案内について

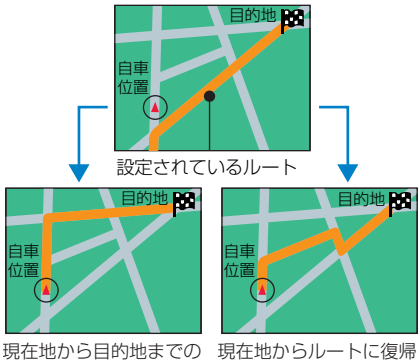
走行中に踏み切り、県境や合流地点（高速道路走行中のみ）、直進レーンが右左折専用レーンに変化する地点、危険箇所（高速道路走行中のみ）に近づくと、案内させるように設定することができます。また、2時間連続使用でリフレッシュ案内をさせるように設定することもできます。

アドバイス

- 踏み切り案内、合流・県境案内、右左折専用レーン案内、セーフティ案内、リフレッシュ案内は［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」（P158）*

ルートから外れた場合

案内中のルートから外れた場合、運転者が道を間違えたのか、それとも運転者が違うルートを選んだのかを判断し、自動的にルートを計算し直すことができます。（オートリルート）



現在地から目的地までのルートを新たに計算し直した場合

現在地からルートに復帰する計算をした場合

お知らせ

- ルート再計算の判断は、オートリルートを繰り返した回数およびルートから外れた場所の進入角度、走行している道路の有効性などをもとに行われます。
- 自車マークがルートから外れた場合は、約30m以上走行したところでオートリルートが働きます。

ルートを確認する 標準

案内ルートの道路や距離などの情報をリスト形式で表示（ルート情報）することができます。また、出発地から経由地／経由地から目的地までの区間地図を表示（区間表示）することや目的地までのルートをスクロール表示（ルートスクロール）させることもできます。

1 ［メニュー］ボタン ➜［ルート］を選んで［実行］を押す



2 ［ルート表示］を選んで［実行］を押す



3 ［ルート情報］を選んで［実行］を押す



▼



ルート情報画面が表示されます。［区間表示］と［ルートスクロール］の操作手順は*「ルートを確認する」（→P98）*を参照してください。

ルートを変更する

迂回ルートにする 標準

ルート案内中に、現在地から2km、5km、10km先（高速道路走行中は10km、20km、30km）までを迂回して、元のルートに戻ることができます。

お知らせ

- 迂回する距離は、［機能設定］で設定します。（→P155）

1 **［メニュー］ボタン ➜［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［迂回計算］を選んで［実行］を押す**





ルートが再計算され、迂回したルート情報が表示されます。

別のルート候補から選ぶ 簡単 標準

計算条件の違う別のルート候補（最大6本）から、お好みのルートを選んでルート案内することができます。

お知らせ

- 経由地や乗り降りIC、登録道を設定している場合は、［6ルート計算］は選ぶことができません。

1 簡単

［メニュー］ボタン ➜［ルートを変える］➜［ルート表示］➜［6ルート計算］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［ルート］➜［6ルート計算］を選んで［実行］を押す



2 ルートの番号を選んで［実行］を押す



▼

ルート案内開始画面が表示されます。

お知らせ

- 6本のルートの計算条件は、［機能設定］(→*P154*) の［ルート計算条件］［高速道使用条件］によって設定が変わります。

ルートを再計算する

簡単 標準

設定されているルートを、もう一度同じ計算条件で計算し直すことができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［ルートを変える］➜［ルート再計算］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［ルート］➜［ルート再計算］を選んで［実行］を押す



▼



ルートの再計算が開始されます。

ルートの条件を変える

標準

設定されているルートを、計算条件を変えて再計算させることができます。

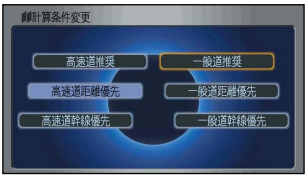
1 **［メニュー］ボタン ➜［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［計算条件変更］を選んで［実行］を押す**



3 **お好みの計算条件を選んで［実行］を押す**



▼

新しい条件でルート計算が開始されます。

お知らせ

- ルートを走行中でも、再計算できます。ただし、走行中のルートと同じルートが設定されることがあります。
- すでに通過した経由地は、ルートを再設定しても考慮されません。

経由地を追加／変更する

標準

経由地を追加または削除したいときは、経由地を編集してルートを設定し直すことができます。

お知らせ

- すでに通過した経由地に対して［変更］［移動］［消去］することはできません。
- ［ルート表示］を選んで［実行］を押し、［経由地設定］から経由地を追加することもできます。

以下の手順で経由地追加／変更画面を表示して、設定した経由地の一覧を確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［経由地追加・変更］を選んで［実行］を押す**



▼

経由地追加／変更画面が表示されます。

■経由地を追加する

ルート設定後に経由地を設定することができます。

1 **経由地追加／変更画面から［追加］を選んで［実行］を押す**



▼

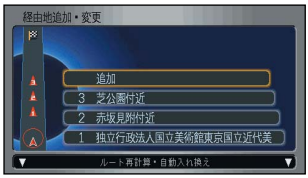
経由地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。

以降の操作手順は*「経由地を設定する」*(→P100)の手順3以降と同じです。

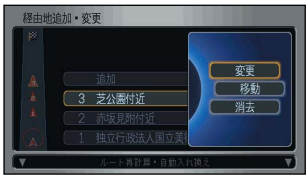
■経由地を変更する

ルート設定後に経由地の位置を変更することができます。

1 **経由地追加／変更画面から変更したい経由地を選んで［実行］を押す**



2 **［変更］を選んで［実行］を押す**



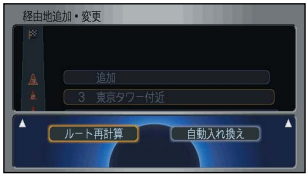
3 **カーソルを目的の場所に合わせて［実行］を押す**



4 **［経由地セット］を選んで［実行］を押す**



5 **ジョイスティックを下に倒して［ルート再計算］を選び、［実行］を押す**



▼

経由地を変更してルートを再計算します。

■経由地を移動（並び換え）する

ルート設定後に経由地に立ち寄る順番を、出発地からの距離順（自動入れ換え）や任意の順番に移動することができます。

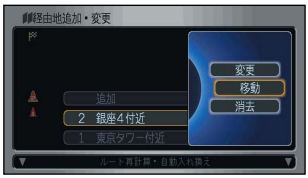
1 **経由地追加／変更画面から移動したい経由地を選んで［実行］を押す**

経由地変更のメニューが表示されます。

お知らせ

- ジョイスティックを下に倒して［自動入れ換え］を選ぶと、自動入れ換えができます。自動入れ換え後、手順4に進んでください。
- 登録道または乗り降りIC（インターチェンジ）が指定されているときは、［自動入れ換え］は選べません。

2 **［移動］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 登録道の始点と終点の間に経由地を移動することはできません。
- まだ通過していない経由地を、すでに通過した経由地より前に移動することはできません。

3 **移動先を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを下に倒して［ルート再計算］を選び、［実行］を押す**



▼

経由地を並び換えてルートを再計算します。

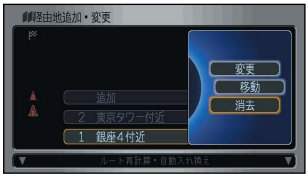
■経由地を消去する

ルート設定後に経由地を消去することができます。

1 **経由地追加／変更画面から消去したい経由地を選んで［実行］を押す**

経由地変更のメニューが表示されます。

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**



3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



お知らせ

- 登録道の始点と終点のいずれか一方を削除すると、両方が削除されます。

4 **ジョイスティックを下に倒して［ルート再計算］を選び、［実行］を押す**

選んだ経由地を消去してルートを再計算します。

■経由地をスキップする

次の経由地に立ち寄る必要がなくなったときなどに、次の経由地を消去してルートを再計算することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［経由地スキップ］を選んで［実行］を押す**



▼

次の経由地がスキップされ、ルートが再計算されます。

お知らせ

- ［経由地スキップ］はルート案内中のみ選ぶことができます。

登録道を指定する 標準

よく使う道などをあらかじめ登録しておき（→P175）、その道路をルートに組み込むことができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［ルート表示］を選んで［実行］を押す**



3 **［ルート指定］を選んで［実行］を押す**



4 **［登録道指定］を選んで［実行］を押す**



つづく➔

お知らせ

- 登録道がすでに指定されている場合は［登録道指定解除］となります。選んで登録道指定を解除することができます。

▼

登録道のリストが表示されます。
以降の操作手順は*「登録道を指定する」（→P102）*の手順3以降と同じです。

出発地を指定する　標準

現在位置ではない場所を出発地として指定し、ルート案内することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［ルート表示］を選んで［実行］を押す**

ルート表示のメニューが表示されます。

3 **［ルート指定］を選んで［実行］を押す**

ルート指定のメニューが表示されます。

4 **［出発地指定］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 出発地がすでに指定されている場合は［出発地指定解除］となります。選んで出発地指定を解除することができます。

▼

出発地の探しかたを選ぶ画面が表示されます。
以降の操作手順は*「出発地を指定する」（→P103）*の手順3以降と同じです。

入口、出口IC（インターチェンジ）を指定する 標準

ルート上で高速道路を使用するときは、入口と出口のインターチェンジを指定し直すことができます。

お知らせ

- 指定されたインターチェンジは、経由地として追加されます。
- 指定できるインターチェンジは、ルートの全行程における最初の入口と最後の出口のみです。途中で乗り降りするインターチェンジは変更できません。

1 **［メニュー］ボタン ➔［ルート］を選んで［実行］を押す**

ルートのメニューが表示されます。

2 **［ルート表示］を選んで［実行］を押す**

ルート表示のメニューが表示されます。

3 **［ルート指定］を選んで［実行］を押す**

ルート指定のメニューが表示されます。

4 **［入口IC指定］または［出口IC指定］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- インターチェンジの入口または出口が指定されている場合は、［入口IC指定解除］、［出口IC指定解除］となります。いずれかを選びインターチェンジの指定を解除することができます。

▼

インターチェンジを選ぶ画面が表示されます。

以降の操作手順は「*入口、出口IC（インターチェンジ）を指定する*」（→*P101*）の手順3以降と同じです。

ルート案内を中止／再開する

簡単 標準

ルート案内を中止する

ルート案内を中止することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［ルートを変える］➜［誘導中止］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［ルート］➜［誘導中止］を選んで［実行］を押す



▼

ルート案内が中止されます。

お知らせ

- ルート案内を中止しても、設定した目的地や経由地は消えません。再びルート案内を開始する場合は、*「再度、ルート案内を開始する」（→P122）*を参照してください。
- 目的地を消去する場合は、*「目的地を消す」（→P105）*を参照してください。

再度、ルート案内を開始する

*「ルート案内を中止する」（→P122）*の手順でルート案内を中止した場合は、中止前に設定した目的地や経由地のままで、再度ルート案内を開始することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［ルートを変える］➜［誘導開始］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［ルート］➜［誘導開始］を選んで［実行］を押す



▼

現在地からのルート計算が行われます。

VICSを使う

VICSとは 124
VICS情報の提供方法 124
VICS情報の表示形態 125
地図上でVICS情報を見る 126
　ビーコン情報の自動表示 127
　緊急情報の自動表示 127

VICS情報を見る 128
VICS FM多重の文字情報を見る 128
VICS FM多重の図形情報を見る 129
駐車場情報を見る 標準 130
VICS情報マークの詳細を見るには 131
VICSビーコン情報を見る 131
ルート上の渋滞ポイントを見るには 標準 132
高速道／一般道の情報だけを表示するには 標準 133

VICS放送局を選ぶ 134
リストから選局する 134
　自動選局に戻す 135

VICSを使ったルート計算について 標準 136
　渋滞考慮オートリルートついて 136
　インターナビVICSを使ったルート計算について 136
VICSの音声による案内について 137

インターナビVICS 138
インターナビVICSを使ったルート計算について 138
現在地またはスクロール地点のVICS情報を取得する 139
選んだ地点のVICS情報を取得する 140
受信地点を登録する 141
　地点登録のしかた 141
　地点リストを消去する 142
プレミアムメンバーズVICS情報について 142
駐車場情報の条件設定 143

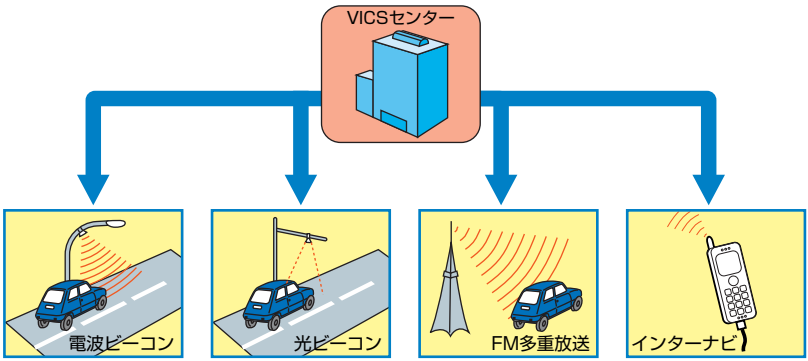
FM文字多重放送を見る 145
リストから選局する 145
マニュアル選局する 145
FM文字多重放送を見る 146

VICSとは 簡単 標準

VICS（Vehicle Information & Communication System：道路交通情報通信システム）とは1996年春、首都圏からサービスが開始された、最新の交通情報を運転者に伝えるための通信システムです。VICS情報を受信すると、渋滞や事故、交通規制などの最新情報をナビゲーションの地図上に表示できます。また、簡単な地図イラストや文字で見ることもできます。

VICS情報の提供方法

道路・交通に関するさまざまな情報は、一度VICSセンターに集められます。その後、次の4つの方法で、最新の道路交通情報（VICS情報）が提供されます。



電波ビーコン	光ビーコン	FM多重放送	インターナビ
（主に高速道路）	（主に一般道路）	（広域をカバー）	（携帯電話）
電波を使ったビーコンで情報が提供されます。	赤外線を使ったビーコンで情報が提供されます。	FM多重放送の電波で情報が提供されます。	携帯電話を使ってインターナビ情報センターより情報が提供されます。
ビーコンとは、道路脇に一定間隔で設置された、VICS情報を送信する装置です。設置された場所周辺の交通情報がここから送信されます。 電波ビーコンと光ビーコンは、別売のビーコンアンテナキットを装着することにより受信できます。ビーコンアンテナキットの装置やご利用については、Honda販売店にご相談ください。		ナビゲーション本体に内蔵のVICS/FM多重チューナーで、FM多重放送によるVICS情報を受信できます。	インターナビでのVICS情報受信については、インターナビでの会員登録が必要です。会員登録手続き後、IDナンバー、パスワードを設定すると受信できるようになります。

アドバイス

- VICSセンターからの情報は、VICSサービスエリア内でのみ情報の提供を受けることができます。また、サービスエリアの詳しい情報はVICSセンターにお問い合わせください。（→*P344*）

お知らせ

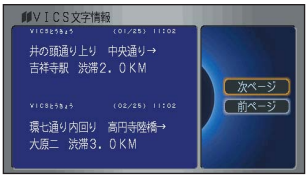
- VICS情報は、月々の情報料をお支払いいただくことなく、ご利用いただけます。情報料は、お買い上げいただいたシステムの価格に含まれており、その一部がFM多重放送の有料放送視聴料となっておりますので、巻末のサービス契約約款をご一読ください。（ただし、インターナビから情報を受信する場合は、通信料が発生します。）
- 提供されるVICS情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
- 提供されるVICS情報は最新のものでない場合もあります。
- VICSは、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- インターナビについて詳しくは、*「インターナビを使う」（→P181）*をご覧ください。

VICS情報の表示形態

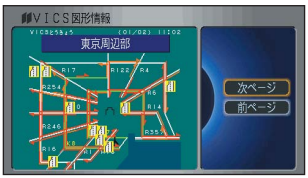
VICS情報には、レベル1からレベル3までの3種類の表示形態があります。運転者はVICSセンターから提供される、次のような道路交通情報を活用できます。

●渋滞情報（順調情報も含む）　●旅行時間情報　●交通障害情報
●交通規制情報　●駐車場情報

レベル1：文字
文字で道路交通情報が表示されます。



レベル2：簡易図形
簡単な地図イラストなどで道路交通情報が表示されます。



レベル3：地図
ナビゲーションの地図上に道路交通情報が直接表示されます。



お知らせ

- 情報提供側の問題により、文字化けやネットワーク障害などのエラーメッセージが表示されることがあります。
- VICSの地図表示は、10mスケール表示から1kmスケール表示のときに表示されます。

地図上でVICS情報を見る

レベル3（地図）の表示形態では、VICSセンターから受信した道路交通情報が、渋滞の道塗りやVICS情報マークで地図上に表示されます。

インターナビ情報センターで作成した交通情報（プレミアムメンバーズVICS情報）の渋滞情報（渋滞、混雑、順調）については、点線で表示されます。

一般道路への表示

渋滞	赤色に白い縁取り
混雑	橙色に白い縁取り
順調	明るい青に白い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
通行止め	黒

高速道路への表示

渋滞	赤色に青い縁取り
混雑	橙色に青い縁取り
順調	明るい青に青い縁取り
規制区間表示	黄色に黒い縁取り
入口閉鎖・通行止め	黒



VICS情報提供時刻表示

お知らせ

- エンジンスイッチを“I”または“II”にしてから受信したVICS情報が表示されるまで、時間がかかることがあります。
- 希望するエリアの放送が受信できないときは、放送局を切り換えてください。
  →*「VICS放送局を選ぶ」（P134）*
- 表示されるVICS情報提供時刻は12時間表示と24時間表示の選択ができます。
  →*「機能設定」（P152）*
- 表示されるVICS情報の渋滞表示が見えにくいときは、VICS情報を強調することができます。VICS情報を強調すると、VICS対象路線が目立たない色になるため、渋滞矢印などのVICS情報が強調されてわかりやすい表示になります。
  →*「機能設定」（P157）*
- 高速ガイド（→*P54*）を表示しているときは、高速ガイドにもVICS情報が表示されます。赤色は渋滞、橙色は混雑、青色は順調、白色はデータ未取得または不明を表示します。
- 高速ガイドでのVICS情報は、各施設間を4区間に区切って表示されます。



VICS情報

- 情報受信後、30分以上データが更新されない場合、VICS情報は消去されます。

VICS情報マークの種類

VICS情報により、次のようなマークも地図上に表示されます。メニューの操作でVICS情報マークの詳細を見ることも可能です。

- 大型通行止め
- 作業
- チェーン規制
- 進入禁止
- 通行止め・閉鎖
- 工事中
- 片側交互通行
- 車線規制
- 速度規制（数字は制限速度）
- 行事
- 駐車場閉
- 駐車場（空き：青）
- 駐車場（混雑：橙）
- 駐車場（満車：赤）
- 駐車場（不明：黒）
- 故障車
- 路上障害
- 凍結
- 入口制限
- 事故
- 入口閉鎖
- 出口閉鎖
- 対面通行
- 徐行
- 気象
- 災害
- 火災
- 規制
- タイムズ24（空き：青）※
- タイムズ24（混雑：橙）※
- タイムズ24（満車：赤）※
- タイムズ24（通常）※

※ インターナビから取得する情報です。

VICS情報提供時刻について

受信したVICS情報の提供時刻を表示します。



VICS情報の提供時刻

VICS情報の提供時刻は、受信した情報に入っている時刻であり、情報を受信した時刻ではありません（おもに情報の収集や編集時の時刻のため、受信した時の時刻より数分前の時刻になります）。提供時刻は、ナビゲーションシステムが受信しているレベル3表示用のVICS情報で画面内に表示されている情報の最新の提供時刻を表示しています。そのため、受信している情報の内容や場所によっては、表示している時刻より提供時刻が古い場合があります。また、地図のスケール変更時や、自車位置の移動にともなって提供時刻が変化する場合もあります。

2つの放送エリアが重なる地域を走行しているときは

ナビゲーション本体は、現在地周辺のVICS情報（道塗り情報）と別のエリア（隣接する都道府県など）のVICS情報を同時に表示することができます。したがって、県境などの放送エリアが重なる地域を走行しても、必要な情報を見ることができます。

■ビーコン情報の自動表示

別売のビーコンアンテナキットが装着されているときは、ビーコンから送られてくる図形または文字の情報を受信すると、自動的にその内容が表示されます。

表示された情報は、しばらくすると自動的に消えます。また、［戻る］ボタンを押して消すこともできます。

お知らせ

- 交差点案内表示中は、ビーコン文字図形情報は表示されません。

アドバイス

- 自動割込した情報を再表示したい場合は、*「VICSビーコン情報を見る」（→P131）*をご覧ください。

■緊急情報の自動表示

緊急情報を受信した場合、自動的にその内容が表示されます。

［確認］を選んで［実行］を押すと、地図画面に戻ります。

VICS情報を見る

VICSによる文字情報と図形情報を見ることができます。

VICS FM多重の文字情報を見る 簡単 標準

VICS FM多重から受信した文字情報を表示することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［VICS文字情報］を選んで［実行］を押す



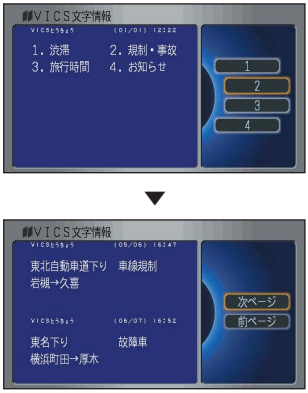
標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［VICS文字情報］を選んで［実行］を押す



2

見たい情報を選んで［実行］を押す



渋滞や交通規制などに関する文字情報が表示されます。

お知らせ

- 停車中は2件分の文字情報が1画面に表示されます。
- 走行中は安全のため、1件分の文字情報のみ表示されます。
- 情報画面が複数のページにおよぶときは、［次ページ］［前ページ］を選んで［実行］を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。

VICS FM多重の図形情報を見る 簡単 標準

VICS FM多重から受信した簡易図形情報を表示することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［VICS図形情報］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［VICS図形情報］を選んで［実行］を押す



2

見たい情報を選んで［実行］を押す



渋滞や交通規制などに関する簡易図形情報が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、［次ページ］［前ページ］を選んで［実行］を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。

駐車場情報を見る

標準

受信した駐車場情報を見るには、以下のようにします。

1 ［メニュー］ボタン ➔［VICS］を選んで［実行］を押す

VICSのメニューが表示されます。

2 ［駐車場情報］を選んで［実行］を押す



3 情報を見たい駐車場を選んで［実行］を押す



お知らせ

- 駐車場のリストが表示されます。
- 走行中は、安全のため駐車場のリストは2件のみ表示されます。
- ジョイスティックを下に倒すと、［SA/PA］（サービスエリア／パーキングエリア）のリストに表示を切り換えることができます。

4 ［施設情報］を選んで［実行］を押す

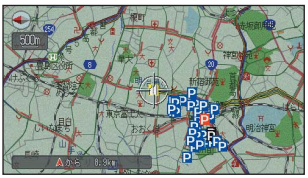


選んだ駐車場の情報が表示されます。

VICS情報マークの詳細を見るには 簡単 標準

地図上に表示されているVICS情報（規制情報など）マークの詳細な情報を見ることができます。

1 ジョイスティックでVICS情報マークにカーソルを合わせて［実行］を押す



2 ［施設情報］を選んで［実行］を押す



VICS情報マークの詳細情報が表示されます。

お知らせ

- マークが複数あり、重なっているような地点を選んだ場合は、情報のリストが表示されますので、見たい情報を選んでください。

VICSビーコン情報を見る 簡単 標準

ビーコンアンテナキット装備車は、ビーコンから受信した簡易図形情報や文字情報を表示することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［割込情報］を選んで［実行］を押す



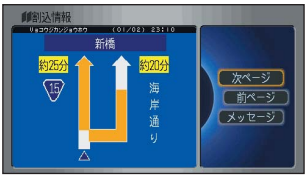
標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［割込情報］を選んで［実行］を押す



つづく➜

▼



一番最近割り込んだビーコン図形が表示されます。

お知らせ

- 受信済みの割込情報が複数ある場合は、［次ページ］［前ページ］が表示され、選ぶと表示を切り換えることができます。また、ジョイスティックを左右に倒しても切り換わります。
- 緊急情報、注意警戒情報、ことわり情報など、文字情報を受信しているときは、［メッセージ］を選ぶことができ、選ぶと再表示することができます。
- 文字情報表示中に［図形］を選ぶと、図形情報画面に戻ります。
- 情報は受信後30分経過すると消去されます。

ルート上の渋滞ポイントを見るには 標準

ルート案内中に、渋滞情報や規制情報がある場合、これから向かうルート上の渋滞や規制を画面に表示することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［VICS］を選んで［実行］を押す**

VICSのメニューが表示されます。

2 **［ルート上の渋滞］を選んで［実行］を押す**



▼



左画面に渋滞（規制）のポイント、右画面に自車位置から渋滞（規制）ポイントまでの地図が、それぞれ進行方向が上の状態で表示されます。

高速道／一般道の情報だけを表示するには 標準

高速道路走行中など、一般道路の情報が必要ない場合は、一般道の渋滞、混雑、順調の矢印表示を消すことができます。また、高速道路の近くの一般道路走行中など、高速道路の情報が必要ない場合は、高速道路の渋滞、混雑、順調の矢印表示を消すことができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔ ［VICS］を選んで［実行］を押す**

VICSのメニューが表示されます。

2 **［高速道情報をOFFする］または［一般道情報をOFFする］を選んで［実行］を押す**



▼



高速道路または一般道路の矢印表示がOFFになり、OFFしていない道路の矢印表示のみ表示されます。

アドバイス

- 再表示する場合は、［高速道情報をONする］または［一般道情報をONする］を選んで［実行］を押してください。

VICS放送局を選ぶ 簡単 標準

VICS情報の受信は、現在地の情報を出している放送局を選ぶ自動選局です。放送局をリストから選んで情報を表示することもできます。エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、自動選局になります。

リストから選局する

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［VICS放送局リスト］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［VICS放送局リスト］を選んで［実行］を押す



2

［実行］を押す



▼

放送局が選局され、VICSのメニューに戻ります。

■自動選局に戻す

リストから選局し、放送局を固定していた場合、自動選局に戻すことができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［VICS放送局リスト］を選んで［実行］を押す

VICS放送局リスト表示画面が表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［VICS放送局リスト］を選んで［実行］を押す

VICS放送局リスト表示画面が表示されます。

2

ジョイスティックを下に倒して［自動選局］を選び、［実行］を押す



▼

自動選局の状態となり、VICSのメニューに戻ります。

VICSを使ったルート計算について

VICS情報を考慮してルート計算を行うことができます。
渋滞ルート考慮計算を設定する場合は、*「機能設定」(→P153)*をご覧ください。

お知らせ

- VICSを使ったルート計算によるルート案内は、あくまで参考情報としてご利用してください。
- 提供されるVICS情報は、最新の情報がそろっていない場合があるため、実際の交通状況とは異なる場合があります。必ず、実際の交通規制に従って走行してください。
- 渋滞ルート考慮計算は、リンク旅行時間情報、通行止め・ランプ閉鎖の規制情報を使用して行います。リンク旅行時間情報は、高速道路は電波ビーコン、光ビーコン、FM文字多重、インターナビから提供され、一般道路は光ビーコン、インターナビから提供されます。また規制情報は、電波ビーコン、光ビーコン、FM文字多重、インターナビから提供されます。
- 一般道路で渋滞ルート考慮計算を行う場合は、光ビーコンもしくはインターナビからのVICS情報を受信後にルート計算、再計算を行ってください。

■渋滞考慮オートリルートについて

VICS情報の渋滞や規制情報をもとに、自動的に渋滞などを考慮して、ルートを再計算させることができます。→*「機能設定」(P153)*
ルート案内中に新しいルートが見つかると、「渋滞考慮オートリルートを行いました」と表示されます。

お知らせ

- 渋滞考慮オートリルートは、著しく進行を妨げると判断された場合のみ行われます。また、再計算されたルートにも渋滞が発生している場合があります。

■インターナビVICSを使ったルート計算について

ルート計算に使用するVICS情報は、インターナビで取得することもできます。情報の取得は場所や周期などを任意に設定することができます。詳しくは、*「インターナビVICS」(→P138)*を参照してください。

VICSの音声による案内について

ルート案内中は、通常のナビゲーションシステムの音声による案内に加え、VICS情報による交通規制、災害、事故、渋滞の発生や故障車の存在なども音声により案内します。
VICSの音声による案内は、VICS情報の更新のたびにルート上のVICS情報を案内します。

お知らせ

- ルート案内中に［現在地］ボタンを押すと、ナビゲーションシステムの音声による案内と共に、VICSの音声による案内もします。

インターナビVICS 簡単 標準

インターナビVICSでは、自車位置や目的地などの特定の場所のVICS情報を取得したり、お客様が指定した場所のVICS情報を取得することができます。FM多重のVICS情報とは異なり、あらかじめ遠方のVICS情報を確認することができます。またVICSセンターからは提供されない駐車場の情報や、お客様から提供いただいた情報（フローティング情報）から作成した交通情報（プレミアムメンバーズVICS情報）、過去のVICS情報から統計、予測処理を行って作成した、予測リンク旅行時間情報の提供も行います。

お知らせ

- インターナビVICSをご利用になる場合は、携帯電話や通信カードの接続とインターナビ・プレミアムクラブへのご入会があらかじめ必要となります。インターナビ・プレミアムクラブについて、詳しくは、*「インターナビ・プレミアムクラブとは」（→P182）*をご覧ください。
- 目的地が遠方（約200km）の場合は、案内ルートの途中までしかVICS情報を受信しません。また、途中の区間は高速道路の情報のみ受信します。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS情報は提供されません。
- VICSセンターのメンテナンスなどによりVICS情報が提供されない場合があります。

インターナビVICSを使ったルート計算について

インターナビ情報センターに接続して、VICS情報を取得します。

ルート計算について

VICS設定（*→P157*）で、［自動ルート再計算］を［する］に設定している場合は、通常のルート計算後に、自動的にインターナビVICSの情報を受信しルート再計算が行われます。

お知らせ

- インターナビVICSの情報受信後、自動的にインターナビVICSの情報を基にルート再計算が行われます。
- 情報受信中でも、［切断］を選んで［実行］を押すと、接続を中止することができます。



情報受信中は「受信中」と表示されます。

- 電話の通話状態が悪いと接続されないことがあります。
- 通話などで携帯電話を使用しているときは、VICS情報を受信できません。

予測リンク旅行時間情報について

インターナビVICSでは、過去のVICS情報から、統計・予測処理を行って作成した予測リンク旅行時間情報が提供されます。予測リンク旅行時間情報は、VICSを使ったルート計算や、到着予想時間に使用します。

お知らせ

- 予測リンク旅行時間情報が提供されている箇所においても、地図上に表示している渋滞、混雑、順調矢印は予測情報ではありません。
  よって、地図上が順調矢印でも予測リンク旅行時間情報が長いとその箇所を避けるルートを案内したり、渋滞矢印でも予測リンク旅行時間情報が短いとその箇所を通るルートを案内する場合があります。

受信ポイントでは

ルートを走行しているときに自動更新ポイントに近づくと、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面のVICS情報を受信します。自動でインターナビVICSに接続する地点には、マーク（VICS）が表示されます。

アドバイス

- 自動更新ポイント設定では自動的に受信を、［する］／［しない］を選べます。→*「機能設定」（P157）*
- *受信ポイントを登録することができます。**→「受信地点を登録する」（P141）*

時間を決めて自動受信するには

自動受信する周期（時間）を決めて、自動的にインターナビ情報センターに接続し、目的地方面のVICS情報を受信します。

設定できる周期は［5分］／［15分］／［30分］／［60分］／［しない］から設定できます。詳しくは、*「VICS設定」（→P157）*をご覧ください。

現在地またはスクロール地点のVICS情報を取得する

現在地やスクロールしたカーソル周辺のVICS情報が取得することができます。またルート案内中であれば渋滞情報を考慮したルートの再計算が行われます。

1 **現在地画面またはスクロール画面で［実行］を押す**

カスタマイズメニュー（簡単操作モードの場合はワンプッシュメニュー）が表示されます。

2 **［internavi VICS接続］を選んで［実行］を押す**



▼

インターナビ情報センターに接続し、VICS情報を受信します。

選んだ地点のVICS情報を取得する

情報を取得したい地点を目的地や経由地、検索した地点など、お好みの場所にすることができます。

アドバイス

- 登録した受信地点を（→P141）を選んで、VICS情報を取得することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［internavi VICS］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［internavi VICS］を選んで［実行］を押す



2

［検索して選択］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- ［目的地周辺］、［経由地○周辺］を選んだ場合は、手順4に進んでください。
- あらかじめ受信地点を登録しておくと（→P141）、その地点のVICS情報を取得することができます。地点を登録すると、［新規登録］が［登録リスト］に変わります。

3

場所を探して［実行］を押す

→「場所を探す」（P80）

4

［VICS情報受信］を選んで［実行］を押す



▼



インターナビ情報センターに接続し、選んだ地点周辺のVICS情報が受信されます。

お知らせ

- ［戻る］ボタンを押すとインターナビVICSのメニューに戻りますので、引き続き地点を探すことができます。

受信地点を登録する

よく通る地点などを登録しておくと走行中、登録された地点に近づいたとき、自動でインターナビセンターに接続し、VICS情報を受信します。

■地点登録のしかた

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［VICS交通情報を見る］➔［internavi VICS］を選んで［実行］を押す

インターナビVICSのメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➔［VICS］➔［internavi VICS］を選んで［実行］を押す

インターナビVICSのメニューが表示されます。

2

［新規登録］または［登録リスト］を選んで［実行］を押す



3

［新規登録］を選んで［実行］を押す



4

場所を探して［実行］を押す

→「場所を探す」（P80）

5

［地点セット］を選んで［実行］を押す



▼

選んだ地点が登録されます。
登録された地点にはVICSのマーク（VICS）が表示されます。

アドバイス

- 登録した地点は、編集のメニュー（→P142）より［詳細設定］を選び、名称、読み、接近音声、方向設定などを編集することができます。編集のしかたは、「マークを編集する」（→P75）と同様ですので参照してください。

■地点リストを消去する

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［VICS交通情報を見る］➜［internavi VICS］を選んで［実行］を押す

インターナビVICSのメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➜［VICS］➜［internavi VICS］を選んで［実行］を押す

インターナビVICSのメニューが表示されます。

2

［登録リスト］を選んで［実行］を押す

登録リストが表示されます。

3

消去したい地点を選んで［実行］を押す



編集のメニューが表示されます。

4

［消去］を選んで［実行］を押す



5

ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す

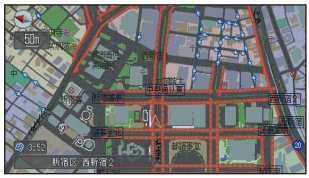


▼

選んだ地点が消去され、登録リストに戻ります。

プレミアムメンバーズVICS情報について

お客様が走行した路線／時間の情報をナビゲーションシステムで記憶して、インターナビ情報センターに提供していただき、提供いただいた情報（フローティング情報）を蓄積、編集処理を行い、該当路線の交通情報(プレミアムメンバーズVICS情報)を作成します。フローティング情報は、インターナビVICS情報受信時にインターナビ情報センターに通知します。また、インターナビ情報センターで作成されたプレミアムメンバーズVICS情報も、インターナビVICS情報受信時にVICSと合わせて提供します。



お知らせ

- プレミアムメンバーズVICS情報での渋滞／混雑／順調の情報は点線で表示されます。
- フローティング情報のインターナビ情報センターへの提供およびプレミアムメンバーズVICS情報の受信は、［フローティング情報提供］が［する］に設定されている場合です。→*「機能設定」(P157)*
- プレミアムメンバーズVICS情報は、統計処理した情報ですので、あくまでも参考情報です。
- フローティング情報の対象となる道路は事前に設定された特定の道路です。お客様が走行した全ての区間が記憶されるわけではありません。
- 提供いただいたフローティング情報は、提供いただいたお客様が特定できない形式で処理／保存します。
- 提供いただいたフローティング情報は、交通情報作成のための処理を行う以外の目的では一切使用しません。

駐車場情報の条件設定

インターナビによる「駐車場セレクト」で、取得する駐車場情報の条件を設定することができます。

インターナビによる「駐車場セレクト」で取得する駐車場情報の条件を設定するには、［取得する駐車場情報］を［条件つき］に設定する必要があります。→*「機能設定」(P157)*

取得する駐車場情報を「条件つき」にする 標準

1 **［メニュー］ボタン ➜ ジョイスティックを下に倒す➜［VICS設定］➜［取得する駐車場情報］➜［条件つき］を選んで［実行］を押す**

インターナビセンターに接続して取得する駐車場情報の条件を設定する

1 **［メニュー］ボタン ➜ ［internavi Premium Club］を選んで［実行］を押す**



つづく➜

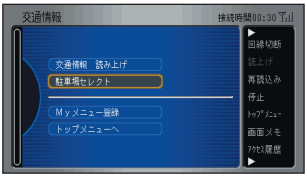
2 ［トップメニュー］を選んで［実行］を押す



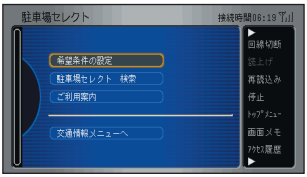
3 ［交通情報］を選んで［実行］を押す



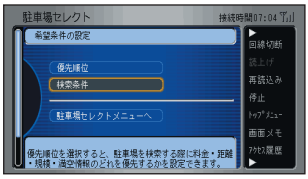
4 ［駐車場セレクト］を選んで［実行］を押す



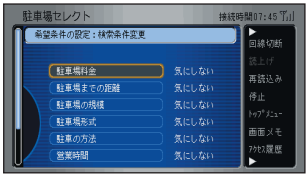
5 ［希望条件の設定］を選んで［実行］を押す



6 ［優先順位］または［検索条件］を選んで［実行］を押す



▼



画面に従って条件の設定を行います。インターナビVICS情報を受信すると、設定した条件にあった駐車場情報が表示されます。

お知らせ

- 取得する駐車場情報を「条件つき」にしてインターナビVICS情報受信するとVICS FM多重やビーコンで受信した駐車場情報は表示されなくなります。
- 検索条件にあてはまる駐車場が1つもない場合、優先順位にあてはまる駐車場を表示します。

FM文字多重放送を見る 簡単 標準

FM放送局の文字放送（見えるラジオなど）を受信して、交通情報やニュースなどの情報を見ることができます。

リストから選局する

自車の位置で受信可能な放送局をリストから選ぶことができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［VICS交通情報を見る］➔［FM文字多重］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➔［VICS］➔［FM文字多重］を選んで［実行］を押す



2

放送局を選んで［実行］を押す



▼

FM文字多重放送を受信します。

マニュアル選局する

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［VICS交通情報を見る］➔［FM文字多重］を選んで［実行］を押す

リスト選局画面が表示されます。

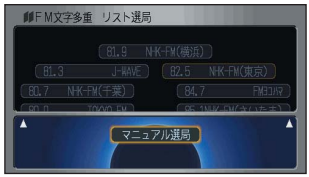
標準

［メニュー］ボタン ➔［VICS］➔［FM文字多重］を選んで［実行］を押す

リスト選局画面が表示されます。

2

ジョイスティックを下に倒して［マニュアル選局］を選び、［実行］を押す



つづく➔

3 コマンドホイールを左右に回す



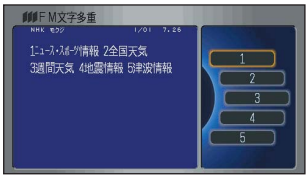
コマンドホイールを回すと周波数が変化します。
希望の放送局に合わせます。

4 ［実行］を押す

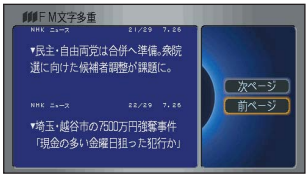
FM文字多重放送を受信します。

FM文字多重放送を見る

1 見たい番組を選んで［実行］を押す



▼



番組が表示されます。

お知らせ

- 情報画面が複数のページにおよぶときは、［次ページ］［前ページ］を選んで［実行］を押し、ページを送ります。また、ジョイスティックを左右に倒しても、同様に操作できます。
- 停車中は、1画面に最大2件分の文字情報が表示されます。
- 走行中は安全のため1件分の情報のみ表示します。
- 走行中は安全のため、緊急情報、交通情報、気象情報など一部の情報しか表示できません。

ナビゲーションの設定をする

機能設定 148
設定を変更する 148
設定内容の詳細 150
- 表示設定 150
- 誘導設定 153
- VICS設定（VICS情報表示） 156
- その他設定 158

メニューをカスタマイズする 標準 159

壁紙の設定をする 標準 160

現在地を修正する 標準 162

機能設定 簡単 標準

用途やお好みに応じて設定を変更することにより、ナビゲーションを使いやすくすることができます。
ナビゲーションの設定項目は、簡単操作モード、標準操作モードごとに機能がそれぞれ次のように分類されています。

簡単

- ●表示設定（→P150）
- ●VICS情報表示（→P156）
- ●通信機能設定（→P185）
- ●電話設定（→P231）
- ●自宅登録（→P64）
- ●自宅変更（→P65）
- ●自宅消去（→P66）

標準

- ●表示設定（→P150）
- ●誘導設定（→P153）
- ●VICS設定（→P156）
- ●通信機能設定（→P185）
- ●電話設定（→P231）
- ●その他設定（→P158）
- ●調整・補正（→P162、P228）

設定を変更する

ナビゲーションの機能設定を変更することができます。

お知らせ

- 通信機能設定は「インターナビの設定をする」（→P185）をご覧ください。
- 電話設定は「電話の設定をする」（→P231）をご覧ください。
- 調整・補正は「現在地を修正する」（→P162）または「PCカードを初期化する」（→P228）をご覧ください。
- 自宅登録は「自宅を登録する」（→P64）、自宅変更は「自宅を変更する」（→P65）、自宅消去は「自宅を消去する」（→P66）をご覧ください。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して設定変更したい機能を選び、［実行］を押す



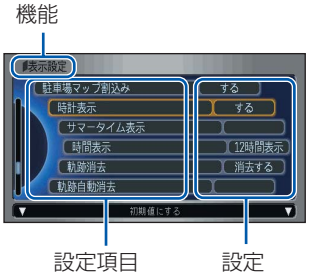
標準

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して設定変更したい機能を選び、［実行］を押す



2

変更したい設定項目を選んで［実行］を押す



お知らせ

- 設定を［しない］など、設定させない設定にしてある場合、設定に何も表示されない項目もあります。

アドバイス

- すべての設定項目を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押してください。

3

設定を選び［実行］を押す



▼

設定が変更され、直前の画面に戻ります。引き続き設定項目を選んで変更することができます。

アドバイス

- ［表示設定］や［VICS設定］、［電話設定］は各機能のメニューにより表示させることができます。
  - ［表示設定］は［画面］ボタンを押し、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。
  - ［VICS設定］は、［メニュー］ボタンを押し［VICS］（［VICS交通情報を見る］）を選び、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。
  - ［電話設定］は［メニュー］ボタンを押し、［電話］（［電話をかける］）を選び、ジョイスティックを下に倒すと選ぶことができます。

設定内容の詳細

■表示設定

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定（初期状態）です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
市街地図表示	市街地を100mスケールより詳細な地図で表示したとき、市街地図を表示するかどうかを設定します。	［**する**］：市街地図が表示されます。	［する］固定
		［しない］：通常の地図が表示されます。	
3Dビル表示	3Dマップを表示したとき、ビル等を3D表示するかどうかの設定をします。	［**する**］：3D表示します。	［しない］固定
		［しない］：3D表示しません。	
直線誘導線表示	自車と目的地、経由地を設定している場合は自車と経由地を結ぶ直線を表示するかどうかの設定をします。	［する］：直線誘導線表示を表示します。	
		［**しない**］：直線誘導線表示を表示しません。	
軌跡表示	走行軌跡を地図上に表示するかどうかを設定します。	［する］：実際の走行に沿って、走行軌跡が表示されます。	
		［**しない**］：走行軌跡は表示されません。	
高速ガイド表示	高速道路に入った場合、自動的に高速ガイドを表示するかどうかを設定します。	［**する**］：高速道路で高速ガイドにします。	［する］固定
		［しない］：高速ガイドにしません。現状の地図表示モードを維持します。	
立体ランドマーク表示	3Dマップを表示したとき、目印になる建物を立体ランドマークとして表示するかどうかを設定します。	［**する**］：立体ランドマークが3Dマップ上に表示されます。	［しない］固定
		［しない］：立体ランドマークは表示されません。	
3D角度調節	3Dマップの角度調節を行います。	ジョイスティックを上下に倒して調節します。	調節できません
地図色　昼	昼間の地図色を4色の中から設定します。	［**ホワイト**］：昼間の地図色をホワイトに設定します。	［ホワイト］固定
		［ブルー］：昼間の地図色をブルーに設定します。	
		［グリーン］：昼間の地図色をグリーンに設定します。	
		［レッド］：昼間の地図色をレッドに設定します。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
地図色　夜	夜間の地図色を4色の中から設定します。	［ホワイト］：夜間の地図色をホワイトに設定します。	［ブルー］固定
		［**ブルー**］：夜間の地図色をブルーに設定します。	
		［グリーン］：夜間の地図色をグリーンに設定します。	
		［レッド］：夜間の地図色をレッドに設定します。	
操作パネル色	画面（操作パネル）の色を5色の中から設定します。	［ホワイト］：表示色をホワイトゴールドに設定します。	［アンバー］固定
		［**アンバー**］：表示色をアンバーに設定します。	
		［ブルー］：表示色をブルーに設定します。	
		［グリーン］：表示色をグリーンに設定します。	
		［レッド］：表示色をレッドに設定します。	
施設名称文字サイズ	施設名称の文字の表示サイズを設定します。	［**標準**］：標準サイズで表示します。	［大きく］固定
		［大きく］：大きなサイズで表示します。	
地図色切換	昼間と夜間の地図の配色が切り換わるタイミングを設定します。	［時刻連動］：日没／日出時刻連動で画面の配色が切り換わります。	［イルミ連動］固定
		［**イルミ連動**］：車幅灯のON/OFFで画面の配色が切り換わります。	
現在地情報の表示	現在地画面に表示する情報を設定します。	［**市区町村名**］：市区町村名を表示します。	［市区町村名］固定
		［走行道路名］：走行中の道路名を表示します。	
		［しない］：何も表示しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
天気予報情報表示	天気予報を地図上に表示したり、ルート設定時に目的地付近の天気予報を音声で案内するかどうかを設定します。	[**する**]：地図上に天気予報が表示されます。また、ルート設定時には目的地付近の天気予報が音声で案内されます。	[する]固定
		[しない]：地図上に天気予報は表示されません。ルート設定時の天気予報も音声案内されません。	
スクロール方面表示	地図をスクロールさせている間、画面の上下左右に方面案内を表示するかどうかを設定します。	[**する**]：スクロール中、方面案内が表示されます。	
		[しない]：方面案内は表示されません。	
駐車場マップ割込み	収録されている駐車場に入った場合、自動的に駐車場内の地図を表示するかどうかを設定します。	[**する**]：駐車場マップが自動的に表示されます。	
		[しない]：駐車場マップは表示しません。	
時計表示	時計を表示するかどうかを設定します。	[**する**]：時計を表示します。	
		[しない]：時計を表示しません。	
サマータイム表示	時計の表示を夏季に1時間進める（サマータイム表示）かどうかを設定します。	[する]：サマータイム表示します。	
		[**しない**]：サマータイム表示しません。	
時間表示	時計の表示を12時間表示／24時間表示から設定します。	[**12時間表示**]：12時間表示します。	[12時間表示]固定
		[24時間表示]：24時間表示します。	
軌跡消去	走行軌跡のデータを消去します。	[消去する]を選んで[実行]を押すと、軌跡のデータを消去することができます。	消去できません。
軌跡自動消去	走行軌跡を消去するタイミングを設定します。	[自宅到着時]：自宅が登録されており、自宅から100m以内の地点でエンジンスイッチを“0”にすると、走行軌跡が自動的に消去されます。	[しない]固定
		[**しない**]：走行軌跡は自動消去されません。	

■誘導設定

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定（初期状態）です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
渋滞考慮オートリルート	VICS情報をもとに、自動的に渋滞を考慮したリルートを行うかどうかを設定します（→*P112*）。	**［する］**：渋滞を考慮したオートリルートが働きます。	［する］固定
		［しない］：渋滞を考慮したオートリルートは働きません。	
ランドマーク音声案内	ランドマークを音声で案内するかどうかを設定します。	［する］：音声で案内します。	［しない］固定
		［しない］：音声で案内しません。	
方面案内表示	一般道で大きな交差点に近づいたとき、道路標識のイラストを画面に表示して、方面案内を行うかどうかを設定します。	**［する］**：交差点で方面案内が表示されます。	［する］固定
		［しない］：方面案内は表示されません。	
渋滞ルート考慮計算	ルート計算時にVICS情報やインターナビVICSでのプレミアムメンバーズVICS情報、予測リンク旅行時間情報を考慮するかどうかを設定します。	**［する］**：VICS情報を考慮したルートが計算されます。	
		［しない］：VICS情報は考慮されません。	
回避エリア	ルート計算時、回避エリアを通らないルートを計算するかどうか、回避エリアを地図画面に表示するかどうかを設定します。	**［考慮する］**：回避エリアを通らないルートが計算され、回避エリアが地図画面に表示されます。	［考慮しない］固定
		［考慮しない］：回避エリアは考慮されません。また、回避エリアは地図画面に表示されません。	
到着予想時間表示	ルート設定時に表示される距離・到着予想時間の対象となるポイントを設定します。	［目的地］：目的地までの距離と到着予想時間が表示されます。	［経由地］固定
		［経由地］：次の経由地までの距離と到着予想時間が表示されます。	
		［しない］：距離と到着時間を表示しません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
予想時間速度／一般道	一般道走行時の、到着予想時間を計算するときの基準となる速度を設定します。	[20km/h]：平均速度20km/hとして到着予想時間が計算されます。	標準操作モードの設定
		[**30km/h**]：平均速度30km/hとして到着予想時間が計算されます。	
		[40km/h]：平均速度40km/hとして到着予想時間が計算されます。	
予想時間速度／高速道	高速道路走行時の、到着予想時間を計算するときの基準となる速度を設定します。	[60km/h]：平均速度60km/hとして到着予想時間が計算されます。	
		[**80km/h**]：平均速度80km/hとして到着予想時間が計算されます。	
		[100km/h]：平均速度100km/hとして到着予想時間が計算されます。	
ルート計算条件	ルートを計算させるとき、最初に計算させる基準を設定します。（設定後のルート計算から反映されます。）	[**推奨**]：おすすめの基準でルートが計算されます。	
		[距離優先]：距離を優先してルートが計算されます。	
		[幹線優先]：幹線道路を優先してルートが計算されます。	
高速道使用条件	ルート計算時、高速道路を利用するかどうかを設定します。（設定後のルート計算から反映されます。）	[**通る**]：高速道路の使用を、標準的な基準としてルートが計算されます。	
		[通らない]：高速道路をなるべく使用しないルートが計算されます。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
フェリー航路使用条件	ルート計算時、フェリーを使用するかどうかを設定します。計算されるルートの本数に関係なく、ここでの設定が有効になります。	[推奨]（標準）：フェリー航路が標準的な基準で採用されます。	[使用しない]固定
		[使用する]（優先）：フェリー航路が優先的に採用されます。	
		[**使用しない**]：フェリー航路をなるべく使用しないようにします。	
マークのルート計算条件	登録したマークを目的地や経由地にしたとき、マーク情報として設定した計算条件をもとに、ルート計算を行うかどうかを設定します。	[**使用する**]：マークの計算条件を使用します。	
		[使用しない]：マークの計算条件を使用しません。	
学習ルート計算	ルート計算時、学習したルートを考慮するかどうかを設定します。	[**する**]：学習したルートを考慮します。	[する]固定
		[しない]：学習したルートを考慮しません。	
迂回距離／一般道	迂回計算時の一般道の迂回距離を設定します。	[2km]：迂回距離を2kmに設定します。	[5km]固定
		[**5km**]：迂回距離を5kmに設定します。	
		[10km]：迂回距離を10kmに設定します。	
迂回距離／高速道	迂回計算時の高速道の迂回距離を設定します。	[10km]：迂回距離を10kmに設定します。	[20km]固定
		[**20km**]：迂回距離を20kmに設定します。	
		[30km]：迂回距離を30kmに設定します。	
自宅 →*「自宅を登録する（P64）」／「自宅を変更する」（P65）／「自宅を消去する」（P66）*	自宅の登録や、登録済みの自宅の位置の修正や消去を行います。	[登録]：自宅を登録します。	—
		[変更]：自宅の位置を変更します。	
		[消去]：登録済みの自宅を消去します。	

■VICS設定（VICS情報表示）

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定（初期状態）です。

※簡単操作モードのVICS情報表示には設定画面がありません。［VICS情報表示］を選び［実行］を押すごとに、VICS情報表示の［する］／［しない］が切り換えられます。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
図形情報割込み	受信した図形情報を割込み表示するかどうかの設定をします。	**［する］**：割込み表示します。	［する］固定
		［しない］：割込み表示しません。	
文字情報割込み	受信した文字情報を割込み表示するかどうかの設定をします。	［する］：割込み表示します。	［しない］固定
		［しない］：割込み表示しません。	
渋滞表示	渋滞、混雑（矢印）を表示するかどうかを設定します。	**［する］**：渋滞表示されます。	VICS情報表示は、［する］を選んだ場合はすべて表示するになります。［しない］を選んだ場合はすべて表示しないになります。
		［しない］：渋滞表示されません。	
渋滞表示の点滅	渋滞、混雑、順調表示（矢印）を点滅させるかどうかを設定します。（渋滞表示が［しない］のときは選択できません。）	**［する］**：渋滞表示は点滅表示されます。	
		［しない］：渋滞表示は点滅表示されません。	
順調表示	交通状況が順調なことを示す順調表示（矢印）を行うかどうかを設定します。（渋滞表示が［しない］のときは選択できません。）	［する］：VICS情報をもとに、交通が順調な道路が道塗り表示されます。	
		［しない］：順調表示はされません。	
駐車場マーク表示	駐車場の空き状況に関するVICS情報マークを表示するかどうかを設定します。	**［する］**：駐車場のVICS情報マークが表示されます。	
		［しない］：駐車場のVICS情報マークは表示されません。	
規制表示	交通規制に関するVICS情報マークと規制区間を表示するかどうかを設定します。	**［する］**：交通規制のVICS情報マークと規制区間が表示されます。	
		［しない］：交通規制のVICS情報マークと規制区間は表示されません。	

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
VICS強調地図	VICS対象路線のVICS情報を強調して表示する地図にするかどうかの設定をします。	［する］：VICS対象路線を緑色に塗り、渋滞の道塗りを強調表示します。	［しない］固定
		［**しない**］：渋滞の道塗りを強調表示しません。	
接続周期（インターナビVICS設定）※	インターナビ情報センターに自動で接続する周期を設定します。	［5分］：5分おきに自動接続します。	標準操作モードでの設定
		［15分］：15分おきに自動接続します。	
		［30分］：30分おきに自動接続します。	
		［60分］：60分おきに自動接続します。	
		［**しない**］：自動接続しません。	
自動ルート再計算（インターナビVICS設定）※	ルート計算後に、自動的にインターナビVICSの情報を取得してから、再計算を行うかどうかの設定をします。	［**する**］：自動で再計算します。	
		［しない］：再計算しません。	
自動更新ポイント設定（インターナビVICS設定）※	自動更新ポイントに近づくとインターナビからのVICS情報を自動的に受信するかどうかの設定をします。	［**する**］：インターナビからのVICS情報を受信します。	
		［しない］：インターナビからのVICS情報を受信しません。	
フローティング情報提供（インターナビVICS設定）※	通常のVICS情報が提供されていない路線の交通情報をインターナビから取得する機能および車両から交通情報をインターナビ情報センターへ送信する機能の設定ができます。	［**する**］：車両から交通情報をインターナビ情報センターへ送信し、センターからその路線の交通情報を取得します。フローティング情報は点線で地図に表示されます。	
		［しない］：送信取得を行いません。	
取得する駐車場情報（インターナビVICS設定）※	駐車場情報の取得条件を有効にするかどうかの設定をします。	［**すべて**］：設定した条件に関係なくすべての駐車場情報を取得します。	
		［条件つき］：設定した条件の駐車場情報を取得します。	

※インターナビVICSの認証が終了するまで、設定項目として表示されません。

■その他設定

設定値の太字は、購入直後に選ばれている設定（初期状態）です。

設定項目	設定内容	設定	
		標準操作モード	簡単操作モード
メニュー読上げ	メニューの表示内容を音声で読上げるかどうかを設定します。	［する］：メニューの読上げをします。	［走行中のみ］固定
		［しない］：メニューの読上げをしません。	
		［走行中のみ］：走行中のみメニューの読上げをします。	
合流･県境案内	高速道路走行中に、県境、合流地点で音声で案内するかどうかを設定します。	［する］：案内されます。	［する］固定
		［しない］：案内されません。	
踏み切り案内	踏切で音声で案内するかどうかを設定します。	［する］：案内されます。	
		［しない］：案内されません。	
右左折専用レーン案内	直進レーンが右折または左折専用レーンに変化する地点を案内します。	［する］：案内されます。	［しない］固定
		［しない］：案内されません。	
リフレッシュ案内	2時間連続使用で音声で案内するかどうかを設定します。	［する］：案内されます。	［する］固定
		［しない］：案内されません。	
セーフティ案内	高速道路走行中に、危険箇所などを音声で案内するかどうかの設定をします。	**［する］**：音声案内します。	
		［しない］：音声案内しません。	

メニューをカスタマイズする 標準

カスタマイズメニューは、よく使う項目などを登録して、メニューをカスタマイズすることができます。

お知らせ

- 簡単操作モードのワンプッシュメニューは、カスタマイズできません。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 ［カスタマイズ］を選んで［実行］を押す



3 変更したい項目を選んで［実行］を押す



現状のカスタマイズメニューの項目が表示されています。

お知らせ

- ［internaviVICS接続］と［internavi読上げ］の項目は、カスタマイズすることはできません。

4 新たにメニューに入れたい項目を選んで［実行］を押す



▼

カスタマイズメニューが変更されます。

アドバイス

- メニュー項目を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押してください。

お知らせ

入れ換え可能な項目は以下の通りです。

- 表示設定の項目（→*P150*）
- 誘導設定の項目（→*P153*）
- VICS設定の項目（→*P156*）
- 電話設定の項目（→*P231*）
- その他設定の項目（→*P158*）
- 現在地修正（→*P162*）
- PCカード設定（→*P228*）
- 音声メモ（→*P254*）
- ハードディスク容量（→*P349*）
- マークセット（→*P74*）
- 地図方位（→*P50*）
- 右画面縮尺（→*P48*）
- 周辺検索（→*P81*）

壁紙の設定をする 標準

画面を消したときの画面表示（壁紙）をメールなどで取り込んだお好みの画像に設定することができます。
壁紙は、ハードディスクにあらかじめ登録されている［星空］［Hondaナビゲーション］のほか、PCカード内の画像データも設定することができます。

アドバイス

- 壁紙として設定できる画像のファイル形式は、JPEG（.jpg）です。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルには対応していません。
- 壁紙として設定できる画像データは、元の大きさが、2048×1536ドットまでです。
- JPEG形式の画像データを画面表示する際には、横幅を基本として縮小が行われますが、縮小後の横幅が画面サイズを超えるものは、壁紙として設定できません。縮小後の高さが画面サイズを超えたものは、下を切り捨てて表示されます。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を使用するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- PCカードにあるファイルは半角で255文字（全角で127文字）以内、表示形式が［ファイル名+.jpg］の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。

アドバイス

- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が202（地点付き画像は除く）を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が202以下になるように、ハードディスク内またはPCカード内の画像ファイルを削除してください。→*「画像を消去する」（P247）*
- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**



2 **［壁紙設定］を選んで［実行］を押す**



3 画像を選んで［実行］を押す



※壁紙の画像はサンプルのため、実車とは異なります。

▼

壁紙が決定され、付加機能のメニューに戻ります。

お願い

- 画像の設定（または変更）操作をした直後は、エンジンスイッチを"0"にしたり、PCカードを抜かないでください。登録にエラーが発生したり、PCカードのデータが壊れることがあります。

お知らせ

- ジョイスティックを右に倒して［地点付き画像］に切り換えると、よく行く地点やマーク（インターナビ含む）に登録した画像の選択リストが表示されます。
- PCカードをセットしている場合は、PCカード内の画像もリストに表示されます。

現在地を修正する 標準

GPSの測位の状態によっては、現在地のずれを自動的に修正できないことがあります。現在地がずれたときは、以下の方法で修正してください。

1 ［メニュー］ボタンを押す



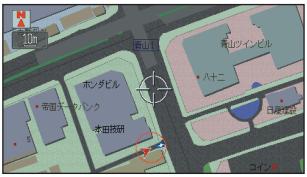
2 ジョイスティックを下に倒して［調整・補正］を選び、［実行］を押す



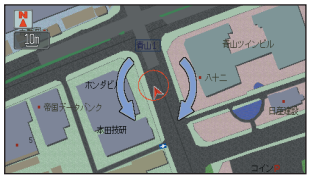
3 ［現在地修正］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックで自車がいる地点にカーソルを合わせて［実行］を押す



5 コマンドホイールを左右に回して自車マークの向きを合わせ、［実行］を押す



▼

自車位置が修正されます。

データを登録／編集する 標準

ランドマークデータを登録／編集する……164
ランドマークデータを表示させなくする……164
　ランドマークを非表示にする……164
　非表示にしたランドマークを再び表示させる……165
ランドマークの位置を修正する……166
　ランドマークの位置を修正する……166
　修正したランドマークの位置を元に戻す……166
ランドマークを登録する……168
　ランドマークを登録する……168
　登録したランドマークを確認する……169
　登録したランドマークを消去する……169

回避エリアを登録／編集する……171
新規登録する……171
名称を変更する……172
確認する……173
消去する……174

登録道を登録／編集する……175
新規登録する……175
内容を設定／変更する……177
確認する……178
消去する……179

ルートの学習内容を消去する……180

ランドマークデータを登録／編集する

標準

施設の開業、閉業、移転などに合わせて、地図画面に表示されるランドマークを登録したり、編集したりすることができます。

ランドマークについて、次の操作ができます。

- 表示させなくする（非表示にする）（→*P164*）
- 非表示にしたランドマークを再び表示させる（→*P165*）
- 位置を修正する（→*P166*）
- 修正したランドマークの位置を元に戻す（→*P166*）
- 新しく登録する（→*P168*）
- 登録したランドマークの位置を確認する（→*P169*）
- 登録したランドマークを消去する（→*P169*）

ランドマークデータを表示させなくする

ナビゲーション本体が用意しているランドマークを表示させなくする（非表示にする）ことができます（最大200件）。
閉業した施設のランドマークを消したいときなどに、この操作をします。
非表示にしたランドマークは再び表示させることができます。

■ランドマークを非表示にする

1 非表示にしたいランドマークにカーソルを合わせて［実行］を押す



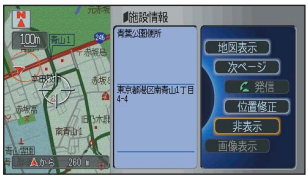
お知らせ

- あらかじめランドマークを表示させておいてください。→「ランドマークを表示する」（P56）

2 ［施設情報］を選んで［実行］を押す



3 ［非表示］を選んで［実行］を押す



▼

選んだランドマークが非表示に設定され、地図画面に戻ります。

■非表示にしたランドマークを再び表示させる

非表示にしたランドマークを再び表示させます。

1 ［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す



3 ［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す



4 ［非表示設定データ］を選んで［実行］を押す



5 ［非表示設定解除］を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ［PCカード］を選ぶと、非表示データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。➔「カードの操作」（P224）

6 ランドマークを再び表示させたい地点のデータを選んで［実行］を押す



7 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す

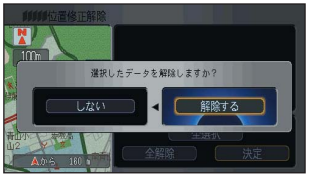


アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには、［全解除］を選んでください。

つづく➔

8 ジョイスティックを右に倒して［解除する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータの非表示が解除され、ランドマークデータのメニューに戻ります。

ランドマークの位置を修正する

ナビゲーション本体が用意しているランドマークの位置を修正することができます（最大200件）。
移転した施設のランドマークの位置を修正したいときなどに、この操作をします。移動したランドマークは元の位置に戻すことができます。

■ランドマークの位置を修正する

1 位置を修正したいランドマークにカーソルを合わせて［実行］を押す

メニューが表示されます。

お知らせ

- あらかじめランドマークを表示させておいてください。→*「ランドマークを表示する」（P56）*

2 ［施設情報］を選んで［実行］を押す

施設情報画面が表示されます。

3 ［位置修正］を選んで［実行］を押す



4 変更したい位置にカーソルを合わせて［実行］を押す



▼

ランドマークの位置が修正され、地図画面に戻ります。

■修正したランドマークの位置を元に戻す

修正したランドマークの位置を元の位置に戻します。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す

付加機能のメニューが表示されます。

2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す

データ編集のメニューが表示されます。

3 ［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す

ランドマークデータのメニューが表示されます。

4 ［位置修正データ］を選んで［実行］を押す



5 ［位置修正解除］を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ［PCカード］を選ぶと、位置修正データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。→「カードの操作」(P224)

6 位置を元に戻したいランドマークを選んで［実行］を押す



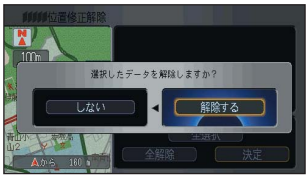
7 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す



アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには、［全解除］を選んでください。

8 ジョイスティックを右に倒して［解除する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータの位置修正が解除され、ランドマークデータのメニューに戻ります。

ランドマークを登録する

ナビゲーション本体が用意しているランドマークとは別に、ランドマークを登録することができます（最大200件）。
新たに開業した施設のランドマークを表示させたいときなどに、この操作をします。登録したランドマークは、［ユーザー登録データ］として扱われます。

■ランドマークを登録する

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**
付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**
データ編集のメニューが表示されます。

3 **［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す**
ランドマークデータのメニューが表示されます。

4 **［ランドマーク新規登録］を選んで［実行］を押す**



5 **場所を探して［実行］を押す**
→*「場所を探す」（P80）*

6 **［ランドマークセット］を選んで［実行］を押す**



7 **分類を選んで［実行］を押す**

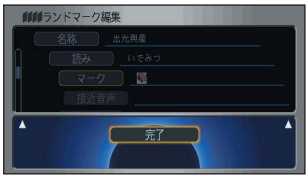


選んだ分類によっては、さらに詳細なランドマークを選ぶことができます。

アドバイス

- 表示されたランドマーク編集画面で［名称］［読み］［マーク］［位置修正］［電話番号］を入力することができます。
  操作手順は、*「よく行く地点を編集する」（→P67）*と同じです。

8 **ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す**



▼

ランドマークが登録され、地図画面に戻ります。

■登録したランドマークを確認する

登録したランドマークを地図画面で確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す**

ランドマークデータのメニューが表示されます。

4 **［ユーザー登録データ］を選んで［実行］を押す**



5 **［確認］を選んで［実行］を押す**



6 **確認したいランドマークを選んで［実行］を押す**



▼



地図画面にランドマークが表示されます。

■登録したランドマークを消去する

登録したランドマークは消去することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［ランドマークデータ］を選んで［実行］を押す**

ランドマークデータのメニューが表示されます。

4 **［ユーザー登録データ］を選んで［実行］を押す**

ユーザー登録データのメニューが表示されます。

5 **［消去データ選択］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［PCカード］を選ぶと、ユーザー登録データをPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。➔*「カードの操作」(P224)*

つづく➔

6 消去したいランドマークを選んで［実行］を押す



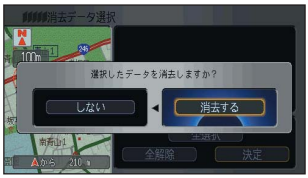
7 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す



アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには、［全解除］を選んでください。

8 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータが消去され、ユーザー登録データのメニューに戻ります。

回避エリアを登録／編集する 標準

新規登録する

工事中の道路や渋滞しがちな道路などの通りたくない場所（回避エリア）を、5か所まで登録しておくことができます。
回避エリアを登録しておくと、これらの場所を通らないようにルートを計算させることができます。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す



3 ［回避エリア］を選んで［実行］を押す



4 ［新規登録］を選んで［実行］を押す



登録できる件数が表示されます。

5 場所を探して［実行］を押す
→「場所を探す」（P80）

6 ジョイスティックを上下左右に倒して場所を、コマンドホイールを左右に回してスケールを合わせ［実行］を押す

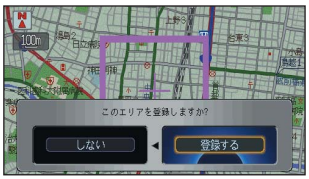


お知らせ

- スケールを変更すると、指定範囲が変化します。
- 指定範囲の中央付近の地名などが、回避エリアの名称として登録されます。

つづく➜

7 ジョイスティックを右に倒して［登録する］を選び、［実行］を押す



▼

回避エリアが登録され、回避エリアのメニューに戻ります。

お知らせ

- 回避エリアは紫色で表示されます。
- 最大で800m四方を回避エリアとして登録できます。
- ルート計算時に他に適切な道路の候補がない場合、回避エリアを通るルートが計算されることがあります。

アドバイス

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。→*「名称を変更する」（P172）*
- 回避エリアの設定は［考慮する］／［考慮しない］を選べます。→*「機能設定」（P153）*

名称を変更する

回避エリアの名称を変更することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［回避エリア］を選んで［実行］を押す**

回避エリアのメニューが表示されます。

4 **［名称変更］を選んで［実行］を押す**



5 **名称を変更したい回避エリアを選んで［実行］を押す**



6 **名称を入力する**

→*「文字入力のしかた」（P39）*

お知らせ

- 名称は全角で20文字（半角で40文字）まで入力できます。

7 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

変更した回避エリアの名称が変更され、回避エリアのリストに戻ります。

確認する

回避エリアを地図画面で確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［回避エリア］を選んで［実行］を押す**

回避エリアのメニューが表示されます。

4 **［確認］を選んで［実行］を押す**



5 **確認したい回避エリアを選んで［実行］を押す**



地図画面に回避エリアが表示されます。

消去する

回避エリアを消去することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［回避エリア］を選んで［実行］を押す**

回避エリアのメニューが表示されます。

4 **［消去データ選択］を選んで［実行］を押す**



5 **消去したい回避エリアを選んで［実行］を押す**



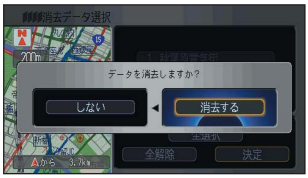
6 **ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す**



アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには、［全解除］を選んでください。

7 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

回避エリアが消去され、回避エリアのメニューに戻ります。

登録道を登録／編集する 標準

新規登録する

通りたい道路を100コースまで登録しておくことができます。（登録道）
登録道は、ルート計算時に組み込むことができます。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す



3 ［登録道］を選んで［実行］を押す



4 ［新規登録］を選んで［実行］を押す



登録できるコース数が表示されます。

5 場所を探して［実行］を押す
→「場所を探す」（P80）

6 登録したい道路にカーソルを合わせて［実行］を押す



［実行］を押した場所が始点となります。

お知らせ

- 選んだ道路が高速道路付近にあるときは、高速道路を指定するかを確認する画面が表示されることがあります。
  ジョイスティックで［しない］または［指定する］を選んで［実行］を押してください。

つづく➜

7 ［登録道始点セット］を選んで［実行］を押す



8 ジョイスティックを操作して通る道を選び、［実行］を押す

残り本数



道路は、交差点で区切られた範囲ごとに、進みたい順にひとつずつ指定していきます。
指定済みの道路は黄色で表示されます。
［実行］を押した場所が終点となります。

ジョイスティックの操作方法

上に倒す	前進する
下に倒す	後退する
右に倒す	交差点で候補の道を選択する
左に倒す	交差点で候補の道を選択する

アドバイス

- 地図のスケールを変更すると、選びやすくなります。→*「地図のスケールを切り換える」(P48)*

9 ジョイスティックを右に倒して［登録する］を選び、［実行］を押す



▼

登録道が登録され、登録道のメニューに戻ります。

お知らせ

- 最初に指定した道路付近の地名が、登録道の名称として登録されます。

お知らせ

- 交差点から交差点までを1本の道路として、一度に300本まで指定できます。ただし、場合によっては、300本まで指定できないことがあります。
- 一方通行の道路は、逆方向の指定はできません。
- 登録道を走行中は、渋滞や交通規制は考慮されません。
- 登録道を指定する画面では200mから10mスケールまで選ぶことができます。また、100m未満のスケールでは市街地図が表示されません。

アドバイス

- 名称は自動的に登録されますが、あとで変更することができます。*→「内容を設定／変更する」(P177)*

内容を設定／変更する

登録道の名称または読みを設定／変更することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能メニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［登録道］を選んで［実行］を押す**

登録道のメニューが表示されます。

4 **［名称変更］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［PCカード］を選んで［実行］を押すと、登録道をPCカードに保存、または読み込み、消去することができます。➔*「カードの操作」（P224）*

5 **名称または読みを変更したい登録道を選んで［実行］を押す**



6 **［名称］または［読み］を選んで［実行］を押す**



7 **名称または読みを入力する**

➔*「文字入力のしかた」（P39）*

お知らせ

- 名称は全角で20文字（半角で40文字）まで、読みは全角20文字まで入力できます。

8 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

変更した登録道の名称または読みが設定／変更され、登録内容の画面に戻ります。

確認する

登録道を地図画面で確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

3 **［登録道］を選んで［実行］を押す**

登録道のメニューが表示されます。

4 **［確認］を選んで［実行］を押す**



5 **確認したい登録道を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ登録道が自動スクロール表示されます。

お知らせ

- 自動スクロールする方向を“始点方向”、“終点方向”に変えることができます。変える場合は、自動スクロール中に［実行］を押して［終点方向］または［始点方向］を選んでください。
- 自動スクロール中に［実行］を押し、メニューから［停止］を選ぶと自動スクロールが停止します。再度自動スクロールする場合は、［終点方向］または［始点方向］を選んでください。

消去する

登録道を消去することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**

データ編集のメニューが表示されます。

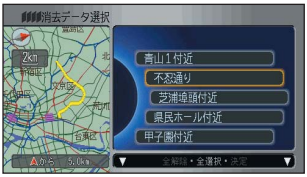
3 **［登録道］を選んで［実行］を押す**

登録道のメニューが表示されます。

4 **［消去データ選択］を選んで［実行］を押す**



5 **消去したい登録道を選んで［実行］を押す**



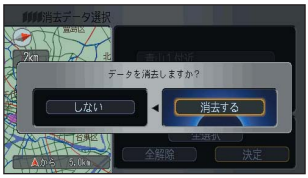
6 **ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す**



アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには、［全解除］を選んでください。

7 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

登録道が消去され、登録道のメニューに戻ります。

ルートの学習内容を消去する 標準

本機はふだん使用する道を学習しており、ルート設定では学習した道を優先的に計算します（[学習ルート計算]が[する]のとき→*P155*）。したがって、他に効率のよい道が見つかっても、ルート設定に反映されないことがあります。このようなときは、ルートの学習内容をいったん消去し、学習し直すことをおすすめします。

1 ［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す



3 ［学習ルートデータ消去］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

学習ルートが消去され、データ編集のメニューに戻ります。

インターナビを使う

インターナビ・プレミアムクラブとは...182
もっと快適に.....182
もっと自由に.....182
もっと安心を.....182

準備.....184
携帯電話を接続する.....184
携帯電話を接続する.....184
携帯電話を外す.....184
インターナビの設定をする.....185
かんたん設定で通信の設定をする.....185
マニュアル設定で通信の設定をする 標準 187
携帯電話の種類を変更する.....191
メール設定 標準 191
ブラウザ設定 標準 192
Myスポット読込み 標準 192
その他の設定.....193

ブラウザを使う.....194
通信開始.....194
ログイン画面が表示されたら.....195
情報画面の見かた.....195
情報画面に表示されるボタンについて ...196
リンクボタン（文字ボタン）.....196
セレクトフォーム.....196
ナビリンクメニュー.....197
データの読み込みを中止する.....198
直前の画面に戻る.....198
前に見た画面を表示する（履歴） 標準 199
履歴の画面を表示するとき.....199
履歴を消去するとき.....199
見たい画面を登録、表示する 標準 ...200
見たい画面を登録するとき.....200
登録されている画面を表示するとき...201
登録されているブックマークの
タイトルを変えたいとき 201
登録されているブックマークを消去するとき.....202
画面を保存する 標準 202
画面を保存するとき 202
保存した画面メモを表示するとき.....203
保存されている画面メモ
を消去するとき.....203
壁紙リストに画像を追加するとき.....204
インターネットのホームページに接続する 標準 204
通信の終了.....205

メールを使う.....206
メール画面を表示する 206
メール画面を表示する 206
受信メールのリストを表示する.....207
受信リストを並べ換える 207
送信メールのリストを表示する 標準 ...208
アドレスリストを表示する 標準 209
メールを作成する 標準 209
宛先をアドレスリストから選ぶとき 211
アドレスを入力するとき 212
現在地を添付するとき 212
目的地を添付するとき 212
マークリストの登録地点を添付するとき 213
地図から選んだ地点を添付するとき 213
メールを送信する／受信する.....213
メールを読む.....214
送信したメールを編集する 標準 215
受信したメールの送信者に返信する 標準 ...216
受信したメールを転送する 標準 217
メールを消去する 217
メールの宛先や差出人を
アドレスリストに登録する.....218
アドレスリストを編集する 標準 218
メールアドレスを入力して登録するとき 218
登録済みのメールアドレスを消去するとき 219
登録済みのメールアドレスを編集するとき 219

読み上げ機能について 標準 220
再度読み上げるには 220

インターナビ・プレミアムクラブとは

簡単 標準

**インターナビ・プレミアムクラブとは、Honda車に乗るオーナーのための新しいサービス・ネットワークです。
もっと快適に、自由に、安心してドライブを楽しんでいただくためのさまざまなサービスをご利用できます。**

■もっと快適に

「より新しく正確な情報を提供し、ストレスなく快適なドライブを実現します」



- 全国どこからでも、最新の交通情報を入手して、目的地までの最短時間ルートを案内します。(→*P136*)
- お好みの条件にあわせた駐車場情報を取得することができます。(→*P143*)

■もっと自由に

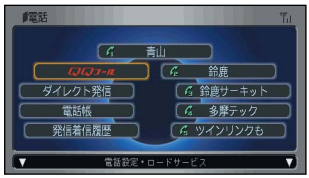
「運転中でも使える、自由にコミュニケーションできる、情報環境を実現します」



- メールやニュースなどの音声呼び出し／読み上げができます。
- 待ち合わせなどに便利な位置情報付きメールを送ることができます。(→*P209*)
- パソコンで検索した最新スポットなどをナビゲーションシステムに取り込むことができます。(→*P192*)

■もっと安心を

「Hondaネットワークによる安心のカーライフサポートをお届けします」



- 総走行距離にもとづき、適切なメンテナンス時期をお知らせします。
- Hondaネットワークによる安心のインターナビ・プレミアムクラブ　カスタマーケア「QQコール」をご利用いただけます（有料サービス）。
  詳しくはHonda販売店にご相談ください。

internavi Premium Club QQコール

お知らせ

- 携帯電話は、PDC方式、またはau（cdmaOne）方式のものを使用してください。ただし、携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。
- 最新の携帯電話や通信カードの対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
- 「cdmaOne」はCDG（CDMA Development Group）の登録商標です。
- NTTドコモの「FOMA／フォーマ」には対応しておりません。
- 「FOMA／フォーマ」はNTTドコモの登録商標です。
- au（cdmaOne）の携帯電話を接続する場合は、別売の専用ケーブルが必要になります。Honda販売店にご相談ください。
- パケット通信に対応したau（cdmaOne）携帯電話をつないだ場合、契約形態によっては携帯電話側で64kbps（高速）のパケット通信、または14.4kbps（標準）通信の両方を切り換えて利用できます。また、CDMA2000 1xも標準/高速を切り換えて利用できます（最大144kbps）。
- au（cdmaOne）方式携帯電話ではパケットによる高速データ通信を利用した場合でも条件によっては64kbps（CDMA2000 1xは144kbps）の通信速度で通信できないことがあります。
- ドコモのパケット接続サービス（DoPa）はご利用になれません。
- 位置情報付きメールは、インターナビ・プレミアムクラブに会員登録されているナビゲーションシステムに送ることができます。

お知らせ

- サービスの内容は変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。
  最新のサービス内容は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。

【お問い合わせ先】
●インターナビ・プレミアムクラブのホームページ
http://premium-club.jp/

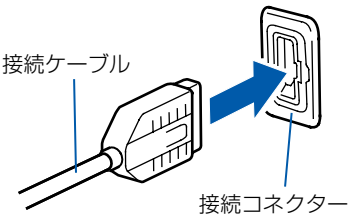
準備

携帯電話を接続する

簡単 標準

■携帯電話を接続する

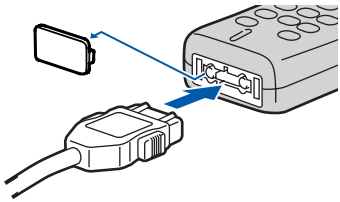
1 **接続コネクターに接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで差し込む**



お知らせ

- 接続コネクターと接続ケーブルの場所については車両本体の取扱説明書をご覧ください。

2 **携帯電話の接続端子カバーを外し、接続ケーブルを「カチッ」と音がするまで差し込む**

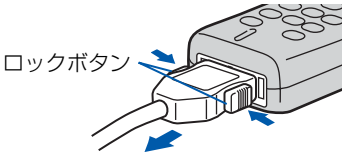


お知らせ

- 携帯電話の種類によって、接続ケーブルの向きが変わります。お使いの携帯電話に合わせて接続してください。
- 携帯電話の接続コネクターからは、携帯電話の電源は供給されていません。
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源が一度OFFになり、その後自動的にONになります。（呼び出し中の場合も一度電源がOFFになります。）
- ナビゲーション本体に携帯電話を接続すると、携帯電話の電源ボタンは働かなくなります。（携帯電話の電源は、エンジンスイッチの位置に連動します。）

■携帯電話を外す

1 **左右のロックボタンを押しながら接続ケーブルを取り外す**



お願い

- 携帯電話の接続コネクターを頻繁に抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- 接続コネクターはエンジンスイッチの位置（“0”または“I”、“II”）に関係なく抜き差しできますが、携帯電話を使用していないときに抜き差ししてください。

インターナビの設定をする

簡単 標準

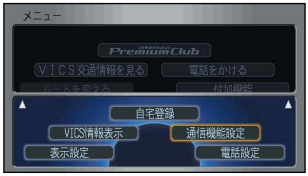
インターナビをご利用になるには、会員登録手続き完了後に発行されるIDナンバーとパスワードを登録するなどの通信機能の設定を行う必要があります。
通信機能の設定方法には、あらかじめ用意されている接続先を選ぶだけで簡単に通信機能の設定を行うことができる「かんたん設定」（→P185）と新たな接続先を追加したり、設定内容を変更するのに便利な「マニュアル設定」（→P187）があります。
また、メールやブラウザの設定もできます。

■かんたん設定で通信の設定をする

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して［通信機能設定］を選び、［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して［通信機能設定］を選び、［実行］を押す



2

簡単

［かんたん通信設定］を選んで［実行］を押す

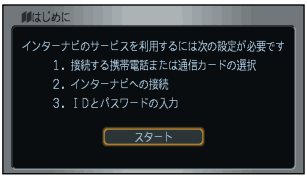


標準

［かんたん通信設定］を選んで［実行］を押す



3 ［スタート］を選んで［実行］を押す



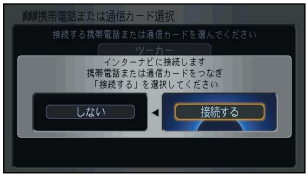
4 接続する携帯電話または通信カードを選んで、［実行］を押す



お知らせ

- ツーカーホン関西でご契約された携帯電話をご利用の場合、「かんたん通信設定」ではインターナビの設定はできません。「マニュアル通信設定でインターナビの設定をしてください。→*「マニュアル設定で通信の設定をする」(P187)*
- お使いの携帯電話または通信カードについては、携帯電話または通信カードの取扱説明書をお読みください。

5 ジョイスティックを左右に倒して［接続する］または［しない］を選び、［実行］を押す



［接続する］	インターナビ情報センターと通信します。→*「通信開始」(P194)*
［しない］	通信機能設定のメニューに戻ります。

お願い

- ［接続する］を選んで［実行］を押す前に携帯電話または通信カードを接続してください。

お知らせ

- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」などの機能を解除してから接続してください。
- ログイン画面が表示されたら、IDとパスワードを入力してください。→*「ログイン画面が表示されたら」(P195)*

■マニュアル設定で通信の設定をする 標準

あらかじめ用意されている接続先を選んだり、さらに接続先を新規に設定や変更することができます。また、追加した接続先を消去したり、設定を初期に戻すこともできます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは操作できません。

接続先を設定をする

あらかじめ用意されている接続先や編集された接続先を設定することができます。

1 **［メニュー］ボタンを押す**

メニューが表示されます。

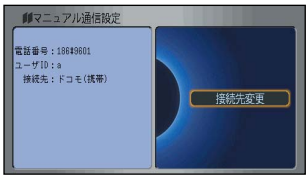
2 **ジョイスティックを下に倒して［通信機能設定］を選び、［実行］を押す**



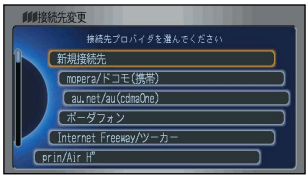
3 **［マニュアル通信設定］を選んで［実行］を押す**



4 **［接続先変更］を選んで［実行］を押す**



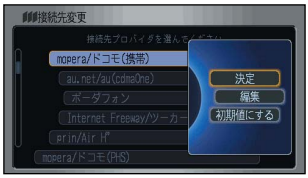
5 **接続先を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 新規に接続先を3か所まで追加することができます。→*「設定内容を編集する」(P188)*
- ツーカーホン関西でご契約された携帯電話をご利用の場合、初期入力されているツーカーの設定ではインターナビを利用できません。［新規接続先］を選んで項目を設定してください。→*「設定内容を編集する」(P188)*

6 **［決定］を選んで［実行］を押す**



▼

接続先が設定され、マニュアル通信設定画面に戻ります。

お知らせ

- ログイン画面が表示されたら、IDとパスワードを入力してください。→*「ログイン画面が表示されたら」(P195)*

設定内容を編集する

あらかじめ用意されている接続先や新規に設定した接続先を編集することができます。

お知らせ

- 新規に接続先を3か所まで追加することができます。

1 **マニュアル通信設定画面を表示する**

→「接続先を設定する」（P187）

2 **［接続先変更］を選んで［実行］を押す**

接続先プロバイダのリストが表示されます。

3 **接続先を選んで［実行］を押す**

接続先名があるときは

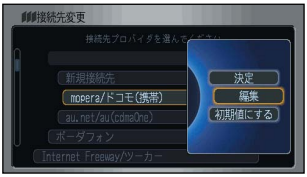
接続先を選んで［実行］を押します。

接続先名がないときは

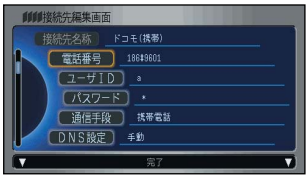
［新規接続先］を選んで［実行］を押します。

手順5に進みます。

4 **［編集］を選んで［実行］を押す**



5 **設定する項目を選んで［実行］を押す**



設定できる項目と設定内容は次のとおりです。

設定項目	設定内容
［接続先名称］	プロバイダの名称
［電話番号］	アクセスポイントの電話番号
［ユーザID］	プロバイダ入会時に発行されたID
［パスワード］	プロバイダ入会時に発行されたパスワード
［通信手段］	携帯電話か通信カードかを選びます（→手順13）
［DNS設定］	自動か手動かを選びます（→手順9）
［DNS1］／［DNS2］	DNS（IPアドレス）（→手順10～12）

6 **名称、数字を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

7 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**

8 **手順5～7を繰り返し必要な項目を設定する**

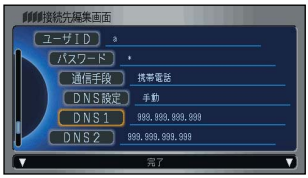
9 DNS設定を手動で行うときは［手動］を選んで［実行］を押す



DNS設定を自動で行うときは

DNS設定の［自動］を選んで［実行］を押し、手順13に進みます。

10 ［DNS1］または［DNS2］を選んで［実行］を押す



11 DNSを入力する

→「文字入力のしかた」（P39）



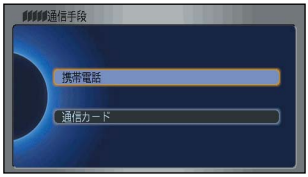
お知らせ

- DNS（IPアドレス）は3桁ずつ入力してください（例えば1なら001、10なら010と、0をつけて入力します）。
- DNS（IPアドレス）は、プロバイダによっては2か所まで設定できます。2か所設定する場合は手順10～12を繰り返してください。
- DNS（IPアドレス）がわからないときは、ご利用になっているプロバイダにご確認ください。

12 ［入力完了］を選んで［実行］を押す

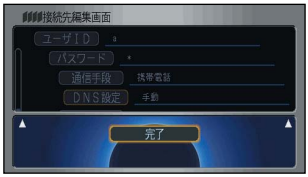


13 通信手段の［携帯電話］または［通信カード］を選んで［実行］を押す



14 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選んで［実行］を押す

マニュアル設定画面に戻ります。



お知らせ

- ログイン画面が表示されたら、IDとパスワードを入力してください。→「ログイン画面が表示されたら」（P195）
- 第三者に車を譲渡する場合は、IDとパスワードを消去しておいてください。→「初期値に戻す」（P190）

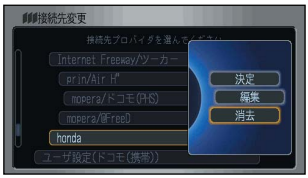
接続先を消去する

お客さまが追加した接続先が不要になったときは、接続先を消去できます。

1 **接続先プロバイダのリスト画面で消去する接続先を選んで［実行］を押す**

→「接続先を設定する」（P187）

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- あらかじめ用意されている接続先を選んだ場合は、［消去］は表示されません。

3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

登録されていた接続先が消去されます。

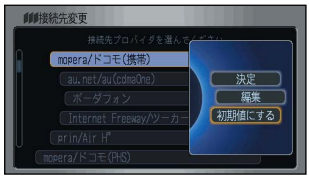
初期値に戻す

編集されたプロバイダの設定を初期の状態に戻すことができます。

1 **接続先プロバイダのリスト画面で初期値にする接続先を選んで［実行］を押す**

→「接続先を設定する」（P187）

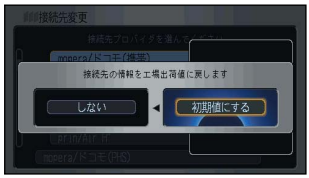
2 **［初期値にする］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- お客さまが追加した接続先を選んだ場合は、［初期値にする］は表示されません。

3 **ジョイスティックを右に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押す**



▼

接続先が初期状態に戻ります。

■携帯電話の種類を変更する

最初に登録したIDナンバーとパスワードを変更せずに、接続先だけを設定し直すことができます。プロバイダの異なる携帯電話や通信カードでインターナビをご利用になるとき便利です。「かんたん設定」（→P185）または「マニュアル設定」（→P187）にて接続先を変更してください。

■メール設定 標準

メールの署名に関する設定ができます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは操作できません。

署名を編集する

1 **［メニュー］ボタン → ［Internavi PremiumClub］を選んで［実行］を押す**



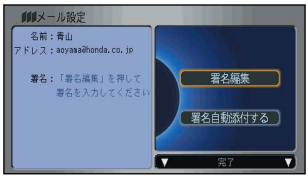
2 **［設定］を選んで［実行］を押す**



3 **［メール設定］を選んで［実行］を押す**



4 **［署名編集］を選んで［実行］を押す**



5 **署名を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

6 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

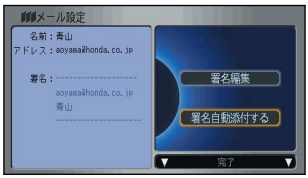
編集した署名が設定されます。

署名の自動添付を設定する

1 **メール設定画面で「署名自動添付する」または「署名自動添付しない」を選んで［実行］を押す**

［署名自動添付する］と［署名自動添付しない］は［実行］を押すごとに設定と表示が入れ換わります。

→「署名を編集する」（P191）



機能の設定状態	メニュー表示
署名を自動で添付に設定しているとき	［署名自動添付しない］
署名を添付しないに設定しているとき	［署名自動添付する］

つづく→

2 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す



▼

署名の自動添付が設定されます。

■ブラウザ設定 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは操作できません。

1 インターナビの設定画面で［ブラウザ設定］を選んで［実行］を押す



2 設定する項目を選んで［実行］を押す



［実行］を押すと設定内容を選択する画面が表示されます。
設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
［文字コード］	［自動判別］、［JIS］、［SJIS］、［EUC］
［画像表示］	［する］、［しない］

お知らせ

- 文字コードは通常［自動判別］ボタンを選んでください。表示したホームページや情報画面が文字化けを起こしているときは、［JIS］、［SJIS］、［EUC］を選んでください。（それでも正しく表示できないことがあります。）

3 設定を選んで［実行］を押す

設定が変更されます。

4 手順2～3を繰り返し、必要な項目を設定する

お知らせ

- 設定を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押してください。

■Myスポット読込み 標準

お客様がインターナビで登録していたMyスポットを、パソコンよりPCカード経由でナビゲーション本体に読み込みます。

お知らせ

- 簡単操作モードでは操作できません。

1 インターナビの設定画面で［Myスポット読込み］を選んで［実行］を押す



▼

すべてのデータが読み込まれます。

お願い

- 読み込み中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

■その他の設定

車のメンテナンス状態をお知らせするカーカルテメッセージを、表示するかどうかが設定できます。

1 **インターナビの設定画面で［その他設定］を選んで［実行］を押す**



2 **［カーカルテメッセージ表示］を選んで［実行］を押す**



3 **［する］または［しない］を選んで［実行］を押す**



▼

カーカルテメッセージの表示、非表示が設定されます。

ブラウザを使う

インターナビのブラウザ機能を使うと、インターナビ情報を閲覧することができます。

通信開始 簡単 標準

ブラウザ機能をご使用になるには、インターナビ情報センターと通信する必要があります。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［Internavi PremiumClub］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［Internavi PremiumClub］を選んで［実行］を押す



2

［トップメニュー］を選んで［実行］を押す



インターナビのトップメニュー画面が表示されます。

お知らせ

- 提供されるインターナビの情報は、最新のものでない場合もあります。
- 電波状態や通話状態が悪いと接続されないことがあります。
- 情報センターのメンテナンスなどにより、接続されないことがあります。
- 標準操作モードでは、エンジンスイッチを“I”または“II”にしてインターナビ情報センターと通信を始めると、初回接続時のみ自動的に新着メールの確認が行われます。新着メールがある場合は「メールが着信しました」と表示され、タイトルバーに（新着メールアイコン）が表示されます。ジョイスティックを右に倒してから［メール］を選んで［実行］を押すとメールを受信できます。

ログイン画面が表示されたら

簡単 標準

インターナビをご利用になるには、会員登録手続き完了後に発行されるIDナンバーとパスワードを認証する必要があります。

1 **IDまたはパスワードの入力欄を選んで［実行］を押す**



2 **IDまたはパスワードを入力する**
→「文字入力のしかた」（P39）

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び［実行］を押す**

4 **手順1～3を繰り返しIDとパスワードを入力する**

5 **［ログイン］を選んで、［実行］を押す**



インターナビのトップメニューが表示されます。

お知らせ

- IDナンバーとパスワード認証を最初に済ませておけば、以降設定する必要はありません。
- 通信機能の設定を行わないと、インターナビのサービスや、他の通信機能を利用したサービスは利用できません。
- IDは、お客さまを認識するために割り当てられた番号です。会員番号とお考えください。
- パスワードは、お客さまが本人であることを確認するためのものです。
- ID、パスワードは、他人に漏れないようにして大切に保管してください。

6 **通信を終了する**
→「通信の終了」（P205）

情報画面の見かた

簡単 標準

インターナビのトップメニューから、いろいろな情報を見ることができます。



インターナビのトップメニュー画面から見たい情報を選んでください。

お知らせ

- サービスの変更などにより、トップメニューの内容が変更される場合がありますのでご了承ください。
- 接続中に3分間（パケット通信をご利用の場合は10分間）、操作やデータのやりとりが行われなかった場合は、自動的に接続が切れます。
- 情報を見ているときに、［現在地］、［メニュー］、［目的地］などのボタンを押すと、通信を終了することができます。
- インターナビへの接続時間は、電話の受信状態や回線の混み具合によって異なります。
- 表示できる画像データは、JPEG形式、GIF形式、PNG形式、およびBMP形式ですが、条件によっては表示できないことがあります。また、プラグインなどの利用を前提としたウェブページやフレームを使用しているウェブページは表示できません。
- ウェブページの運用・内容・情報の更新頻度などは、それぞれのウェブページの主催者によって異なります。情報提供の中断、URLの変更などは、各ウェブページの主催者にお問い合わせください。
- 通信後、電話が切れたこと（回線の切断）を必ず確認してください。電話が切れていないと、その間の通話料などが課金されます。（パケット通信に対応したau（cdmaOne）携帯電話はパケット代で課金）
- インターナビ情報センターから提供するサービスについては、インターナビ・プレミアムクラブのホームページを参照してください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/

情報画面に表示されるボタンについて 簡単 標準

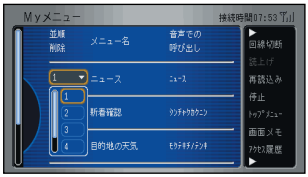
情報画面に表示されるボタンの操作にはいくつかあります。

■リンクボタン（文字ボタン）



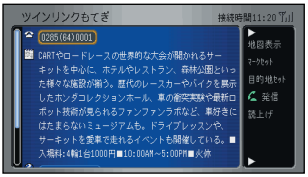
- リンクボタンは、枠で囲まれています。選ばれるとオレンジ色に変わります。
- コマンドホイールで選んで［実行］を押すと、その画面に切り換わります。

■セレクトフォーム

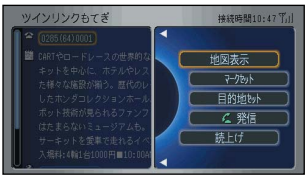


- ［実行］を押すと、複数の項目がポップアップで表示されます。コマンドホイールで項目を選んで［実行］を押すとその項目が選ばれ、ポップアップが閉じます。
- オレンジ色の枠で囲まれているものが選ばれていることを意味します。

■ナビリンクメニュー



- ジョイスティックを右に倒すことで選べます。
  元の画像に戻すには、ジョイスティックを左に倒します。



- ナビリンクメニューには、次の5種類があります。

[地図表示]
情報画面に表示されている施設の位置を地図上に表示します。
情報画面に戻るには、［戻る］ボタンを押します。

[マークセット]
情報画面に表示されている施設情報がナビゲーションシステムのマークリストに登録されます。

[目的地セット]
通信を終了して、情報画面に表示されている施設をマークリストに登録し、目的地として設定します。地図画面に戻って誘導をはじめます。

[発信]
通信を終了して、情報画面に表示されている施設に電話をかけます。

[読上げ]
情報画面の内容を音声で読み上げます。
→*「読み上げ機能について」（P220）*

お知らせ

- 位置情報を表示する画面のときは、ナビゲーションの機能と連動するメニューに変わります。
- ［目的地セット］または［ルートセット］を選んで［実行］を押すと、マークリストに施設情報が登録されます。
  マークリストについては、*「マークを登録／編集する」（→P74）*を参照してください。
- ［マークセット］は簡単操作モードでは表示されません。

データの読み込みを中止する

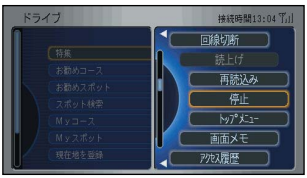
簡単 標準

大きな画像などの読み込みを行うと、時間がかかる場合があります。そのような場合には、データの読み込みを中止することができます。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。→*「通信開始」(P194)*

1 **見たいホームページや情報画面を表示する（データの読み込み）途中でジョイスティックを右に倒す**

2 **［停止］を選んで［実行］を押す**



▼

読み込まれたデータのみが表示されます。

お知らせ

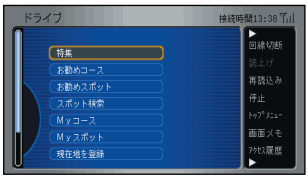
- 再度、読み込みを行う場合は、［再読込み］を選んで［実行］を押します。（標準操作モードのみ）
- データの読み込みを中止すると画像がアイコンで表示されたり、途中までで切れて表示される場合があります。

直前の画面に戻る

簡単 標準

直前に見ていた画面に戻ることができます。

1 **［戻る］ボタンを押す**



▼



直前のページが表示されます。

お知らせ

- 再度、戻る前の画面が見たいときは、アクセス履歴（→*P199*）を利用して戻ります。

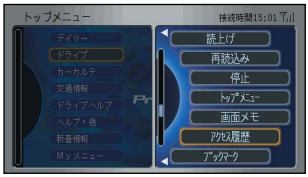
前に見た画面を表示する（履歴） 標準

ブラウザで表示した画面は最大20件、履歴に保存されます。履歴を選んでもう一度、同じ画面を表示することができます。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。→「通信開始」（P194）

■履歴の画面を表示するとき

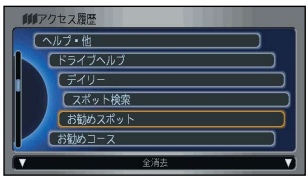
1 **ジョイスティックを右に倒して［アクセス履歴］を選び、［実行］を押す**



お知らせ

- 履歴がない場合は、［アクセス履歴］を選べません。

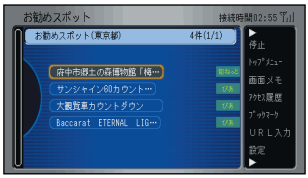
2 **表示する履歴を選んで［実行］を押す**



3 **［表示］を選んで［実行］を押す**



▼

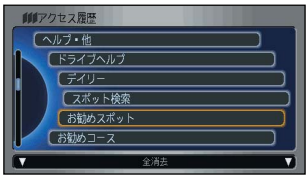


選んだ履歴のホームページや情報画面が表示されます。

■履歴を消去するとき

1 **アクセス履歴のリスト画面を表示する**

→「履歴の画面を表示するとき」（P199）



2 **消去する履歴を選んで［実行］を押す**

アクセス履歴のメニューが表示されます。

アドバイス

- 全履歴を一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

つづく→

3 ［消去］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだ履歴が消去されます。

見たい画面を登録、表示する

標準

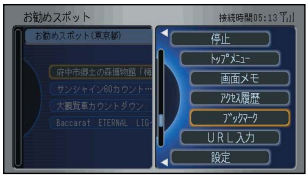
お好みのホームページや繰り返し見たい情報画面などは、ブックマークに登録することにより簡単な操作で表示させることができます。また、登録したブックマークを消去したりタイトルを変更することもできます。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。
→「通信開始」（P194）

■見たい画面を登録するとき

1 ブックマークに登録したいホームページや情報画面を表示する
→「情報画面の見かた」（P195）

2 ジョイスティックを右に倒して［ブックマーク］を選び、［実行］を押す



3 ［ブックマークを登録する］を選んで［実行］を押す



▼

選んだ画面がブックマークに登録されます。

お知らせ

- 登録は最大40件まで行えます。

■登録されている画面を表示するとき

1 **ジョイスティックを右に倒して［ブックマーク］を選び、［実行］を押す**

ブックマークのメニューが表示されます。

2 **［ブックマークを見る］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- ブックマークが登録されていない場合は、［ブックマークを見る］を選べません。

3 **見たいブックマークを選んで［実行］を押す**



4 **［表示］を選んで［実行］を押す**

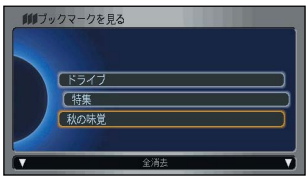


選んだホームページや情報画面が表示されます。

■登録されているブックマークのタイトルを変えたいとき

1 **ブックマークのリストを表示する**

→*「登録されている画面を表示するとき」（P201）*



2 **タイトルを変えるブックマークを選んで［実行］を押す**

ブックマークの編集メニューが表示されます。

3 **［タイトル編集］を選んで［実行］を押す**



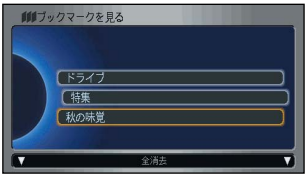
つづく→

4 **タイトルを入力する**
→「文字入力のしかた」(P39)

5 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**
ブックマークのタイトルが変更され、ブックマークのリストに戻ります。

■登録されているブックマークを消去するとき

1 **ブックマークのリストを表示する**
→「登録されている画面を表示するとき」(P201)



2 **消去するブックマークを選んで［実行］を押す**
ブックマークの編集メニューが表示されます。

アドバイス
- 全ブックマークを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

3 **［消去］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

選んだブックマークが消去されます。

画面を保存する 標準

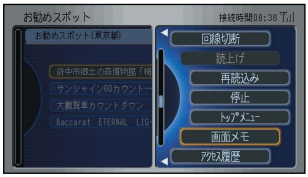
お好みのホームページなどを画面メモとして保存することができます。保存した画面メモは通信を行わずに後で見ることができます。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。→「通信開始」(P194)

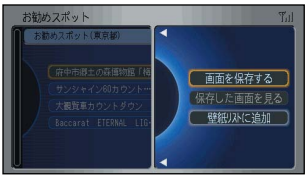
■画面を保存するとき

1 **画面メモに登録するホームページなどを表示する**
→「情報画面の見かた」(P195)

2 **ジョイスティックを右に倒して［画面メモ］を選び、［実行］を押す**



3 **［画面を保存する］を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ画面が保存されます。

お知らせ

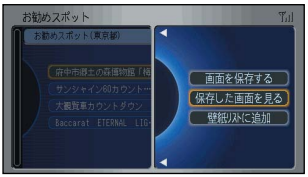
- 登録は1件の容量が最大20KB、最大10件まで行えます。

■保存した画面メモを表示するとき

1 **ジョイスティックを右に倒して［画面メモ］を選び、［実行］を押す**

画面メモのメニューが表示されます。

2 **［保存した画面を見る］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 画面メモが保存されていない場合は、［保存した画面を見る］を選べません。

3 **見たい画面メモを選んで［実行］を押す**



4 **［表示］を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ画面メモが表示されます。

■保存されている画面メモを消去するとき

1 **画面メモのリストを表示する**

→*「保存した画面メモを表示するとき」(P203)*



2 **消去する画面メモを選んで［実行］を押す**

画面メモのメニューが表示されます。

アドバイス

- 全画面メモを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

つづく→

3 ［消去］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだ画面メモが消去されます。

■壁紙リストに画像を追加するとき

1 壁紙リストに登録する画像のあるホームページなどを表示する

→「情報画面の見かた」（P195）

2 ジョイスティックを右に倒して［画面メモ］を選び、［実行］を押す

画面メモのメニューが表示されます。

3 ［壁紙リストに追加］を選んで［実行］を押す

4 壁紙リストに追加する画像を選んで［実行］を押す

選んだ画像が壁紙リストに登録されます。

お知らせ

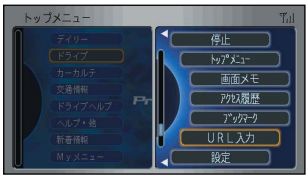
- 壁紙リストに追加すると、壁紙として選ぶことができます。→「壁紙の設定をする」（P160）

インターネットのホームページに接続する 標準

インターネットのホームページにアドレス（URL）を入力して接続することができます。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。→「通信開始」（P194）

1 ジョイスティックを右に倒して［URL入力］を選び、［実行］を押す



2 アドレスを入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

入力したホームページが表示されます。

お知らせ

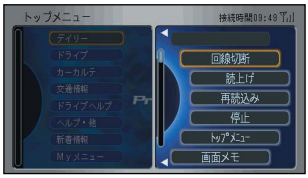
- インターナビの情報以外のホームページは動作・表示の保証はできません。
- ホームページの種類によっては、画面表示ができない場合や、画面の一部が表示されない場合があります。
- プラグインやフレーム機能を使用したホームページは正常に表示されません。
- インターネット上での入力や送信操作は、その情報が第三者に渡る可能性があります。

通信の終了 簡単 標準

インターナビやホームページとの通信を終了します。

インターナビ接続中に以下の手順を行います。→*「通信開始」(P194)*

1 **ジョイスティックを右に倒して［回線切断］を選び、［実行］を押す**



2 **ジョイスティックを右に倒して［切断する］を選び、［実行］を押す**



▼

表示はそのままで通信が終了します。

お知らせ

- ［現在地］ボタンや［目的地］ボタンなどでも接続を中止して、ナビゲーション画面に戻ることができます。

メールを使う

お知らせ

- メールを使う前に「*インターナビの設定をする*」（→*P185*）で通信機能の設定を行ってください。設定を行わないとメール機能はご利用になれません。
- シークレットモードを［ON］にしていると、メールの操作はできません。→「*シークレットモードを使う*」（*P262*）
- 簡単操作モードでは受信したメールを読むことだけができます。その他のメール機能をご利用になる場合は、標準操作モードに切り換えてください。

メール画面を表示する

簡単 標準

メールを使う時はメール画面を表示します。
簡単操作モードでは受信操作のみ行うことができます。

■メール画面を表示する

メール操作をするには次の手順で画面を表示させます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［Internavi PremiumClub］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［Internavi PremiumClub］を選んで［実行］を押す



2

［メール］を選んで［実行］を押す



▼

メール画面が表示されます。

■受信メールのリストを表示する

1

簡単

メール画面で「受信リスト」を選んで［実行］を押す

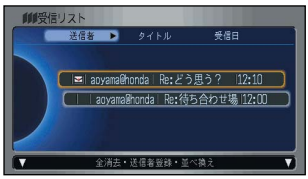


標準

メール画面で「受信リスト」を選んで［実行］を押す



▼



受信リストが表示されます。

	未読メール
	画像付きメール
	位置情報付きメール
	画像と位置情報付きメール
表示なし	既読メール

お知らせ

- 受信メールがない場合は選べません。
- 受信リストに保存できるメールは最大200件です。200件を超えると既読メールの古い順、次に未読メールの古い順に自動的に消去されます。→*「メールを消去する」(P217)*
- 受信できるメールの文字数は、最大で全角1000文字です。
- 次のファイルをそれぞれ1点、添付ファイルとして受信できます。

種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX	10KB以下
画像ファイル	JPEG GIF PNG BMP	1件あたり50KB以下

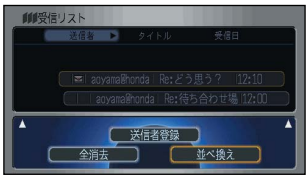
■受信リストを並べ換える

受信リストは選んだ項目の順番に並べ換えることができます。

1

受信リストが表示されている状態でジョイスティックを下に倒して［並べ換え］を選び、［実行］を押す

→*「受信メールのリストを表示する」(P207)*



アドバイス

- リストが表示されている状態でジョイスティックを左右に倒すと、「送信者」「タイトル」「受信日」で並べ換えの変更ができます。

2 ［項目］を選んで［実行］を押す



3 並べ換える項目を選んで［実行］を押す



4 ［順番］を選んで［実行］を押す

5 ［昇順］または［降順］を選んで［実行］を押す



▼

受信リストが並び換わります。

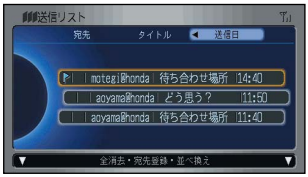
■送信メールのリストを表示する

1 メール画面で［送信リスト］を選んで［実行］を押す

→「メール画面を表示する」（P206）



▼



送信リストが表示されます。

	位置情報付きメール
	保存したメール
	送信予約したメール
表示なし	送信済のメール

お知らせ

- 送信リストに保存できるメールは最大200件です。200件を超えると送信日時の古い順に自動的に消去されます。また、未送信メールが200件ある場合は、メールを作成することができません。メールを消去してください。→「メールを消去する」（P217）
- 送信できるメールの文字数は、最大で全角1000文字です（返信、転送は本文1200文字）。
- 次のファイルを1点のみ、添付ファイルとして送信できます。

種類	ファイル形式	ファイル容量
位置情報ファイル	POIX	4KB以下

アドバイス

- 送信リストは選んだ項目の順番に並べ換えることができます。→*「受信リストを並べ換える」(P207)*

■アドレスリストを表示する

1 **メール画面で［アドレスリスト］を選んで［実行］を押す**

→*「メール画面を表示する」(P206)*



アドレスリストが表示されます。

アドバイス

- アドレスリストは選んだ項目の順番に並べ換えることができます。→*「受信リストを並べ換える」(P207)*

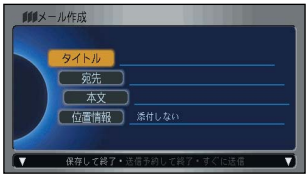
メールを作成する 標準

1 **メール画面で［メール作成］を選んで［実行］を押す**

→*「メール画面を表示する」(P206)*



2 **［タイトル］を選んで［実行］を押す**

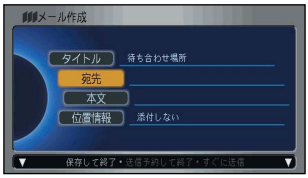


3 **タイトルを入力する**

→*「文字入力のしかた」(P39)*

4 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

5 **［宛先］を選んで［実行］を押す**

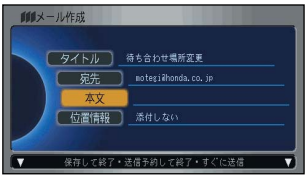


6 **宛先を入力する**

- 宛先をアドレスリストから選択するとき→*「宛先をアドレスリストから選ぶとき」(P211)*
- アドレスリストに宛先が登録されていないとき→*「アドレスを入力するとき」(P212)*

つづく→

7 ［本文］を選んで［実行］を押す



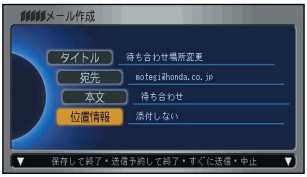
8 本文を入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

9 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す

- 位置情報を添付するときは、手順10に進みます。
- 位置情報を添付しないときは、手順12に進みます。

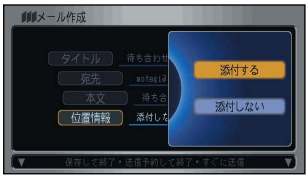
10 ［位置情報］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブに会員登録されているナビゲーションシステムに位置情報を送ることができます。送受信した位置情報を地図上で確認したり、目的地などに設定することができます。
- 位置情報はPOIX形式で添付されます。

11 ［添付する］を選んで［実行］を押す

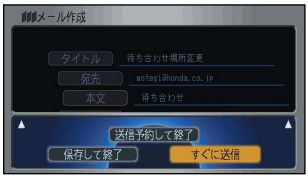


- マークリストの登録地点を添付するとき→「マークリストの登録地点を添付するとき」（P213）
- 地図から選んだ地点を添付するとき→「地図から選んだ地点を添付するとき」（P213）
- 現在地を添付するとき→「現在地を添付するとき」（P212）
- 目的地を添付するとき→「目的地を添付するとき」（P212）

お知らせ

- 位置情報の添付をしない、または添付をやめる場合は、［添付しない］を選んでください。

12 ジョイスティックを下に倒して次の動作を選び、［実行］を押す



- ［送信予約して終了］
  送信を予約して終了します。
  →「メールを送信する／受信する」（P213）
- ［保存して終了］
  作成中のメールが送信メールリストに保存されます。後で編集して送信することができます。→「送信したメールを編集する」（P215）
- ［すぐに送信］
  作成したメールを送信します。
- ［中止］
  メール作成を中止します。

お知らせ

- ［中止］は新規メール作成時には表示されません。

■宛先をアドレスリストから選ぶとき

1 **宛先一覧で［追加］を選んで［実行］を押す**

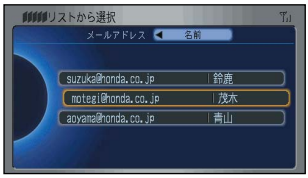
→「メールを作成する」の手順6 (P209)



2 **［リストから選択］を選んで［実行］を押す**



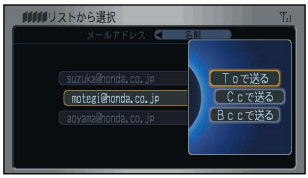
3 **宛先にするアドレスを選んで［実行］を押す**



アドバイス

- リストが表示されている状態でジョイスティックを左右に倒すと、「メールアドレス」「名前」で並べ換えの変更ができます。

4 **［Toで送る］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- Toは必ずメール1件に1人以上設定してください。Toが設定されていない場合は、［保存して終了］のみの終了となります。
- CcまたはBccで送りたいときは［Ccで送る］または［Bccで送る］を選んで［実行］を押します。
- CcやBccはメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。
  Ccはメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bccはわかりません。

5 **手順1～4を繰り返して、送りたい相手を選ぶ**

6 **ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す**



▼

メール作成画面に戻ります。

■アドレスを入力するとき

1 宛先一覧で［追加］を選んで［実行］を押す

→「メールを作成する」の手順6（P209）

2 ［キーボードで入力］を選んで［実行］を押す



3 アドレスを入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

4 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す

5 ［Toで送る］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- Toは必ずメール1件に1人以上設定してください。Toが設定されていない場合は、［保存して終了］のみの終了となります。
- CcまたはBccで送りたいときは「Ccで送る」または「Bccで送る」を選んで［実行］を押します。
- CcやBccはメールを同報するときに使います。「参考までに」といった意味があります。
  Ccはメールの受信者に他の誰宛に同報されているかわかるのに対し、Bccはわかりません。

6 手順1～4を繰り返して、送りたい相手のアドレスを入力する

7 ジョイスティックを下に倒して「完了」を選び、［実行］を押す



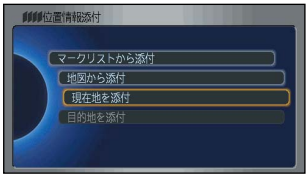
▼

メール作成画面に戻ります。

■現在地を添付するとき

1 位置情報添付画面で、［現在地を添付］を選んで［実行］を押す

→「メールを作成する」の手順11（P210）



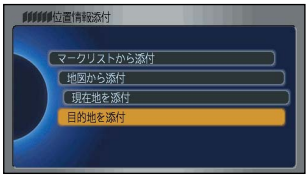
▼

メール作成画面に戻ります。

■目的地を添付するとき

1 位置情報添付画面で、［目的地を添付］を選んで［実行］を押す

→「メールを作成する」の手順11（P210）



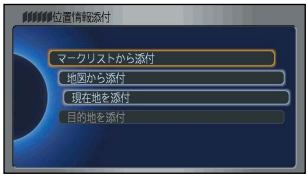
▼

メール作成画面に戻ります。

■マークリストの登録地点を添付するとき

1 **位置情報添付画面で、［マークリストから添付］を選んで［実行］を押す**

→「メールを作成する」の手順11（P210）



2 **マークを選んで［実行］を押す**



▼

メール作成画面に戻ります。

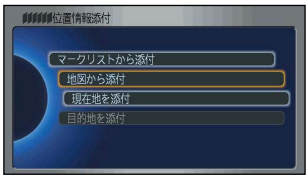
アドバイス

- ジョイスティックを下に倒すと、リストの表示を登録順とマーク順で切り換えることができます。
- マーク順の場合、ジョイスティックを左右に倒して、マークごとに切り換えることができます。

■地図から選んだ地点を添付するとき

1 **位置情報添付画面で、［地図から添付］を選んで［実行］を押す**

→「メールを作成する」の手順11（P210）



2 **ジョイスティックで添付する地点を選び、［実行］を押す**



▼

メール作成画面に戻ります。

メールを送信する／受信する

簡単 標準

送信予約したメールを送信したり、メールを受信します。

お知らせ

- 簡単操作モードではメールの送信はできません。

つづく→

1

簡単

メール画面で［受信］を選んで［実行］を押す

→「メール画面を表示する」の手順2（P206）



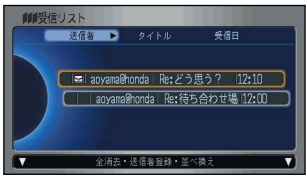
標準

メール画面で［メール送受信］を選んで［実行］を押す

→「メール画面を表示する」の手順2（P206）



▼



メールが送受信され、受信リストが表示されます。

お知らせ

- 電波状態が悪いと接続されないことがあります。
- 情報センターのメンテナンスなどにより、接続されないことがあります。

メールを読む 簡単 標準

受信したメールや送信したメールの内容を確認します。

お知らせ

- 簡単操作モードでは送信したメールを読むことはできません。

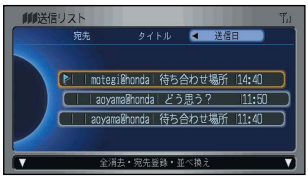
1

メール画面で［受信リスト］または［送信リスト］を選んで［実行］を押す

→「メール画面を表示する」の手順2（P206）

2

表示するメールを選んで［実行］を押す



3

［表示］を選んで［実行］を押す

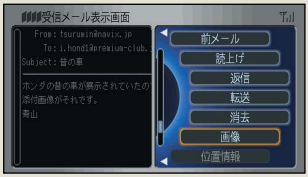


▼

メールが表示されます。

アドバイス

- メール表示中にジョイスティックを右に倒すと、次の操作ができます。



  - [次メール] ／ [前メール]
    前後のメールを表示します。
  - [読上げ]
    表示中のメールを読み上げます。
    →「読み上げ機能について」(P220)
  - [返信]
    表示中のメールへ返信します。
    →「受信したメールの送信者に返信する」(P216)
  - [転送]
    表示中のメールを転送します。
    →「受信したメールを転送する」(P217)
  - [消去]
    表示中のメールを消去します。
    →「メールを消去する」(P217)
  - [画像]
    添付された画像を表示します。
    [画像保存] を選んで [実行] を押すと画像リストに追加されます。
  - [位置情報]
    位置情報を地図表示します。
- メール本文中にURLアドレス、メールアドレス、電話番号があるときは、その情報からホームページを表示したり、メールを作成したり（標準操作モードのみ）、電話をかけたりすることができます。コマンドホイールで情報を選び、[実行] を押してください。

送信したメールを編集する

標準

宛先を変えて送り直したり、作成途中で保存したメールを編集することができます。

1 **メール画面で［送信リスト］を選んで［実行］を押す**

→「メール画面を表示する」の手順2 (P206)

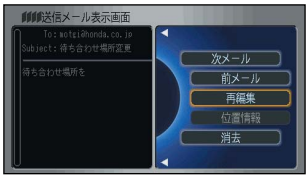
2 **編集するメールを選んで［実行］を押す**

リストのメニューが表示されます。

3 **［表示］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを右に倒して［再編集］を選び、［実行］を押す**



▼

メール作成画面が表示されます。
以降の操作は「メールを作成する」の手順2以降をご覧ください。
(→P209)

つづく→

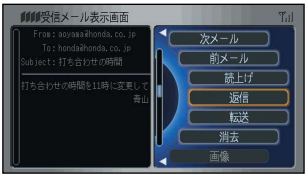
アドバイス

- メール表示中にジョイスティックを右に倒すと、次の操作ができます。
  - ［次メール］／前メール］
    前後のメールを表示します。
  - ［位置情報］
    位置情報を表示します。
  - ［消去］
    表示中のメールを消去します。
    →「メールを消去する」(P217)

受信したメールの送信者に返信する 標準

1 **返信するメールを表示する**
→「メールを読む」(P214)

2 **ジョイスティックを右に倒して［返信］を選び、［実行］を押す**



3 **設定する項目を選んで［実行］を押す**



設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
［返信先］	［送信者のみ］、［全員］
［本文を引用］	［する］、［しない］

お知らせ

- 宛先を追加する場合は、手順6以降のメール作成画面にて新規でメール作成する場合と同じ操作で追加します。

4 **設定を選んで［実行］を押す**
設定が変更されます。

5 **手順3～4を繰り返し、必要な項目を設定する**

6 **ジョイスティックを下に倒して［返信メール作成］を選び、［実行］を押す**



▼

メール作成画面が表示されます。
以降の操作は「メールを作成する」の手順3以降をご覧ください。
(→P209)

お知らせ

- タイトルには元のメールのタイトルの頭に“RE:”が付加されたものが入ります。
- 本文を引用する場合は、引用する本文の行頭に“>”が自動的に付きます。

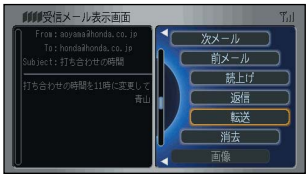
受信したメールを転送する

標準

1 **転送するメールを表示する**

→「メールを読む」(P214)

2 **ジョイスティックを右に倒して［転送］を選び、［実行］を押す**



▼

メール作成画面が表示されます。
以降の操作は「メールを作成する」の手順3以降をご覧ください。
(→P209)

お知らせ

- タイトルには元のメールのタイトルの頭に“FW:”が付加されたものが入ります。

メールを消去する

簡単 標準

お知らせ

- 簡単操作モードでは送信メールの消去はできません。

1 **メール画面で［受信リスト］または［送信リスト］を選んで［実行］を押す**

→「メール画面を表示する」(P206)

2 **消去するメールを選んで［実行］を押す**

リストのメニューが表示されます。

アドバイス

- リストのメールを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

3 **［消去］を選んで［実行］を押す**



4 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

選んだメールが消去されます。

アドバイス

- メール表示中にジョイスティックを右に倒し、［消去］を選んで消去することもできます。

メールの宛先や差出人をアドレスリストに登録する

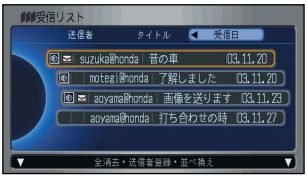
簡単 標準

お知らせ

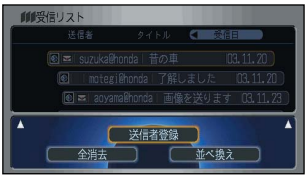
- 簡単操作モードでは［宛先登録］はできません。

1 アドレスリストに登録するメールを表示する

→「メールを読む」（P214）



2 ジョイスティックを下に倒して［送信者登録］または［宛先登録］を選び、［実行］を押す



3 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す



お知らせ

- 名前やメールアドレスは編集できます。［名前］や［メールアドレス］を選んで［実行］を押すと文字入力画面が表示されます。→「アドレスリストを編集する」（P218）
- アドレスリストに登録できるアドレスは最大100件です。

アドレスリストを編集する

標準

頻繁にメールを送る相手のアドレスはアドレスリストに登録しておくと、メール作成時に宛先の入力が簡単にできます。

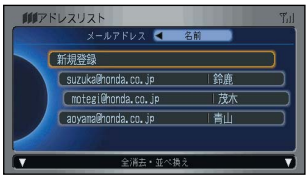
■メールアドレスを入力して登録するとき

名前とメールアドレスを入力し、登録できます。

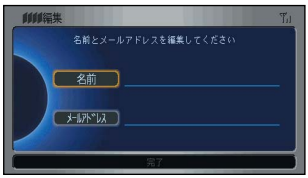
1 アドレスリストを表示する

→「アドレスリストを表示する」（P209）

2 ［新規登録］を選んで［実行］を押す



3 項目を選んで［実行］を押す

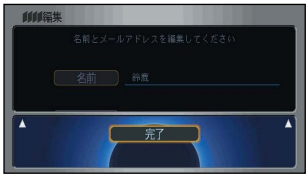


4 名前、またはメールアドレスを入力する
→「文字入力のしかた」(P39)

5 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す

6 手順3～5を繰り返し、必要な項目を設定する

7 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す



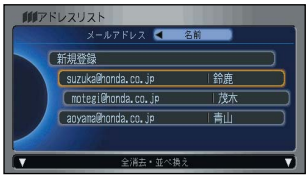
▼

メールアドレスが登録され、アドレスリスト画面に戻ります。

■登録済みのメールアドレスを消去するとき

1 アドレスリストを表示する
→「アドレスリストを表示する」(P209)

2 消去するアドレスを選んで［実行］を押す



アドバイス

- アドレスリストのメールアドレスを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

3 ［消去］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだメールアドレスが消去され、アドレスリスト画面に戻ります。

■登録済みのメールアドレスを編集するとき

1 アドレスリストを表示する
→「アドレスリストを表示する」(P209)

2 編集するアドレスを選んで［実行］を押す
アドレスリストのメニューが表示されます。

3 ［編集］を選んで［実行］を押す

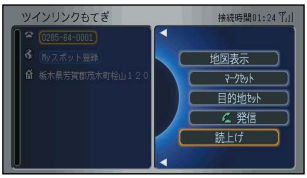


以降の操作は「メールアドレスを入力して登録するとき」の手順3以降をご覧ください。(→P218)

読み上げ機能について 簡単 標準

受信したメールや読み上げ機能に対応したホームページの内容を読み上げることができます。

1 ジョイスティックを右に倒して［読上げ］を選び、［実行］を押す



▼



読み上げ画面が表示され、自動的に読み上げが開始します。

お知らせ

- ［停止］を選んで［実行］を押すと読み上げを終了します。再度読み上げる場合は、［再生］を選んで［実行］を押します。
- ［前ページ］、［次ページ］を選んで［実行］を押して読み上げる内容を選びます。
- ［音量調節］を選んで［実行］を押すと音量を調節できます。
- カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）の［internavi読上げ］を選ぶと、再読み上げを行えます。

■再度読み上げるには

直前に読み上げられていた内容を再度読み上げることができます。

1 カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示させる

→*「ポイントメニュー、カスタマイズメニュー（ワンプッシュメニュー）を表示する」（P27）*

2 ［internavi読上げ］を選び［実行］を押す



再度、読み上げ画面が表示され、直前に読み上げられていた内容を読み上げることができます。

お知らせ

- 読み上げた内容がないと、［internavi読上げ］は選べません。
- 読み上げた内容は、エンジンスイッチを“0”にするまで消えません。
- 読み上げを開始しないときもあります。

カードを使う 標準

カードを接続する.....222
MP3ファイルについて.....223

カードの操作.....224
カードに情報を保存する.....224
カードから情報を読み込む.....226
カードから情報を消去する.....227

PCカードを初期化する.....228

カードを接続する 標準

ご自宅のパソコンでインターナビのスポット情報をダウンロードすると、そのスポット情報をナビゲーション本体のマークリストに追加することができます。また、ナビゲーション本体に登録されたマークデータ、登録道、ランドマークを、保存したり読み込むことができます。さらに、PCカードに保存された画像を壁紙に設定することもできます。

お願い

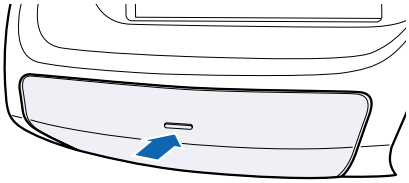
- 読み込みや書き込みの際中にPCカードを抜くと保存されたデータが消えてしまう場合がありますので、カードを抜かないでください。
- PCカードは精密機器です。製品の取扱説明書をよく読んでから使用してください。
- カードの動作保証はしておりません。あらかじめご容赦願います。

お知らせ

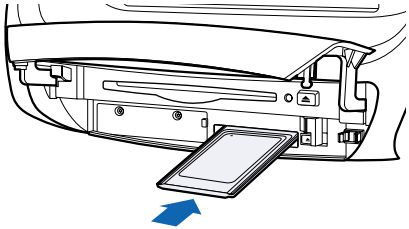
- PCカードは、インターナビ対応のPCカードを使用してください。
- PCカードの使い方に関する情報は、インターナビ・プレミアムクラブのホームページで掲載しています。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/
- インターナビでお使いのPCカードにインターナビ以外のデータを保存するとデータが破損するおそれがあります。
  PCカードはインターナビ専用でご使用になることをおすすめします。

PCカードの入れかた

1 **ふたの右上部を押す**
ふたが開きます。



2 **PCカード挿入口にPCカードを差し込む**

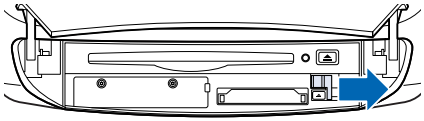


お知らせ

- おもて面を上にして、カードに記載されている矢印の向きに差し込んでください。
- PCカード取り出しボタンが前に出て、カチッとロックされるまでしっかりと差し込んでください。

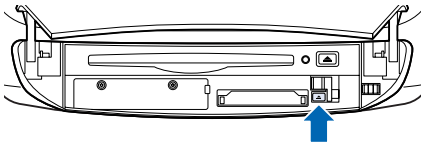
PCカードの出しかた

1 **PCカードロックレバーを右にスライドさせて、指で押さえる**



2 **ロックレバーを押さえながら、PCカード取り出しボタンを押す**

PCカードが出てきます。



3 **PCカードを取り出してから、PCカードロックレバーから指を離す**

取り出したPCカードは、ケースに入れて保管してください。

4 **ふたを閉める**

■MP3ファイルについて

PCカードに記録されたMP3ファイルを再生することができます。

→「MP3ファイルについて」（P273）
→「サウンドコンテナの聞きかた」（P313）

カードの操作 標準

PCカードは工夫しだいでさまざまな用途に利用できます。例えば、大切なデータのバックアップや友人とのデータ交換などのように、ナビゲーションシステムをさらに活用するための補助記憶媒体として役立ちます。

お知らせ

- データをPCカードに保存することにより、数多くのデータを扱えるようになります。
- PCカードに保存できるデータと件数は次のとおりです。

マークデータ	200か所	*→P75*
登録道	100コース	*→P177*
ランドマークデータ	200件	*→P165*
スケジュール	全てのスケジュールを一括保存	*→P252*

- PCカードの容量によって、上記の件数を保存できないことがあります。

カードに情報を保存する

PCカードにデータ（マークデータ、登録道、ランドマークデータ、スケジュール）を保存します。

1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す



2 PCカードに保存するデータを選び、PCカード画面を表示する

マークデータの場合

［データ編集］➜［マークリスト］➜［PCカード］を選んで［実行］を押す



▼



登録道の場合

［データ編集］➜［登録道］➜［PCカード］を選んで［実行］を押す

ランドマークの場合

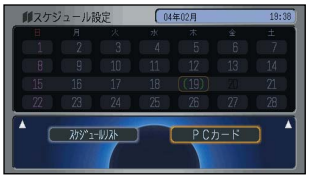
［データ編集］➜［ランドマーク］➜［ユーザー登録データ］➜［PCカード］を選んで［実行］を押す

お知らせ

- ランドマークデータをPCカードに保存する場合は、次のランドマークデータを選ぶことができます。
  - ［ユーザー登録データ］
  - ［位置修正データ］
  - ［非表示設定データ］

スケジュールの場合

［スケジュール設定］➜ ジョイスティックを下に倒す ➜ ［PCカード］を選んで［実行］を押す



3

［保存データ選択］を選んで［実行］を押す

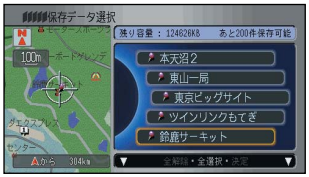


スケジュールの場合

［データを保存］を選んで［実行］を押し、手順6へ進む

4

保存するデータを選んで［実行］を押す



アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには［全解除］を選んでください。

5

手順4を繰り返して、保存するデータを選択する

6

ジョイスティックを下に倒して［決定］を選んで［実行］を押す



▼

選んだデータが保存され、PCカード画面に戻ります。

スケジュールの場合

ジョイスティックを右に倒して［保存する］を選んで［実行］を押す

▼

データが保存され、［PCカード］が選択できる画面に戻ります。

お願い

- 保存中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

お知らせ

- PCカードの容量が不足している、または保存可能件数を超えると、メッセージが表示され、保存することができません。

カードから情報を読み込む

PCカードに保存されたデータを読み込むことができます。

1 PCカード画面から［読み込みデータ選択］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- スケジュールなど、読み込むデータを選ぶ必要がない場合、手順2の画面は表示されません。［データを読み込む］を選んで［実行］を押し、さらに［読み込む］を選んで［実行］を押してください。

2 読み込みたいデータを選んで［実行］を押す



アドバイス

- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには［全解除］を選んでください。

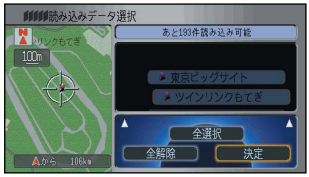
お知らせ

- 各データの読み込み可能件数は次のとおりです。読み込み可能件数を超えると、選べなくなります。

マークデータ	ナビゲーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200か所
登録道	ナビゲーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて100コース
ランドマークデータ	ナビゲーション本体に登録されている件数と読み込む件数を合わせて200件

3 手順2を繰り返して、読み込むデータを選ぶ

4 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータが読み込まれ、PCカードのメニュー画面に戻ります。

お願い

- 読み込み中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

カードから情報を消去する

不要になったPCカード内のデータを消去することができます。

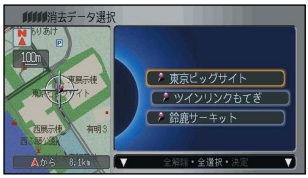
1 PCカード画面から［消去データ選択］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- スケジュールなど、消去するデータを選ぶ必要がない場合、手順2の画面は表示されません。［データ消去］を選んで［実行］を押し、さらに［消去する］を選んで［実行］を押してください。

2 消去したいデータを選んで［実行］を押す

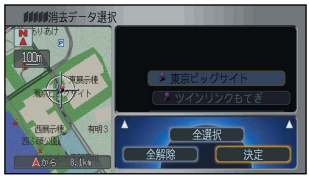


アドバイス

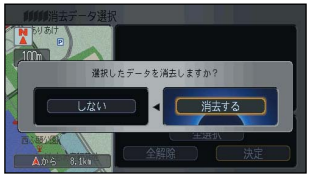
- ［全選択］を選ぶと、すべてのデータが選択されます。選択を全解除するには［全解除］を選んでください。

3 手順2を繰り返して、消去するデータを選ぶ

4 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す



5 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータが消去され、PCカードのメニュー画面に戻ります。

お願い

- 消去中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“O”にしたり、PCカードを抜かないでください。

お知らせ

- PCカード内のデータを一括消去する場合は、PCカードを初期化してください。→*「PCカードを初期化する」(P228)*

PCカードを初期化する標準

PCカードを初期化すると、PCカード内のデータはすべて消去されます。
大切なデータがPCカードに残っていないか、確認してから初期化してください。初期化すると、復元することはできません。

1 ［メニュー］ボタン を押す



2 ジョイスティックを下に倒して［調整・補正］を選び、［実行］を押す



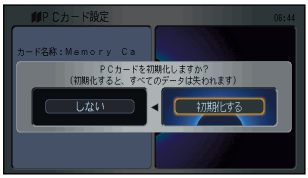
3 ［PCカード設定］を選んで［実行］を押す



4 ［初期化する］を選んで［実行］を押す



5 ［初期化する］を選んで［実行］を押す



▼

PCカードが初期化されます。

お願い

- 初期化中のメッセージが表示されている間は、エンジンスイッチを“0”にしたり、PCカードを抜かないでください。

ハンズフリー電話を使う

準備 230
ハンズフリー電話について 230
携帯電話を接続する 230

ハンズフリー電話の設定 231
電話の設定をする 231
通話音量／着信音量を調節する 232
電話帳 232
　読み込む 232
　電話番号データを消去する 234
ワンタッチダイヤル 235
　登録する 235

ハンズフリー電話を使う 236
電話をかける 236
ワンタッチダイヤルでかける 237
電話帳でかける 237
履歴から電話をかける 238
　履歴を消去する 239
地図に登録された電話番号にかける 240
　施設情報の画面から電話をかける 240
　マークリストから電話をかける 240
電話を受ける 241
　電話がかかってくると 241
　かかってきた電話に出るには 242
　応答保留するには 243
　通話録音するには 243
ロードサービスを利用する 244

準備 簡単 標準

ハンズフリー電話を使う前に携帯電話を接続します。

ハンズフリー電話について

話し方によっては相手先に声が伝わりにくかったり、相手の声が聞こえにくい場合があります。
ハンズフリー電話同士の通話、騒音の大きい環境下での通話など、使用条件によっては通話しづらい場合があります。また相手の電話の種類や電話回線の組み合わせにより、不自然な音となる場合があります。

お願い

- 交通量の多い市街地や狭い道での操作は避けてください。

お知らせ

- 通話時は、大きめの声ではっきりと話してください。
- 携帯電話のノイズキャンセラー機能、パワーセーブ機能はなるべく「OFF」に設定しておいてください。
- 通話中は窓を閉めてお話しください。
- 携帯電話の接続コネクターから、携帯電話用の電源は供給されていません。
- au（cdmaOne）の携帯電話を接続する場合は、別売の専用ケーブルが必要になります。Honda販売店にご相談ください。

お知らせ

- 携帯電話は、PDC方式、またはau（cdmaOne）方式のものを使用してください。ただし、携帯電話の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。また、さらにサービス契約が必要な場合もあります。
- 「cdmaOne」はCDG（CDMA Development Group）の登録商標です。
- NTTドコモの「FOMA／フォーマ」には対応しておりません。
- 「FOMA／フォーマ」はNTTドコモの登録商標です。
- 最新の携帯電話対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/
- キャッチホン、三者通話サービスには対応していません。携帯電話側で操作してください。

携帯電話を接続する

携帯電話の接続のしかたについては*「インターナビを使う」の「準備」（→P184）*をご覧ください。

ハンズフリー電話の設定

簡単 標準

お知らせ

- ワンタッチダイヤル、電話帳、発信着信履歴にはシークレットモードが設定できます。→*「シークレットモードを使う」(P262)* シークレットモードを設定すると電話帳、発着信履歴はメニュー画面から選択できなくなり、ワンタッチダイヤルには何も表示されなくなります。

電話の設定をする

電話リストの表示順や通話中画面表示、自動着信の設定方法を説明します。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して［電話設定］を選び、［実行］を押す



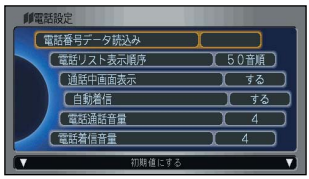
標準

［メニュー］ボタン ➔ ジョイスティックを下に倒して［電話設定］を選び、［実行］を押す



2

設定する項目を選んで［実行］を押す



設定できる項目と設定は次のとおりです。

設定項目	設定
［電話リスト表示順序］	［メモリー番号順］、［50音順］、［グループ順］
［通話中画面表示］	［する］、［しない］
［自動着信］	［する］、［しない］

お知らせ

- ［自動着信］を［する］に設定しても、携帯電話のメッセージサービス、留守番サービス、転送サービスを4秒より短い設定にしていた場合や、呼出しなしにしておいた場合は、自動着信せず、携帯電話の設定が優先されます。

アドバイス

- ［電話番号データ読込み］については*「電話帳」の「読み込む」(➔P232)*を参照してください。
- ［電話通話音量］、［電話着信音量］については*「通話音量／着信音量を調節する」(➔P232)*を参照してください。

つづく➔

3 **設定を選んで［実行］を押す**
設定が変更されます。

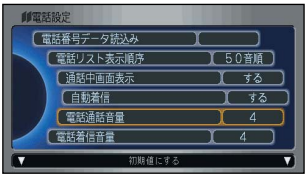
4 **手順2～3を繰り返し、項目を設定する**

アドバイス
- 設定を初期状態に戻す場合は、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押してください。

通話音量／着信音量を調節する

スピーカーから聞こえてくる相手の声の大きさ、または電話がかかってきたときにスピーカーから聞こえてくる着信音の大きさを調節することができます。

1 **電話設定画面で［電話通話音量］または［電話着信音量］を選んで［実行］を押す**
→「電話の設定をする」（P231）



2 **コマンドホイールを左右に回して、音量を設定する**



3 **［実行］を押す**
音量の設定がされます。

アドバイス
- 通話中に通話音量を調節するには［通話音量］を選んで［実行］を押し、コマンドホイールを回して音量を選び、［実行］を押します。

電話帳

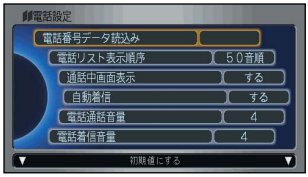
■読み込む

携帯電話に登録されている電話番号のリストを電話帳に読み込みます。最大1000件の転送ができます。
また、グループ名称が登録されている場合は、最大20件のグループ名称を読み込むことができます。

お知らせ
- 読み込み中に［実行］を押すと、読み込みを中止します。
- 一度読み込みを完了した電話帳は、新しく電話帳を読み込むまで保持されます。
- 新しく電話帳を読み込むと、すべてが上書きされ、古い電話帳は消去されます。
- 携帯電話の機種によっては、電話番号を1000件まで読み込めない場合があります。
- 携帯電話側にシークレットの設定がされているものは、読み込まれません。
- 携帯電話の種類によっては、読み込んだ登録名称が正しく表示できないことがあります。
- 最新の携帯電話対応機種については、インターナビ・プレミアムクラブのホームページをご覧ください。
  ホームページアドレス：
  http://premium-club.jp/

1 **電話設定画面で［電話番号データ読込み］を選んで［実行］を押す**

→「電話の設定をする」（P231）



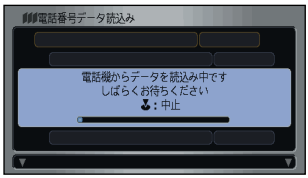
2 **携帯電話の暗証番号を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

3 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**



▼



データが転送されます。

お知らせ

- 暗証番号を入力すると、他人に読み取られないように“＊”で表示されます。
- 携帯電話の事業者によっては、暗証番号を次の2種類用意している場合があります。
  - 携帯電話本体の各種機能を操作するためのもの
  - 通信会社による各種サービスを一般電話から利用するためのもの（携帯電話契約時に登録した暗証番号）

  ご利用の携帯電話によっては、どちらの暗証番号を入力するかが異なります。一方の暗証番号で転送できないときは、もう一方の暗証番号を入力してください。

■電話番号データを消去する

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［電話をかける］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［電話］を選んで［実行］を押す



2

［電話帳］を選んで［実行］を押す



3

消去する電話番号データを選んで［実行］を押す



アドバイス

- 電話番号データを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

4

［消去］を選んで［実行］を押す



5

ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだ電話番号データが消去され、電話帳画面に戻ります。

ワンタッチダイヤル

■登録する

携帯電話から電話帳に電話番号データを読み込むと、読み込んだデータのメモリー番号が登録されている中で若い番号5件のデータが、自動的にワンタッチダイヤルに登録されます。
登録された電話番号データは次の手順で変更できます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［電話をかける］を選んで［実行］を押す
電話のメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➔［電話］を選んで［実行］を押す
電話のメニューが表示されます。

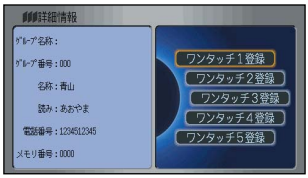
2 **［電話帳］を選んで［実行］を押す**
電話帳画面が表示されます。

3 **登録する電話番号データを選んで［実行］を押す**
電話帳のメニューが表示されます。

4 **［詳細情報］を選んで［実行］を押す**



5 **登録する番号を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ番号に電話番号データが登録され、電話のメニューに戻ります。

お知らせ

- 再度、携帯電話から電話帳に電話番号データを読み込むと、読み込んだデータのメモリー番号が登録されている中で若い番号5件のデータでワンタッチダイヤルが上書きされます。
- 別の電話番号をワンタッチダイヤルに登録、また電話番号データを消去（→P234）するまで、ワンタッチダイヤルは消去できません。
- 読み込んだデータに情報がない詳細項目は空白になります。また、各項目の内容は編集できません。

ハンズフリー電話を使う 簡単 標準

電話をかける

1 **ハンドルの［ ］オフフックスイッチを押す**

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- ［メニュー］ボタンを押して［電話］（簡単操作モードでは［電話をかける］）を選び、［実行］を押しても電話のメニューが表示されます。

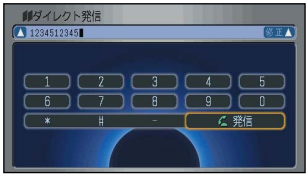
2 **［ダイレクト発信］を選んで［実行］を押す**



3 **電話番号を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

4 **［発信］を選んで［実行］を押す**



▼



5 **通話が終了したら、ハンドルの［ ］オンフックスイッチを押して、電話を切る**

お知らせ

- 通話中画面表示を［しない］に設定している場合、または地図画面を表示している場合、通話中は画面左に が表示されます。

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、通話中に次の操作ができます。
  - ［通話録音］
    通話内容を約30秒録音します。
    →「通話録音するには」（P243）
  - ［通話音量］
    相手の声の大きさを調節します。
    →「通話音量／着信音量を調節する」（P232）
  - ［終了］
    電話を切ります。

ワンタッチダイヤルでかける

お知らせ

- ワンタッチダイヤルは走行中も操作することができます。

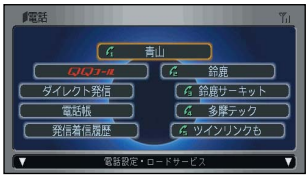
1 **ハンドルの［ ］オフフックスイッチを押す**

電話のメニューが表示されます。

お知らせ

- ［メニュー］ボタンを押して［電話］（簡単操作モードでは［電話をかける］）を選び、［実行］を押しても電話のメニューが表示されます。

2 **電話をかける相手を選んで［実行］を押す**



▼



3 **通話が終了したら、ハンドルの［ ］オンフックスイッチを押して、電話を切る**

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

電話帳でかける

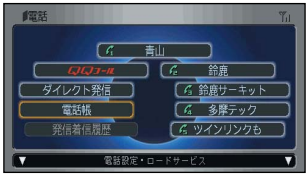
1 **ハンドルの［ ］オフフックスイッチを押す**

電話のメニューが表示されます。

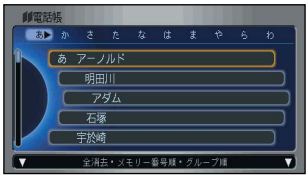
お知らせ

- ［メニュー］ボタンを押して［電話］（簡単操作モードでは［電話をかける］）を選び、［実行］を押しても電話のメニューが表示されます。

2 **［電話帳］を選んで［実行］を押す**



3 **かける電話番号データを選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ジョイスティックを左右に倒すと、50音を行ごとに切り換えることができます。「メモリー番号順」、「グループ順」のときは50項目ごとに／グループごとに切り換えることができます。
- ジョイスティックを下に倒して「メモリー番号順」、「グループ順」を選び［実行］を押すと、電話番号データを並び換えることができます。

つづく

4 ［発信］を選んで［実行］を押す



5 通話が終了したら、ハンドルの［☎］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

履歴から電話をかける

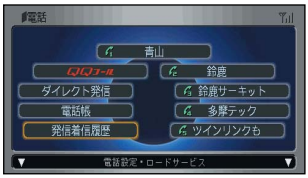
1 ハンドルの［☎］オフフックスイッチを押す

電話のメニューが表示されます。

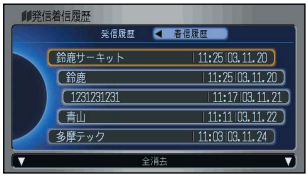
お知らせ

- ［メニュー］ボタンを押して［電話］（簡単操作モードでは［電話をかける］）を選び、［実行］を押しても電話のメニューが表示されます。

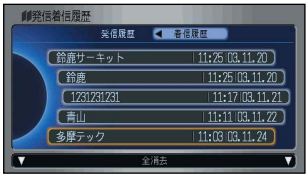
2 ［発信着信履歴］を選んで［実行］を押す



3 ジョイスティックを左または右に倒して［発信履歴］または［着信履歴］を選ぶ



4 かける履歴を選んで［実行］を押す



アドバイス

- 手順3で選んだ［発信履歴］または［着信履歴］の履歴を一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

5 ［発信］を選んで［実行］を押す



6 通話が終了したら、ハンドルの［☎］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

■履歴を消去する

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［電話をかける］を選んで［実行］を押す

電話のメニューが表示されます。

標準

［メニュー］ボタン ➜［電話］を選んで［実行］を押す

電話のメニューが表示されます。

2 ［発信着信履歴］を選んで［実行］を押す

履歴のリストが表示されます。

3 ジョイスティックを左または右に倒して［発信履歴］または［着信履歴］を選ぶ

アドバイス

- 発信履歴または着信履歴を一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

4 消去する履歴を選んで［実行］を押す



5 ［消去］を選んで［実行］を押す



6 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



選んだ履歴が消去されます。

地図に登録された電話番号にかける

地図上に登録された施設やマークに電話番号の情報がある場合は、その電話番号に電話をかけることができます。

■施設情報の画面から電話をかける

電話をかけたい施設を地図上で探して、電話をかけます。

1 **電話をかけたい施設にカーソルを合わせて［実行］を押す**

メニューが表示されます。

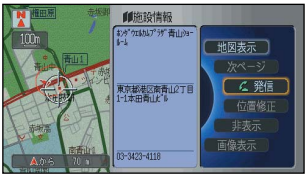
2 **［施設情報］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- リストが表示されたときは、施設を選んでから［実行］を押してください。

3 **［発信］を選んで［実行］を押す**



▼



4 **通話が終了したら、ハンドルの［☎］オンフックスイッチを押して、電話を切る**

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

■マークリストから電話をかける

標準操作モードでは、電話をかけたいマークの情報画面をマークリストから表示して、電話をかけます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**



2 **［データ編集］を選んで［実行］を押す**



3 **［マークリスト］を選んで［実行］を押す**



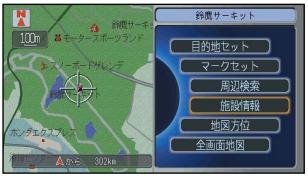
4 ［確認］を選んで［実行］を押す



5 電話をかけたいマークを選んで［実行］を押す



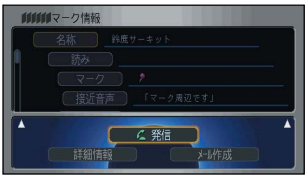
6 ［実行］を押してメニューを出し、［施設情報］を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ［目的地］ボタン →［マークリスト］で電話をかけたい地点を選び、［マーク情報］を選んでもマーク情報画面が表示されます。

7 ジョイスティックを下に倒して［発信］を選び、［実行］を押す



▼



8 通話が終了したら、ハンドルの［☎］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

電話を受ける

■電話がかかってくると

着信案内の音が流れます。



通話中画面表示を［する］に設定する場合 →*「電話の設定をする」(P231)*

お知らせ

- 通話中画面表示を［しない］に設定している場合、電話の着信を案内するメッセージが表示されます。
- 電話帳に登録されている電話からかかってきたときは、登録されている名称が表示されます。
- 発信者番号通知サービスの利用状況によって、かけてきた相手の電話番号や名前は表示されない場合があります。
- 自動着信を［する］に設定している場合は、着信してから約4秒で自動的に通話中になります。→*「電話の設定をする」(P231)*

■かかってきた電話に出るには

電話設定の［自動着信］を［しない］に設定した場合は、次の手順で電話に出ます。

お知らせ

- 電話設定の［自動着信］を［する］に設定した場合は、着信してから約4秒で自動的に通話中になります。

1 ハンドルの［ ］オフフックスイッチを押す



▼



お知らせ

- 通話中画面表示を［しない］に設定している場合、または地図画面を表示している場合、通話中は画面左に が表示されます。

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合、電話がかかってくると次の操作ができます。
  - ［着信音量］
    着信音の大きさを調節します。
    →*「通話音量／着信音量を調節する」(P232)*
  - ［応答保留］
    応答を保留にします。
    →*「応答保留するには」(P243)*
  - ［通話］
    電話に出ます。

  また、通話中には次の操作ができます。
  - ［通話録音］
    通話内容を約30秒録音します。
    →*「通話録音するには」(P243)*
  - ［通話音量］
    相手の声の大きさを調節します。
    →*「通話音量／着信音量を調節する」(P232)*
  - ［終了］
    電話を切ります。

2 通話が終了したら、ハンドルの［ ］オンフックスイッチを押して、電話を切る

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［終了］を選んで［実行］を押しても電話を切ることができます。

■応答保留するには

1 **ハンドルの［☎］オンフックスイッチを押す**



▼



アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［応答保留］を選んで［実行］を押しても応答保留にすることができます。

2 **応答保留中の電話に出るには、ハンドルの［✆］オフフックスイッチを押す**

アドバイス

- 通話中画面表示を［する］に設定している場合は、［通話］を選んで［実行］を押しても電話に出ることができます。

■通話録音するには

通話中画面表示に［通話録音］が表示され、通話内容を音声メモに録音できます。

お知らせ

- 通話中画面表示を［する］に設定しておく必要があります。→*「電話の設定をする」（P231）*
- 再生は音声メモより行います。→*「音声メモを再生する」（P255）*

1 **通話中画面表示から［通話録音］を選び、［実行］を押す**



▼



録音中は「録音中」と表示されます。録音が終了すると、通常の通話中画面表示に戻ります。

お知らせ

- 録音は約30秒経つと自動的に止まります。また録音中に［録音停止］を選んで［実行］押すと録音が停止します。

ロードサービスを利用する

ドライブ中に車が故障したり、トラブルなどにあったときは、最寄りのJAFやカーレスキュー70のロードサービスに電話をかけることができます。

お知らせ

- 「カーレスキュー70」は翼システム株式会社が運営するロードサービスです。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［電話をかける］を選んで［実行］を押す

電話のメニューが表示されます。

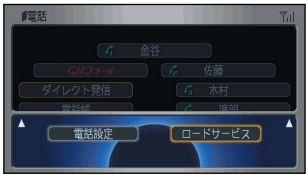
標準

［メニュー］ボタン ➜［電話］を選んで［実行］を押す

電話のメニューが表示されます。

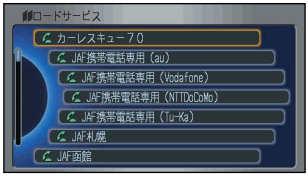
2

ジョイスティックを下に倒して［ロードサービス］を選び、［実行］を押す



3

利用したいロードサービスを選んで［実行］を押す



▼

選んだロードサービスに電話がかかります。

便利な機能

画像を確認する 標準 **246**
画像を確認する 246
画像を消去する 247

スケジュールを使う 標準 **248**
スケジュールを作成する 248
スケジュール実行時の確認画面 251
スケジュールを確認する 252
スケジュールリストを見る 252
スケジュールの日時を変更する 253
スケジュールを消去する 253

音声メモを使う **254**
音声を録音する 254
音声メモを再生する 255
音声メモを消去する 255

ウェザーライブを見る 標準 **257**
情報画面の種類 257
気象情報を取得する 258
天気予報を見る 259
アメダス情報を見る 260
警報・注意報を見る 261

シークレットモードを使う **262**
シークレットモードの設定 262
シークレットモードを解除する 263
パスワードを変更する 263

画像を確認する 標準

よく行く地点やマークに登録した画像、インターナビから取得した画像や壁紙用の画像など、ハードディスクに保存してある画像データやPCカードに保存してある画像データを確認することができます。また、画像データを消去することもできます。

お知らせ

- 確認できる画像のファイル形式は、JPEG（.jpg）です。
- プログレッシブ方式のJPEGファイルには対応していません。
- 確認できる画像データは、元の大きさが2048×1536ドットまでです。
- JPEG形式の画像データを画面表示する際には、横幅を基本として縮小が行われますが、縮小後の横幅が画面サイズを超えるものは、確認できません。
- デジタルカメラなどで撮影した画像を確認するには、画像が保存されているPCカードをナビゲーション本体にセットしてください。
- 半角で255文字（全角で127文字）以内表示形式が「ファイル名＋.jpg」の名前がナビゲーションのメニュー内の画像リストに表示されます。
- ハードディスク内の画像ファイルとPCカード内の画像ファイルの合計が202（地点付き画像は除く）を超えると、PCカード内の画像ファイルがリスト表示されないことがあります。表示されないときは、画像ファイルの合計が202以下になるように、ハードディスク内またはPCカード内の画像ファイルを削除してください。→*「画像を消去する」（P247）*

お知らせ

- PCカード内のフォルダ（ディレクトリ）は8階層（ルートディレクトリを含む）まで認識できます。
- 画像が表示されるまで時間がかかることがあります。

画像を確認する

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**



2 **［各種情報］を選んで［実行］を押す**



3 **［画像を見る］を選んで［実行］を押す**



4 見たい画像を選んで［実行］を押す



アドバイス

- ジョイスティックを右に倒して［地点付き画像］に切り換えると、よく行く地点やマーク（インターナビ含む）に登録した画像の選択リストが表示されます。

5 ［画像表示］を選んで［実行］を押す



▼

選んだ画像が表示されます。

お知らせ

- 高さが画面サイズを超えたものは、コマンドホイールを左右に回して画像をスクロールすることができます。

画像を消去する

画像を選んで消去したり、画像データすべてを消去したりできます。

お知らせ

- ［星空］と［Hondaナビゲーション］のデータは消去することができません。
- 地点付き画像の消去は、マーク情報やよく行く地点の編集画面で行います。
  →*「よく行く地点を編集する」（P67）*
  →*「マークを編集する」（P75）*

1 画像を見る画面で消去したい画像を選んで［実行］を押す

→*「画像を確認する」（P246）*



アドバイス

- 画像データを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全消去］を選び、［実行］を押してください。

2 ［消去］を選んで［実行］を押す



3 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだデータが消去され、画像データのリスト画面に戻ります。

スケジュールを使う 標準

カレンダーにスケジュールを設定して、指定した時刻に、指定した機能を実行させることができます。
スケジュールでは、次の機能を指定できます。

- ルート設定
- 周辺施設検索
- メッセージの表示
- 音声メモの再生
- DVD/CD/MP3の再生
- サウンドコンテナの再生
- TVを見る
- ラジオ（FM/AM）を聞く
- 設定済みスケジュールの再利用

アドバイス

- 音声を再生するスケジュールが実行されると、大きな音量で音楽が再生されることがあります。音量設定にご注意ください。

お知らせ

- 2022年7月までのスケジュールを作成できます。
- 最大100件までスケジュールを作成できます。

スケジュールを作成する

ここでは、例として指定した時刻にメッセージを表示する方法を説明します。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**



2 **［スケジュール設定］を選んで［実行］を押す**



3 **スケジュールを設定したい日付を選んで［実行］を押す**



プログレッシブコマンダーを以下のように操作します。

倒す	左／右	前／次の日へ
	上／下	前／後の週へ
回す	左	前の日へ
	右	次の日へ

お知らせ

- 本日の日付は、緑色の（ ）で囲まれます。
- ［前月］、［今月］、［次月］を選んで［実行］を押すと、月送りされます。
- スケジュールが設定されている日付は色が変わります。その日を選ぶと、スケジュールの項目が表示されます。
  スケジュールを追加する場合は、［新規作成］を選んで［実行］を押し、手順4に進んでください。

4 スケジュールの実行時刻を入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

［○○時○○分］または［○○時○○分～○○時○○分］と入力します。

お知らせ

- ［○○時○○分～○○時○○分］と入力した場合は、設定した時間帯にエンジンスイッチを“I”または“II”にしたときにスケジュールが実行されます。
- ジョイスティックを下に倒して［起動時］を選ぶと、その日の最初にエンジンスイッチを“I”または“II”にしたときにスケジュールが実行されます。手順6に進んでください。
- 設定済みのスケジュールと同じ時刻を入力したときは、最後に設定したスケジュールが実行されます。

5 「入力完了」を選んで［実行］を押す



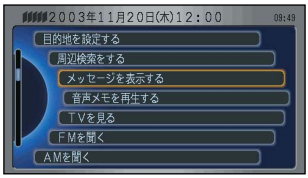
6 起動する周期を選んで［実行］を押す



［毎日］、［当日のみ］、［毎週］、［毎月］、［毎年］から選べます。

［毎日］	毎日、同じ時刻に指定した機能を実行する。
［毎週］	毎週、同じ曜日の同じ時刻に指定した機能を実行する。
［毎月］	毎月、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。
［毎年］	毎年、同じ日付の同じ時刻に指定した機能を実行する。

7 ［メッセージを表示する］を選んで［実行］を押す



お知らせ

- すでにメッセージが登録されているときは、［新規作成］を選んでください。また、登録済みのメッセージを選ぶと、登録済みメッセージを編集して利用することもできます。

つづく→

［メッセージを表示する］以外の項目を選んだときは、下表の*「以降の操作」*に従ってください。

項目	内容	以降の操作
［目的地を設定する］	指定した時刻、設定した目的地へのルート計算することができます。	目的地設定してルートを計算すると、設定内容確認画面が表示されます。 *→「場所を探す」（P80）*
［周辺検索をする］	指定した時刻に、自車位置周辺の施設が検索することができます。	探したい施設を指定すると、設定内容確認画面が表示されます。 *→「場所を探す」（P80）*
［音声メモを再生する］	指定した時刻に、設定した音声メモを再生することができます。	音声メモを指定すると、設定内容確認画面が表示されます。
［TVを見る］	指定した時刻に、設定したチャンネルの放送を受信することができます。	チャンネルを指定すると、設定内容確認画面が表示されます。
［FMを聞く］	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容確認画面が表示されます。
［AMを聞く］	指定した時刻に、設定した放送局の放送を受信することができます。	放送局を指定すると、設定内容確認画面が表示されます。
［DVD/CD/MP3を聴く］	指定した時刻に、セットしたディスクを再生することができます。ディスクが挿入されていないときは、実行されません。	設定内容確認画面が表示されます。
［サウンドコンテナを聴く］	指定した時刻に、設定したプレイリストまたはトラックを再生することができます。	プレイリストまたはトラックを指定すると、設定内容確認画面が表示されます。
［スケジュールリストから選ぶ］	指定した時刻に、設定したスケジュール項目を実行することができます。	スケジュールリストが表示されます。スケジュールを選ぶと設定内容確認画面※が表示されます。

※スケジュールを選ぶと、スケジュールの詳細確認画面が表示されます。［決定］を選ぶと、その設定済みスケジュールが選択され、設定内容確認画面が表示されます。

8 メッセージを入力する

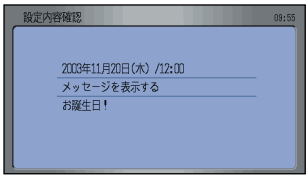
→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- メッセージは全角で30文字（半角で60文字）まで入力できます。
- メッセージは20件まで登録できます。20件を超えて登録しようとすると、一番古いメッセージの消去を確認する画面が表示されます。

9 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す

10 内容を確認して［実行］を押す



▼

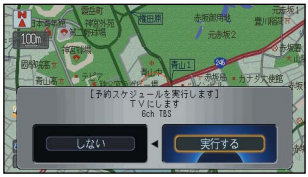
カレンダーに戻ります。



スケジュールが設定された日の色が変わり表示されます。

スケジュール実行時の確認画面

スケジュールを実行する時刻になると、次のような確認のメッセージが表示されます。



メッセージに従って操作してください。

お知らせ

- 実行できなかったスケジュールがあると が地図左側に表示されます。
- 指定期日にエンジンスイッチが“I”または“II”になっていないなど、ナビゲーション本体がスケジュールを実行できない状態になっていた場合、スケジュールを実行しないことがあります。

スケジュールを確認する

日付からスケジュールの設定内容を確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

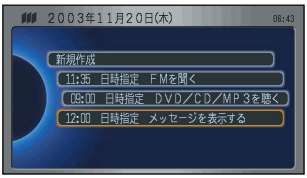
2 **［スケジュール設定］を選んで［実行］を押す**

カレンダーが表示されます。

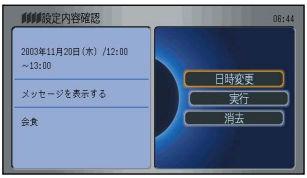
3 **確認したい日付を選んで［実行］を押す**



4 **確認したいスケジュールを選んで［実行］を押す**



▼



スケジュールの設定内容確認画面が表示されます。

アドバイス

- ［実行］を選ぶと、指定された機能が実行されます。
- ［消去］を選ぶと、消去を確認するメッセージが表示されます。

スケジュールリストを見る

設定されているスケジュールの実行履歴を確認することができます。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［スケジュール設定］を選んで［実行］を押す**

カレンダーが表示されます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［スケジュールリスト］を選び、［実行］を押す**



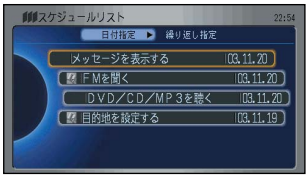
スケジュールがあると選べるようになります。

アドバイス

- ［PCカード］を選んで［実行］を押すと、スケジュールをPCカードに保存または読み込み、消去することができます。➜*「カードの操作」(P224)*

4 **確認したいスケジュールを選んで［実行］を押す**

実行済み（グレー）、実行できず（黄色）、実行されていない（マークなし）を区別して表示します。



▼

設定内容確認画面が表示されます。

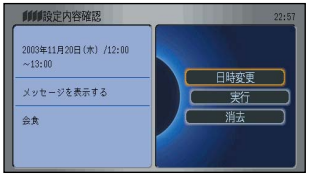
スケジュールの日時を変更する

日時を変更することができます。

1 **変更したいスケジュールの設定内容確認画面を表示させる**

→*「スケジュールを確認する」(P252)*

2 **［日時変更］を選んで［実行］を押す**



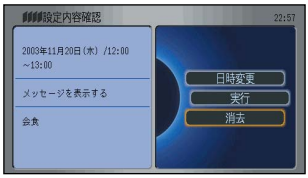
以降の操作手順は、*「スケジュールを作成する」(→P248)* と同じです。

スケジュールを消去する

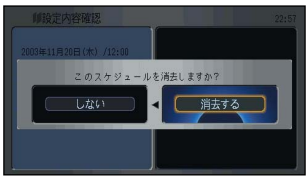
1 **消去したいスケジュールの設定内容確認画面を表示させる**

→*「スケジュールを確認する」(P252)*

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**



3 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

選んだスケジュールが消去され、カレンダーに戻ります。

音声メモを使う 簡単 標準

音声メモを作成したり、通話を録音したりできます。約30秒の録音データを最大10件まで、ハードディスクに保存することができます。

お知らせ

- 録音または再生するときに、「音声メモ準備中です」のメッセージが表示されることがあります。ハードディスクの準備中ですので、メッセージが消えるまでお待ちください。

音声を録音する

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［音声メモ］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［音声メモ］を選んで［実行］を押す



2

［新規録音］を選んで［実行］を押す



▼

［実行］を押したときから録音が始まります。
録音が終了すると、リスト画面に戻ります。

お知らせ

- 録音は約30秒経つと自動的に止まります。また録音中に［実行］を押すと、録音を停止することができます。
- 録音中にナビゲーション本体の各ボタンが押された場合は、録音が解除されます。
- 録音が完了すると、録音した日時が音声メモの名前として記録されます。
- すでに10件録音されているときに［新規録音］を選ぶと、メッセージが表示されます。いらないメッセージを消去してください。
  →「音声メモを消去する」(P255)

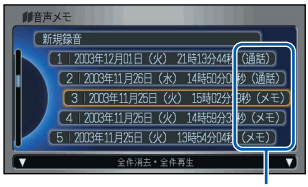
音声メモを再生する

録音した音声メモを再生します。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［音声メモ］を選んで［実行］を押す**

音声メモのリストが表示されます。

2 **再生したい音声メモを選んで［実行］を押す**

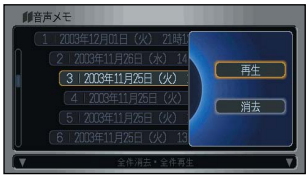


［音声メモ］から録音した音声メモは（メモ）、通話中の通話録音は（通話）と表示されます。

アドバイス

- ジョイスティックを下に倒して［全件再生］を選ぶと、リスト順にすべての音声メモを再生します。

3 **［再生］を選んで［実行］を押す**



▼

再生が開始されます。

お知らせ

- ナビゲーションの案内音が流れると、音声メモの再生は終了します。しかし、全件再生中の場合は再生中断となり、案内音終了後に中断された音声メモの先頭から再生を再開します。

アドバイス

- 再生中、コマンドホイールを回すと、音量を調節できます。
- ［実行］を押すと途中で再生を終了することができます。

音声メモを消去する

録音した音声メモを消去します。

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す**

付加機能のメニューが表示されます。

2 **［音声メモ］を選んで［実行］を押す**

音声メモのリストが表示されます。

3 **消去したい音声メモを選んで［実行］を押す**

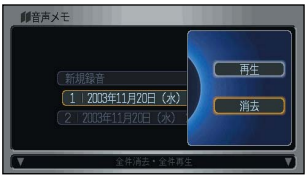
メニューが表示されます。

アドバイス

- 音声メモを一括で消去する場合は、ジョイスティックを下に倒して［全件消去］を選び、［実行］を押してください。

つづく➜

4 ［消去］を選んで［実行］を押す



5 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

選んだ音声メモが消去され、音声メモのリストに戻ります。

ウェザーライブを見る 標準

インターナビ上の専用サーバーから地域の気象情報を取得して、気象状況を地図上に表示させることができます。（ウェザーライブ）

お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録およびインターナビの通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビの認証（ログイン）を行わないとウェザーライブのサービスはご利用できません。詳しくは「*インターナビを使う*」の「*準備*」をご覧ください。（→*P184*）

情報画面の種類

天気予報

天気予報のデータの取得が終わると、自車位置の天気が、マークで表示されます。（天気予報は3時間ごとに更新され、常に最新の天気予報が表示されます。）

また、3Dマップとドライビングマップ、3D/2Dマップ、高速ガイド表示では、空の色が天気予報に応じて変化します。



天気予報の詳細画面では、約1日分の予報を細かく見ることができます。



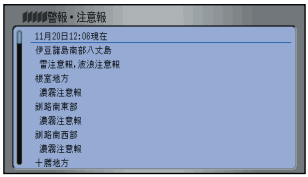
アメダス情報

カーソル位置に最も近いアメダス観測地点の情報が、文字と色分けされた四角形で表示されます。



警報・注意報

警報や注意報の発表時刻、該当地域、内容が表示されます。



気象情報が取得してあるときにルート設定すると

ルートを設定した直後に、「目的地付近の到着時刻頃の天気は晴れ、降水確率40%、気温25度の見込みです」のように、目的地付近の到着予想時間前後の天気が音声で案内されます（目的地と気象情報取得エリアが異なる場合は案内されません）。

お知らせ

- 専用サーバーには約1日分の3時間ごとの正時（降水確率は6時間ごと）の天気予報データと、毎正時ごとに観測・配信されるアメダスデータ、警報・注意報データが準備されています。天気予報データは毎日4:00と16:00に発表される（株）ウェザーラインの天気予報に基づいています（ただし、専用サーバー上のデータが更新されない場合もあります）。
- データが取得できていないときは、気象情報は表示されません。
- 天気予報データ、アメダス情報データ、警報・注意報データは、発表時刻から24時間経過するとナビゲーション本体から削除されます。表示させるには、もう一度専用サーバーからデータを取得してください。
- 専用サーバーによる天気予報サービスは、予告なく中断、停止される場合があります。
- （株）ウェザーラインが天気予報を発表する時刻は、予告なく変更される場合があります。

アドバイス

- 天気予報の表示は、「する」／「しない」を選べます。→*「機能設定」（P152）*

気象情報を取得する

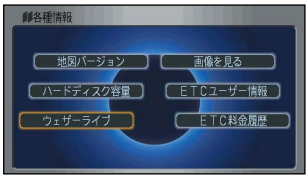
1 ［メニュー］ボタン ➜［付加機能］を選んで［実行］を押す



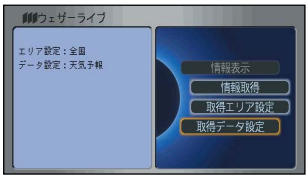
2 ［各種情報］を選んで［実行］を押す



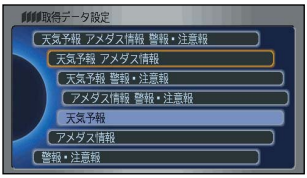
3 ［ウェザーライブ］を選んで［実行］を押す



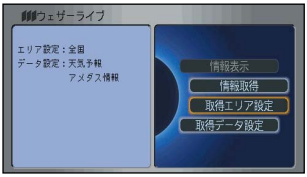
4 ［取得データ設定］を選んで［実行］を押す



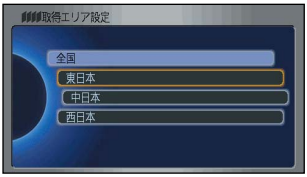
5 取得したいデータの種類を選んで［実行］を押す



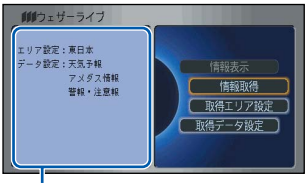
6 ［取得エリア設定］を選んで［実行］を押す



7 地域を選んで［実行］を押す



8 ［情報取得］を選んで［実行］を押す



設定したデータ設定／エリア設定が表示されます。

▼



気象情報の取得が始まります。気象情報の取得が終了すると、ウェザーライブ画面に戻ります。

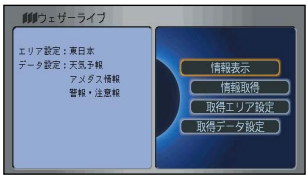
お知らせ

- サーバー側から緊急のメッセージがあるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は中止されます。
- サーバー側からメンテナンスなどの事前予告情報があるときはメッセージが表示され、気象情報の取得処理は継続されます。

天気予報を見る

1 ウェザーライブ画面で［情報表示］を選んで［実行］を押す

→「気象情報を取得する」（P258）



2 ［天気予報］を選んで［実行］を押す



つづく→

3 天気予報を見たい場所にカーソルを合わせる

移動させた地域の予報を確認することができます。



お知らせ

- 天気予報データがない地域は、地図が桃色で塗られます。
- 地図を1kmスケール以下で表示していたときは、自動的に2kmスケールに変わります（1kmスケール以下では表示できません）。

アドバイス

- コマンドホイールを回すとスケールを変更できます。

予報時刻を変更する

表示した地域の天気を、予報時刻を変えて見ることができます。

1 天気予報を表示する

→「天気予報を見る」（P259）

2 [実行]を押す

メニューが表示されます。

3 [予報日時切換]を選んで[実行]を押す



アドバイス

- [地図方位]を選ぶと、地図向きを変えることができます。

4 コマンドホイールを回して予報時刻を選ぶ



▼

指定された日時の天気予報が表示されます。

アドバイス

- 予報時刻を選んでから[実行]を押すと、コマンドホイールでその地図スケールを変更できます。

アメダス情報を見る

1 ウェザーライブ画面で[情報表示]を選んで[実行]を押す

→「気象情報を取得する」（P258）

情報の種類を選ぶリストが表示されます。

2 見たいアメダスの情報を選んで[実行]を押す



お知らせ

- 表示できるアメダスの情報は、降水量、積雪量、風向・風速、気温、日照時間です。

アメダス情報を見たい場所にカーソルを合わせる

カーソル位置付近にあるアメダス観測地点の情報を文字で確認することができます。
（選んだ情報が、地図上に色分けされて表示されます。）



カーソル位置付近にあるアメダス観測地点のすべての情報が、文字で表示される

この色に合わせて観測地点が表示される

お知らせ

- アメダスの文字情報では、［降水量］、［風向・風速］、［気温］、［日照時間］のいずれかを選ぶと、これらすべての情報が表示されます。［積雪量］を選ぶと、積雪量の情報だけが表示されます。
- 毎正時に観測された過去1時間以内のデータが配信されます。
- 降水量は0.5mm単位、気温は0.1℃単位、風向は16方位、風速は1m/s単位、日照時間は1分単位、積雪量は1cm単位で表示されます。
- 地図を10kmスケール以下で表示していたときは、自動的に20kmスケールに変わります（10kmスケール以下では表示できません）。

アドバイス

- コマンドホイールを回すと、スケールを変更できます。
- ［実行］ボタンを押し［地図方位］を選ぶと、地図の向きを変えることができます。

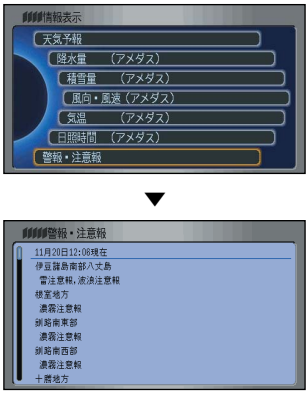
警報・注意報を見る

1 **ウェザーライブ画面で［情報表示］を選んで［実行］を押す**

→「気象情報を取得する」（P258）

情報の種類を選ぶリストが表示されます。

2 **［警報・注意報］を選んで［実行］を押す**



警報・注意報画面が表示されます。

お知らせ

- 強風、濃霧、雷、大雪、着雪、洪水、低温などの警報および注意報を見ることができます。
- 地震および津波に関する情報は、取得することができません。

シークレットモードを使う 簡単 標準

シークレットモードを使うと、電話帳やメール、マークリストの表示をパスワードが入力されないと表示できないようにできます。

シークレットモードの設定

シークレットモードの設定にはパスワードの設定が必要になります。パスワード設定後、シークレットモードの［ON］または［OFF］を設定します。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［シークレットモード］を選んで［実行］を押す



標準

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［シークレットモード］を選んで［実行］を押す



2

4桁の数字を入力する

→「文字入力のしかた」(P39)

3

［入力完了］を選んで［実行］を押す

再度、パスワードの入力画面が表示されます。

4

確認のため再度4桁の数字を入力する

→「文字入力のしかた」(P39)

5

［入力完了］を選んで［実行］を押す

6

［ON］または［OFF］を選んで［実行］を押す



▼

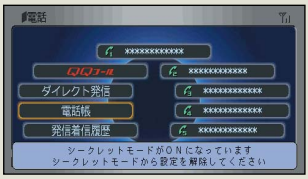
シークレットモードが設定されます。

お知らせ

- すでにパスワードが設定されている場合は、手順5～6は不要です。

アドバイス

- シークレットモードが設定されているときに、電話帳やメールの表示操作を行うときは、シークレットモードがONである旨のメッセージが表示されます。



シークレットモードを解除するには「シークレットモードを解除する」（→P263）をご覧ください。

シークレットモードを解除する

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［シークレットモード］を選んで[実行]を押す**
パスワードの入力画面が表示されます。

2 **パスワードを入力する**
→「文字入力のしかた」（P39）

3 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**

4 **［OFF］を選んで［実行］を押す**



▼

シークレットモードが解除されます。

パスワードを変更する

1 **［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜「シークレットモード］を選んで［実行］を押す**
パスワードの入力画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒して［パスワード変更］を選び、［実行］を押す**



3 **現在のパスワードを入力する**
→「文字入力のしかた」（P39）

4 **［入力完了］を選び、［実行］を押す**
新しいパスワードの入力画面が表示されます。

5 **新しいパスワードを入力する**
→「文字入力のしかた」（P39）

6 **［入力完了］を選び、［実行］を押す**
再度、パスワードの入力画面が表示されます。

7 **確認のため再度パスワードを入力する**
→「文字入力のしかた」（P39）

8 **［入力完了］を選び、［実行］を押す**
パスワードが変更され、付加機能のメニュー画面が表示されます。

パスワードを忘れたときは

パスワードを忘れたときは、パスワード入力画面で以下のように入力します。

1 ジョイスティックを上に倒してカーソルを入力エリアに置く



2 [実行]を5回連続で押す



▼

メッセージが表示され、パスワードがクリアされます。

お知らせ

- パスワードをクリアすると、パスワード未設定の状態となり、設定した電話帳やメール、マークリストなどのシークレットモードも解除されます。

M E M O

ディスクの取り扱いについて.....268
ディスクを取り出す／入れる.....268
ディスクの正しい使いかた.....269
取り扱い上のご注意.....269
お手入れについて.....269
保管上のご注意.....270
ディスク再生の環境について.....270
再生できるディスクの種類.....271
DVDに表示されているマークの意味....272
ディスクの操作について.....272
MP3ファイルについて.....273
MP3とは？.....273
MP3について.....273
再生できるMP3ファイルについて...273
フォルダとMP3ファイルについて...274

オーディオ・テレビの基本操作.....275
ナビゲーション画面と
オーディオ画面の切り換え.....275
各オーディオ機能を切り換える.....276
音量調節.....277
音質調節.....277
色調節.....278
ワイド画面の切り換え.....279

ラジオを聞く.....280
ラジオの聞きかた.....280
手動選局する.....280
記憶された放送局を呼び出す.....281
お好みの放送局を記憶させる.....281
受信状態の良い放送局を
自動的に記憶させる.....282
放送局をスキャンする.....283
交通情報を聞く.....283

オーディオ・テレビ

音楽CDを聞く 284
CDの聞きかた.....284
CDのいろいろな再生のしかた.....285
リピート再生.....286
ランダム再生.....286
スキャン再生.....287

MP3ディスクを聞く 288
MP3ディスクの聞きかた.....288
MP3ディスクの
いろいろな再生のしかた 289
リピート再生.....290
ランダム再生.....290
スキャン再生.....291

テレビを見る.....292
テレビの受信について 292
テレビの見かた.....293
手動選局する.....293
記憶されたチャンネルを呼び出す.....294
お好みの放送局を記憶させる.....294
受信状態の良い放送局を自動的に
記憶させる.....295
チャンネルをスキャンする.....296

DVDを見る 297
DVDの見かた 297
再生する 297
メニュー画面の操作 298
タイトルやチャプターを進める／戻す....298
タイトルやチャプターを直接選ぶ.....299
早送り／早戻しをする 299
再生を停止する.....300
DVDのいろいろな再生のしかた 300
静止画再生.....300
音声を切り換える 301
字幕を切り換える 301
アングルを切り換える 302
ダイナミックレンジコントロール.....302
初期設定をする 303
初期設定メニューの表示のしかた.....303
音声言語を設定する 304
字幕言語を設定する 304
メニュー言語を設定する 305
アングルマークの表示を設定する.....305
視聴制限を設定する 306

AV入力に切り換える 309
ビデオ機器の接続について.....309
ビデオ機器の見かた 309

ディスクの取り扱いについて

簡単 標準

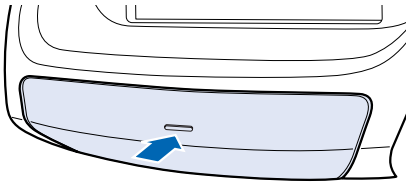
ナビゲーション本体はオーディオ機能を標準装備しており、DVDやCD、MP3ファイルが記録されたCD-R/RWなどをお楽しみいただけます。

- 再生できるディスクの種類は、*「再生できるディスクの種類」（→P271）*を参照してください。
- 再生できるMP3ファイルについては、*「MP3ファイルについて」（→P273）*を参照してください。
- 各機能の操作方法は*「DVDを見る」（→P297）*、*「CDの聞きかた」（→P284）*、*「MP3ディスクの聞きかた」（→P288）*を参照してください。

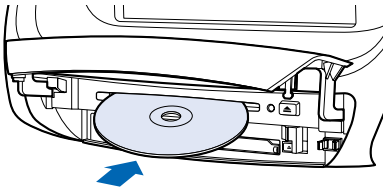
ディスクを取り出す／入れる

1 **ふたの中央部を押す**

ふたが開きます。



2 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてディスクを差し込む**



自動的に再生が始まり、画面上にトラック情報が表示されます。

DVDの場合：タイトルNo.やチャプターNo.が表示されます。
CDの場合：内蔵のデータベースから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合や2件以上該当データが存在する場合は、「No Title」と表示されます。
MP3ディスクの場合：ID3 Tagから情報を取得できた場合は、その情報が表示されます。取得できなかった場合は、MP3のファイル名とフォルダ名が表示されます。

お願い

- ディスクを差し込む前に、すでにディスクが入っていないかどうかをディスクランプで確認してください。

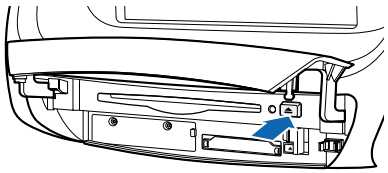
お知らせ

- サウンドコンテナの出荷時のCD録音モードは自動録音です。再生したCDは、自動的にサウンドコンテナに録音されます。→*「CD録音モードを設定する」(P319)*
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、サウンドコンテナに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。
- CDシングル（8cmCD）は、アダプターを付けないで挿入します。アダプターは使用しないでください。

3 **再生を止めるには、[PWR] ボタンを押す**

他の音源に切り換えた場合は、CDの自動録音が継続されます。
→*「サウンドコンテナに録音する」(P319)*

4 **ディスクを取り出すには、ディスク取り出しボタンを押す**



5 **ふたを閉める**

ディスクの正しい使いかた

■取り扱い上のご注意

- ひび、キズ、そりのあるディスクは使用しないでください。
- ハート型などの異形のディスクは、使用しないでください。故障の原因になります。
- ディスクを持つときは、記録面（虹色に光っている面）を触らないようにしてください。
- ディスクにキズを付けないでください。
- ディスクに紙やシールなどを貼り付けないでください。

■お手入れについて

- ディスクが汚れたときは、柔らかいきれいな布で、ディスクの内側から外側へ向かって軽く拭いてください。
- ディスクに、ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品をかけないでください。また、ディスクには、アナログ式レコード盤用のクリーナー、静電気防止剤などは使用しないでください。

■保管上のご注意

- ディスクは、インストルメントパネル上など直射日光の当たるところや高温になるところには、保管しないでください。
- 長時間使用しないときは、本機から取り出し、ディスクがそらないように必ずケースに入れて保管してください。

■ディスク再生の環境について

- 走行中に振動でディスクのデータを正確に読み取れないことがあります。（画面の表示切り換えが遅くなることがあります。）
- 低温時、ヒーターを入れた直後にディスク再生を始めると、ナビゲーション本体内部のレンズやディスクに露が付いて、正常な再生ができないことがあります（結露）。
  このようなときは、1時間ほど放置して自然に露が取れるまでお待ちください。ディスクに付いた露は柔らかい布で拭いてください。
- 高温になると保護機能が働き、ディスク再生が停止します。

お願い

- ディスク挿入口から内部にジュースや水などが入ると故障の原因となります。カップホルダーをご使用の際はご注意ください。

お知らせ

- ディスクをゴミやほこりから保護するため、ディスクが排出されたまましばらくすると、自動的に内部に引き込まれます。

再生できるディスクの種類

下表のマークはディスクのタイトル面、パッケージ、またはジャケットに付いています。ナビゲーション本体はNTSC（日本のテレビ方式）に適合していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」と表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ/再生面	最大再生時間
DVDビデオ 	DVDビデオ 12cm/片面　1層 2層 12cm/両面　1層 2層	(MPEG 2方式) 133分 242分 266分 484分
	DVDビデオ 8cm/片面　1層 2層 8cm/両面　1層 2層	(MPEG 2方式) 41分 75分 82分 150分
CD 	CD 12cm/片面	74分
	CDシングル 8cm/片面	20分
CD-R 	CD-R 12cm/片面	—
CD-RW 	CD-RW 12cm/片面	—

お知らせ

- DVDビデオディスクによっては、一部の機能がご使用になれない場合があります。また、一部のDVDビデオディスクにおいて、再生できない場合があります。
- DVDビデオディスクでも、リージョン番号が異なるディスクは再生できません。
- CD-TEXTは、再生することはできますが、タイトルなどの文字情報は表示できません。
- CD-Extraは、音楽CDとして再生することができます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- CD-R/RWディスクの取り扱いについては、ディスクの説明書や注意書きを十分お読みください。
- ファイナライズしていないCD-R/RWディスクは再生できません。
- ディスククローズしていないディスク（追記可能なディスク）は再生が始まるまで時間がかかります。

お知らせ

- PC（パソコン）で記録したディスクは、正しいフォーマットで記録されたものは再生できますが、アプリケーションソフトの設定や環境などによっては再生できない場合があります。（詳細についてはアプリケーションソフト発売元にお問い合わせください。）
- 音楽用CDレコーダーで録音したもの以外のCD-R/RWディスクは、正常に再生できない場合があります。
- 音楽用CDレコーダーで録音した音楽用CD-R/RWディスクでも、ディスクの特性やキズ・汚れなどにより、再生できない場合があります。
- 直射日光や高温等、車内での保管状況により、CD-R/RWディスクは再生できなくなる場合があります。
- DDCD（Double Density CD）形式で録音されたCD-R/RWディスクは再生できません。
- ナビゲーション本体は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

■DVDに表示されているマークの意味

DVDディスクのタイトル面やパッケージには、以下のようなマークが表示されています。それぞれのマークは、そのディスクに記録されている映像または言語のタイプ、使える機能を表しています。

マーク	意味
②))	音声（言語）の数
2	字幕の数
3	アングルの数
16 : 9 LB	画面サイズ (アスペクト比：横と縦の比率)の種類
	再生可能な地域番号(リージョン番号) **本機のリージョン番号は、[2] です。リージョン番号が [2] や [ALL] など [2] を含んでいるディスクを再生することができます。**

■ディスクの操作について

禁止マーク



DVDでは、ディスク制作者の意図により、特定の操作を禁止しているものがあります。また、メニュー操作や、再生中に対話式の操作が可能なディスクでは、タイトル/チャプターの構成上一部の操作ができないことがあります。
このような場合、ナビゲーション本体では画面に「禁止マーク」が表示されます。
ディスクによっては、表示されないこともあります。

DOLBY DIGITAL ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

MP3ファイルについて

■MP3とは？

MPEG Audio Layer 3の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。

■MP3について

ナビゲーション本体を提供する場合、非営利目的の個人向けライセンスのみが提供されます。下記放送で、ナビゲーション本体を使うライセンスを提供したり、いかなる形式にせよ、使う権利を意味するものではありません。下記放送でナビゲーション本体を使用する場合は、それぞれ固有のライセンスが必要となります。詳細は、インターネット上のホームページhttp://www.mp3licensing.comをご覧ください。

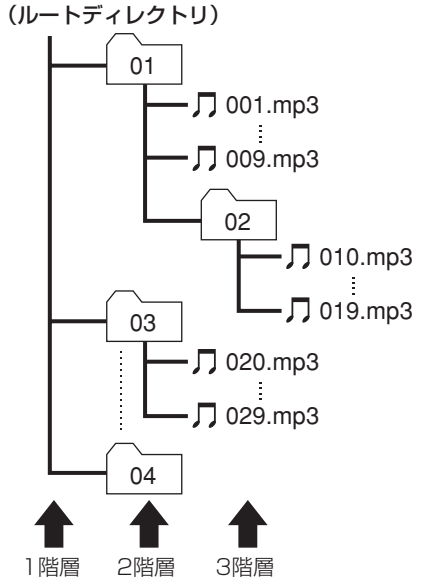
- 営業目的、すなわち利益の発生するリアルタイム放送（地上波放送、衛星放送、ケーブルテレビを始めとするメディア）、インターネットを使った放送やデータ転送、イントラネットをはじめとするネットワーク、あるいはペイオーディオやオンデマンド方式のオーディオといった電子的放送番組の配付システムなど。

■再生できるMP3ファイルについて

- ナビゲーション本体はMP3ファイルのCD-R/RWディスク、PCカードを再生することができます。ISO9660のレベル1、レベル2、Romeo、Jolietに準拠して記録されたディスクが再生可能です。
- MP3ファイルに名前を付けるときは、半角で拡張子（.mp3）を付けてください。
  例：01abcdef.mp3
- ファイル名は、拡張子（.mp3）を含めて半角で255文字（全角で127文字）以内にしてください。
- ナビゲーション本体は、拡張子（.mp3）が付いているファイルをMP3ファイルとして再生します。雑音や故障の原因となりますので、MP3ファイル以外には拡張子（.mp3）を付けないでください。
- ID3 TagのVer1.0、Ver.1.1およびVer.2.Xのalbum（ディスクタイトルとして表示）、track（トラックタイトルとして表示）、artist（アーティストとして表示）の表示に対応しています。
- 44.1 kHzのMP3ファイルを再生している場合のみ、エンファシスに対応しています。なお、再生可能なサンプリング周波数は44.1 kHzです。
- 一般的にMP3ファイルは、ビットレートが高くなるほど音質は良くなります。ナビゲーション本体は、MPEG-1 LAYER-3の場合、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160、192、224、256kbps、MPEG-2 LAYER-3の場合、8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、160kbpsまでのMP3ファイルの再生に対応していますが、一定の音質で音楽を楽しんでいただくためには、128kbpsのビットレートで記録されたディスクおよびPCカードの使用を推奨します。
- パケットライトには対応していません。
- m3uのプレイリストには対応していません。
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマットには対応していません。
- VBR（可変ビットレート）のMP3ファイルには対応していません。

■フォルダとMP3ファイルについて

MP3ファイルがCD-ROMに収録されているイメージを下図に示します。



上図のフォルダについている番号は、画面上のフォルダ番号とは異なります。

- MP3ファイルは、左図の例では、ファイル名に示される順番（001.mp3、･･･、009.mp3、･･･）で認識されます。
- CD-ROMにMP3ファイルを書き込む際にご使用のソフトによって演奏順番は異なります。
- MP3ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみ再生できます。
- 8階層（ルートディレクトリ含む）までのMP3ファイルの再生に対応していますが、フォルダがたくさんあるディスクおよびPCカードは、再生が始まるまでに時間がかかります。
- ディスクに含まれるフォルダは256個まで、MP3ファイルは400個まで再生できます。
  PCカード内のMP3ファイルは99個まで再生できます。
- PCカード内のMP3ファイルは、各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。

オーディオ・テレビの基本操作

簡単 標準

お願い

- 車外の音が聞こえる程度の音量でお使いください。車外の音が聞こえない状態では、安全運転のさまたげになります。また運転中のオーディオ操作は、安全運転に支障がないようにしてください。

お知らせ

- 本ナビゲーションシステム装備車は、専用のパワーアンプを装着しています。アンプは消費電力が大きいのでエンジンが停止しているときは長時間使わないでください。バッテリー容量が低下し、エンジン始動に影響することがあります。

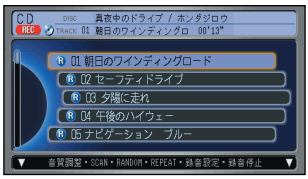
ナビゲーション画面とオーディオ画面の切り換え

1 **[AUDIO] ボタンを押す**

押すたびに、オーディオ画面とナビゲーション画面が切り換わります。



ナビゲーション画面



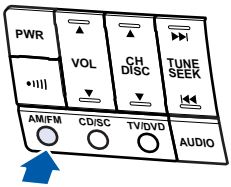
オーディオ画面

■各オーディオ機能を切り換える

オーディオ機能を切り換えるには、それぞれ以下のボタンを使います。

ラジオに切り換える

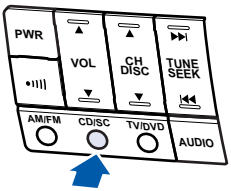
1 ［AM/FM］ボタンを押す



さらにボタンを押すごとに、AM、FM1、FM2が切り換わります。

CD／MP3またはサウンドコンテナ（SC）に切り換える

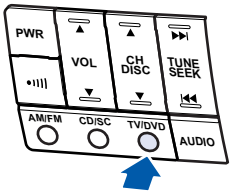
1 ［CD/SC］ボタンを押す



さらにボタンを押すごとに、CD（MP3）、サウンドコンテナが切り換わります。Honda純正のオーディオを装着しているときは、さらにCDチェンジャーが切り換わります。

テレビ（TV）またはDVD、ビデオ（VTR）に切り換える

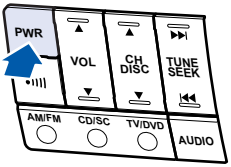
1 ［TV/DVD］ボタンを押す



さらにボタンを押すごとに、テレビ、DVD、ビデオが切り換わります。

オーディオ機能をOFFにする

1 ［PWR］ボタンを押す



すべてのオーディオを終了します。

音量調節

オーディオ機能の音量を調節します。

1 オーディオ再生中に［VOL］ボタンを押して調節する



音量が表示されます。

［▲］	音量を大きくするとき
［▼］	音量を小さくするとき

音質調節

4つの調節を行います。

BAS：低音の調節を行います。

TRE：高音の調節を行います。

FAD：前後のスピーカ音量バランスを調節します。

BAL：左右のスピーカ音量バランスを調節します。

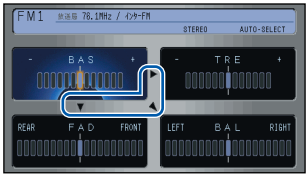
1 オーディオ画面表示中にジョイスティックを下に倒す



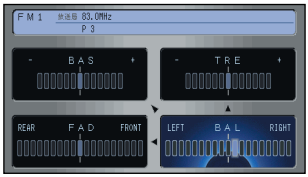
2 ［音質調整］を選んで［実行］を押す



3 画面上の矢印方向にジョイスティックを倒して調節項目を選ぶ



4 コマンドホイールを回して調節する



BAS：
低音の調節を行います。低音を強調したいときは［+］方向に移動させ、弱くしたいときは［−］方向に移動させます。

TRE：
高音の調節を行います。高音を強調したいときは［+］方向に移動させ、弱くしたいときは［−］方向に移動させます。

FAD：
前後のスピーカ音量バランスを調節します。フロントのスピーカ音量を大きくしたいときは［FRONT］方向に移動させ、リアのスピーカ音量を大きくしたいときは［REAR］方向に移動させます。

BAL：
左右のスピーカ音量バランスを調節します。左のスピーカ音量を大きくしたいときは［LEFT］方向に移動させ、右のスピーカ音量を大きくしたいときは［RIGHT］方向に移動させます。

5 ［実行］を押す

オーディオ画面に戻ります。

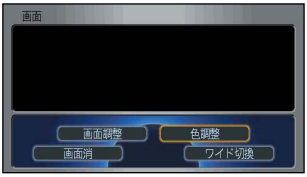
色調節

テレビやDVD、ビデオでは色の濃さ、色あいを調節することができます。

1 **テレビまたはDVD、ビデオ再生中に［画面］ボタンを押す**

→「テレビの見かた」（P293）
→「DVDの見かた」（P297）
→「ビデオ機器の見かた」（P309）

2 **［色調整］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［画面調整］を選ぶと画面の調節ができます。→「画面の明るさを調節する」（P61）
- ［画面消］を選ぶと画面を消すことができます。→「ナビゲーション／オーディオ画面を消す」（P29）

3 **ジョイスティックを左右に倒して設定する項目を選ぶ**



4 **コマンドホイールを左右に回して調節する**



5 **［実行］を押す**

テレビまたはDVD、ビデオ画面に戻ります。

お知らせ

- 画面の調節は地図色が昼の場合と夜の場合で、別々に設定することができます。
- テレビ、DVD、ビデオごとに、設定することができます。

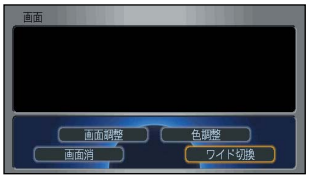
ワイド画面の切り換え

テレビやDVD、ビデオでは通常の画面表示の他に3種類のワイドモードが用意されており、表示方法を切り換えることができます。

1 **テレビまたはDVD、ビデオ再生中に［画面］ボタンを押す**

→「テレビの見かた」（P293）
→「DVDの見かた」（P297）
→「ビデオ機器の見かた」（P309）

2 **［ワイド切換］を選んで［実行］を押す**



アドバイス

- ［画面調整］を選ぶと画面の調節ができます。→「画面の明るさを調節する」（P61）
- ［画面消］を選ぶと画面を消すことができます。→「ナビゲーション／オーディオ画面を消す」（P29）

3 **ワイドモードを選ぶ**



4 **［実行］を押す**



▼

ワイドモードが切り換わります。

お知らせ

- 通常画面は縦横比4：3、ワイド画面は縦横比16：9です。
- テレビ、DVD、ビデオごとに、設定することができます。
- 通常のテレビ放送の番組で、映像の縦横比が異なるモード（フル、ワイド）を選ぶと、本来の映像とは異なって見えます。
- ズームでは、画質が粗くなります。
- 営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、本機のワイドモード切り換え機能を利用すると（フル、ズームなどで画面の圧縮や引き伸ばしなどを行うと）、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

ラジオを聞く 簡単 標準

ラジオの聞きかた

■手動選局する

1 **[AM/FM] ボタンを押す**

ラジオの音声が流れます。



2 **[AM/FM] ボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ**



押すごとに、FM1、FM2、AMが切り換わります。

アドバイス

- FM受信時は、ジョイスティックを左右に倒しても、FM1とFM2を切り換えることができます。

3 **[TUNE/SEEK] ボタンを押して、選局する**



[⏮] 低い周波数を選ぶとき
[⏭] 高い周波数を選ぶとき

手動選局するには、[⏮] [⏭] を短めに押してください。1ステップずつ周波数が変化します。

自動選局するには、[⏮] [⏭] をしばらく押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。

お知らせ

- FMを12局、AMを6局まで記憶させることができます。→*「受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる」(P295)、「お好みの放送局を記憶させる」(P294)*
- ラジオの受信は、車の走行にともない受信状態が刻々と変わったり、障害物や電車・信号機などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合があります。

■記憶された放送局を呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

1 **［AM/FM］ボタンを押す**

ラジオの音声が流れます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 **［AM/FM］ボタンを押して、FM1、FM2またはAMを選ぶ**

押すごとに、FM1、FM2、AMが切り換わります。

3 **聞きたい放送局を選んで［実行］を押す**



▼

選ばれている放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

アドバイス

- 放送局は［CH/DISC］ボタンでも選ぶことができます。

お好みの放送局を記憶させる

よく聞く放送局をFM1に6局、FM2に6局、AMに6局まで記憶することができます。

お知らせ

- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）は、記憶した放送局が消えます。再度放送局を記憶させてください。

1 **記憶させたい放送局を受信する**

→「ラジオの聞きかた」（P280）

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 **記憶させたいプリセットNo.を選んで［実行］をピッと鳴るまで押す**

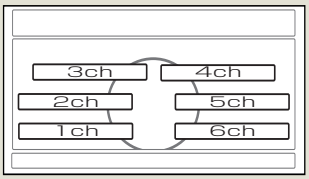


▼

選んだプリセットNo.に選局した放送局が記憶されます。

お知らせ

- プリセットNo.とは、放送局を記憶する記憶番号です。記憶番号は下図のように割り振られています。



受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

現在地で受信状態の良い放送局を、FMを12局、AMを6局まで自動的に記憶させることができます。（オートセレクト）
旅行先など受信周波数の異なる地域に移動したときに、一時的に放送局を記憶させて使用すると便利です。
オートセレクトを解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

1 ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」（P280）

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 ジョイスティックを下に倒して［AUTO SELECT］を選び、［実行］を押す



▼

AUTO SELECT中の表示



自動的に受信できる放送局を探し始めます。（「AUTO-SELECT」が点滅します。）
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- 受信状態の良い放送局が記憶できる数より少ない場合は、記憶できない放送局が[0]と表示されます。
- オートセレクトを解除する場合は、再度［AUTO SELECT］を選んで［実行］を押すか［戻る］ボタンを押します。

放送局をスキャンする

現在地で受信できる放送局を探すことができます。

1 ラジオを受信する

→「ラジオの聞きかた」（P280）

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、[AUDIO] ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 ジョイスティックを下に倒して[SCAN] を選び、[実行] を押す



自動的に受信できる放送局を探し始めます。

▼

SCAN中に点滅します。



受信できた放送局は10秒間だけ音声を流し、再び次の放送局を探します。

3 聞きたい放送局を受信したら、[実行] を押す

選んだ局を受信します

お知らせ

- スキャンを中断する場合は、再度［SCAN］を選んで［実行］を押すか［戻る］ボタンを押します。受信中の放送局に戻ります。

交通情報を聞く

交通情報を受信するには、次のようにします。

お知らせ

- この機能は、ラジオ以外が選ばれていても、またはオーディオ機能がOFFでも操作できます。

1 [ )))))] ボタンを押して交通情報に切り換える

交通情報表示



2 [TUNE/SEEK] ボタンを押して、周波数を切り換える

受信周波数



[⏮] または [⏭] を押すごとに1,620kHzと1,629kHzに切り換わります。

アドバイス

- オーディオ画面表示中は、コマンドホイールでも周波数を切り換えることができます。

受信を中止するには

もう一度［))))) ］ボタンを押すと、交通情報を受信する前の音源に戻ります。

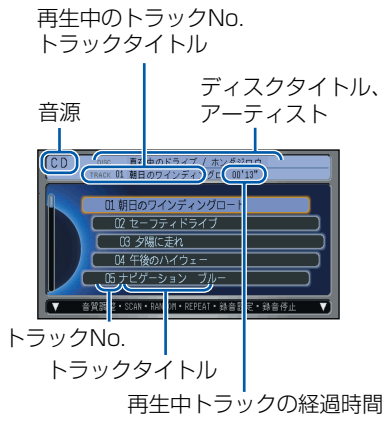
音楽CDを聞く 簡単 標準

CDの聞きかた

CDを聞くには、次のようにします。

1 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCDを差し込む**

自動的に再生が始まります。

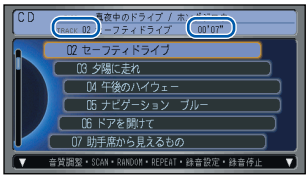


内蔵のデータベースから情報が取得できた場合は、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、以下トラックタイトルリストが表示されます。

お知らせ

- ディスクの判別や録音準備を行うため、再生するまでに、時間がかかります。
- 走行中はトラックタイトルリストにトラックタイトルは表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 他の音源を選択中にCDを再生したいとき、すでにCDが挿入されている場合は、［CD/SC］ボタンを押してCDに切り換えます。
- 内蔵のデータベースからタイトル情報が複数取得できたとき、または取得できなかった場合は、タイトルは「No Title」アーティストは「No Name」と表示されます。
- サウンドコンテナに未録音の曲はトラックタイトルリストのトラックNo.の左にⓇが表示されます。
- サウンドコンテナに録音されたCDを再生する場合、サウンドコンテナで取得または編集したタイトルが表示されます。
- サウンドコンテナの出荷時の録音モードは［自動録音］です。再生したCDは、自動的にサウンドコンテナに録音されます。
- 2倍速録音中は音声は聞けません。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを再生すると、サウンドコンテナに録音している場合のみ、曲間が無音で再生されますが、故障ではありません。

2 **［TUNE/SEEK］ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ**



［⏮］	前の曲／再生中の曲の始めを選ぶとき
［⏭］	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、［⏮］を押し続けます。
早送りする場合は、［⏭］を押し続けます。

アドバイス

- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても選ぶことができます。

CDの終了のしかた

1 **ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CDを取り出す**

再生を中止して、CDが出てきます。

CDのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生はCD操作メニューから操作します。

お知らせ

- コマンドホイールを回し［実行］を押すと、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生は解除されます。

CD操作メニューを開く

1 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」（P284）

CDの操作画面が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 **ジョイスティックを下に倒す**



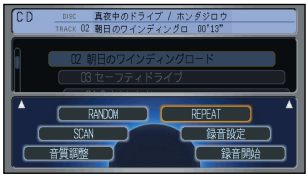
CD操作メニューが表示されます。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

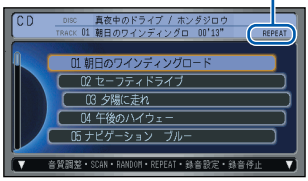
1 **CD操作メニューで［REPEAT］を選んで［実行］を押す**

→「CD操作メニューを開く」（P285）



▼

リピート再生中の表示



リピート再生します。

お知らせ

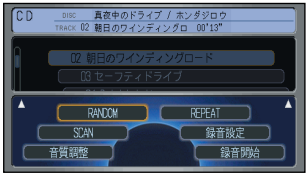
- リピート再生中に再度［REPEAT］を選んで［実行］を押すと、リピート再生が解除されます。

■ランダム再生

再生中のCDを、曲順を変えて再生することができます。

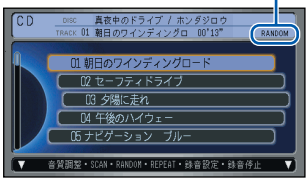
1 **［RANDOM］を選んで［実行］を押す**

→「CD操作メニューを開く」（P285）



▼

ランダム再生中の表示



ランダム再生します。

お知らせ

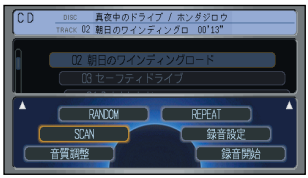
- ランダム再生中に再度［RANDOM］を選んで［実行］を押すと、ランダム再生が解除されます。

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

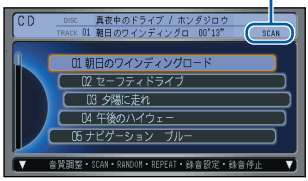
1 CD操作メニューで［SCAN］を選んで［実行］を押す

→「CD操作メニューを開く」(P285)



▼

スキャン再生中の表示



スキャン再生します。

お知らせ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聞きたい曲が再生されたら、［実行］を押す

選んだ曲から再生します。

お知らせ

- スキャン再生を中断する場合は、再度［SCAN］を押します。再生中の曲に戻ります。

MP3ディスクを聞く 簡単 標準

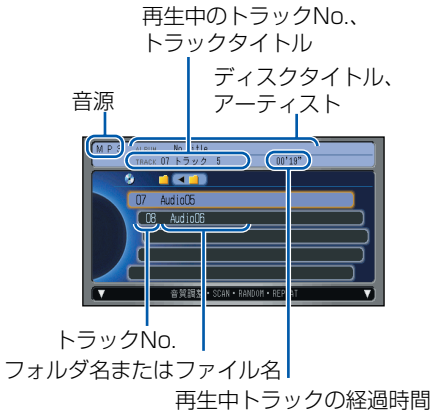
MP3ディスクの聞きかた

CD-R/RWに記録されたMP3ファイルを聞くには、次のようにします。

再生できるMP3ファイルについては、*「MP3ファイルについて」（→P273）*を参照してください。

1 **ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてCD-R/RWを差し込む**

自動的に再生が始まります。



ID3 Tag（*→P273*）からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にディスクタイトルや再生中のトラックタイトル、アーティストが表示され、以下トラックタイトルリストには、フォルダ名またはファイル名が表示されます。

お知らせ

- 走行中はトラックタイトルリストにフォルダ名またはファイル名は表示されません。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 他の音源を選択中にMP3ファイルを再生したいとき、すでにMP3ファイルが記録されたCD-R/RWが挿入されている場合は、［CD/SC］ボタンを押してMP3に切り換えます。
- CD-RWディスクは、ディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rディスクより時間がかかります。
- タイトル情報を取得できなかった場合は、MP3のフォルダ名がディスクタイトル、ファイル名がトラックタイトルとしてリスト上部に表示されます。アーティストは表示されません。
- トラックタイトルリストは、ID3 Tag（*→P273*）のタイトル情報に関係なく、フォルダ名またはファイル名のリストになります。（ファイル名、フォルダ名が順番に表示されます。）
- 再生できないMP3ファイルだけのフォルダもリスト表示されます。MP3ファイルを含まないフォルダは表示されません。

2 **[TUNE/SEEK]、[CH/DISC]ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ**



[CH/DISC] ボタン

[▲]	次のフォルダの最初の曲を選ぶとき
[▼]	前のフォルダの最初の曲を選ぶとき

[TUNE/SEEK] ボタン

[⏮]	前の曲／再生中の曲の始めを選ぶとき
[⏭]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[⏮] を押し続けます。
早送りする場合は、[⏭] を押し続けます。

アドバイス

- オーディオ画面表示時、コマンドホイールを回しても曲やフォルダを選ぶことができます。
- ジョイスティックを左右に倒すと、フォルダが切り換わります。(左：上位フォルダ、右：下位フォルダ)

MP3ディスクの終了のしかた

1 **ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、CD-R/RWを取り出す**

再生を中止して、CD-R/RWが出てきます。

MP3ディスクのいろいろな再生のしかた

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生はMP3操作メニューから操作します。

お知らせ

- コマンドホイールを回し［実行］を押すと、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生は解除されます。

MP3操作メニューを開く

1 **MP3を再生中する**

→「MP3ディスクの聞きかた」(P288)

MP3の操作画面が表示されます。

お知らせ

- ナビゲーション画面が表示されている場合は、［AUDIO］ボタンを押してオーディオ画面に切り換えてください。

2 **ジョイスティックを下に倒す**



MP3操作メニューが表示されます。

■リピート再生

再生中の曲を繰り返し聞くことができます。

1 **MP3操作メニューで［REPEAT］または［FOLDER-REPEAT］を選んで［実行］を押す**

→「MP3操作メニューを開く」（P289）



[REPEAT]	再生中の曲をリピート再生するとき
[FOLDER-REPEAT]	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をリピート再生するとき

▼

リピート再生中の表示



リピート再生します。

お知らせ

- リピート再生中に再度［REPEAT］または［FOLDER-REPEAT］を選んで［実行］を押すと、リピート再生が解除されます。

■ランダム再生

再生中のMP3ファイルを、曲順を変えて再生することができます。

1 **MP3操作メニューで［RANDOM］または［FOLDER-RANDOM］を選んで［実行］を押す**

→「MP3操作メニューを開く」（P289）



[RANDOM]	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をランダム再生するとき
[FOLDER-RANDOM]	全フォルダのすべての曲をランダム再生するとき

お知らせ

- ［RANDOM］は、再生中のフォルダ内の曲だけを再生します。別のフォルダ内にある曲は再生しません。

▼

ランダム再生中の表示



ランダム再生します。

お知らせ

- ランダム再生中に再度［RANDOM］または［FOLDER-RANDOM］を選んで［実行］を押すと、ランダム再生が解除されます。

■スキャン再生

曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。
聞きたい曲を探すときに使います。

1 MP3操作メニューで［SCAN］または［FOLDER-SCAN］を選んで［実行］を押す

→「MP3操作メニューを開く」(P289)



［SCAN］	再生中の曲と同じフォルダ内にあるすべての曲をスキャン再生するとき
［FOLDER-SCAN］	全フォルダの先頭曲をスキャン再生するとき

▼

スキャン再生中の表示



スキャン再生します。

お知らせ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

2 聞きたい曲が再生されたら、［実行］を押す

選んだ曲から再生します

お知らせ

- スキャン再生を中断する場合は、再度［SCAN］または［FOLDER-SCAN］を押します。再生中の曲に戻ります。

テレビを見る 簡単 標準

テレビは、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- テレビをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

■テレビの受信について

テレビの受信は、車の走行にともない、受信状態が変わったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 直進性の強い電波のため、建物や山などの障害物があると、受信状態が悪くなることがあります。
- ラジオ放送やアマチュア無線用の送信アンテナ、鉄塔の近くでは、画像が乱れたり雑音が入ることがあります。
- 放送局から遠いところでは、電波が弱くなり受信状態が悪くなります。

アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。
放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。
また、音声操作においても、本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

テレビの見かた

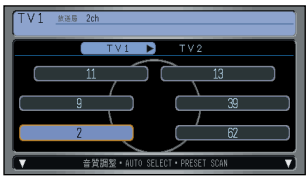
■手動選局する

1 **［TV/DVD］ボタンを押す**

テレビに切り換わります。

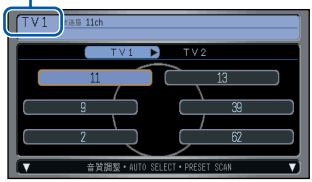
2 **コマンドホイールを回すか、［実行］を押す**

テレビの操作画面が表示されます。



3 **ジョイスティックを左右に倒して、［TV1］または［TV2］を選ぶ**

TV1,TV2表示

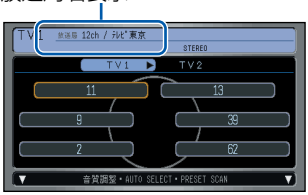


アドバイス

- ［TV/DVD］ボタンを押してTV1とTV2を切り換えることができます。

4 **［TUNE/SEEK］ボタンを押して、選局する**

放送局名表示



［⏮］前のチャンネルを選ぶとき
［⏭］次のチャンネルを選ぶとき

手動選局するには、［⏮］［⏭］を短めに押してください。1チャンネルずつ選局します。

自動選局するには、［⏮］［⏭］を押し続けて、ボタンから手を離してください。自動選局が始まります。

お知らせ

- 受信できるチャンネルは、1ch～62chです。

■記憶されたチャンネルを呼び出す

あらかじめ記憶されている放送局を呼び出すことができます。

1 **［TV/DVD］ボタンを押す**

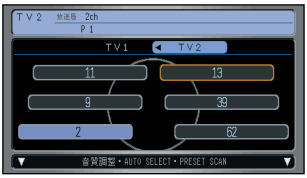
テレビに切り換わります。

2 **コマンドホイールを回すか［実行］を押す**

テレビの操作画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを左右に倒して、［TV1］または［TV2］を選ぶ**

4 **見たい放送局を選んで［実行］を押す**



▼

選ばれている放送局は色が変わり、画面上部にも表示されます。

アドバイス

- 放送局は［CH/DISC］ボタンでも選ぶことができます。

お好みの放送局を記憶させる

よく見る放送局をTV1、TV2それぞれ6局（オートセレクト中はTVに6局）まで記憶することができます。

お知らせ

- 一度電源が切れた場合（バッテリーを外したとき、ヒューズが切れたときなど）は、記憶した放送局が消えます。再度放送局を記憶させてください。

1 **記憶させたい放送局を受信する**

→「テレビの見かた」（P293）

2 **記憶させたいプリセットNo.を選んで［実行］をピッと鳴るまで押し続ける**

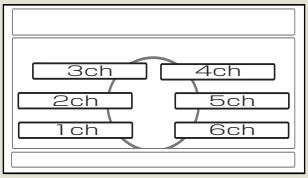


▼

選んだプリセットNo.に選局した放送局が記憶されます。

お知らせ

- プリセットNo.とは、放送局を記憶する記憶番号です。記憶番号は下図のように割り振られています。



受信状態の良い放送局を自動的に記憶させる

現在地で受信状態の良い放送局を、TVに6局まで自動的に記憶させることができます。（オートセレクト）
旅行先などチャンネルの異なる地域に移動したときに、一時的に放送局を記憶させて使用すると便利です。
オートセレクトを解除すれば、元の記憶させた放送局に戻ります。

1 **テレビを受信する**
→「テレビの見かた」（P293）

2 **コマンドホイールを回すか［実行］を押す**
テレビの操作画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［AUTO SELECT］を選び、［実行］を押す**



▼
AUTO SELECT中の表示



自動的に受信できる放送局を探し始めます。（「AUTO-SELECT」が点滅します。）
終了すると、放送局リストが表示されます。

お知らせ

- 受信状態の良い放送局が6局より少ない場合は、記憶できない放送局が［0］と表示されます。
- オートセレクトを解除する場合は、再度［AUTO SELECT］を選んで［実行］を押すか［戻る］ボタンを押します。

チャンネルをスキャンする

記憶している放送局を順に受信します。見たい放送局を探すときに使います。

1 **テレビを受信する**

→「テレビの見かた」（P293）

2 **コマンドホイールを回すか［実行］を押す**

テレビの操作画面が表示されます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［PRESET SCAN］を選び、［実行］を押す**



▼

SCAN中に点滅します。



プリセットNo.順に10秒間だけ映像を流します。

4 **見たい放送局を受信したら、ジョイスティックを下に倒して［PRESET SCAN］を選び、［実行］を押す**

選んだ局が受信されます。

お知らせ

- プリセットスキャンを中断する場合は、再度［PRESET SCAN］を選んで［実行］を押すか［戻る］ボタンを押します。

DVDを見る 簡単 標準

DVDは、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- DVDをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

DVDの見かた

■再生する

DVDを再生するには、次のようにします。

1 ディスク挿入口に、タイトル面を上にしてDVDビデオディスクを差し込む

お知らせ

- 他の音源を選択中にDVDを再生したいとき、すでにDVDビデオディスクが挿入されている場合は、［TV/DVD］ボタンを押してDVDに切り換えます。
- ディスクは正しい向きに差し込んでください。
- 両面仕様のDVDビデオディスクの場合は、A/B面をよくお確かめのうえディスクを挿入してください。
- DVDの録音レベルは他の音源より低いため、他の音源からDVDに切り換えると、音が小さく感じられます。
- ディスクによっては、メニュー画面が表示されるものがあります。ディスクメニューが表示された場合は、ジョイスティックを上下左右に倒して項目を選び、［実行］を押してください。

DVDの終了のしかた

1 ナビゲーション本体のディスク取り出しボタンを押して、DVDビデオディスクを取り出す

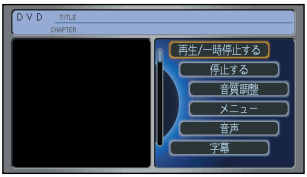
再生を中止して、DVDビデオディスクが出てきます。

■メニュー画面の操作

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

操作画面が表示されます。

2 **コマンドホイールを回して項目を選ぶ**



再生中／一時停止中の操作項目

［再生／一時停止する］（→*P300*）
［停止する］（→*P300*）
［音質調整］（→*P277*）
［メニュー］（→*P298*）
［音声］（→*P301*）
［字幕］（→*P301*）
［アングル］（→*P302*）
［チャプターサーチ］（→*P299*）
［ダイナミックレンジ調整］（→*P302*）
［メニューを消す］（→*P298*）

停止中の操作項目

［再生する］（→*P300*）
［音質調整］（→*P277*）
［トップメニュー］（→*P298*）
［タイトルサーチ］（→*P299*）
［初期設定］（→*P303*）
［メニューを消す］（→*P299*）

お知らせ

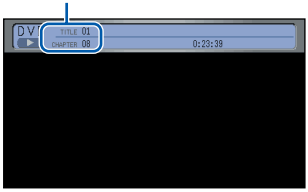
- ［メニュー］を選ぶとディスクのメニューが表示されます。再度選ぶとメニュー表示前の画面に戻ります。
- ［メニューを消す］を選ぶとメニュー画面が消えます。
- ［トップメニュー］を選ぶとDVDのトップメニューが表示されます。

■タイトルやチャプターを進める／戻す

チャプターとタイトルを選ぶ操作は同じです。ただし、ディスクの操作状態によって、選択の対象が変わります。

1 **［TUNE/SEEK］ボタンを押す**

タイトル、チャプター



［⏮］	前のチャプター／再生中のチャプターの始めを選ぶとき
［⏭］	次のチャプターを選ぶとき
［▲］	次のタイトルを選ぶとき
［▼］	前のタイトルを選ぶとき

■タイトルやチャプターを直接選ぶ

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［チャプターサーチ］または［タイトルサーチ］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- 停止中は［タイトルサーチ］になります。

3 **見たいチャプター番号またはタイトル番号を入力する**

「文字入力のしかた」→（P39）

（入力例）

［5］を選ぶ場合：

［5］を選んで［実行］を押す。

または［0］を選んで［実行］を押し、次に［5］を選んで［実行］を押す。

［10］を選ぶ場合：

［1］を選んで［実行］を押し、次に［0］を選んで［実行］を押す。

［25］を選ぶ場合：

［2］を選んで［実行］を押し、次に［5］を選んで［実行］を押す。

4 **［決定］を選んで［実行］を押す**

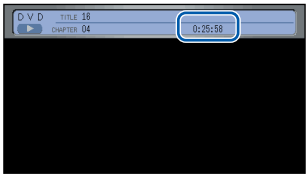


▼

指定したチャプターまたはタイトルから再生されます。

■早送り／早戻しをする

1 **再生中に［TUNE/SEEK］ボタンを押す**



早戻しをする場合は、［I◀◀］を押し続けます。

早送りをする場合は、［▶▶I］を押し続けます。

お知らせ

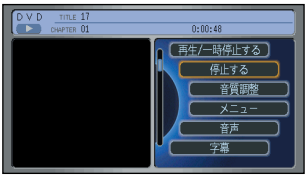
- ディスクによって、早送り/早戻しできない場所があり、その場所にくると自動的に通常の再生になります。

■再生を停止する

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［停止する］を選んで［実行］を押す**



▼

再生を停止します。

お知らせ

- 再生を停止した場所が記憶され、次にディスクを再生したときは前回の続きから再生されます。
- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、停止できないことがあります。

DVDのいろいろな再生のしかた

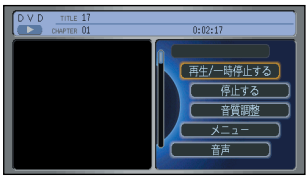
静止画再生、音声、字幕、アングルの切り換えができます。

■静止画再生

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［再生／一時停止する］を選んで［実行］を押す**



▼

映像が一時停止します。

お知らせ

- ディスクまたは再生位置によっては、（禁止マーク）が表示され、静止画再生できないことがあります。

通常の再生に戻すには

もう一度、［再生／一時停止する］を選んで［実行］を押します。

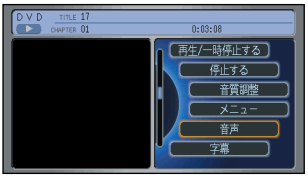
■音声を切り換える

言語が複数収録されているディスクの場合、再生中に音声を切り換えることができます。（マルチ音声）

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［音声］を選んで［実行］を押して、音声を切り換える**



［実行］を押すごとに、音声が切り換わります。

お知らせ

- DVDのパッケージについている②))マークの数字が、音声の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。
- ナビゲーション本体ではDTS音声は対応していませんので、DTS音声は出力されません。DTS以外の音声を選んでください。
- DOLBY DIGITALやMPEG2オーディオなど、多チャンネル方式で記録された音声は、本ナビゲーションシステムではステレオ2chで出力されます。

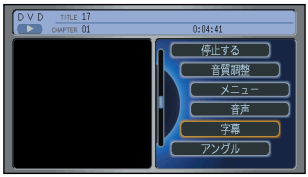
■字幕を切り換える

字幕が複数収録されているディスクの場合、再生中に字幕を切り換えることができます。（マルチ字幕）

1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［字幕］を選んで［実行］を押して、字幕を切り換える**



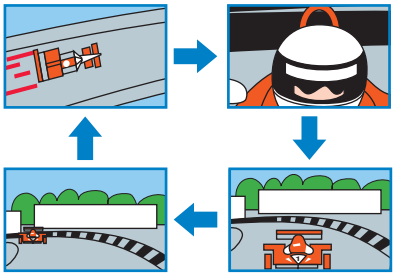
［実行］を押すごとに字幕が切り換わります。

お知らせ

- DVDパッケージについている 2 マークの数字が、字幕の収録数です。
- ディスクによっては、DVDに収録されているメニュー画面でしか切り換えることができない場合があります。

■アングルを切り換える

複数のカメラで同時に撮影された映像が収録されているディスクの場合、再生中にカメラアングルを切り換えることができます。（マルチアングル）



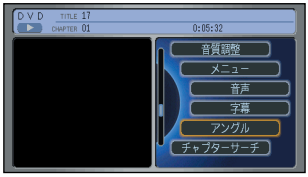
お知らせ

- マルチアングルが収録されている場面を再生すると、アングル選択マークとアングル番号が表示されます。
  アングル選択マークの表示の［する］／［しない］は、初期設定メニューの［アングルマーク表示］で行います。→*「アングルマークの表示を設定する」（P305）*

1 **マルチアングルが収録されている場面を再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［アングル］を選んで［実行］を押して、アングルを切り換える**



［実行］を押すごとに、アングルが切り換わります。

お知らせ

- DVDパッケージについている 3 マークの数字が、アングルの収録数です。

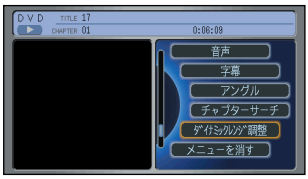
■ダイナミックレンジコントロール

DVDの再生時に小音量と大音量の音の幅を一定に制御（ダイナミックレンジコントロール）し、小さな音でも聞きやすくする機能です。

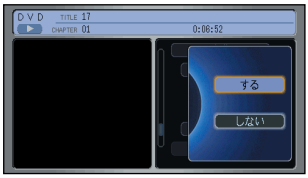
1 **再生中にコマンドホイールを回す**

DVDの操作画面が表示されます。

2 **［ダイナミックレンジ調整］を選んで［実行］を押す**



3 **［する］または［しない］を選んで［実行］を押す**



お知らせ

- ダイナミックレンジコントロールの効果が得られるのは、ドルビーデジタル音声だけです。

初期設定をする

DVD機能をあらかじめお好みの状態にしておくと、ディスクを再生するたびに設定を変える必要がありません。

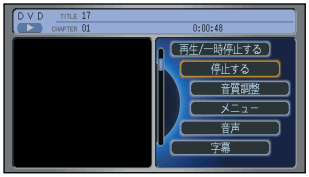
初期設定できる項目は、以下のとおりです。

- 音声言語
- 字幕言語
- メニュー言語
- アングルマーク表示
- 視聴制限（パレンタルロック）

■初期設定メニューの表示のしかた

1 **再生中にコマンドホイールを回す**
DVDの操作画面が表示されます。

2 **［停止する］を選んで［実行］を押す**



3 **［初期設定］を選んで［実行］を押す**



初期設定メニューが表示されます。

アドバイス

- 初期設定メニューで、ジョイスティックを下に倒して［初期値にする］を選び、［実行］を押すとすべての項目が初期状態に戻ります。

■音声言語を設定する

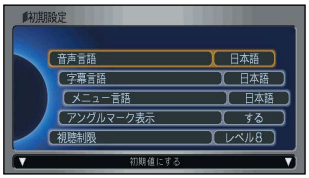
優先して聞きたい音声の言語を設定することができます。（マルチ音声）

お知らせ

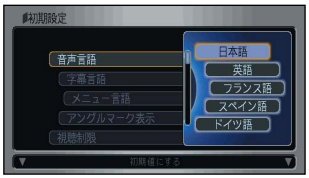
- 出荷時の設定は［日本語］です。

1 **初期設定メニューで［音声言語］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（P303）*



2 **優先して聞きたい言語を選んで［実行］を押す**



▼

音声言語が設定されます。

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている音声言語が聞こえます。

［その他］を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。*「言語コード表」（→P308）*より、4桁の言語コードをプログレッシブコマンダーで入力して、［決定］を選び［実行］を押します。（誤ったコードを入力すると「該当する言語はありません」と表示されます。）

→*「文字入力のしかた」（P39）*

■字幕言語を設定する

優先して表示させたい字幕の言語を設定することができます。（マルチ字幕）

お知らせ

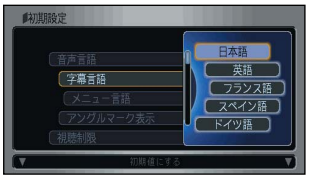
- 出荷時の設定は［日本語］です。

1 **初期設定メニューで［字幕言語］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（P303）*



2 **優先して表示させたい言語を選んで［実行］を押す**



▼

字幕言語が設定されます。

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている字幕言語が表示されます。

［その他］を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。*「言語コード表」（→P308）*より、4桁の言語コードをプログレッシブコマンダーで入力して、［決定］を選び［実行］を押します。（誤ったコードを入力すると「該当する言語はありません」と表示されます。）

→*「文字入力のしかた」（P39）*

■メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニュー画面の言語について、優先して表示させたい言語を設定することができます。

お知らせ

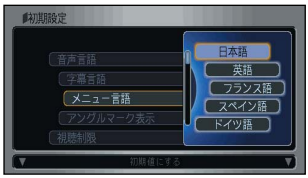
- 出荷時の設定は［日本語］です。

1 **初期設定メニューで［メニュー言語］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」(P303)*



2 **優先して表示させたい言語を選んで［実行］を押す**



▼

メニュー言語が設定されます。

お知らせ

- 選んだ言語がディスクに収録されていない場合は、ディスクで指定されている言語が表示されます。

［その他］を選んだ場合

言語のコード入力画面が表示されます。*「言語コード表」(→P308)* より、4桁の言語コードをプログレッシブコマンダーで入力して、［決定］を選び［実行］を押します。(誤ったコードを入力すると「該当する言語はありません」と表示されます。)

→*「文字入力のしかた」(P39)*

■アングルマークの表示を設定する

マルチアングルの場面を再生しているときに表示される、アングルマークの表示［する］／［しない］を設定することができます。

お知らせ

- この設定は、複数のカメラで同時に撮影された映像（マルチアングル）が収録されているディスクに対して有効です。
- 出荷時の設定は［する］（アングル選択マークを表示する）です。

1 **初期設定メニューで［アングルマーク表示］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」(P303)*



2 **［する］または［しない］を選んで［実行］を押す**



▼

マルチアングルの［する］／［しない］が切り換わります。

■視聴制限を設定する

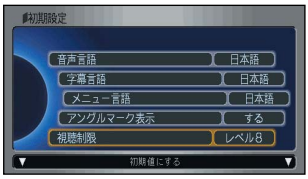
ディスクによっては、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面に視聴制限をかけることができます（パレンタルロック）。

- 最初にご使用になるときは、暗証番号を設定してください。視聴制限は、暗証番号が設定されないと操作できません。
- 出荷時の設定は［レベル8］です。
- 視聴制限されたディスクを再生すると、暗証番号の入力画面が表示されることがあります。この場合は、正しい暗証番号を入力しないと再生できません。
- ディスクのパッケージに視聴制限レベルが記載されていないディスクは、レベル設定しても視聴制限はかけられません。
- 視聴レベルは、ディスクに記憶されています。ディスクのパッケージなどをご確認ください。
- ディスクによっては、視聴制限されたシーンのみ飛ばして再生するものがあります。詳しくは、ディスクの説明書を参照してください。

暗証番号と視聴制限レベルの設定

1 **初期設定メニューで［視聴制限］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」（P303）*



2 **4桁の暗証番号を入力する**

→*「文字入力のしかた」（P39）*

お知らせ

- 設定した暗証番号は、忘れないようにメモしておくことをお勧めします。

3 **［入力完了］を選んで［実行］を押す**

暗証番号が設定され、視聴制限レベルの設定が可能になります。

4 **コマンドホイールを回して、レベルを選ぶ**



レベル8	ディスクをすべて再生するとき
レベル7〜2	成人向けディスクの再生を禁止するとき（子供向けや一般向けディスクを再生する）
レベル1	子供向けのディスクのみ再生するとき

5 **［実行］を押す**

視聴制限のレベルが設定されます。

レベルを変更する

設定した視聴制限のレベルは変更することができます。

1 **初期設定メニューで［視聴制限］を選んで［実行］を押す**

→*「初期設定メニューの表示のしかた」(P303)*

2 **登録してある暗証番号を入力する**

→*「文字入力のしかた」(P39)*

3 **［入力完了］を選び、［実行］を押す**

視聴制限レベルの変更が可能になります。

お知らせ

- 入力した暗証番号が間違っていると、「暗証番号が正しくありません」と表示されます。正しい番号を入力し直してください。
  暗証番号を忘れた場合は、*「暗証番号を忘れたときは」(→P307)*を参照してください。

4 **コマンドホイールを回して、レベルを選ぶ**

5 **［実行］を押す**

変更した視聴制限のレベルが設定されます。

暗証番号を忘れたときは

暗証番号を忘れたときは、暗証番号入力画面で以下のように入力します。

1 **ジョイスティックを上に倒してカーソルを入力エリアに置く**



2 **［実行］を5回連続で押す**



▼

メッセージが表示され、暗証番号がクリアされます。

言語コード表

言語名（言語コード）	入力コード
日本語（ja）	1001
英語（en）	0514
フランス語（fr）	0618
スペイン語（es）	0519
ドイツ語（de）	0405
イタリア語（it）	0920
中国語（zh）	2608
オランダ語（nl）	1412
ポルトガル語（pt）	1620
スウェーデン語（sv）	1922
ロシア語（ru）	1821
韓国語（ko）	1115
ギリシャ語（el）	0512
アファル語（aa）	0101
アブハジア語（ab）	0102
アフリカーンス語（af）	0106
アムハラ語（am）	0113
アラビア語（ar）	0118
アッサム語（as）	0119
アイマラ語（ay）	0125
アゼルバイジャン語（az）	0126
バシキール語（ba）	0201
ベラルーシ語（be）	0205
ブルガリア語（bg）	0207
ビハーリー語（bh）	0208
ビスラマ語（bi）	0209
ベンガル語（bn）	0214
チベット語（bo）	0215
ブルトン語（br）	0218
カタロニア語（ca）	0301
コルシカ語（co）	0315
チェコ語（cs）	0319
ウェールズ語（cy）	0325
デンマーク語（da）	0401
ブータン語（dz）	0426
エスペラント語（eo）	0515
エストニア語（et）	0520
バスク語（eu）	0521
ペルシア語（fa）	0601
フィンランド語（fi）	0609
フィジー語（fj）	0610
フェロー語（fo）	0615
フリジア語（fy）	0625
アイルランド語（ga）	0701
スコットランドゲール語（gd）	0704
ガルシア語（gl）	0712

言語名（言語コード）	入力コード
グアラニ語（gn）	0714
グジャラート語（gu）	0721
ハウサ語（ha）	0801
ヒンディー語（hi）	0809
クロアチア語（hr）	0818
ハンガリー語（hu）	0821
アルメニア語（hy）	0825
国際語（ia）	0901
interlingue（ie）	0905
イヌピアック語（ik）	0911
インドネシア語（in）	0914
アイスランド語（is）	0919
ヘブライ語（iw）	0923
イディッシュ語（ji）	1009
ジャワ語（jw）	1023
グルジア語（ka）	1101
カザフ語（kk）	1111
グリーンランド語（kl）	1112
カンボジア語（km）	1113
カンナダ語（kn）	1114
カシミール語（ks）	1119
クルド語（ku）	1121
キルギス語（ky）	1125
ラテン語（la）	1201
リンガラ語（ln）	1214
ラオス語（lo）	1215
リトアニア語（lt）	1220
ラトビア語（lv）	1222
マダガスカル語（mg）	1307
マオリ語（mi）	1309
マケドニア語（mk）	1311
マラヤーラム語（ml）	1312
モンゴル語（mn）	1314
モルダビア語（mo）	1315
マラータ語（mr）	1318
マライ語（ms）	1319
マルタ語（mt）	1320
ビルマ語（my）	1325
ナウル語（na）	1401
ネパール語（ne）	1405
ノルウェー語（no）	1415
プロバンス語（oc）	1503
オロモ語（om）	1513
オリヤー語（or）	1518
パンジャブ語（pa）	1601
ポーランド語（pl）	1612

言語名（言語コード）	入力コード
アフガニスタン語（ps）	1619
ケチュア語（qu）	1721
レートロマン語（rm）	1813
キルンディ語（rn）	1814
ローマ語（ro）	1815
キニヤルワンダ語（rw）	1823
サンスクリット語（sa）	1901
シンド語（sd）	1904
サンド語（sg）	1907
サルボアクロアチア語（sh）	1908
セイロン語（si）	1909
スロバック語（sk）	1911
スロベニア語（sl）	1912
サモア語（sm）	1913
ショナ語（sn）	1914
ソマリ語（so）	1915
アルバニア語（sq）	1917
セルビア語（sr）	1918
シスワティ語（ss）	1919
セストゥ語（st）	1920
スンダ語（su）	1921
スワヒリ語（sw）	1923
タミル語（ta）	2001
テルグ語（te）	2005
タジル語（tg）	2007
タイ語（th）	2008
チグリス語（ti）	2009
ツルキ語（tk）	2011
タガログ語（tl）	2012
セツワナ語（tn）	2014
トンガ語（to）	2015
トルコ語（tr）	2018
ツォンガ語（ts）	2019
タタール語（tt）	2020
トウィ語（tw）	2023
ウクライナ語（uk）	2111
ウルドゥー語（ur）	2118
ウズベク語（uz）	2126
ベトナム語（vi）	2209
ボラピュク語（vo）	2215
ウォルフ語（wo）	2315
コーサ語（xh）	2408
ユルバ語（yo）	2515
ズールー語（zu）	2621

AV入力に切り換える

ビデオは、安全上の配慮から、停車してパーキングブレーキをかけているときだけご覧になることができます。走行中や、停車していてもパーキングブレーキをかけていないときなどは、映像は映らず、音声だけが聞こえます。

お願い

- ビデオをご覧になるときは、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。
- エンジンが停止している状態で使用していると、バッテリーの充電状態によってはエンジンの始動ができなくなることがあります。

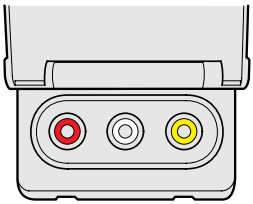
お知らせ

- ビデオ機器のご使用については、Honda販売店にご相談ください。
- ビデオアダプターの音声入力は、ステレオ方式です。

ビデオ機器の接続について

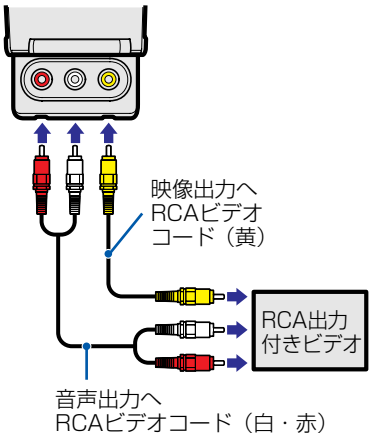
お手持ちのビデオ機器を接続します。

1 AV入力端子のカバーを開ける



AV入力端子の位置については、車両本体の取扱説明書をご覧ください。

2 ビデオ機器のジャックを、AV入力端子の同色の端子に差し込む



ビデオ機器の見かた

1 [TV/DVD] ボタンを押す

ビデオ機器に切り換わります。

M E M O

サウンドコンテナ

サウンドコンテナとは 312

サウンドコンテナの聞きかた 313
サウンドコンテナの終了のしかた 314
アーティスト名から聞きたい曲を探す 315

サウンドコンテナのいろいろな再生のしかた 316
リピート再生 316
ランダム再生 317
スキャン再生 317

サウンドコンテナに録音する 319
録音設定をする 319
CD録音モードを設定する 319
録音についての注意事項 319
CD録音の制限について 320
CD録音速度を設定する 321
CD再生時に自動的に録音する 321
CDを手動で録音する 322
CDの1曲目だけを自動的に録音する 322
録音を停止する 322

プレイリストの編集 323
プレイリストを作成する 323
プレイリスト/トラックリストを編集する 324
リストの詳細情報を表示する 324
プレイリストの再生順番を変更する 326
プレイリストを消去する 327
再生しないプレイリストを設定する 327
プレイリストに曲を追加する 328
曲の再生順番を変更する 328
曲を消去する 329
タイトル情報を取得する 330
取得できる情報 330
Gracenote CDDBについて 330
タイトル情報を取得するには 331

サウンドコンテナとは 簡単 標準

CDをナビゲーション本体のハードディスクに録音して、いろいろな方法で再生できる機能です。

サウンドコンテナには、さらに次の機能があります。

- PCカード内のMP3ファイルの再生
- 録音時に自動作成されるオリジナルプレイリストによる再生（録音したCDと同じ曲、同じ曲順）
- お好みで作成できるユーザープレイリストによる再生→*「プレイリストを作成する」（P323）*

お知らせ

- CDを録音する方法は選択できます→*「CD録音モードを設定する」（P319）*
- オリジナルプレイリストとユーザープレイリストは、リスト名の頭に付くアイコンで確認できます。

オリジナルプレイリスト	プレイリスト名の頭に O（「Original」の頭文字）が表示される
ユーザープレイリスト	プレイリスト名の頭に U（「User」の頭文字）が表示される

- DVDやテレビなど、CD以外の音声は録音できません。
- ナビゲーション本体は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカード）から、サウンドコンテナに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。

サウンドコンテナの聞きかた

簡単 標準

登録されている全プレイリスト内の曲が再生されます。

再生できるPCカード内のMP3ファイルについては、*「MP3ファイルについて」（→P273）*を参照してください。

お知らせ

- 全てのプレイリストが繰り返し再生されます。（小さいNo.のプレイリストより順に再生され、最後のプレイリストの再生が終わると最初のプレイリストに戻り、再生を始めます。）
- 再生順序の変更やプレイリストごとに再生するかどうかを設定することができます。→*「プレイリストの再生順番を変更する」（P326）*、*「再生しないプレイリストを設定する」（P327）*
- CDを録音中にサウンドコンテナに切り換えても、サウンドコンテナは再生できません。CDの音声をお楽しみください。（2倍速録音中は、音声は出力されません。）
- CDを録音中にサウンドコンテナに切り換えても、タイトル表示を行いません。

PCカード内のMP3ファイルについて

- フォルダがたくさんあるPCカードは、再生が始まるまで時間がかかります。
- プレイリストの最後に「PC-CARD」が表示されます。
- 各ファイルが複数のフォルダに保存されていても、フォルダおよびフォルダごとのファイルの表示はできません。
- ID3 Tag（→*P273*）からタイトル情報を取得できた場合は、リスト上部にトラックタイトルが表示されます。取得できなかった場合は、ファイル名が表示されます。
- 再生中にPCカードを抜くとハードディスク内の先頭のプレイリストを再生します。ハードディスク内にプレイリストがない場合は、再生が停止します。

お知らせ

- 再生の順番はMP3ファイルの作成日時の古い順になります。パソコンでPCカードに複数のファイルをまとめてコピーしたり、フォルダごとコピーした場合は、パソコンのファイルシステムに依存します。

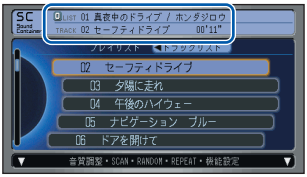
1 [CD/SC] ボタンを押して、サウンドコンテナに切り換える



お知らせ

- 走行中はトラックタイトルリストにプレイリストタイトルまたはトラックタイトルは表示されません。

2 [TUNE/SEEK]、[CH/DISC] ボタンを押して、聞きたい曲を選ぶ



[CH/DISC] ボタン	
[▲]	次のプレイリストを選ぶとき
[▼]	前のプレイリストを選ぶとき

[TUNE/SEEK] ボタン	
[I◄◄]	前の曲／再生中の曲の始めを選ぶとき
[►►I]	次の曲を選ぶとき

早戻しする場合は、[I◄◄] を押し続けます。
早送りする場合は、[►►I] を押し続けます。

プレイリストとトラックリストを切り換える

1 ジョイスティックを左右に倒して［プレイリスト］または［トラックリスト］を選ぶ



プレイリストとトラックリストが切り換わります。

■サウンドコンテナの終了のしかた

1 [PWR] ボタンを押す

サウンドコンテナの再生が停止します。

アーティスト名から聞きたい曲を探す

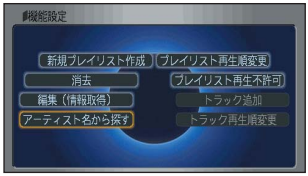
トラックリストに登録されているアーティスト名から聞きたい曲を探して、再生することができます。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す**

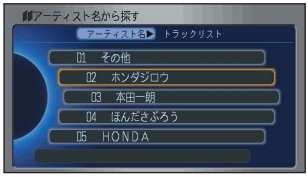
→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)



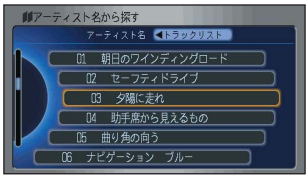
2 **［アーティスト名から探す］を選んで［実行］を押す**



3 **聞きたいアーティストを選んで［実行］を押す**



4 **聞きたい曲を選んで［実行］を押す**



▼

選んだ曲が再生され、サウンドコンテナの操作画面に戻ります。

サウンドコンテナのいろいろな再生のしかた

簡単 標準

リピート再生、ランダム再生、スキャン再生ができます。これらの機能はサウンドコンテナ操作メニューから操作します。

お知らせ

- コマンドホイールを回して［実行］を押すと、リピート再生、ランダム再生、スキャン再生は解除されます。

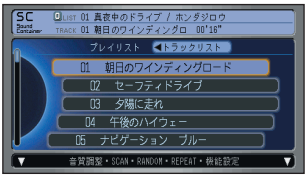
サウンドコンテナ操作メニューを表示する

1 **サウンドコンテナを再生する**

サウンドコンテナのリスト画面が表示されます。→*「サウンドコンテナの聞きかた」（P313）*

サウンドコンテナの操作画面が表示されます。

2 **ジョイスティックを下に倒す**



▼



サウンドコンテナ操作メニューが表示されます。

リピート再生

再生中の曲、またはその曲を含むプレイリスト内のすべての曲を繰り返し聞くことができます。

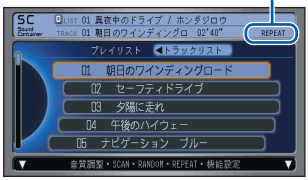
1 **サウンドコンテナ操作メニューで［REPEAT］または［PLAYLIST-REPEAT］を選んで［実行］を押す**



［REPEAT］	再生中の曲をリピート再生するとき
［PLAYLIST REPEAT］	再生中の曲を含むプレイリスト内のすべての曲をリピート再生するとき

▼

リピート再生中の表示



リピート再生します。

お知らせ

- リピート再生中に再度［REPEAT］または［PLAYLIST-REPEAT］を選んで［実行］を押すと、リピート再生が解除されます。

ランダム再生

再生中のプレイリスト内の曲順、またはプレイリストの順番とリスト内の曲順を変えて再生することができます。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［RANDOM］または［PLAYLIST-RANDOM］を選んで［実行］を押す**

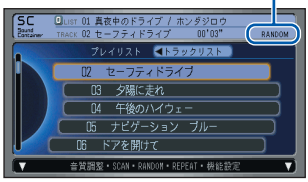
→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)



［RANDOM］	再生中のプレイリスト内からランダム再生するとき
［PLAYLIST-RANDOM］	ハードディスク内のすべての曲を対象にランダム再生するとき

▼

ランダム再生中の表示



ランダム再生します。

お知らせ

- ランダム再生中に再度［RANDOM］または［PLAYLIST-RANDOM］を選んで［実行］を押すと、ランダム再生が解除されます。

スキャン再生

再生中のプレイリスト内の曲、または全プレイリストの先頭曲の始めの部分を、約10秒間ずつ聞くことができます。聞きたい曲を探すときに使います。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［SCAN］または［PLAYLIST-SCAN］を選んで［実行］を押す**

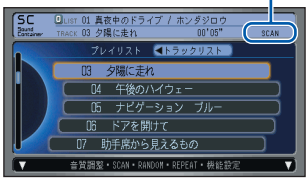
→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)



［SCAN］	再生中のプレイリスト内のすべての曲をスキャン再生するとき
［PLAYLIST-SCAN］	全プレイリストの先頭曲をスキャン再生するとき

▼

SCAN再生中の表示



スキャン再生します。

お知らせ

- スキャン再生を始めた曲まで戻ると、スキャン再生は解除されます。

つづく→

2 **聞きたい曲が再生されたら、［実行］を押す**

選んだ曲を再生します。

お知らせ

- スキャン再生を中断する場合は、再度［SCAN］または［PLAYLIST-SCAN］を押します。再生中の曲に戻ります。

サウンドコンテナに録音する

簡単 標準

録音設定をする

■CD録音モードを設定する

CDの録音モードを設定します。

→「CD再生時に自動的に録音する」(P321)
→「CDを手動で録音する」(P322)
→「CDの1曲目だけを自動的に録音する」(P322)

お知らせ

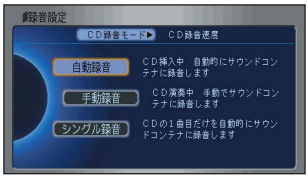
- 録音中に設定する場合は、録音をいったん停止してください。
- 出荷時の録音モードは［自動録音］です。

1 **CD操作メニューで［録音設定］を選んで［実行］を押す**

→「CD操作メニューを開く」(P283)



2 **コマンドホイールを回して、録音モードを選んで［実行］を押す**



録音設定画面では、次のとおりの設定ができます。

［自動録音］	CDを再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音される
［手動録音］	CDを再生し、ボタンを操作してサウンドコンテナに録音する
［シングル録音］	CDの1曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音される

▼

録音モードが設定されます。

■録音についての注意事項

録音する前にお読みください。

お知らせ

- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 録音したものは、原音とは音質が異なったりノイズが発生する可能性があります。
- 著作権保護のため、法人登録車ではサウンドコンテナの機能が利用できない場合があります。

■CD録音の制限について

すべての録音モード

- 音源をサウンドコンテナに切り換えても、録音中はサウンドコンテナの再生はできません。
- CD以外の音源が選択されても、サウンドコンテナはCDの録音を継続します。CD操作メニューの［録音停止］を選んで［実行］を押すと、録音を停止します。
- 録音中はナビゲーション本体の操作に時間がかかることがあります。
- 音飛びのエラーを検出した場合は、メッセージを表示します。
- 音飛びしてエラーが検出された場合は、その曲の始めに戻り録音を再開します。同じ曲の同じ箇所で再度エラーが検出された場合は、1倍速ではそのまま録音します。2倍速では次のトラックに送られます。
- 曲間（トラック間）にブランクがないCDを録音すると、曲間に無音が録音されます。
- サウンドコンテナの録音可能時間（ハードディスク容量）がCDの演奏時間より短い場合は、録音できません。（録音機能は働きません。）
- 2倍速録音中はCDの音声は聞くことができません。録音されたかどうかの確認をしたい場合は、録音終了後に、サウンドコンテナ操作メニュー（→*P316*）から選んで再生してください。
- 2倍速録音中は早送り／早戻しはできません。
- 2倍速録音中は、すでに録音済みの曲は再生せず、録音されていない曲を探して録音します。
- 2倍速録音中は、メッセージが表示されます。さらに、 Rx2 が表示されます。
- 地図画面のときは、左の中段に録音中のマーク R が表示されます。
- ナビゲーション本体は音楽CD規格に準拠して設計されています。コピーコントロールCDなどのCD規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。
- CDなどをデジタル録音した記録媒体（CD-R、PCカードなど）から、サウンドコンテナに録音（コピー）することはできません。これは、孫コピーを防止するために開発された連続複製防止システム（SCMS）の働きによるものです。

自動録音／シングル録音モード

- すでに録音済みの曲は、同じCDから重複して録音できません。
- エンジンスイッチを“0”にすると、録音中の曲が消去されます。次回エンジンスイッチを“I”または“II”にすると、エンジンスイッチを“0”にしたときに録音していた曲の始めから録音を開始します。
- CDを取り出すと、録音中の曲が消去されます。
- 選曲／早送り／早戻しすると、録音中の曲が消去され、次の未録音の曲から録音を開始します（［自動録音］選択時のみ）。
- スキャンすると、録音を中止します。録音を再開するには、未録音のトラックを再生中に［録音開始］を選んで［実行］を押してください。

手動録音モード（1曲のみ）

- CD録音モードを［自動録音］に切り換えると、次の曲から録音を開始します。
- CD録音モードを［シングル録音］に切り換えると、次の未録音の曲がトラック1のときのみ録音を開始します。

■CD録音速度を設定する

CDの録音速度を1倍速か2倍速にして録音することができます。
2倍速での録音中は、CDの音声を聞くことはできません。

お知らせ

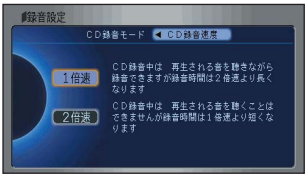
- 録音中に設定することはできません。

1 **CD操作メニューで［録音設定］を選んで［実行］を押す**

→「CD操作メニューを開く」(P285)

2 **ジョイスティックを右に倒して［CD録音速度］を選ぶ**

3 **コマンドホイールを回して、録音速度を選んで［実行］を押す**



▼

CD録音速度が設定されます。

CD再生時に自動的に録音する

CDを再生すると、自動的にサウンドコンテナに録音されます。

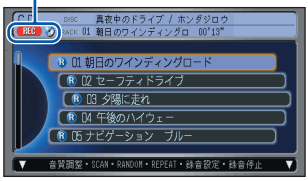
1 **録音設定画面で録音モードを［自動録音］にする**

→「CD録音モードを設定する」(P319)

2 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」(P284)

録音中の表示(赤色)※



CDの録音が始まります。

※再生されている曲がすでに録音済みでも、まだ録音されていない曲がある場合は、録音待機状態を示す青色になります。

▼

未録音の曲の演奏が終了すると、録音は終了します。

録音を停止する場合は、*「録音を停止する」(→P322)* を参照してください。

CDを手動で録音する

CDの曲を、ボタンを操作してサウンドコンテナに録音します。

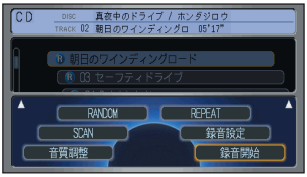
1 **録音設定画面で録音モードを［手動録音］にする**

→「CD録音モードを設定する」（P319）

2 **録音したい曲を再生する**

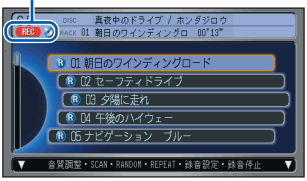
→「CDの聞きかた」（P284）

3 **ジョイスティックを下に倒してCD操作メニューの［録音開始］を選び、［実行］を押す**



▼

録音中の表示(赤色)



再生中の曲は始めに戻って再生され、録音が始まります。

▼

その曲の演奏が終了すると、録音は終了します。

録音を停止する場合は、「録音を停止する」（→P322）を参照してください。

CDの1曲目だけを自動的に録音する

CDを再生すると、1曲目だけが自動的にサウンドコンテナに録音されます。

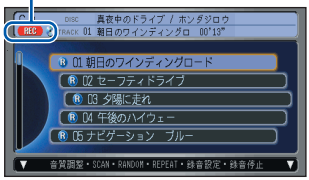
1 **録音設定画面で録音モードを［シングル録音］にする**

→「CD録音モードを設定する」（P319）

2 **CDを再生する**

→「CDの聞きかた」（P284）

録音中の表示(赤色)



CDの録音が始まります。

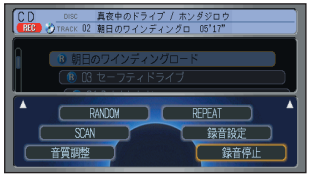
▼

1曲目の曲の演奏が終了すると、録音は終了します。

録音を停止する

1 **CD操作メニューで［録音停止］を選んで［実行］を押す**

→「CD操作メニューを開く」（P285）



▼

録音が停止します。

プレイリストの編集 簡単 標準

プレイリストには、次の2種類があります。

オリジナルプレイリスト	録音時に自動的に作成される。プレイリスト名の頭に O（「Original」の頭文字）が表示される。
ユーザープレイリスト	ユーザーが編集したプレイリスト。プレイリスト名の頭に U（「User」の頭文字）が表示される。

お知らせ

- サウンドコンテナに録音された曲（トラックデータ）はオリジナルプレイリストのみに保存されます。ユーザープレイリストにはトラックデータは複製されません。ユーザープレイリストを再生するときは、オリジナルプレイリストのトラックデータを使用します。

プレイリストを作成する

サウンドコンテナに録音された曲からお好みのプレイリスト（ユーザープレイリスト）を作成することができます。

お知らせ

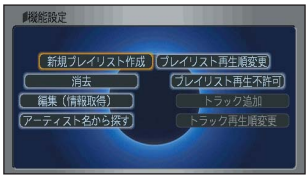
- プレイリストは、999個まで作成できます。
- 1つのプレイリストには、99曲（トラック）まで登録できます。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す**

→*「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」（P316）*



2 **［新規プレイリスト作成］を選んで［実行］を押す**



3 **プレイリストのタイトルを入力する**

→*「文字入力のしかた」（P39）*

4 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

曲の検索方法選択画面が表示されます。

5 **登録したい曲の検索方法を選んで［実行］を押す**

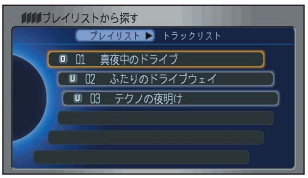


つづく→

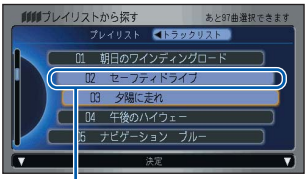
お知らせ

- ［アーティスト名から探す］を選んだ場合は、トラックリストに登録されているアーティスト名から探すことができます。
- ［最近録音した曲から探す］を選んだ場合は、トラックリストが表示されます。手順7に進んでください。
- PCカード内のMP3ファイルは選択できません。

6 登録したい曲が含まれる項目を選んで［実行］を押す



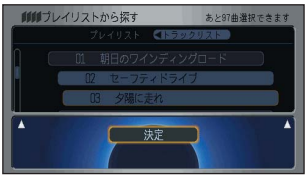
7 登録する曲を選んで［実行］を押す



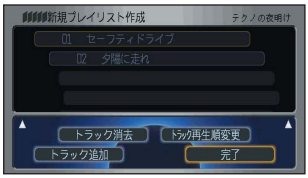
選択すると色が変わります。

プレイリストまたはアーティスト名内の曲を複数選べます。

8 ジョイスティックを下に倒して［決定］を選び、［実行］を押す



9 ジョイスティックを下に倒して［完了］を選び、［実行］を押す



［完了］以外の項目は、それぞれの説明をお読みください。

［トラック追加］	→P328
［トラック消去］	→P329
［トラック再生順変更］	→P328

アドバイス

- ［戻る］ボタンを押しても完了します。
- 他のプレイリストやアーティストの曲を追加したいときは［トラック追加］の手順を行ってください。

プレイリスト／トラックリストを編集する

■リストの詳細情報を表示する

登録されているプレイリストまたはトラックの情報を編集します。

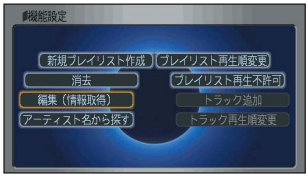
お知らせ

- PCカード内のMP3ファイルは編集できません。
- PCカード内のMP3ファイルのID3 Tagを変更しても、トラック情報が更新されないことがあります。更新されないときは、PCカード内の該当するファイルをいったん消去して保存し直してください。

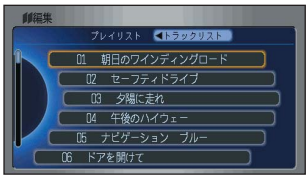
1 サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す

→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」（P316）

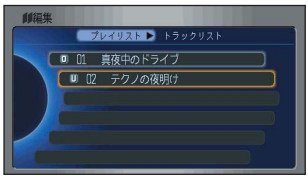
2 ［編集（情報取得）］を選んで［実行］を押す



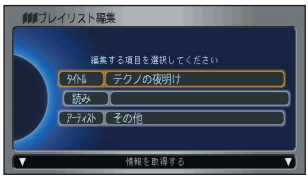
3 ジョイスティックを左右に倒して、プレイリストかトラックリストを選ぶ



4 編集したいプレイリストまたはトラックを選んで［実行］を押す



▼



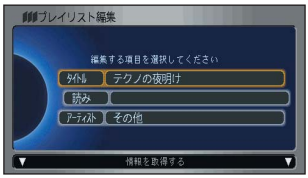
編集画面が表示されます。

タイトルや読みを変更する

タイトルは表示や検索に、読みは音声操作で曲を選ぶときに使用します。ここで変更したタイトルは音源となったCDのタイトル表示に反映されます。

1 編集画面で［タイトル］または［読み］を選んで［実行］を押す

→「リストの詳細情報を表示する」（P324）



2 タイトルまたは読みを入力する

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- ［タイトル］は全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
- ［読み］は、ひらがな32文字まで入力できます。

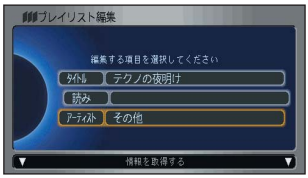
3 ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す

タイトルまたは読みが変更され、編集画面に戻ります。

アーティスト名を変更する

1 **編集画面で［アーティスト］を選んで［実行］を押す**

→「リストの詳細情報を表示する」（P324）



2 **アーティスト名を入力する**

→「文字入力のしかた」（P39）

お知らせ

- ［アーティスト］には全角16文字（半角32文字）まで入力できます。

3 **ジョイスティックを下に倒して［入力完了］を選び、［実行］を押す**

アーティスト名が変更され、編集画面に戻ります。

アドバイス

- タイトルや読み、アーティスト名を変更した場合でも、タイトル情報を取得すると元に戻すことができます。→「タイトル情報を取得するには」（P331）

■プレイリストの再生順番を変更する

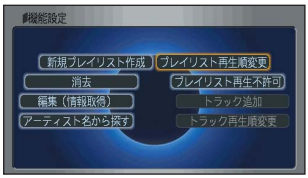
お知らせ

- 通常の再生では、プレイリスト画面に表示される順番に繰り返し再生します。
- PCカード内のMP3ファイルの再生順番は変更できません。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す**

→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」（P316）

2 **［プレイリスト再生順変更］を選んで［実行］を押す**



3 **順番を変更したいプレイリストを選んで［実行］を押す**



移動対象のプレイリストはワクの色が変わります。

4 **コマンドホイールを回して挿入位置を選び、［実行］を押す**



▼

プレイリストの順番が変わります。

■プレイリストを消去する

お知らせ

- プレイリストの種類により、消去されるデータが異なります。

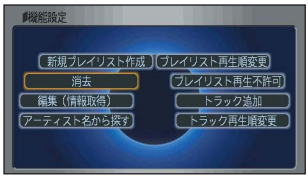
オリジナルプレイリスト	プレイリスト内のトラックデータ（録音した曲）を消去する
ユーザープレイリスト	プレイリストのみ消去する

- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されます。
- PCカードの内のMP3ファイルは消去できません。

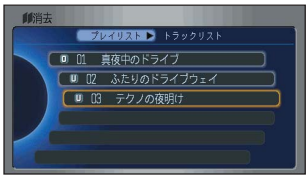
1 **サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す**

→*「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」（P316）*

2 **［消去］を選んで［実行］を押す**



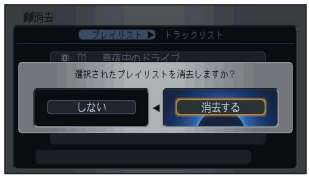
3 **消去したいプレイリストを選んで［実行］を押す**



お知らせ

- トラックリストが表示されている場合は、ジョイスティックを左に倒してプレイリストを表示させてください。

4 **ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す**



▼

プレイリストが消去されます。

■再生しないプレイリストを設定する

特定のプレイリストの再生を禁止することができます（再生不許可）。

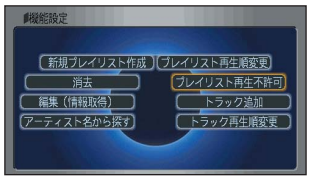
お知らせ

- 再生不許可に設定されたプレイリストは、再生時にスキップされます。
- 再生不許可に設定されたプレイリストには が表示されます。

1 **サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す**

→*「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」（P316）*

2 **［プレイリスト再生不許可］を選んで［実行］を押す**

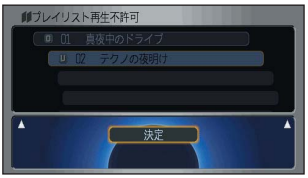


つづく→

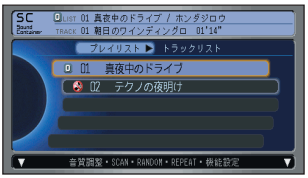
3 再生しないプレイリストを選んで［実行］を押す



4 ［決定］を選んで［実行］を押す



▼



選択されたプレイリストに が表示されます。

再生許可に戻すには

手順3で不許可のプレイリストは、色が変わっています。そのプレイリストを選んで［実行］を押すと、不許可が解除されます。

■プレイリストに曲を追加する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に が付いているもの）に曲を追加できます。（オリジナルプレイリストには追加できません。）

1 曲を追加したいユーザープレイリストを選ぶ

→*「サウンドコンテナの聞きかた」(P313)*

2 サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す

→*「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)*

3 ［トラック追加］を選んで［実行］を押す

以降の操作は*「プレイリストを作成する」(→P323)*の手順5～7の操作と同じです。

■曲の再生順番を変更する

ユーザープレイリスト（プレイリスト名の頭に が付いているもの）内の曲の再生順番を変更することができます。（オリジナルプレイリストでは変更できません。）

お知らせ

- プレイリストの順番を変更することもできます。→*「プレイリストの再生順番を変更する」(P326)*
- PCカード内のMP3ファイルの曲順は変更できません。

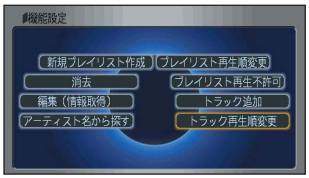
1 曲の再生順番を変更したいユーザープレイリストを選ぶ

→「サウンドコンテナの聞きかた」(P313)

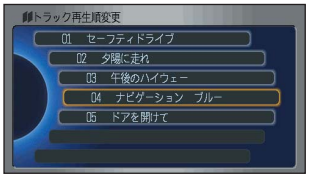
2 サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す

→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)

3 ［トラック再生順変更］を選んで［実行］を押す

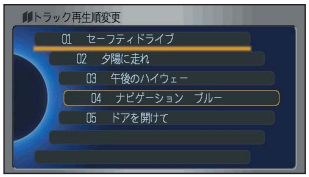


4 順番を変更したいトラックを選んで［実行］を押す



移動対象のトラックはワクの色が変わります。

5 コマンドホイールを回して挿入位置を選び、［実行］を押す



▼

トラックの順番が変わります。

■曲を消去する

お知らせ

- プレイリストごと消去することもできます。→「プレイリストを消去する」(P327)
- オリジナルプレイリスト内の消去されたトラックが、ユーザープレイリストにも登録されている場合には、ユーザープレイリスト内のトラックも同時に消去されます。
- PCカード内のMP3ファイルは消去できません。

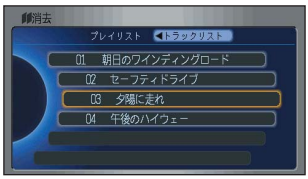
1 サウンドコンテナ操作メニューで［機能設定］を選んで［実行］を押す

→「サウンドコンテナ操作メニューを表示する」(P316)

2 ［消去］を選んで［実行］を押す

リストが表示されます。

3 消去したいトラックを選んで［実行］を押す



お知らせ

- プレイリストが表示されている場合は、ジョイスティックを右に倒してトラックリストを表示させてください。

4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



▼

曲が消去されます。

タイトル情報を取得する

プレイリストのタイトル情報を、ナビゲーション本体のハードディスクまたはインターネットのGracenote CDDBのデータベースから取得することができます（タイトルサーチ）。タイトル情報を取得することにより、サウンドコンテナの曲の検索などをスムーズに行うことができます。

■取得できる情報

- アルバムタイトル
- アルバムタイトルの読み
- アルバムのアーティスト
- トラックタイトル
- トラックタイトルの読み
- トラックのアーティスト

お知らせ

- CDまたは曲によっては取得できない情報もあります。
- タイトル情報は、まずハードディスクから探し、見つからないときは自動的に通信で探します。
- インターネットから取得したタイトル情報はハードディスクに保存されます。
- 以下の条件を満たしていれば、通信で情報を取得することができます。
  - －ナビゲーション本体に携帯電話または通信カードが接続されており、インターネットに接続可能な状態である。
  - －ナビゲーションのインターナビ設定が設定済みで、インターナビに1度でもログインしたことがある。
- 通信を使ったタイトルサーチ中に電話がかかってくると、「回線を切断します」のメッセージが表示され、サーチが中断されます。
- 通信で探すときに携帯電話または通信カードが接続されていないと、「携帯の接続を確認してください」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。

お知らせ

- 通信で探すときにナビゲーション側でハンズフリー機能を使用している場合は、「回線が使用中の為、通信機能は使用できません」のメッセージが表示され、通信を使ったタイトルサーチはできません。

■Gracenote CDDBについて

会社概要

音楽認識技術及び関連データ情報は、グレースノート及びグレースノートCDDB音楽認識サービスにより、提供されます。グレースノートは音楽認識技術及び関連データ情報配信における業界標準となっています。詳細については、www.gracenote.comをご覧ください。

特許及び商標

「グレースノート社からのCD及び音楽関連データ情報」に関する著作権（2000-2003）は、グレースノート社に帰属します。「グレースノートCDDBクライアントソフトウエア」に関する著作権（2000-2003）は、グレースノート社に帰属します。これらの製品及びサービスは、米国特許番号#5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593並びにその他の特許取得済みまたは申請中の技術の中の1つ或いは複数の技術により提供されます。「Gracenote」及び「CDDB」は米国グレースノート社の登録商標です。「Gracenote」のロゴ及びロゴタイプ、「CDDB」のロゴ及びロゴタイプ、及び「Powered by Gracenote」のロゴは、米国グレースノート社の商標です。

gracenote cddb

※ナビゲーション本体内蔵のGracenote CDDBのデータベース、インターネットのGracenote CDDBのデータベースともに、データの内容を100%保証するものではありません。

※Gracenote CDDBのインターネットのデータベースは、メンテナンス等により予告なく停止することがあります。

■タイトル情報を取得するには

お知らせ

- インターナビ・プレミアムクラブの会員登録およびインターナビの通信機能の設定、携帯電話または通信カードの接続、インターナビの認証（ログイン）を行わないと、通信で探すことができません。詳しくは*「インターナビを使う」の「準備」*をご覧ください。*(→P184)*
- ユーザープレイリストでは、タイトル情報は取得できません。

1 編集画面でジョイスティックを下に倒して［情報を取得する］を選び、［実行］を押す

→「リストの詳細情報を表示する」(P324)



情報取得は、まずハードディスクから探し、見つからないときは通信で探します。

ハードディスクから探す	ナビゲーション本体内蔵のハードディスクに収録されているデータベースから情報を取得する
通信で探す	携帯電話または通信カードを使った通信により、Gracenote CDDBのインターネットのデータベースから情報を取得する

お知らせ

- ナビゲーション本体内蔵のハードディスクからタイトル情報が取得できた場合、タイトル候補の選択画面が表示されます。ここで該当のタイトル情報が見当たらない場合は、さらに［通信で探す］を選び通信で探すことができます。

2 登録したいタイトルを選んで［実行］を押す



選んだタイトルが取得できます。

お知らせ

- ［該当タイトルなし］を選ぶと、タイトルは登録されません。プレイリスト編集画面またはトラック編集画面から、好みのタイトルを入力してください。→*「プレイリスト／トラックリストを編集する」(P324)*
- 通信で情報を取得した場合、通信の状態および検索サーバの状況によっては情報の取得に失敗することがあります。失敗すると、「情報の取得に失敗しました」のメッセージが表示されます。

その他

GPSの測位について 334
現在地がわかるしくみ 334
GPSによる測位 334
自立航法による測位 334
測位の精度を高めるためのしくみ 334
3Dハイブリットセンサーの役割 334
マップマッチング 335

現在地や軌跡の誤差について 336

おすすめルートについて 340

VICSについて 342
VICSセンターからのおことわり 342
VICS情報の提供について注意事項 342
電波ビーコン 342
光ビーコン 342
FM多重放送 343
インターナビ 343
VICS情報について 343
VICSセンターの運用時間 344
VICS情報についてのお問い合わせ 344
VICS使用時のメッセージについて 345

地図／その他情報について 346
地図のバージョンを確認する 348

ハードディスク容量を確認する 349
画面の見かた 349

保存データを消去する 標準 350

用語解説 351

GPSの測位について

現在地がわかるしくみ

ナビゲーションシステムでは、現在地（自車位置）を測位する方法としてGPSに加え、自立航法による測位が可能です。

■GPSによる測位

GPS衛星（人工衛星）から位置測定用の電波を受信して、現在地を測位するシステムがGPS（Global Positioning System：グローバル・ポジショニング・システム）です。GPS衛星は、地球の周り高度21,000 kmに打ち上げられています。3つ以上のGPS衛星の電波を受信すると、測位が可能になります。

GPSによる測位には、3次元測位と2次元測位の2種類があります。

種類	内容
3次元測位	GPS衛星の電波を良い状態で受信できたときは、緯度／経度／高度の3次元で測位できる。
2次元測位	GPS衛星の電波を受信できても、受信状態があまり良くないときは、緯度／経度の2次元で測位する。高度は測位できないため、3次元測位のときよりも測位の誤差がやや大きくなる。

■自立航法による測位

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、走った距離を車の車速パルスから、曲がった方向を振動ジャイロセンサーで、路面の傾斜を傾斜計（Gセンサー）で、それぞれ検出して、現在地を割り出しています。

GPSと自立航法を組み合わせた測位の特長

- GPSによる現在地のデータと、自立航法による現在地のデータを常に組み合わせているため、より精度の高い測位を行うことができます。
- GPS衛星の電波が受信できなくなっても、自立航法により測位を続けることができます。
- 自立航法による測位だけでは、現在地の表示が徐々にずれてくることがあります。GPSと自立航法を組み合わせると、GPS測位により自立航法のずれを修正することができるため、測位精度が高くなります。

測位の精度を高めるためのしくみ

■3Dハイブリッドセンサーの役割

内蔵の3Dハイブリッドセンサーは、自立航法自体の測位精度を高めるために、高精度3Dハイブリッドシステムで活用されています。

高精度3Dハイブリッドシステム

車速パルスと、3Dハイブリッドセンサーによって高度差を検出できるため、高精度な測位が可能です。

3Dハイブリッドセンサーの特長

- **高度差の測位も可能です**
  平面的な測位の場合、立体交差や上下に高速道路と一般道がある場所では、側道と本道、あるいは高速道路と一般道のどちらにいるのかの判断ができないことがありました。
  3Dハイブリッドセンサーでは坂道の上り下りも測位できるため、地図上は高速道路と一般道が上下に重なっていても、どこを走っているかを的確に判断することが可能です。
- **ワインディングロードや坂道で生じる距離誤差も修正します**
  山道や坂道を走行している場合、実際に走った距離と地図上の移動距離には誤差が生じます。このため、自車位置の先走りといった現象が起きることがありました。
  3Dハイブリッドセンサーは、測位した高度差から誤差を修正して、高精度な測位を可能にしています。
- **誤差の学習や補正を行います**
  - 3Dハイブリッドセンサーは、自分自身で計算した現在地とGPS測位による現在地を常に比較し、発生した誤差を学習しています。
  - 学習内容に応じて、さまざまな要因によって生じる誤差を補正しています。
  - 走行を重ねるにつれて学習が蓄積されるため、徐々に測位の精度が高くなっていきます。

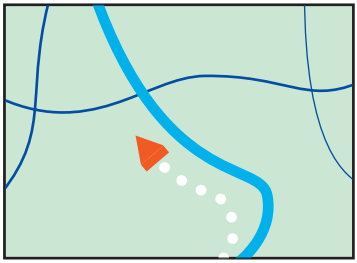
アドバイス

- 3Dハイブリッドセンサーは、GPS衛星の電波が受信できないときは、学習・補正効果を高めるため、学習や補正を行いません。したがって、GPSによる測位時間が短い間は、自車マークと実際の現在地が大きくずれることがあります。このようなときは、GPS受信状態で1時間程度走行すると、精度が回復します。

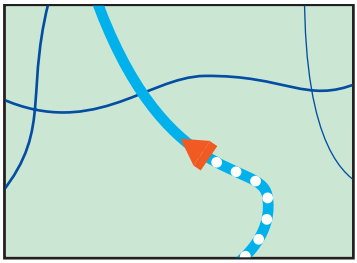
■マップマッチング

GPSや自立航法による測位には誤差が生じることがあるため、現在地が道路以外（例えば川の中）になることがあります。このようなとき、「車は道路上を走るもの」と考え、現在地を近くの道路上に修正する機能がマップマッチングです。

マップマッチングしていない場合



マップマッチングしている場合



本ナビゲーションシステムでは、GPSと自立航法で精度の高い測位をした上でマップマッチングが働くため、さらに正確な現在地表示が可能です。

道路データについて

市街地図で道路が表示されていても、その道路をルート計算またはその道路にマップマッチングできない場合があります。

現在地や軌跡の誤差について

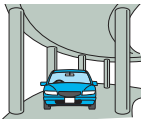
GPSや自立航法、マップマッチングの組み合わせにより、誤差をより小さくすることができます。ただし、状況によってはこれらの機能が正しく動作せず、誤差が大きくなることがあります。

GPS測位不可による誤差

- 2つ以下のGPS衛星の電波しか受信できないときは、GPSによる測位ができないことがあります。
- 次のような場所にいるときは、GPS衛星の電波がさえぎられて受信できないため、GPSによる測位ができないことがあります。



トンネルの中やビルの駐車場



2層構造の高速道路の下

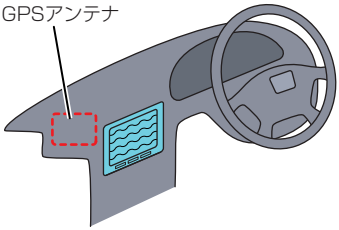


高層ビルの群集地帯



密集した樹木の間

- 次のような場合は、電波障害の影響で、一時的にGPS衛星の電波を受信できなくなることがあります。
  - 車載のテレビで56チャンネル（UHF）を受信している。
  - GPSアンテナの近くで自動車電話や携帯電話を使っている。
- GPSアンテナ上部やまわりに金属製の物を置くなどしないでください。また、ウィンドーに金属を含有するウィンドーフィルムを貼り付けないでください。感度が低下したり、電波を受信できなくなります。
  GPSアンテナは、インストルメントパネルの中央裏側にあります。

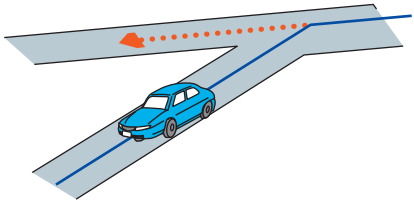


GPS衛星自体による誤差

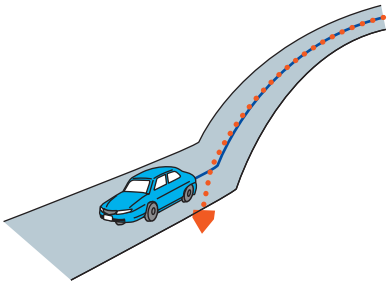
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、衛星自体が意図的にずれた位置データを送信することがあります。このようなときは測位の誤差が大きくなります。
- 3次元測位のときは、約10m～100mの誤差で現在地を測位します。2次元測位のときは、3次元測位のときよりも誤差がやや大きくなります。
- GPS衛星の配置が悪いとき（衛星が同じような方向や同じような高さにあるとき）には、十分な精度が得られないことがあります。（GPS測位では、自車の真上と東西南北の地平線ぎりぎりにある複数の衛星を受信したときに、最も良い精度が得られるようになっています。）
- GPS測位の高さ方向に関する精度は、水平方向に対して、誤差がやや大きくなります。自車の高さよりも上にある衛星の電波は受信できますが、下（地球の裏側）に位置している衛星の電波は物理的に受信できないため、高さに関して十分な比較ができません。

その他の誤差について

- 角度の小さなY字路を走った場合。



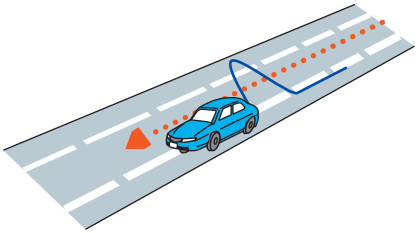
- 直線や緩やかなカーブを、長距離走ったすぐ後。



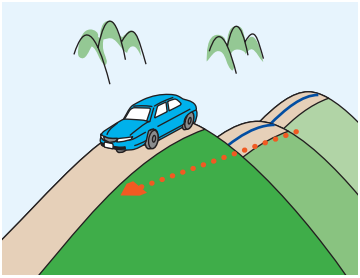
- 砂利道や雪道などで、タイヤがスリップした場合。



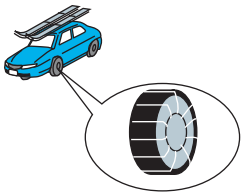
- 蛇行運転をした場合。



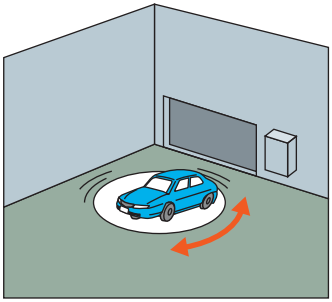
- 勾配の急な山道など、高低差のある道を走った場合。



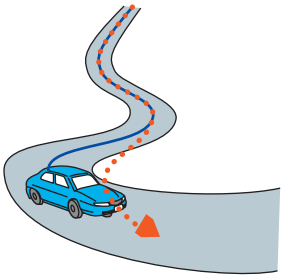
- チェーンを装着したときやサイズの違うタイヤに交換したとき、またタイヤの空気圧が正しく調節されていない場合。



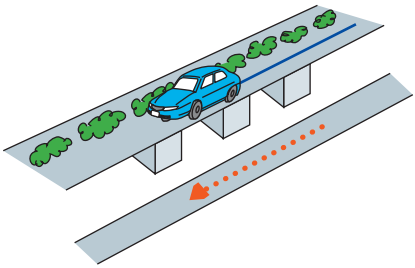
- 駐車場などで、ターンテーブルでの旋回を行った場合。



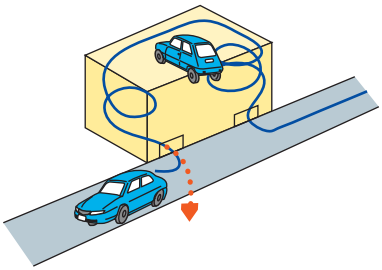
- ヘアピンカーブが続いた場合。



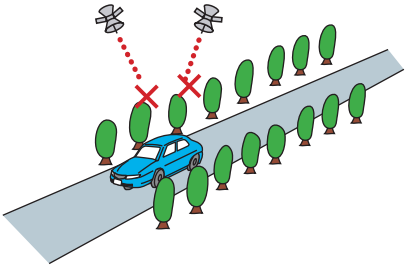
- 道路が近接している場合（高速道路と側道など）。



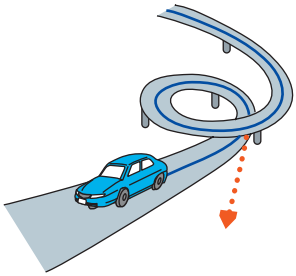
- 立体駐車場などで旋回や切り返しを繰り返した場合。



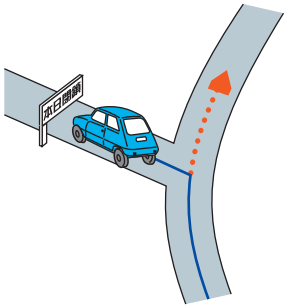
- GPSによる測位ができない状態が長く続いた場合。



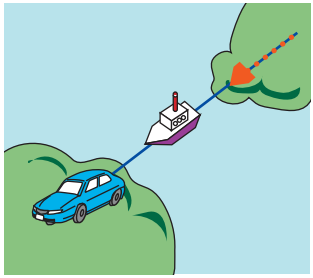
- ループ橋などを通った場合。



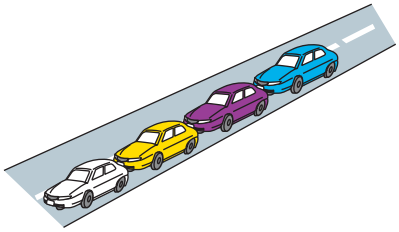
- 地図情報にはない新設道路を走った場合。



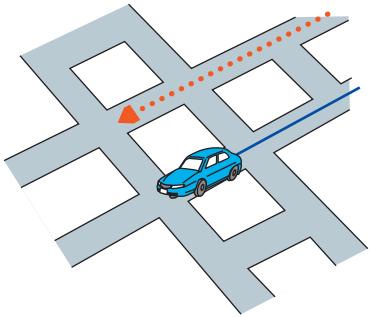
- フェリーや車両運搬車などで移動した場合。



- 渋滞などで、低速で発進や停止を繰り返した場合。



- 碁盤の目状の道路を走った場合。



- 工場などの施設内の道路を走行中、施設に隣接する道路に近づいた場合。
- エンジンをかけてすぐに走行し始めた場合。

高速／高架道路での誤差について

高速道路を乗り降りするときや、高架道路、立体交差の道路を走行するときは、3Dハイブリッドセンサーが傾斜を検知します。本ナビゲーションシステムはこの傾斜の検知とディスクに収録されている道路の高さ（傾斜）のデータから、車が走行している道路を判断します。このため、傾斜を検知しても道路の高さのデータが登録されていないと、自車位置表示には反映されません。

駐車場マップについて

- 以下のような走行状況では、駐車場マップに切り換わらないことがあります。
  - しばらく右左折せずに長距離走行した後に進入した場合
  - Uターンするような方向で進入した場合
  - 収録されていない駐車場経由で進入した場合
  - 新設された入口から入場した場合

おすすめルートについて

ルート計算の仕様

お知らせ

- ルート計算をすると、自動的にルート案内／音声での案内が設定されます。交通規制情報はルート計算した時刻のものが反映されます。例えば、「午前中通行可」の道路でも時間の経過により、その現場を「正午」に走行すると設定されたルートを通れないなどの交通規制に反する場合があります。運転するときは必ず実際の交通標識に従ってください。
  なお、冬期通行止めなどには一部対応していないものもあります。

- 計算されたルートは道路種別や交通規制などを考慮して、本ナビゲーションシステムが求めた目的地に至る道順の一例です。必ずしも最適になるとは限りません。
- ルート計算（登録道使用ルート、学習ルートを含む）は100mスケールの地図に表示される道路を対象としています。市街地図にだけ表示される道路は対象となりません。なお、市街地図に表示されない道路でも、100mスケールの地図に表示されていれば、市街地図ルートが表示されます。
- 本州～北海道、本州～四国、本州～九州のルートも設定できます（本州～北海道などのフェリーが運行されている場合には、航路を使うルートが計算されます）。
- フェリー航路に関してはルート計算の補助手段であるため、長距離航路は対象となりません。
- フェリー航路については、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。また、フェリー航路を優先しても必ずフェリー航路が使われるわけではありません。
- 冬期通行止めなどにより通行できない道路をルート計算すると、エラーメッセージが表示されます。
- 案内地点には、右左折や高速道路出口などを案内する音声が自動的に設定されます。

ルート計算のしかた

- 出発地（自車位置）から最も近い、道路前方の交差点が第1案内地点となります。出発地を指定したときは、指定した地点から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方が第1案内地点になります。
- 最終案内地点は、目的地に設定した場所から最も近い道路にある直近の2つの交差点のうち、どちらか一方になります。目的地付近に道路が見つからないときは、目的地から最も近い、道路との交差点が最終案内地点になります。
- 進行方向に進むとあまりにも遠回りになる場合、現在の進行方向と逆向きのルートが設定されることがあります。
- 河川や駅の反対側を案内するルートになることがあります。そのようなときは、目的地を使用したい道路の近くに移動してみてください。
- 回避エリアを登録しても、その場所が回避されないことがあります。
- 渋滞考慮ルート計算、高速道路回避、フェリー航路回避などでは、他の適切なルートがない場合は回避されないことがあります。
- 推奨できるルートが6本に満たない場合、何本かが同じルートになることがあります。

- 経由地や登録道使用、乗り降りICの指定、および音声操作によるルート計算、自宅ルート計算を行った場合、ルートは1本のみ計算されます。
- 最長5,000km程度までルート計算できます。
- 出発地から道塗り開始点まで、道塗り終了点から目的地までの距離が遠い場合があります。
  場所によってはルート計算できないことがあります。そのようなときは、目的地および出発地付近の「大きな交差点※」付近に経由地を設定してみてください。

※「大きな交差点」とは、細街路（100mスケールでグレー表示の細い道）以外の道どうしの交差点です。

ルートの道塗りについて

- 幹線道路などの幅の広い道路や上下線分離道路、山道などの曲がりくねった道路では、道塗りの下から道路がはみ出して見える場合があります。
- 出発地、目的地、経由地の前後では道塗りされない場合があります。このため、経由地付近でルートが途切れたように見えることがあります。（音声での案内は継続されます。）

音声での案内について

- オートリルートの場合、元のルートに復帰する案内地点は案内されません。
- 高速道路のインターチェンジ出口を目的地として設定すると、「高速出口」と「料金」は案内されないことがあります。

交差点拡大図について

- 2D交差点拡大図は、交差点とその150m手前の地点を結んだ線が上になるように表示されます。道路が直交する交差点では、交差点拡大図の下から自車マークが交差点内に現れます。交差点手前で道路がカーブしている場合は、自車マークは道路に沿って交差点拡大図の横方向から現れます。
- 第1案内地点での交差点拡大図は、表示されないことがあります。
- ランドマーク音声案内は、交差点によっては行われない場合があります。

ルート候補選択画面での高速料金について

- 特殊な料金体系の高速道路では、正しい料金が表示されない場合があります。
- 一般有料道路に関しては、一部路線のみ対応しています。
- 高速道路上およびランプ上からルートを計算したときや、高速道路上に目的地を設定したときは、高速道路を使う区間を判断できないため、料金が正しく計算されません。
- ［目的地］メニューからインターチェンジなどの高速道路施設を検索し、表示された地点を出発地としてルートを計算した場合、料金が正しく表示されません。高速道路に乗る前の地点を出発地としてルートを計算してください。
- 一部実際と異なる料金が表示されたり、案内されたりすることがあります。このような場合は、実際の料金に従ってください。
- 高速料金は改定される場合がありますので、あくまで目安としてお使いください。
- 高速道路をまったく使用しないときは、「0円」と表示されます。

オートリルートについて

目的地、経由地付近に時間規制があり、ルート設定時は通行できたが、走行中に通行不可となることがあります。このときオートリルートをすると、ルート設定に失敗し、画面にはメッセージが「自動ルート再計算に失敗しました」と表示され、誘導が中止になります。
この場合は、目的地、経由地の場所を変更する必要があります。

VICSについて

VICSセンターからのおことわり

VICSセンターは、何らかの理由により情報が送信できなくなった場合、メッセージを送信します。

メッセージ内容は、VICSセンターから送られるものです。
地図画面表示中にメッセージを受信した場合は、約15秒間割込表示します。
他の画面表示時に受信した場合は、メッセージ受信後、他の画面から地図画面に表示を切り換えたときにメッセージを表示します。

お知らせ

- VICS設定（→*P156*）で［文字情報割込み］を［する］に設定されていないと、ことわり情報は表示されません。
- 自動割込されたことわり情報は［割込情報］から再度表示することができます。（→*P131*）

VICS情報の提供について注意事項

以下のような状況下においては、VICS情報が良好に受信できなくなることがあります。

■電波ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に電波をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- 高速道路の高架下を走行したとき、高速道路の電波ビーコンを受信してしまうことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■光ビーコン

- 大型車が障害となり、受信状態が悪くなることがあります。
- ビーコン送受信機の上に光をさえぎるものを置くと、受信が困難になります。
- ビーコン送受信機の取付角度がずれていると、うまく受信できないことがあります。
- 積雪などのしゃへい物があると、うまく受信できないことがあります。
- 太陽やネオンサインの影響でうまく受信できないことがあります。
- 車両がビーコンの横を完全に通過しても、受信が完了するまでに若干時間がかかります。

■FM多重放送

- 電車の架線／高圧線／信号機／ネオンサインなどの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- 車の位置によっては、建物や山などが障害物となり受信状態が悪くなることがあります。
- 他の電波送信用アンテナの近くでは、受信状態が悪くなることがあります。
- トンネル内は電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなることがあります。
- 放送局から遠くなると電波が届きにくくなり、受信状態が悪くなります。
- FM放送が聞こえていても、その放送局のVICS情報の受信状態が悪い場合があります。

■インターナビ

- 携帯電話の通話状態が悪いと受信状態が悪くなります。
- 管理者システムで情報収集されていない道路については、VICS情報は提供されません。
- センターシステムのメンテナンスなどによりVICS情報が提供されない場合があります。

■VICS情報について

- エンジン始動直後や、放送局が切り換わった直後は、受信できた情報から表示可能となるため、受信完了していないページがとばされることがあります。
- 電波ビーコン、光ビーコン、FM多重の各形態から提供される情報の密度や対象道路などがそれぞれ異なっている場合があり、また情報の更新がおよそ5分間隔で行われるため、地図上のVICS情報の表示が増えたり減ったりする場合があります。
- 新しいVICS情報を長時間（およそ30分）受信しない場合には、データが自動的に消去され、表示が消える場合があります。
- 渋滞情報はVICSセンターでの収集、編集、送信に若干（5～10分程度）時間がかかりますので、実際の状況が変化している場合があります。
- 全ての道路について情報が提供されているわけではありません。また情報の収集ができていない場合には、情報が提供されません。
- VICSリンクの番号が更新されると、今までVICS情報が表示されていた道路で表示がされなくなる場合があります。
  地図データが更新されナビゲーションシステムのVICS番号が更新されると、VICS情報が正しく表示されるようになります。
- VICSリンクの更新は年1回行われ、新しく道路ができたり、道路がなくなったり、新たにVICSリンクとして定義された道路がある場合に、それらに接続する道路のVICSリンク番号が変更されることがあります。VICSリンクの番号変更については、VICSセンターにお問い合わせください。
- 登録された駐車場のみ駐車場の情報が表示されます。
- VICS情報には、時間や地域が重要な要素なので、走行中の自車位置に最も必要な情報をいつでも受信できるように本機では自車位置の情報とレシーバーの受信状態から最適と思われる放送局を自動選局するように設定してあります。なお、必要に応じて手動で放送局選択を行ってください。
- 放送局により、放送局名称の提供を行っていない場合があったり、自車位置よりも遠方の放送局を選択している場合などがあります。
- 自車位置から遠方の地域を選択すると、選択している地域以外のVICS情報を受信する場合があります。
- VICSルート計算では、渋滞箇所の通過にかかる時間と迂回した場合の時間をリンク旅行時間情報により計算し、迂回するかどうかを決定しますので、全ての渋滞箇所を迂回するとは限りません。

- 情報提供のない道路の計算は、通常のナビゲーションシステム同様のルート計算になります。したがって、VICS情報のない道路が渋滞していてもそのルートを選択する場合があります。また、ルート計算後に渋滞が発生する場合もあります。
- 自車位置から遠方にある通行止め、ランプ閉鎖の場合には、そこを迂回する幹線の適切なルートがない場合、迂回しない場合があります。
- VICS情報の中に、その事象の位置データがない場合は、該当するVICSリンクの始点が案内対象位置（マーク表示位置）となるため、事象発生場所と異なる場合があります。また、渋滞に関しては時間とともに状況が変化するためあくまで参考としてお考えください。
- エンジンスイッチを“0”にすると、VICS情報は消去されます。エンジン始動後、VICS情報を受信してください。

VICSセンターの運用時間

FM多重放送　24時間（ただし月曜日午前1時～5時は運用休止）
＊3月および9月に、深夜0時～5時までをメンテナンスウィークとして保守のため運用を休止することがあります。

ビーコン　24時間
＊メンテナンスのため運用を休止することがあります。

インターナビ　24時間
＊メンテナンスのため運用を休止することがあります。

お知らせ

- VICSの運用休止中は、情報が送信されていても、内容は保証されません。

VICS情報についてのお問い合わせ

- **車載のVICSシステムの調子、受信可否やお車に関して**
- **地図表示内容について**
- **VICS情報が受信できるエリアや内容の概略に関して**

などのお問い合わせは、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡ください。

- **文字表示内容に関して**
- **簡易図形表示内容に関して**
- **VICSの概念／サービスエリア整備計画／ビーコン個々の設置位置に関して**

などのお問い合わせは、下記VICSセンターまでご連絡ください。

（財）VICSセンター

受付番号	**0570-00-8831（全国） 携帯電話、PHS専用 東京03-3592-2033 大阪06-6209-2033**
電話受付時間	**9：30～17：45 （ただし土曜、日曜、祝祭日を除く）**
受付FAX番号	**03-3592-5494**
FAX受付時間	**24時間**
ホームページアドレス	**http://www.vics.or.jp/**

なお、お問い合わせ先の判断に迷うような場合には、まずお買い求めの販売店または、巻末に記載している本田技研工業株式会社「お客様相談センター」までご連絡いただくことをお勧めします。

VICS使用時のメッセージについて

	状況	音声での案内
規制	通行止めの規制がある場合	この先通行止めです
	速度規制がある場合（例 50km/h規制）	この先50キロ規制です この先徐行区間です この先速度規制があります
	車線規制がある場合	この先車線規制があります
	片側規制がある場合	この先対面通行です この先片側通行です
	チェーン規制がある場合	この先チェーン規制があります
	オンランプ規制およびオフランプ規制がある場合	この先ランプ閉鎖です
事象	事故が発生した場合	この先事故発生地点です
	火災が発生した場合	この先走行に注意してください
	故障車がある場合	この先故障車があります
	路上障害物がある場合	この先障害物があります
	工事箇所がある場合	この先工事中です
	作業箇所がある場合	この先作業中です
	気象の案内	この先凍結のおそれがあります この先悪天候です この先走行に注意してください
	災害の発生	この先通行障害があります
渋滞	渋滞	この先渋滞です
	混雑	この先混雑しています

地図／その他情報について

地図データについて

- 本製品に使用している地図データは、2004年10月現在のものです。「バージョン(Ver)11.07の場合」
- いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理長の承認を得て、同院発行の2.5万分の1地形図および20万分の1地勢図を使用しました。（測量法第30条に基づく成果使用承認 平13企指公第2号、平8総使第31号）
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（©2004財団法人日本デジタル道路地図協会）を使用しました。
- この地図の作成に当たっては、小田原市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1国土基本図を使用しました。（承認番号平成10年小田原市指令第52号）
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用しました。（測量法第44条に基づく成果使用承認　平成12年度　知都発第170号）
- この地図の作成に当たっては、養老町長の承認を得て、同町所管の2,500分の1都市計画図を使用しました。
(平成12年　養建第1902号)
- この地図の作成に当たっては、貴志川町長の承認を得て同町発行の2,500分の1全図を使用し、調整しました。
(承認番号平10．近公．第34号)
- データベース作成時点の関連で、表示される地図が現状と異なる場合がありますのでご了承ください。
- 日本測地系に対応しています。

交通規制データについて

- 本製品に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、(財)日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
TMT承認番号 03-225
- 本製品に使用している交通規制データは、2003年9月現在のものです。本データが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・表示等に従ってください。
- 本製品に使用している交通規制データの著作権は、(財)日本交通管理技術協会が有し、二次的著作物作成の使用実施権をインクリメントP(株)が取得しています。本品に使用している交通規制データを無断で複写複製・加工または改変することはできません。
©2003.TMT
- この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

高速道路料金データについて

- 本製品に使用している高速道路の料金データは、２００４年１０月１日現在（2004年4月調査時点）のものです。

VICSサービスエリアについて

- 本製品に収録されているVICSエリアは下記の都道府県が対象となります。
北海道（札幌）（旭川）（函館）（北見）（釧路）、青森県、秋田県、岩手県、宮城県、福島県、山形県、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、静岡県、長野県、新潟県、富山県、福井県、石川県、愛知県、三重県、岐阜県、滋賀県、京都府、大阪府、

奈良県、和歌山県、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、島根県、鳥取県、香川県、徳島県、愛媛県、高知県、福岡県、大分県、長崎県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- VICSサービスエリアが拡大されても、本製品では新しく拡大されたサービスエリアでのレベル3（地図表示型）表示はできません。

郵便番号のデータについて

- 郵便番号データは2004年4月現在のものです。
  大口事業所、私書箱については2004年4月現在のものです。

テレビ局リストのデータについて

- テレビ局リストのデータは2004年7月調査現在のものです。
  TV放送局の周波数（チャンネル）変更が行われた場合には、受信できない場合や受信した放送局が表示と異なる場合があります。

その他情報提供元

- NTT情報開発株式会社（2004年1月現在のタウンページデータ）
  (音声認識可能な電話番号は上記データを使用しています。)
- 財団法人交通事故総合分析センター（1999年度統計による危険地帯データ）
- 三井物産株式会社（2002年8月現在の駐車場データ）
- 監修：夜景愛好家　縄手真人（夜景コメント・夜景写真）
- 小黒俊雄（写真撮影、百名山・高原植物）
- 加藤庸二（写真撮影、名滝百選）
- 関係各市区町村観光課・観光協会（写真協力、さくら名所・名水百選）
- 米国特許No.4,558,302および対応外国特許
- 都市高速走行中のドライビングマップに表示される看板データについては、2002年10月調査時点（東京）、2002年9月調査時点（大阪・名古屋）のデータを使用しています。（実際の看板と異なる場合があります。）

- この製品に含まれるブラウザの改変及び複製、この製品から分離させる行為は、行ってはいけません。
- この製品に含まれるGIFモジュールはブラウザとしての使用に限定して米ユニシス社のライセンスを受けています。これ以外の用途でご使用になるには、お客さま自身で別途ライセンスをお取りいただく必要があります。
- また、米ユニシス社から取得したライセンスが適用されるのはこの製品だけであり、この製品と一緒にご使用になる他の製品のライセンスが付与されるものではございません。

「本製品のインターネット機能は株式会社ACCESSのNetFront®を搭載しています。
Copyright ©1996-2003 ACCESS CO.,LTD
NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。
本ソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。」

株式会社ACCESS　NetFront®

技術基準適合認定番号：A03-0423JP

地図のバージョンを確認する 簡単 標準

地図のバージョンを確認することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［各種情報］➜［地図バージョン］を選んで［実行］を押す

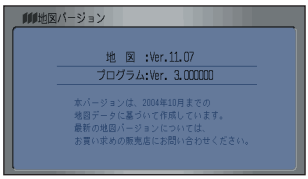


標準

［メニュー］ボタン ➜［付加機能］➜［各種情報］➜［地図バージョン］を選んで［実行］を押す



▼



地図バージョンとプログラムのバージョンが表示されます。

バージョンアップについて

本ナビゲーションシステムは、ハードディスクを利用したシステムです。本機をバージョンアップするには、内蔵ハードディスクのデータを書き換えます。
バージョンアップを行うときは、Honda販売店にご連絡ください。

ハードディスク容量を確認する

簡単 標準

ハードディスクの容量（使用状況）を確認することができます。

1

簡単

［メニュー］ボタン ➔［付加機能］➔［各種情報］➔［ハードディスク容量］を選んで［実行］を押す

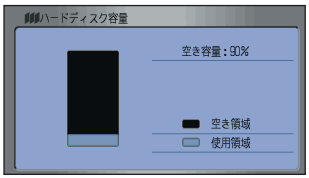


標準

［メニュー］ボタン ➔［付加機能］➔［各種情報］➔［ハードディスク容量］を選んで［実行］を押す

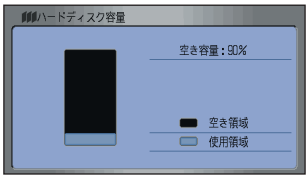


▼



容量（使用状況）が表示されます。

■画面の見かた



現在の空き容量が百分率（100%）で表示されます。

お知らせ

- 空き容量とは、ユーザーデータが保存できる容量のことです。ユーザーデータとは、画像、登録地（よく行く地点、マーク、インターナビの情報取得地点など）、登録道、回避エリア、プレイリスト、PCカードから読み込んだ各データなどのことです。
- 10%程度の空きがあっても、システム上保存できない場合があります。

保存データを消去する標準

ハードディスクに保存したユーザーデータをすべて消去することができます。

お知らせ

- 一度全消去すると、元にもどせません。また、ユーザーデータばかりで無く、案内中のルートなどの情報も消去されます。保存しておきたい地点や情報などがある場合は、PCカードに保存してから行ってください。→*「カードを使う」(P221)*
- 車を譲渡するときなどは、お客様が設定した画像、登録地、登録道、回避エリア、メール、電話帳、プレイリストなどのユーザーデータを消去してください。

1 ［メニュー］ボタン ➔［付加機能］を選んで「実行」を押す



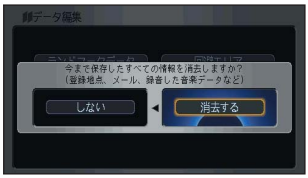
2 ［データ編集］を選んで［実行］を押す



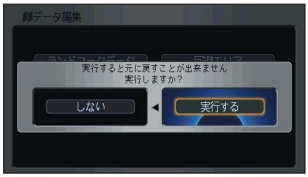
3 ［保存情報の全消去］を選んで［実行］を押す



4 ジョイスティックを右に倒して［消去する］を選び、［実行］を押す



5 ジョイスティックを右に倒して［実行する］を選び、［実行］を押す



▼

保存情報が消去され、起動画面が表示されます。

用語解説

●インターナビ・プレミアムクラブ（→P182）
スムースで快適なドライブをサポートする情報サービスです。

●オートリルート（→P112）
ルート案内中に曲がるべき交差点で曲がれなかったりしておすすめのルートから離れてしまったとき、自動的に他のルートを探して元のルートに戻す機能です。

●結露 （→P270）
真冬に車内を暖かくしていると、窓ガラスが曇ってきます。これは、車内の空気中にある水蒸気が外気で急速に冷やされて水滴になるためです。このような状態を結露といいます。寒いとき、暖房を始めたばかりの車内などでは、ディスク表面に結露が発生しやすくなります。

●自車（→P20）
このナビゲーションシステムを装着しているお客様のお車のことです。

●走行軌跡（→P32）
地図には、自車が走ってきた道に印（点線）がつきます。この印（点線）を走行軌跡といいます。

●測位（→P21）
GPS衛星からの電波を受信して、自車の位置を測定することです。

●マップマッチング（→P20、P335）
実際に走行している道路から外れた位置に自車マークが表示されるなど、地図上で誤差が生じることがあります。マップマッチングは、走行軌跡と地図をコンピューターで照合してずれを補正し、自動的に自車マークを道路上に表示させる機能です。

●ランドマーク（→P56）
お店や施設を、地図上で見やすくするために絵で表した目印です。

●リンク旅行時間（→P98、P136）
VICSセンターが算出した該当する区間（リンク）を車両で通過した場合の予想所要時間のことをいいます。

●3Dハイブリッドセンサー（→P20、P334）
車の走行距離、車の進行方向を調べる部品です。

●DTS（ディーティーエス）（→P301）
DTSはDigital Theather Systems （デジタル・シアター・システム）の略称です。世界13,000館以上の映画館で採用されている劇場用デジタル・サウンド・システムの新方式です。

DTSは米国Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

●GPS（ジーピーエス）（→P21, P334）
GPSは、Global Positioning System（グローバル・ポジショニング・システム）の略称です。GPSは、米国が開発運用しているシステムで、高度約21,000kmの宇宙空間で周回している3つ以上のGPS衛星から地上に放射される電波を同時に受信し、現在位置を知ることができるシステムです。

●PDC（ピーディーシー）（→P183、P230）

PDCは、Personal Digital Cellular（パーソナル・デジタル・セルラー）の略称です。PDCは、日本の携帯電話に使われているデジタル無線通信方式のひとつです。

●VICS（ビックス）（→P124）

VICSは、Vehicle Information and Communication System（道路交通情報通信システム）の略称です。VICSレシーバーセットを装着すると、事故や工事の情報、渋滞状況や主要路線の区間旅行時間、駐車場の空き情報を得ることができます。

●VICSリンク（→P343）

電波ビーコン、光ビーコン、FM多重放送を通じて、車両に提供される交通情報の道路の統一的な表現手段を定義したもので、リンクは、道路や交差点やインターチェンジなどで分割し、それぞれを一つの単位として番号付けしたものです。

困ったときの手引き

困ったときの手引き.....354
ナビゲーション.....354
VICS関連項目.....355
インターナビ.....356
DVD.....357
CD／MP3ディスク.....359
MP3ファイル.....359
サウンドコンテナ.....361
エラーメッセージと対処方法.....362

困ったときの手引き

故障かなと思ったら
修理を依頼する前に、以下の内容をチェックしてください。

チェックしても直らないときは
Honda販売店にご相談ください。

ナビゲーション

■車のライトをONにしても夜画面に切り換わらない

原因	処置
車のライトと連動する設定になっていない。	地図色切換の設定を［イルミ連動］にしてください。 →*「機能設定」（P151）*
［現在地］ボタンを約2秒以上押し、昼間の地図色にしている。	再度［現在地］ボタンを約2秒以上押し解除してください。

■走行軌跡が表示されない

原因	処置
走行軌跡を表示しない設定になっている。	軌跡表示の設定を［する］にしてください。 →*「機能設定」（P150）*

■映像が暗い

原因	処置
日没時刻が過ぎている。	夜間でも見やすいように、日没時刻になると、映像が自動的に暗い配色になるよう設計されています。 （地図色切換が［時刻連動］に設定されている場合）

■誤差が大きくなった

原因	処置
TVの56chを受信している。	TVのチャンネルを変えるか、TVをOFFにしてください。

VICS関連項目

■地図上にVICS情報が表示されない

原因	処置
VICSのサービスエリア外ではVICS情報は受信できません。	
提供される情報がいつでも全てそろっているとは限りません。	
受信状況によっては情報がそろわない場合があります。	
VICS情報対象外の道路を走行している可能性があります。	
設置された全てのビーコンが稼動しているとは限りません。	
新設道路の情報は地図データが古いと表示されません。	
携帯電話を外している。	インターナビのVICS情報は携帯電話を接続して受信してください。 →*「携帯電話を接続する」(P184)*
VICS設定の［渋滞表示］が［しない］を選んでいる。	VICS設定の［渋滞表示］を［する］にしてください。 →*「機能設定」(P156)*
地図表示が1kmスケール表示より広域になっている。	地図表示を10mスケール表示から1kmスケール表示にしてください。 →*「地図のスケールを切り換える」(P48)*

■FM多重情報が表示されない

原因	処置
FM多重情報が放送されていない。	放送を休止している場合があります。
地下や線路脇など受信状態の悪い場所にいる。	受信状態によっては情報を表示できない場合があります。

■ビーコン情報が表示されない

原因	処置
ビーコン送受信機の上部およびその周辺に物を置くなどして、電波をさえぎっている。	電波をさえぎらないようにしてください。また、ビーコン送受信機の取付角度がずれていると受信しにくくなります。
	ビーコンの横を通過しても、大型車が障害物になるなど受信状態によっては受信できない場合があります。

インターナビ

■回線接続できない

原因	処置
携帯電話または通信カードが接続されていない。	携帯電話または通信カードが接続されていることを確認してください。
通信機能設定で設定した通信手段（携帯電話または通信カード）が接続されていない。	
ユーザIDまたはパスワードが正しくない。	ユーザIDまたはパスワードが正しいことを確認してください。
電波状態が良くない、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。

■回線接続しない

原因	処置
キャッシュにデータが残っている。	キャッシュにデータが残っている場合には回線接続不要と判断して回線接続を行いません。

■通信中に回線が切れてしまった

原因	処置
電波状態が良くない、または圏外にいる。	再度操作してみてだめな場合には、電波状態が良い場所に移動してみてください。
操作がなかった。	何も操作がない場合には、回線交換方式では3分、パケット方式では10分で自動切断する仕組みになっています。

■メール関連機能が使用できない

原因	処置
シークレットモード設定になっている。	シークレットモードを解除してください。 →*「シークレットモードを解除する」（P263）*

DVD

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →*「ディスクの取り扱いについて」(P268)*
本ナビゲーションシステムで再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*
PAL方式のディスクを挿入している。	NTSC方式のディスクに交換してください。
本ナビゲーションシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	本ナビゲーションシステムのリージョン番号は［2］です。リージョン番号が［2］または［ALL］のディスクに交換してください。

■映像が見えない

原因	処置
走行中である。	走行中は、映像を見ることはできません。音声のみでお楽しみください。
ナビゲーションの画面になっている。	［AUDIO］ボタンで画面を切り換えてください。

■音が出ない

原因	処置
静止画再生中である。	静止画再生中に、音声を聞くことはできません。

■視聴制限のメッセージが表示され、再生できない

原因	処置
視聴制限がかかっている。	視聴制限を解除またはレベルの変更をしてください。 →*「視聴制限を設定する」(P306)*

■視聴制限を解除できない

原因	処置
暗証番号が間違っている。	正しい暗証番号を入力してください。 →*「視聴制限を設定する」(P306)*
暗証番号を忘れてしまった。	ジョイスティックを上に倒し［実行］を5回押し、暗証番号を解除します。 →*「視聴制限を設定する」(P306)*

■音声言語、字幕言語が切り換えられない

原因	処置
複数の言語が収録されていないDVDを再生している。	複数の言語が収録されていないディスクでは、切り換えられません。
ディスクのメニューでしか切り換えできないように制限されている。	ディスクのメニューで切り換えてください。

■初期設定で選んだ音声言語、字幕言語にならない

原因	処置
初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDを再生している。	初期設定で選んだ言語が収録されていないDVDでは、選んだ言語には切り換わりません。

■アングルを切り換えて見ることができない

原因	処置
複数のアングルが収録されていないDVDを再生している。	複数のアングルが収録されていないDVDでは、切り換えられません。
複数のアングルが収録されていない場面で操作している。	複数のアングルが収録されている場面で、操作してください。

■ディスク再生中に映像が乱れるまたは暗い

原因	処置
ディスクコピー禁止信号が入っている。（ディスクによって入っている場合があります。）	アナログコピープロテクト方式のコピーガードに対応しているため、コピー禁止信号が入っているディスクを再生した場合、一部のモニターでは横縞が入るなどの現象が出るものがあります。（故障ではありません。）

■ （禁止マーク）が画面に出て操作できない

原因	処置
ディスクが禁止している操作です。	この操作はできません。
ディスクの構造上対応できない操作をしている。	

■画面が止まり、操作を受け付けない

原因	処置
ディスク再生中にデータを読み取れなくなった。	［停止する］を押してから、もう一度再生してください。

CD／MP3ディスク

■再生できない

原因	処置
ディスクが汚れている。	汚れを拭き取ってください。 →*「ディスクの取り扱いについて」(P268)*
本ナビゲーションシステムで再生できない種類のディスクが入っている。	ディスクを確認してください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*
2倍速で録音している。	録音を停止し、録音速度を1倍速録音にしてください。 →*「サウンドコンテナに録音する」(P319)*
ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。

■CD再生中に、大きな雑音が出る/CDの再生が途中で止まる

原因	処置
ディスクにキズやそりがある。	他のディスクと交換してください。改善されれば、ディスクの不良です。
ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。 →*「ディスクの取り扱いについて」(P268)*
ディスクに曇りや水滴がついている。	ディスクの曇りや水滴を拭き取ってください。

MP3ファイル

■CD-RやCD-RWを再生できない

原因	処置
ディスクがファイナライズされていない。	ディスクをファイナライズしてください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*

■MP3ファイルを再生できない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたCD-R/RW、PCカードに交換してください。
256kbpsを超えるビットレートで記録されている。	ビットレートが256kbps以下で記録されたMP3ファイルにしてください。

■MP3ファイル再生中に大きな雑音が出る/MP3ファイル再生中に音が出なくなる

原因	処置
MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子を付けている。	ディスクを交換してください。（MP3形式でないファイルに「.mp3」拡張子を付けたCD-R/RW、PCカードを再生しないでください。）

■聞きたいMP3ファイルが見つからない

原因	処置
MP3ファイルに「.mp3」の拡張子が付いていない。	MP3ファイルに拡張子「.mp3」を付けたCD-R/RW、PCカードに交換してください。

■フォルダ名やファイル名が正しく表示されない

原因	処置
ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録されていない。	ISO9660のレベル1、レベル2に準拠して記録したディスクに交換してください。

■MP3ファイル再生が、記録した順と異なる

原因	処置
MP3ファイルは、記録したときの順番通りに再生されないことがあります。	ライティングソフトによっては、フォルダ名、ファイル名のはじめに数字（01、02など）を付けることにより、再生順を指定できる場合があります。

サウンドコンテナ

■プレイリストが再生できない

原因	処置
プレイリストの再生が許可されていない。	再生許可に切り換えてください。 →*「再生しないプレイリストを設定する」（P327）*

■CDが録音されていない

原因	処置
CDの録音が中止された。	CDの録音制限を確認してください。 →*「CD録音の制限について」（P320）*

■プレイリストのタイトル情報が取得できない

原因	処置
携帯電話または通信カードが接続されていない。	携帯電話または通信カードの接続を確認してください。
インターナビの通信機能が使用できる状態になっていない。	インターナビが使用できる状態（通信設定、接続、認証）にしてください。 →*「インターナビを使う」（P181）*
ナビゲーション側で通信機器を使用している。	ナビゲーション側の通信機器の使用が終わってから操作してください。

エラーメッセージと対処方法

■ナビゲーション

メッセージ	処置
ルート計算できませんでした	目的地または出発地の位置を変えてください。
行き先が遠すぎるためルート計算できませんでした	途中に経由地を設定してください。
行き先が近すぎるためルート計算できませんでした	目的地または出発地の位置を変えてください。
通行規制により通行できない区間があるためルート計算できませんでした	
時間規制により通行できない区間があるためルート計算できませんでした	
付近にルート計算対象道路がありません 位置を修正して下さい	
行き先または出発地付近に案内対象道路がないためルート計算できませんでした	
回線の接続に失敗しました	再度、操作してみてください。

■ナビゲーション

メッセージ	原因	処置
ハードディスクに異常があります　販売店にご相談ください	ドライブ不良のエラーが1時間以内に3回発生した。	販売店にご相談ください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした	ナビゲーション本体の内部温度が異常に低い。	車内温度が上昇するまで、しばらくお待ちください。
データの受信待ちです データの一部が取得できていません	FM多重放送によるVICS情報がそろっていない、またはデータが不完全。	データが更新されるまで、しばらくお待ちください。
データの一部を消去しないと読み込むことができません　データを消去してください	PCカードからマークを読み込もうとし、最大登録数を超えそうな場合。	PCカードから読み込ませるマークの数を減らしてから読み込んでください。
容量不足で一部のデータが保存できませんでした	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。
	PCカードの容量が不足している。	PCカード内のデータを削除してください。
容量不足で画像の登録ができませんでした	ハードディスクの容量が不足している。	音楽データを消去するか画像リンクを解除してください。

■インターナビ

メッセージ	処置
接続できません	通信接続設定の「携帯電話または通信カード選択」を間違えている可能性がありますので確認してください。
携帯電話または通信カードを接続してください	携帯電話または通信カードが接続されていることを確認してください。
	マニュアル通信接続設定の電話番号、ユーザーID、パスワード、通信手段が間違えている可能性がありますので確認してください。
情報を取得できません	情報取得中に通信に何か問題が発生した可能性がありますので再度操作してみてください。
	入力したURLに情報が存在しない場合がありますので確認してください。
	通信接続設定のDNS設定が間違っている可能性がありますので再度確認してみてください。
	接続先サーバに問題が発生している可能性がありますので再度操作してみてください。
画面の保存に失敗しました	「画面メモ」の保存は20KB以下のコンテンツの場合のみ可能です。 画像表示を［しない］にすると保存できる場合があります。
壁紙リストの追加に失敗しました	すでに登録されているファイルと同じ名前の場合には登録できません。 また、登録できるのはJPEGフォーマットの画像のみです。

■DVD/CD/MP3ディスク

メッセージ	原因	処置
再生ができません ディスクを取り出してください	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取ってください。
	ディスクにキズやそりがある。	ディスクにキズがあるときは、ディスクを交換してください。
	ディスクの裏表を逆にしてセットしている。	ディスクのタイトル面を上にしてセットしてください。
	本ナビゲーションシステムで再生できないディスクを使用している。	本ナビゲーションシステムで再生できるディスクに交換してください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*
ディスクが入っていません	ディスクが入っていない。	ディスクをセットしてください。
リージョンコードが違います	本ナビゲーションシステムのリージョン番号と異なるディスクを挿入した。	リージョン番号［2］を含むディスクに交換してください。
再生できないディスクです	本ナビゲーションシステムで再生できないディスクを使用している。	本ナビゲーションシステムで再生できるディスクに交換してください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*
高温のためディスクが再生できません ディスクを取り出してください	ナビゲーション本体の内部温度が高い。	ディスクを取り出し、内部温度が正常になるまで、お待ちください。
CD-ROMが挿入されました	CD-ROMディスクを挿入した。	本ナビゲーションシステムで再生できるディスクに交換してください。 →*「再生できるディスクの種類」(P271)*

■サウンドコンテナ

メッセージ	原因	処置
このCDは録音できません	CD-Rなどコピー禁止のディスクから録音しようとしている。	一般のCDなど、コピー可能なディスクに交換してください。
低温のためHDDにデータが書き込めませんでした	低温のため、データが書き込めない。	車内温度が上がるまで、しばらくお待ちください。
ハードディスク容量不足のため　録音できません	ハードディスクの残容量が足りないため、録音できない。	録音済みの曲やプレイリストを消去してください。 →*「プレイリストを消去する」(P327)*、*「曲を消去する」(P329)*
このトラックはすでに録音されています	マニュアル録音モードで、録音済みのトラックを録音しようとしている。	録音済みのトラックは、同じCDから重複して録音できません。
サウンドコンテナのデータ転送に失敗しました 販売店にご相談ください	録音／再生プログラムに異常がある。	Honda販売店にご相談ください。
PCカードによるMP3のみ再生できます	著作権保護のための録音抑止状態になっている。	

M E M O

機能設定一覧

機能設定一覧

表示設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定（初期状態）です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
市街地図表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
3Dビル表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
直線誘導線表示	[する]	
	[しない]	
軌跡表示	[する]	
	[しない]	
高速ガイド表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
立体ランドマーク表示	**[する]**	[しない] 固定
	[しない]	
3D角度調整	−	
地図色　昼	**[ホワイト]**	[ホワイト] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[レッド]	
地図色　夜	[ホワイト]	[ブルー] 固定
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[レッド]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
操作パネル色	[ホワイト]	[アンバー] 固定
	[アンバー]	
	[ブルー]	
	[グリーン]	
	[レッド]	
施設名称文字サイズ	**[標準]**	[大きく] 固定
	[大きく]	
地図色切換	[時刻連動]	[イルミ連動] 固定
	[イルミ連動]	
現在地情報の表示	**[市区町村名]**	[市区町村名] 固定
	[走行道路名]	
	[しない]	
天気予報情報表示	**[する]**	[する] 固定
	[しない]	
スクロール方面表示	**[する]**	
	[しない]	
駐車場マップ割込み	**[する]**	
	[しない]	
時計表示	**[する]**	
	[しない]	
サマータイム表示	[する]	
	[しない]	
時間表示	**[12時間表示]**	[12時間表示] 固定
	[24時間表示]	
軌跡消去	−	
軌跡自動消去	[自宅到着時]	[しない] 固定
	[しない]	

誘導設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定（初期状態）です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
渋滞考慮オートリルート	**[する]**	[する]固定
	[しない]	
ランドマーク音声案内	[する]	[しない]固定
	[しない]	
方面案内表示	**[する]**	[する]固定
	[しない]	
渋滞ルート考慮計算	**[する]**	
	[しない]	
回避エリア	**[考慮する]**	[考慮しない]固定
	[考慮しない]	
到着予想時間表示	[目的地]	[経由地]固定
	[経由地]	
	[しない]	
予想時間速度／一般道	[20km/h]	標準操作モードの設定
	[30km/h]	
	[40km/h]	
予想時間速度／高速道	[60km/h]	
	[80km/h]	
	[100km/h]	
ルート計算条件	**[推奨]**	
	[距離優先]	
	[幹線優先]	
高速道使用条件	**[通る]**	
	[通らない]	
フェリー航路使用条件	[推奨]	[使用しない]固定
	[使用する]	
	[使用しない]	
マークのルート計算条件	**[使用する]**	
	[使用しない]	
学習ルート計算	**[する]**	[する]固定
	しない	

設定項目	設定	
	標準	簡単
迂回距離／一般道	[2km]	[5km]固定
	[5km]	
	[10km]	
迂回距離／高速道	[10km]	[20km]固定
	[20km]	
	[30km]	
自宅	[登録]	—
	[変更]	
	[消去]	

VICS設定（VICS情報表示）

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定（初期状態）です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
図形情報割込み	**[する]**	[する]固定
	[しない]	
文字情報割込み	[する]	[しない]固定
	[しない]	
渋滞表示	**[する]**	VICS情報表示を表示する場合は、すべて[する]、表示しない場合は、すべて[しない]になります。
	[しない]	
渋滞表示の点滅	**[する]**	
	[しない]	
順調表示	[する]	
	[しない]	
駐車場マーク表示	**[する]**	
	[しない]	
規制表示	**[する]**	
	[しない]	
VICS強調地図	[する]	[しない]固定
	[しない]	

設定項目	設定	
	標準	簡単
接続周期（インターナビVICS設定）	[5分]	標準操作モードでの設定
	[15分]	
	[30分]	
	[60分]	
	[しない]	
自動ルート再計算（インターナビVICS設定）	**[する]**	
	[しない]	
自動更新ポイント設定（インターナビVICS設定）	**[する]**	
	[しない]	
フローティング情報提供（インターナビVICS設定）	**[する]**	
	[しない]	
取得する駐車場情報（インターナビVICS設定）	**[すべて]**	
	[条件つき]	

電話設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定（初期状態）です。

設定項目	設定 標準 簡単
電話番号データ読込み	–
電話リスト表示順序	[メモリー番号順]
	[50音順]
	[グループ順]
通話中画面表示	**[する]**
	[しない]
自動着信	**[する]**
	[しない]
電話通話音量	[VOL：4]
電話着信音量	[VOL：4]

その他の設定

設定値の太字は、購入直後に選択されている設定（初期状態）です。

設定項目	設定	
	標準	簡単
メニュー読上げ	[する]	[走行中のみ]固定
	[しない]	
	[走行中のみ]	
合流・県境案内	[する]	[する]固定
	[しない]	
踏み切り案内	[する]	
	[しない]	
右左折専用レーン案内	[する]	[しない]固定
	[しない]	
リフレッシュ案内	[する]	[する]固定
	[しない]	
セーフティ案内	**[する]**	
	[しない]	

索　引

メニュー索引 372
用語索引 379

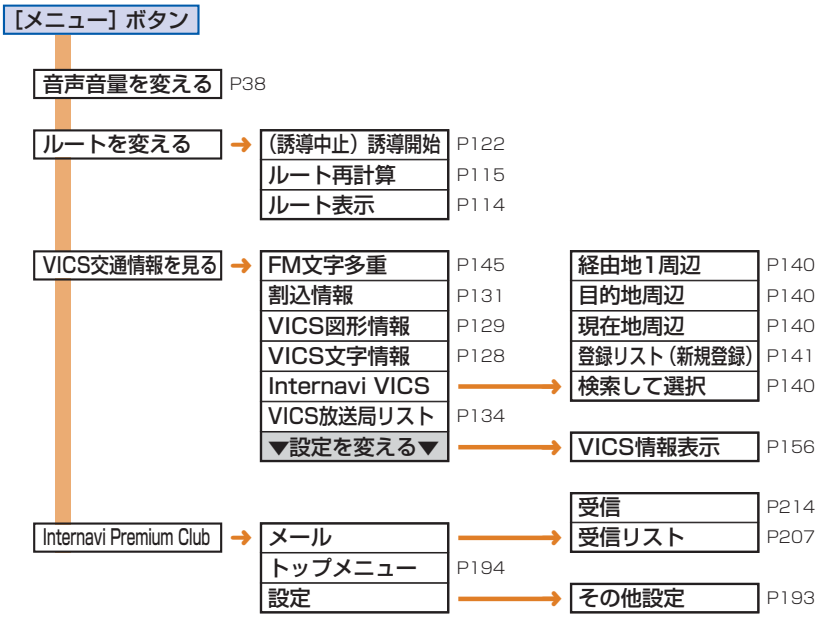
索　引

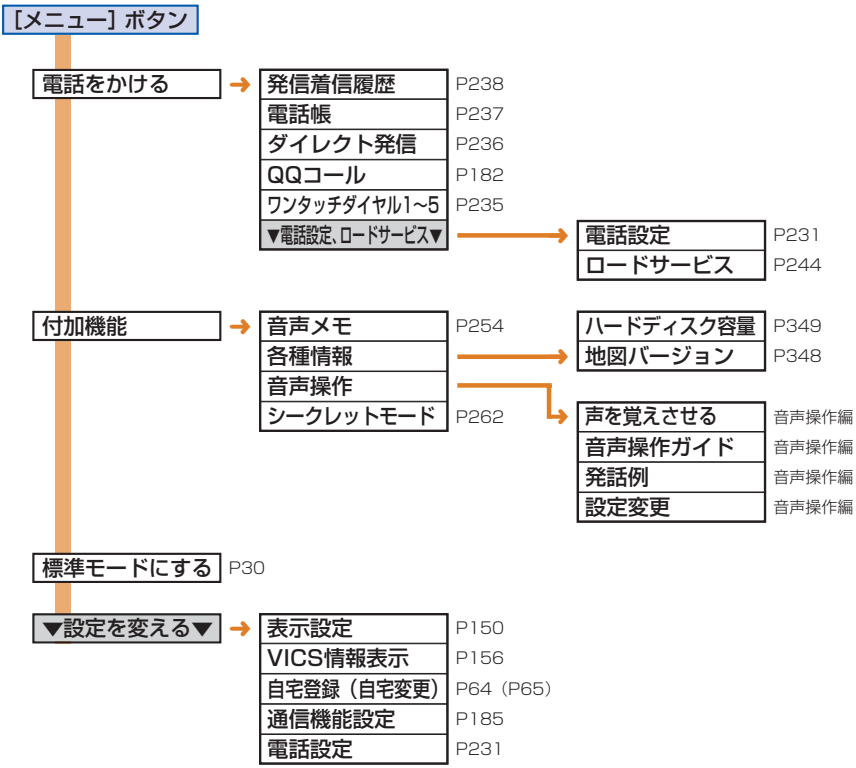
メニュー索引

お知らせ

メニューを表示させた状態により、表示されないメニューや選択できないメニューがあります。

■簡単操作モード 簡単




[メニュー] ボタン
電話をかける
発信着信履歴 P238
電話帳 P237
ダイレクト発信 P236
QQコール P182
ワンタッチダイヤル1~5 P235
▼電話設定、ロードサービス▼
電話設定 P231
ロードサービス P244
付加機能
音声メモ P254
各種情報
音声操作
シークレットモード P262
ハードディスク容量 P349
地図バージョン P348
声を覚えさせる 音声操作編
音声操作ガイド 音声操作編
発話例 音声操作編
設定変更 音声操作編
標準モードにする P30
▼設定を変える▼
表示設定 P150
VICS情報表示 P156
自宅登録（自宅変更） P64（P65）
通信機能設定 P185
電話設定 P231

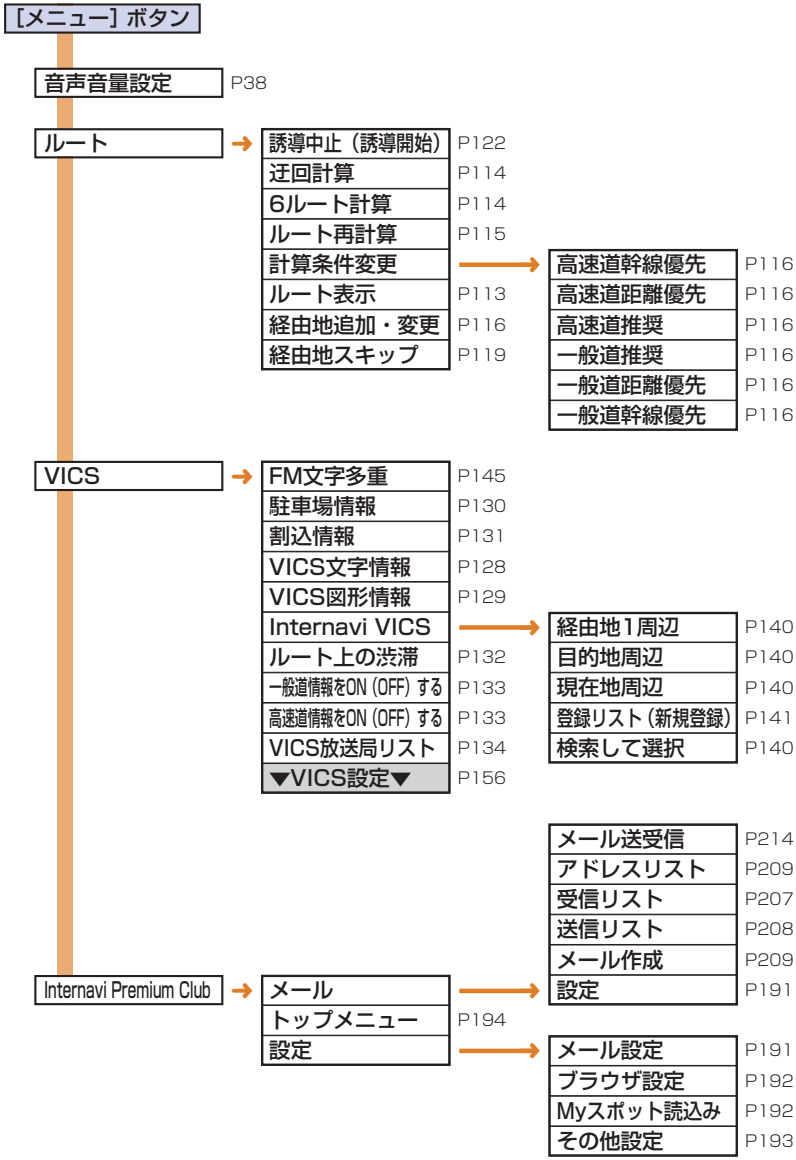
［画面］ボタン

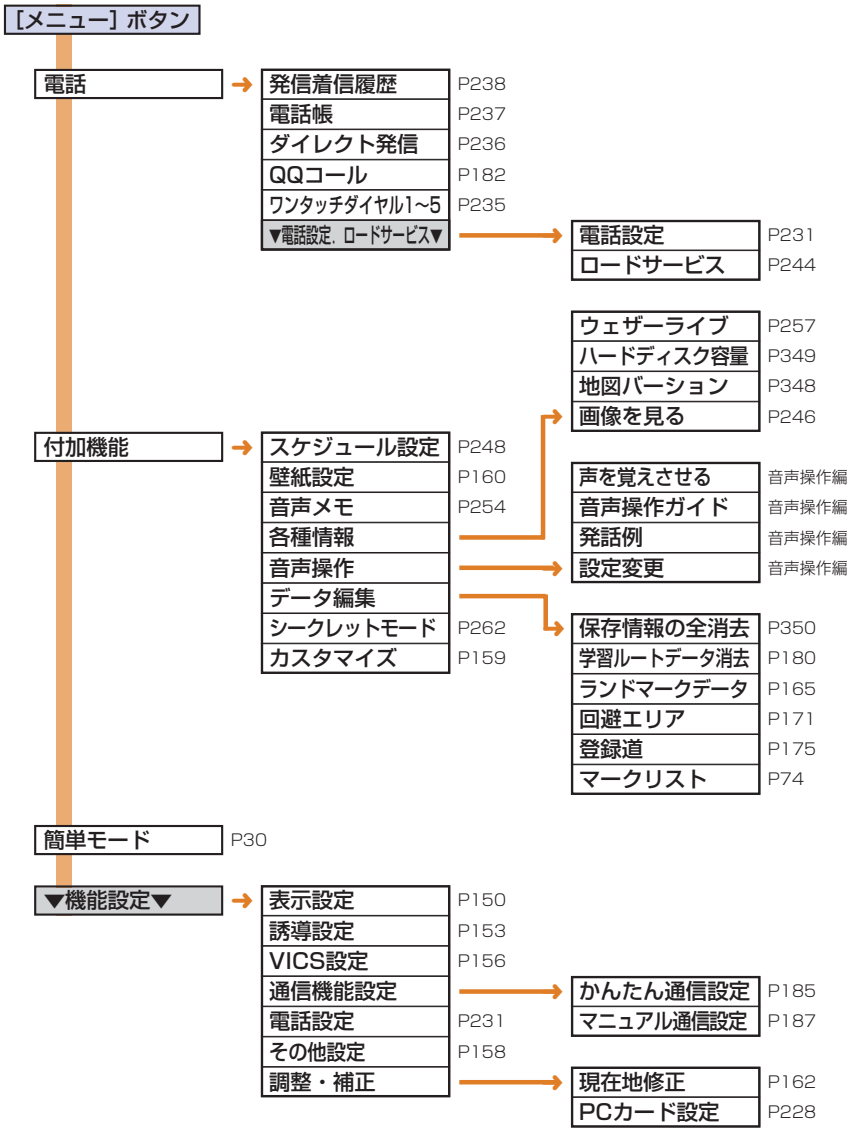
- 画面を消す P29
- 画面明るさ調整 → 明るさ P61 / コントラスト P61 / 黒の濃さ P61
- マップモードを変える → 1画面地図 P51 / ドライビングマップ P52 / 高速ガイド P53
- 地図向きを変える → 北を上に表示 P50 / 進行方向を上に表示 P50
- ランドマーク表示 P56
- ▼表示の設定を変える▼ P150

［目的地］ボタン

- 自宅に帰る（自宅を登録する） P90（P64）
- 施設の名前で探す P85
- 施設のジャンルで探す P83
- 住所で探す P86
- 電話番号で探す P87
- ▼目的地を消去する▼ P105

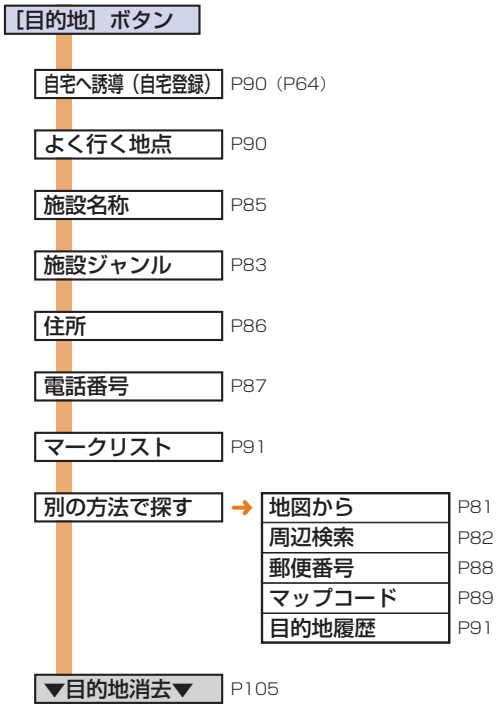
■標準操作モード 標準


[メニュー] ボタン
音声音量設定 P38
ルート
誘導中止（誘導開始） P122
迂回計算 P114
6ルート計算 P114
ルート再計算 P115
計算条件変更
高速道幹線優先 P116
高速道距離優先 P116
高速道推奨 P116
一般道推奨 P116
一般道距離優先 P116
一般道幹線優先 P116
ルート表示 P113
経由地追加・変更 P116
経由地スキップ P119
VICS
FM文字多重 P145
駐車場情報 P130
割込情報 P131
VICS文字情報 P128
VICS図形情報 P129
Internavi VICS
経由地1周辺 P140
目的地周辺 P140
現在地周辺 P140
登録リスト（新規登録） P141
検索して選択 P140
ルート上の渋滞 P132
一般道情報をON（OFF）する P133
高速道情報をON（OFF）する P133
VICS放送局リスト P134
▼VICS設定▼ P156
Internavi Premium Club
メール
メール送受信 P214
アドレスリスト P209
受信リスト P207
送信リスト P208
メール作成 P209
設定 P191
トップメニュー P194
設定
メール設定 P191
ブラウザ設定 P192
Myスポット読込み P192
その他設定 P193


[メニュー] ボタン
電話
発信着信履歴 P238
電話帳 P237
ダイレクト発信 P236
QQコール P182
ワンタッチダイヤル1~5 P235
▼電話設定, ロードサービス▼
電話設定 P231
ロードサービス P244
付加機能
スケジュール設定 P248
壁紙設定 P160
音声メモ P254
各種情報
音声操作
データ編集
シークレットモード P262
カスタマイズ P159
ウェザーライブ P257
ハードディスク容量 P349
地図バーション P348
画像を見る P246
声を覚えさせる 音声操作編
音声操作ガイド 音声操作編
発話例 音声操作編
設定変更 音声操作編
保存情報の全消去 P350
学習ルートデータ消去 P180
ランドマークデータ P165
回避エリア P171
登録道 P175
マークリスト P74
簡単モード P30
▼機能設定▼
表示設定 P150
誘導設定 P153
VICS設定 P156
通信機能設定
電話設定 P231
その他設定 P158
調整・補正
かんたん通信設定 P185
マニュアル通信設定 P187
現在地修正 P162
PCカード設定 P228

[画面] ボタン

- 画面消 P29
- 画面調整 →
  - 明るさ P61
  - コントラスト P61
  - 黒の濃さ P61
- マップモード切換 →
  - 1画面地図 P51
  - 2画面地図 P51
  - 3Dマップ P52
  - 3D/2Dマップ P52
  - ドライビングマップ P52
  - 高速ガイド P53
- 地図方位切換 →
  - 北を上に表示 P50
  - 進行方向を上に表示 P50
  - 北を上／北を上 P50
  - 北を上／進行方向を上 P50
  - 進行方向を上／北を上 P50
  - 進行方向を上／進行方向を上 P50
- 右画面縮尺 P48
- ランドマーク表示 P56
- ▼表示設定▼ P150


［目的地］ボタン
自宅へ誘導（自宅登録）
P90（P64）
よく行く地点
P90
施設名称
P85
施設ジャンル
P83
住所
P86
電話番号
P87
マークリスト
P91
別の方法で探す
地図から
P81
周辺検索
P82
郵便番号
P88
マップコード
P89
目的地履歴
P91
▼目的地消去▼
P105

用語索引

■五十音順

あ行

案内地点情報 108
インターナビ
かんたん通信設定 185
携帯電話接続 184
携帯電話を外す 184
その他設定 193
通信開始 194
ブラウザ設定 192
マーク 78
マニュアル通信設定 187
メール設定 191
インターナビ・プレミアムクラブ 182, 351
インターナビVICS 138
地点消去 142
地点登録 141
ルート計算 138
ウェザーライブ 257
アメダス情報 260
気象情報取得 258
警報 261
種類 257
注意報 261
天気予報 259
液晶表示画面 17, 18
オーディオ画面 275
おすすめルート 340
オートリルート 112, 351
音質調節 277
音声メモ
再生 255
消去 255
録音 254
音量調節
案内音声 38
オーディオ機能 277
消す 38

か行

カード
入れかた 222
情報消去 227
情報保存 224
情報読み込み 226
初期化 228
出しかた 223
回避エリア
確認 173
消去 174
登録 171
名称変更 172
画像
確認 246
消去 247
画面
明るさ調節 61
色調節 278
オーディオ画面 275
壁紙表示 29
消す 29
操作モード 31
ナビゲーション画面 32, 275
ワイド画面 279
画面ボタン 17, 24
緊急情報の自動表示 127
グローバル・ポジショニング・システム 21, 334
現在地ボタン 17, 24
検索方法の種類 80
高速ガイド 53, 54
交通情報 283

さ行

再生できるディスクの種類 271
サウンドコンテナ 312
アーティスト名変更 326
オリジナルプレイリスト 323
自動録音 319, 321
手動録音 319, 322
シングル録音 319, 322
スキャン再生 317
操作メニュー 316
タイトル情報 330
タイトル情報の取得 331
タイトルを変更する 325
トラック再生順変更 329
トラックリストを編集する 324
プレイリストから曲を消去する 329
プレイリスト再生順変更 326
プレイリスト再生不許可／許可 327
プレイリスト消去 327

プレイリストに曲を追加する 328
プレイリストを作成する 323
プレイリストを編集する 324
ユーザープレイリスト 323
読み 325
ランダム再生 317
リピート再生 316
録音設定 319
録音停止 322
CD録音速度 321
CD録音の制限 320
CD録音モード 319
シークレットモード
解除 263
設定 262
パスワード変更 263
パスワードを忘れたとき 264
ジーピーエス 21
自車 20, 351
施設情報 54, 59
自宅を登録する 64
自立航法による測位 334
スケジュール
確認 252
作成 248
実行時の確認画面 251
消去 253
変更 253
リスト 252
操作モードの切り換え 30
全地球測位システム 21
走行軌跡 32, 351
測位 21, 351

た行

地図／その他情報について 346
地図のバージョンを確認する 348
地図表示
記号 34
市街地図 48
施設 34
スケール 48
向きを変える 50
通信カード 222
ディスクインジケーター 19
ディスク挿入口 19
ディスク取り出しボタン 19
ディスクの正しい使いかた 269
ディスクを取り出す／入れる 268
テレビ 292
記憶されたチャンネルを呼び出す 294
自動記憶 295
手動選局 293
スキャン 296
登録道
確認 178
消去 179
新規登録 175
内容変更 177
時計 32
ドライビングマップ 52

な行

ナビゲーション画面 32, 275
ナビゲーションシステムのしくみ 20
ナビゲーションの設定
カスタマイズ 159
壁紙設定 160
機能設定 148
現在地修正 162
その他設定 158
電話設定 231
表示設定 150
誘導設定 153
VICS設定（VICS情報表示） 156

は行

ハードディスク容量（使用状況）を確認する 349
場所を探す
施設の名前で場所を探す 85
自宅に帰る 90
ジャンルから施設を探す 83
住所で場所を探す 86
近くにある施設を探す 81
地図に付けたマークから場所を探す 91
地図を見ながら場所を探す 81
電話番号で場所を探す 87
マップコードで場所を探す 89
見たい地図を探す 36
目的地の履歴リストから場所を探す 91

郵便番号で場所を探す 88
よく行く地点から場所を探す 90
ハンズフリー電話 230
応答保留 243
携帯電話の接続 184
施設情報から電話をかける 240
設定 231
着信音量調節 232
通話音量調節 232
通信音録する 243
電話帳でかける 237
電話帳読み込み 232
電話番号データ消去 234
電話を受ける 241
電話をかける 236
マークリストから電話をかける 240
履歴から電話をかける 238
ロードサービス 244
ワンタッチダイヤル 235
ワンタッチダイヤルでかける 237
ビーコン情報の自動表示 127
ビデオ 309
ふた 17, 19
ブラウザ 194
壁紙リスト 204
画面保存 202
画面メモ 202
画面メモ消去 203
情報画面 195
セレクトフォーム 196
直前の画面に戻る 198
通信の終了 205
データ読み込み中止 198
トップメニュー 194
ナビリンクメニュー 197
ブックマーク 200
ブックマーク消去 202
ホームページ 204
見たい画面を登録／表示 200
読み上げ 220
履歴 199
履歴消去 199
リンクボタン 196
URL 204
プログレッシブコマンダー 17, 19, 24
コマンドホイール 17, 19, 25
ジョイスティック 17, 19, 25
保存データを消去する 350

ま行

マーク
インターナビ 78
確認 76
消去 77
登録 74
編集 75
マップマッチング 20, 335, 351
マップモード
高速ガイド 53
ドライビングマップ 52
1画面地図 51
2画面地図 51
3Dマップ 52
3D/2Dマップ 52
メール
宛先をアドレスリストから選択 211
アドレス入力 212
アドレスリスト 209
アドレスリストの消去 219
アドレスリストの登録 218
アドレスリストの編集 219
受信メールリスト 207
受信リスト並べ換え 207
消去 217
送信メールリスト 208
送信メールを編集 215
転送 217
添付 210
返信 216
メール作成 209
メール受信 213
メール送信 213
読み上げ 220
読む 214
メニューボタン 17, 24
目的地ボタン 17, 24
文字入力
大文字 40
改行 43
漢字表 42
機能メニュー 39
小文字 40
削除 42

終了 41
スペース 43
全角 40
挿入 43
定型文 44
入力 40
入力エリア 39
入力キーボード 39
半角 40
変換 41
無変換 41
文字種 40
ユーザー定型文 44
戻るボタン 17, 19, 24

や行

よく行く地点
消去 73
登録 66
編集 67

ら行

ラジオ
記憶された放送局を呼び出す 281
自動記憶 282
手動選局 280
スキャン 283
ランドマーク 56, 351
位置修正 166
消去 169
詳細表示設定 57
登録 168
非表示 58, 164
表示 56, 165
リンク旅行時間 98, 136, 351
ルート案内開始 104, 122
ルート案内開始画面 97
ルート案内中止 122
ルート確認 98, 113
区間表示 99
ルートスクロール 99
ルート計算 96
インターナビVICS 138
回避エリアを考慮 98
学習内容消去 179
学習ルート計算 98
渋滞ルート考慮計算 98
他のルート 100
VICS情報を考慮 98, 136
ルート詳細設定 100
インターチェンジ指定 101
経由地設定 100
出発地指定 103
登録道指定 102
ルート変更 114
迂回ルート 114
経由地追加／変更 116
登録道指定 119
別のルート 114
ルート再計算 115
ルート条件 116

数字・アルファベット順

数字

1画面地図 51
2画面地図 51
2Dマップ 48
3Dハイブリッドセンサー 20, 334, 351
3Dビル表示 49
3Dマップ 49, 52
3D/2Dマップ 52
6ルート 100, 114

A

AM/FMボタン 19
AUDIOボタン 17, 18, 24
AUTO SELECT 282, 295

C

CD 271, 284
スキャン再生 287
ランダム再生 286
リピート再生 286
CD/SCボタン 19
CH/DISCボタン 19

D

DTS 301, 351
DVD 271, 297
アングル切り換え 302
アングルマーク表示設定 305
音声切り換え 301
音声言語設定 304
視聴制限設定 306

字幕切り換え 301
字幕言語設定 304
初期設定 303
静止画再生 300
タイトル 298
ダイナミックレンジコントロール 302
チャプター 298
停止 300
早送り／早戻し 299
メニュー画面 298
メニュー言語設定 305

F

FM文字多重放送
マニュアル選局 145
リスト選局 145
見る 146

G

GPS 21, 334, 351
GPSによる測位 334
Gracenote CDDB 330

M

MP3 273, 313
MP3ディスク 288
スキャン再生 291
操作メニュー 289
ランダム再生 290
リピート再生 290

P

PCカード
入れかた 222
情報消去 227
情報保存 224
情報読み込み 226
初期化 228
出しかた 223
PCカード挿入口 17, 19
PCカード取り出しボタン 17, 19
PCカードロックレバー 17, 19
PDC 183, 230, 352
PWRボタン 19

V

VICS 124, 352
VICS音声案内 137
VICS使用時のメッセージ 345
VICS情報
一般道情報表示 133
高速道情報表示 133
図形情報 129
駐車場情報 130
マークの詳細情報 131
見る 126, 128
文字情報 128
ルート上の渋滞ポイント 132
VICSビーコン情報 131
VICS情報提供時刻表示 126, 127
VICS情報提供の注意事項 342
VICS情報についてのお問い合わせ先 344
VICS情報の提供方法 124
VICS情報の表示形態 125
VICS情報マーク 127
VICSセンターの運用時間 344
VICS放送局
自動選局に戻す 135
リスト選局 134
リンク 343, 351
VOLボタン 19
VTR 309

T

TUNE/SEEKボタン 19
TV/DVDボタン 19

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章　総則

（約款の適用）

第1条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第2条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第3条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)　VICSサービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)　VICSサービス契約
当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3)　加入者
当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4)　VICSデスクランブラー
FM多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第4条　VI CSサービスには、次の種類があります。

(1)　文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)　簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)　地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICSサービスの提供時間）

第5条　当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章　契約

（契約の単位）

第6条　当センターは、VICSデスクランブラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第7条　VICSサービスの提供区域は、別表Ⅰのとおりとします。
ただし、そのサービス提供区域内であっても、電波の伝わりにくいところでは、VICSサービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第8条　VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランブラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICSサービスの種類の変更）

第9条　加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1)　加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)　加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章　料金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表Ⅱに定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章　保守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表Ⅰ]
サービスの提供区域

東京都

23区及び昭島市、あきる野市、稲城市、青梅市、清瀬市、国立市、小金井市、国分寺市、小平市、狛江市、立川市、多摩市、調布市、西東京市、八王子市、羽村市、東久留米市、東村山市、東大和市、日野市、府中市、福生市、町田市、三鷹市、武蔵野市、武蔵村山市

神奈川県

厚木市、綾瀬市、伊勢原市、海老名市、小田原市、鎌倉市、川崎市、相模原市、座間市、逗子市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、三浦市、南足柄市、大和市、横須賀市、横浜市

埼玉県

上尾市、朝霞市、入間市、岩槻市、桶川市、春日部市、加須市、上福岡市、川口市、川越市、北本市、行田市、久喜市、熊谷市、鴻巣市、越谷市、さいたま市、坂戸市、幸手市、狭山市、志木市、草加市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、蓮田市、鳩ヶ谷市、羽生市、飯能市、東松山市、日高市、深谷市、富士見市、本庄市、三郷市、八潮市、吉川市、和光市、蕨市

千葉県

我孫子市、市川市、市原市、印西市、浦安市、柏市、勝浦市、鎌ヶ谷市、鴨川市、木更津市、佐倉市、白井市、袖ヶ浦市、館山市、千葉市、銚子市、東金市、流山市、習志野市、成田市、野田市、船橋市、松戸市、茂原市、八街市、八千代市、四街道市

愛知県

安城市、一宮市、稲沢市、犬山市、岩倉市、大府市、岡崎市、尾張旭市、春日井市、蒲郡市、刈谷市、江南市、小牧市、新城市、瀬戸市、高浜市、知多市、知立市、津島市、東海市、常滑市、豊明市、豊川市、豊田市、豊橋市、名古屋市、西尾市、日進市、半田市、尾西市、碧南市

大阪府

池田市、和泉市、泉大津市、泉佐野市、茨木市、大阪市、大阪狭山市、貝塚市、交野市、門真市、河内長野市、岸和田市、堺市、四条畷市、吹田市、摂津市、泉南市、大東市、高石市、高槻市、豊中市、富田林市、寝屋川市、羽曳野市、東大阪市、枚方市、藤井寺市、松原市、箕面市、守口市、八尾市

京都府

綾部市、宇治市、亀岡市、京田辺市、京都市、城陽市、長岡京市、福知山市、舞鶴市、宮津市、向日市、八幡市

長野県

飯田市、飯山市、伊那市、上田市、大町市、岡谷市、更埴市、駒ヶ根市、小諸市、佐久市、塩尻市、須坂市、諏訪市、茅野市、中野市、長野市、松本市

兵庫県

相生市、明石市、赤穂市、芦屋市、尼崎市、伊丹市、小野市、加古川市、加西市、川西市、神戸市、三田市、洲本市、高砂市、宝塚市、龍野市、豊岡市、西宮市、西脇市、姫路市、三木市

福岡県

飯塚市、大川市、大野城市、大牟田市、春日市、北九州市、久留米市、古賀市、田川市、太宰府市、筑後市、筑紫野市、中間市、直方市、福岡市、前原市、宗像市、柳川市、山田市、八女市、行橋市

広島県

因島市、尾道市、呉市、竹原市、廿日市市、広島市、福山市、府中市、三原市、三次市

宮城県

石巻市、岩沼市、角田市、気仙沼市、塩竈市、白石市、仙台市、多賀城市、名取市、古川市

北海道（札幌地区）

赤平市、芦別市、石狩市、岩見沢市、歌志内市、恵庭市、江別市、小樽市、北広島市、札幌市、砂川市、滝川市、伊達市、千歳市、苫小牧市、登別市、美唄市、三笠市、室蘭市、夕張市

静岡県

熱海市、伊東市、磐田市、御殿場市、静岡市、島田市、下田市、裾野市、天竜市、沼津市、浜北市、浜松市、袋井市、富士市、藤枝市、富士宮市、三島市、焼津市

群馬県

安中市、伊勢崎市、太田市、桐生市、渋川市、高崎市、館林市、富岡市、沼田市、藤岡市、前橋市

福島県

会津若松市、いわき市、喜多方市、郡山市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、原町市、福島市

岡山県

井原市、岡山市、笠岡市、倉敷市、総社市、高梁市、玉野市、津山市、新見市

沖縄県

糸満市、浦添市、沖縄市、宜野湾市、名護市、那覇市

宮崎県

小林市、西都市、日南市、延岡市、都城市、宮崎市

岐阜県

恵那市、大垣市、各務原市、岐阜市、関市、高山市、多治見市、土岐市、中津川市、羽島市、瑞浪市、美濃加茂市、山県市、瑞穂市

三重県

伊勢市、尾鷲市、亀山市、桑名市、鈴鹿市、津市、久居市、松阪市、四日市市

山口県

岩国市、宇部市、小野田市、下松市、下関市、

長門市、萩市、光市、防府市、美祢市、柳井市、山口市、周南市

茨城県
石岡市、笠間市、北茨城市、古河市、高萩市、土浦市、下館市、下妻市、日立市、常陸太田市、ひたちなか市、水戸市、結城市

北海道（旭川地区）
旭川市、士別市、名寄市、富良野市、留萌市

和歌山県
有田市、海南市、御坊市、新宮市、田辺市、和歌山市

滋賀県
大津市、近江八幡市、草津市、彦根市、守山市、八日市市、栗東市

奈良県
生駒市、橿原市、香芝市、御所市、桜井市、天理市、奈良市、大和郡山市、大和高田市

栃木県
足利市、今市市、宇都宮市、大田原市、小山市、鹿沼市、黒磯市、佐野市、栃木市、日光市、真岡市、矢板市

山梨県
塩山市、大月市、甲府市、都留市、韮崎市、富士吉田市、山梨市、南アルプス市

新潟県
小千谷市、柏崎市、加茂市、五泉市、三条市、新発田市、上越市、白根市、燕市、栃尾市、豊栄市、長岡市、新潟市、新津市、見附市、村上市、両津市

石川県
金沢市、小松市、珠洲市、七尾市、羽咋市、松任市、輪島市

北海道（函館地区）
函館市

熊本県
荒尾市、牛深市、宇土市、菊池市、熊本市、玉名市、人吉市、水俣市、八代市、山鹿市

大分県
宇佐市、臼杵市、大分市、杵築市、佐伯市、竹田市、津久見市、中津市、日田市、別府市

香川県
坂出市、善通寺市、高松市、丸亀市、さぬき市、東かがわ市

愛媛県
今治市、伊予市、伊予三島市、宇和島市、大洲市、川之江市、西条市、東予市、新居浜市、松山市、八幡浜市

佐賀県
伊万里市、鹿島市、唐津市、佐賀市、多久市、武雄市、鳥栖市

長崎県
諫早市、大村市、佐世保市、島原市、長崎市、平戸市、福江市、松浦市

鹿児島県
阿久根市、出水市、指宿市、大口市、鹿児島市、加世田市、鹿屋市、国分市、川内市、垂水市、西之表市、枕崎市

徳島県
阿南市、小松島市、徳島市、鳴門市

高知県
安芸市、高知市、宿毛市、須崎市、土佐市、土佐清水市、中村市、南国市、室戸市

福井県
大野市、小浜市、鯖江市、武生市、敦賀市、福井市

富山県
魚津市、小矢部市、黒部市、新湊市、高岡市、砺波市、富山市、滑川市、氷見市

山形県
上山市、寒河江市、酒田市、新庄市、鶴岡市、天童市、長井市、南陽市、東根市、村山市、山形市、米沢市

秋田県
秋田市、大館市、男鹿市、能代市、本荘市、湯沢市

青森県
青森市、黒石市、五所川原市、十和田市、八戸市、弘前市、三沢市、むつ市

島根県
出雲市、江津市、大田市、浜田市、平田市、益田市、松江市、安来市

鳥取県
倉吉市、境港市、鳥取市、米子市

岩手県
一関市、大船渡市、釜石市、北上市、久慈市、遠野市、花巻市、宮古市、水沢市、盛岡市、陸前高田市

北海道（釧路地区）
釧路市、根室市、帯広市

北海道（北見地区）
網走市、北見市、紋別市

[別表 II]

視聴料金315円（うち消費税15円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

地上アナログテレビジョン放送から地上デジタルテレビジョン放送への移行について

地上デジタルテレビジョン放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログテレビジョン放送は2011年7月に終了することが、国の方針として決定されています。

アナログテレビジョン放送のチャンネル変更について

アナログテレビジョン放送チャンネルの変更は順次行われるため、記憶されたチャンネルが受信できなくなる場合があります。この場合は、もう一度再設定を行ってください。
放送局名は、本体に収録されている放送局名の情報をもとに表示するため、放送局名が正しく表示されなくなる場合があります。
また、音声操作においても、本体に収録されている放送局名の情報をもとに音声認識するため、放送局名を発話して選局しても正しく受信できない場合があります。

本ナビゲーションシステムは、地上デジタルテレビジョン放送には対応しておりません。

お車についてのお問い合わせ、ご相談は、まず、Honda販売店にお気軽にご相談ください。

お問い合わせ、ご相談は、全国共通のフリーダイヤルで下記のお客様相談センターでもお受け致します。

本田技研工業株式会社　お客様相談センター

フリーダイヤル　　0120-112010（イイフレアイオ）

受付時間　9:00～12:00　13:00～17:00
〒351-0188　埼玉県和光市本町8-1

所在地、電話番号などが変更になることがありますのでご了承ください。

お車に関してお問い合わせいただく際は、お客様へ正確、迅速にご対応させていただくために、あらかじめ、お手元にお車の車検証をご準備いただき、下記の事項をご確認のうえ、ご相談ください。

①車検証記載事項
　車両型式、車体番号、エンジン型式、登録番号、登録年月日
②車種名、タイプ名、走行距離
③ご購入年月日
④販売店名

HONDA
The Power of Dreams

万一、異常や故障などの不具合が生じた場合は、
Honda 販売店で点検整備を受けてください。
各所在地、電話番号については、別冊の「サービス網一覧」
をご覧ください。

インターネットでも取扱説明情報をお伝えしております。
Digital Owner's Manualのホームページ
http://www.honda.co.jp/manual/

30SJE700
00X30-SJE-7002

Ⓝ (PI) 2000.2006.01.4
©2006 本田技研工業株式会社